

検査技術学専攻専門科目教育要項

Medical Technology, Syllabus of the Special Subjects

2022年度

2022-2023 Prospectus

東京医科歯科大学医学部保健衛生学科

School of Health Care Sciences, Faculty of Medicine,
Tokyo Medical and Dental University

医学部保健衛生学科

《医学部保健衛生学科》

●教育理念

本学科は、看護学、検査技術学の2つの専門領域における知識・技術を教授することにとどまらず、豊かな教養と高い倫理観に裏づけされた医療人としての感性を有し、学際的視野にたち、自ら問題を提起し、これを解決できる能力を備えた医療人を養成します。

●教育目標

〈看護学専攻〉

高度先進化する科学技術の基礎理解力を持ち、高齢化社会における保健医療・福祉等のさまざまな職種と連携して、専門職としての役割を果たす人間性豊かな人材を育成する。

〈検査技術学専攻〉

先端医療技術の進展に対応しうる学際的視野と研究能力を有する資質の高い人材および医学、保健医療における検査技術の発展とその教育・指導に従事する人材を育成する。

●求める学生像

〈看護学専攻〉

1. 看護学・保健医療福祉に深い関心がある
2. 豊かな感性と優れたコミュニケーション能力を有する
3. 論理的思考力、問題解決能力を備えている
4. 倫理的感受性と探究心に富む

〈検査技術学専攻〉

1. 医学・保健医療に深い関心を有し、患者・要介護者や社会に対する奉仕的精神、責任感、倫理観を有する
2. 豊かな人間性をもち、観察力、論理的思考力、問題解決力、総合判断力を備えている
3. 継続的に自己啓発し、探求心が旺盛である

◆ディプロマ・ポリシー

医学部保健衛生学科では、全学共通科目、専門科目における講義・演習・実習を通して、学年ごとに設定された進級要件（東京医科歯科大学全学共通科目履修規則及び東京医科歯科大学専門科目履修規則）を満たし、卒業までに、所定の単位を修得し、以下の要件を満たしている者に、それぞれ学士(看護学)、学士（保健学）の学位を授与する。

1. 幅広い教養と高い専門知識・技術の修得

物事を多面的に捉えられる幅広い教養を身に付け、看護学または検査技術学の基礎から応用に至る高い専門知識と技術を修得している。

2. 医療人としての豊かな感性と人間性の形成

多様な背景を持つ人々の主体性や価値観を理解し、豊かな感性を持って個々を尊重した関係を築くことができる医療人としての人間性が形成されている。

3. 問題提起・解決能力の修得

社会情勢の影響あるいは業務の特性によって時々刻々と変化する臨床現場の中で、問題を的確に見出し解決に向かわせる柔軟な理解力・洞察力・行動力が養われている。

4. 自己学習能力・創造性の形成

看護または臨床検査の分野におけるスペシャリストを目指して学習を継続する自己学習能力を身に付け、大学院あるいは職場において診療・教育・研究・開発活動を進展させていくことができる創造性が形成されている。

5. 国際性の形成

国際情勢に関心を示し、看護または臨床検査の分野におけるスペシャリストとして国際貢献に関与できる基礎学力が養われている。

卒業時到達目標は、他の医療専門職等とのチームワーク、保健医療に関わる倫理観、広く社会を捉える国際性、基盤となる高い専門性およびそれを追求する研究的姿勢を併せて養うことが重要と考える。保健衛生学科の学習を通して、保健医療の実践の場のみならず、教育・研究の場においても、人々の健康的な生活に貢献し、看護学・検査技術学の発展に寄与できる医療人に成長することが期待される。

◆カリキュラム・ポリシー

〈看護学専攻〉

東京医科歯科大学の教育理念、および医学部保健衛生学科の教育理念に基づき、全学共通科目、専門科目を系統的、段階的に学習できるように配し、ディプロマ・ポリシーを実現するためのカリキュラムの策定方針を以下の通り定める。

1. 幅広い教養と豊かな人間性と倫理観を涵養するために、一般教育とリベラルアーツを融合した共通教育には、学科・専攻横断的な自由選択科目を配置し、価値観の多様化する現代において看護と関連づけながら学びを深められるよう、看護に関する専門教育科目、医療と人間について学ぶ教養科目を有機的に配置する。
2. 自ら問題を提起し、解決する能力を備えた、看護学の実践、教育、研究者としての基礎を培い、自己の知識や技術の向上を常に目指す研究的姿勢を身につけるために、討論、グループワーク、多職種連携教育、ラーニングマネジメントシステムやシミュレーション・ラボを活用して科目を展開するとともに、論理的思考能力、リテラシー能力、批判的思考、統合的思考、論理的思考の向上を目指して、少人数制の卒業研究ならびに統合的実践科目を配置する。
3. 看護師および保健師としての知識・技術・態度を修得し、将来リーダーを担いうる資質を培うために、看護の科学的根拠となる知識からより専門性の高い各看護学の分野の科目へ、看護の対象を個人、家族、集団、地域、組織へと広げ、看護研究、看護管理へと学習を拡大していけるよう科目を配置する。

4. 多職種との連携を図りながら看護の専門性を発揮できる基礎的能力の獲得を目指して、学習段階に応じた臨地実習科目をすべての学年に配置する。
5. 国際的に活躍でき、医療の国際化に対応できる人材を育成することを目指して、4年間を通じて学習できるよう語学と国際的な看護に関する科目を配置する。
6. 学習成果の評価は、各授業科目のシラバスにおいて、到達目標、授業計画、成績評価基準・方法を明示し、定期試験、レポート提出、講義への参加状況などに基づき、医療人として要求される専門的能力について、多面的に評価する。

〈検査技術学専攻〉

東京医科歯科大学の教育理念、および医学部保健衛生学科の教育理念に基づき、検査技術学専攻の教育目的を踏まえた教育目標の達成を見据え、ディプロマ・ポリシーを実現するためのカリキュラムの策定方針を以下の通り定める。

1. 臨床検査技師国家試験に必要な科目を含めて、全学共通科目および専門科目を4年間で系統的、段階的に学習できるよう配置する。
2. 臨地実習、インターンシップ、他学科・他専攻との共通科目等により、チーム医療の一翼として活躍できる臨床検査技師に必要な実践的知識、技術、態度、コミュニケーション能力を修得させる。
3. 国際化、情報化に対応して、英語と情報リテラシー科目は4年間に渡って継続的に学習できるように配置する。
4. 本学大学院医歯学総合研究科、生体材料工学研究所、難治疾患研究所、大学病院、医歯学研究支援センター等の全学的協力および四大学連合複合領域コースの活用により、広い分野にわたる選択科目を開講するとともに、卒業研究等により大学院教育との連携を図る。
5. 学習成果の評価は、各授業科目のシラバスにおいて、到達目標、授業計画、成績評価基準・方法を明示し、定期試験、レポート提出、講義への参加状況などに基づき、医療人として要求される専門的能力について、多面的に評価する。

お知らせ

2022 年度は、新型コロナウイルス感染症に伴い、授業日程は、適宜変更となります。

最新のものは、WebClass、及びキャンパス教育支援システムより、ご確認ください。

2022年度授業計画表《検査技術学専攻》	1
【第1学年】	2
2022年度時間割(検査技術学専攻:第1学年)	3
人体構造学講義	8
分析化学検査学Ⅰ	10
病原体検査学講義(Ⅰ)	13
臨床検査総合管理学	15
【第2学年】	18
2022年度時間割(検査技術学専攻:第2学年)	19
人体構造学実習	25
病理検査学講義	27
病理検査学実習	31
生化学講義	34
生化学実習	39
分析化学検査学Ⅱ	41
医用システム情報学講義(Ⅰ)	44
医用システム情報学実習(Ⅰ)	47
生理検査学講義(Ⅰ)	49
生理検査学講義(Ⅱ)	51
生理検査学実習(Ⅰ)	54
生理検査学実習(Ⅱ)	56
病原体検査学実習(Ⅰ)	59
免疫検査学講義	62
遺伝子・染色体検査学講義	65
医学情報処理演習(Ⅰ)	68
臨床病態学(Ⅰ)	71
Global Communication(Ⅰ)	73
【第3学年】	76
2022年度時間割(検査技術学専攻:第3学年)	77
血液検査学講義	83
血液検査学実習	85
分析化学検査学Ⅲ	87
医用システム情報学講義(Ⅱ)	90
医用システム情報学実習(Ⅱ)	93
生理検査学講義(Ⅲ)	96
生理検査学実習(Ⅲ)	99
病原体検査学講義(Ⅱ)	103
病原体検査学実習(Ⅱ)	105
免疫検査学実習	107
遺伝子検査学実習	109
医学情報処理演習(Ⅱ)	111
臨床病態学(Ⅱ)	119
臨地実習	116
卒業研究(Ⅰ)	121
Global Communication(Ⅱ)	123
【第4学年】	126
2022年度時間割(検査技術学専攻:第4学年)	127
公衆衛生学講義	133
公衆衛生学実習	136
医療概論・関係法規	139
総合講義	141
卒業研究Ⅱ	144

【選択科目/自由科目】	147
選択科目および自由科目の履修について	148
2022年度開講 選択科目・自由科目一覧	149
＜選択科目＞	150
遺伝学	151
生命理工学概論	154
生体医工学	156
分子生物学	159
心臓生理学	162
アドバンスド生理機能検査学	164
心電図判読	166
AI実践演習	168
Learning Medical English [＊2019年度入学者から選択科目]	170
English for Health Care Sciences (Ⅰ)	172
English for Health Care Sciences (Ⅱ)	174
＜自由科目＞	176
薬理学	177
短期海外研修A	179
短期海外研修B	181
短期海外研修C	183
短期海外研修D	185
Learning Medical English [＊2018年度入学者まで自由科目]	187
【学生周知事項】	189
学生周知事項	190
台風等の自然災害や交通機関運休による休講措置(湯島地区)	193
諸様式	194
【講義室一覧】	208
講義室等一覧	209
【参 考】	210
東京医科歯科大学学則	211
東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申合せ	226
東京医科歯科大学学部専門科目履修規則(2022年度入学者に適用)	236
東京医科歯科大学医学部保健衛生学科履修内規	251
保健衛生学科(検査技術学専攻)教育課程	254
東京医科歯科大学医学部試験規則、試験規則内規	261
東京医科歯科大学学部教育におけるGPA制度取り扱いに関する要	265
国立大学法人東京医科歯科大学における授業欠席に関する取扱	267
検査技術学専攻第3学年における臨地実習履修要件	269
医学部保健衛生学科レポート書式(見本)	270

2022年度授業計画表《検査技術学専攻》

第 2 学 年			第 3 学 年			第 4 学 年		
区 分	週 数	期 間	区 分	週 数	期 間	区 分	週 数	期 間
前期授業 ・補講	14週	2022年 4月 4日(月)～ 7月 8日(金)	前期授業 ・補講	17週	2022年 4月 4日(月)～ 7月 26日(火)	前期授業 ・補講	15週	2022年 4月 1日(金)～ 7月 8日(金)
前期試験	3週	2022年 7月11日(月)～ 7月22日(金)	前期試験	2週	2022年 7月28日(木)～ 8月 2日(火) 2022年 9月 8日(木)～ 9月14日(水)	前期試験	2週	2022年 7月11日(月)～ 7月22日(金)
前期授業 ・補講	1週	2022年 7月25日(月)～ 7月29日(金)						
夏季休業		2022年 8月 1日(月)～ 8月31日(木)	夏季休業		2022年 8月 3日(水)～ 9月 2日(金)	夏季休業		2022年 7月25日(月)～ 9月 4日(金)
後期授業	16週	2022年 9月 5日(月)～12月23日(金)	後期授業	15週	2022年 9月 15日(木)～12月 23日(金)	後期授業	16週	2022年 9月 5日(月)～12月23日(金)
冬季休業		2022年12月26日(月) ～2023年 1月 3日(火)	冬季休業		2022年12月26日(月) ～2023年 1月 3日(火)	冬季休業		2022年12月26日(月) ～2023年 1月 3日(火)
後期授業	2週	2023年 1月 4日(水)～ 1月13日(金)	後期授業	2週	2023年 1月 4日(水)～ 1月13日(金)	後期授業	2週	2023年 1月 4日(水)～ 1月 6日(金) 2023年 1月23日(月)～ 1月27日(金)
後期試験	1週	2023年 1月16日(月)～ 1月20日(金)	後期試験	1週	2023年 1月16日(月)～ 1月20日(金)	後期試験	1週	2023年 1月10日(火)～ 1月13日(金) ※総合講義の試験日については別途連絡する
補講・再試 期間	2週	2023年 1月23日(月)～ 2月 3日(金)	補講・再 試期間	1週	2023年 1月23日(月)～ 1月27日(金)	補講・再試 期間	1週	2023年 1月16日(月)～ 1月20日(金)
春季休業		2023年 2月 6日(月)～	春季休業		2023年 1月 30日(月)～	春季休業		2023年 1月 30日(月)～

【行事】

- 2022年 4月 5日(火) 入学式
- 2022年 4月 14日(木) ガイダンス(2学年)(案)
- 2022年 【未定】体育祭(※コロナ禍のため)
- ※オープンキャンパス開催未定
- 2022年10月12日(水) 創立記念日
- 2022年10月15日(土)～16日(日) 【未定】お茶の水祭
- 2022年10月27日(木) 解剖体追悼式 N2, MT2 (築地本願寺)
- 2023年 3月24日(金) 卒業式

第 1 学年

(前期)

3/28	①	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月																
	29	火															
	30	水															
	31	木															
	4/1	金															
4/4	②	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月																
	5	火	※学部入学式 (10:00～)														
	6	水	【午前予定】新入生健診、四種抗体検査														
	7	木	【13時30分～15時15分】保健衛生学科新入生ガイダンス（講義室4）														
	8	金	【午後予定】情報システム説明会(湯島・情報検索室(M&Dタワー4階))														
4/11	③	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	教養部オリエンテーション・ガイダンス															
	12	火	臨床検査総合 管理学(1)	登校(面接授 業)	講義室2	臨床検査総合 管理学(2)	登校(面接授 業)	講義室2	3号館講義室2,4	臨床検査総合 管理学(3)	登校(面接授 業)	講義室2	臨床検査総合 管理学(4)	登校(面接授 業)	講義室2	臨床検査総合 管理学(5)	登校(面接授 業)
	13	水															
	14	木															
	15	金															
4/18	④	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月																
	19	火															
	20	水															
	21	木															
	22	金															
4/25	⑤	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月																
	26	火															
	27	水															
	28	木															
	29	金	昭和の日														
5/2	⑥	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月																
	3	火	憲法記念日														
	4	水	みどりの日														
	5	木	こどもの日														
	6	金															
5/9	⑦	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月																
	10	火															
	11	水															
	12	木															
	13	金															
5/16	⑧	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月																
	17	火	臨床検査総合 管理学(6)	登校(面接授 業)	講義室2	臨床検査総合 管理学(7)	登校(面接授 業)	講義室2	3号館講義室2,4	臨床検査総合 管理学(8)	登校(面接授 業)	講義室2	臨床検査総合 管理学 (予備日)		臨床検査総合 管理学 (予備日)		
	18	水															
	19	木															
	20	金															
5/23	⑨	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月																
	24	火															
	25	水															
	26	木															
	27	金															

5/30		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月																
	31 火																
	6/1 水																
2 木																	
	3 金																
6/6		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月																
	7 火																
	8 水																
	9 木																
10 金																	
6/13		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月																
	14 火																
	15 水																
	16 木																
17 金																	
6/20		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月																
	21 火																
	22 水																
	23 木																
24 金																	
6/27		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月																
	28 火																
	29 水																
	6/30 木																
7/1 金																	
7/4		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月																
	5 火																
	6 水																
	7 木																
8 金																	
7/11		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月																
	12 火																
	13 水																
	14 木																
15 金																	
7/18		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	海の日															
	19 火																
	20 水																
	21 木																
22 金																	
7/25		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月																
	26 火																
	27 水																
	28 木																
29 金																	
8/1		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月																
	2 火																
	3 水																
	4 木																
5 金																	

(後期)

	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
9/12	月															
13	火															
14	水															
15	木															
16	金															
9/19	月	敬老の日														
20	火															
21	水															
22	木															
23	金	秋分の日														
9/26	月															
27	火	病原体検査学講義 I (1)	同期型 (zoom)		人体構造学講義 (1)	同期型 (zoom)		人体構造学講義 (2)	同期型 (zoom)		人体構造学講義 (3)	同期型 (zoom)		臨床検査総合管理学 (9)	同期型 (zoom)	
28	水															
29	木															
30	金															
10/3	月															
4	火	病原体検査学講義 I (2)	同期型 (zoom)		人体構造学講義 (4)	同期型 (zoom)		人体構造学講義 (5)	同期型 (zoom)		人体構造学講義 (6)	同期型 (zoom)		臨床検査総合管理学 (10)	同期型 (zoom)	
5	水															
6	木															
7	金															
10/10	月	スポーツの日														
11	火	病原体検査学講義 I (3)	同期型 (zoom)		人体構造学講義 (7)	同期型 (zoom)		人体構造学講義 (8)	同期型 (zoom)		人体構造学講義 (9)	同期型 (zoom)				
12	水	創立記念行事														
13	木															
14	金															
10/17	月															
18	火	病原体検査学講義 I (4)	同期型 (zoom)		人体構造学講義 (10)	同期型 (zoom)		人体構造学講義 (11)	同期型 (zoom)		人体構造学講義 (12)	同期型 (zoom)		臨床検査総合管理学 (11)	同期型 (zoom)	
19	水															
20	木															
21	金															
10/24	月															
25	火	病原体検査学講義 I (5)	非同同期型 (webclass)		人体構造学講義 (13)	同期型 (zoom)		人体構造学講義 (14)	同期型 (zoom)		人体構造学講義 (15)	同期型 (zoom)		臨床検査総合管理学 (12)	同期型 (zoom)	
26	水															
27	木															
28	金															
10/31	月															
11/1	火	病原体検査学講義 I (6)	同期型 (zoom)		人体構造学講義 (16)	同期型 (zoom)		人体構造学講義 (17)	同期型 (zoom)		人体構造学講義 (18)	同期型 (zoom)		臨床検査総合管理学 (13)	同期型 (zoom)	
2	水															
3	木	文化の日														
4	金															
11/7	月															
8	火	病原体検査学講義 I (7)	同期型 (zoom)		人体構造学講義 (19)	同期型 (zoom)		人体構造学講義 (20)	同期型 (zoom)		人体構造学講義 (21)	同期型 (zoom)		臨床検査総合管理学 (14)	同期型 (zoom)	
9	水															
10	木															
11	金															

11/14		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月																
	15 火	病原体検査学講義 Ⅰ(8)	同期型 (zoom)		人体構造学講義 (22)	同期型(zoom)			人体構造学講義 (23)	同期型(zoom)		人体構造学講義 (24)	同期型(zoom)		臨床検査総合管 理学(15)	同期型(zoom)	
	16 水																
	17 木																
11/21		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月																
	22 火	分析化学検査 学(Ⅰ)(1)	同期型 (zoom)		分析化学検査学 (Ⅰ)(2)	非同期型 (webclass)			分析化学検査学 (Ⅰ)(3)	登校(面接授 業)	4	分析化学検査学 (Ⅰ)(4)	登校(面接授 業)	7F & 8F 実習室	分析化学検査学 (Ⅰ)(5)	登校(面接授 業)	7F & 8F 実習室
	23 水	勤労感謝の日															
	24 木																
11/28		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月																
	29 火																
	30 水																
	12/1 木																
12/5		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月																
	6 火	分析化学検査 学(Ⅰ)(6)	同期型 (zoom)		分析化学検査学 (Ⅰ)(7)	非同期型 (webclass)			分析化学検査学 (Ⅰ)(8)	登校(面接授 業)	講義室4	分析化学検査学 (Ⅰ)(9)	登校(面接授 業)	7F & 8F 実習室	分析化学検査学 (Ⅰ)(10)	登校(面接授 業)	7F & 8F 実習室
	7 水																
	8 木																
12/12		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月																
	13 火	分析化学検査 学(Ⅰ)(11)	同期型 (zoom)		分析化学検査学 (Ⅰ)(12)	非同期型 (webclass)			分析化学検査学 (Ⅰ)(13)	登校(面接授 業)	講義室4	分析化学検査学 (Ⅰ)(14)	登校(面接授 業)	7F & 8F 実習室	分析化学検査学 (Ⅰ)(15)	登校(面接授 業)	7F & 8F 実習室
	14 水																
	15 木																
12/19		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月																
	20 火	分析化学検査 学(Ⅰ)(16)	同期型 (zoom)		分析化学検査学 (Ⅰ)(17)	非同期型 (webclass)			分析化学検査学 (Ⅰ)(18)	登校(面接授 業)	講義室4	分析化学検査学 (Ⅰ)(19)	登校(面接授 業)	7F & 8F 実習室	分析化学検査学 (Ⅰ)(20)	登校(面接授 業)	7F & 8F 実習室
	21 水																
	22 木																
1/2		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月																
	3 火																
	4 水																
	5 木																
1/9		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	成人の日															
	10 火	分析化学検査 学(Ⅰ)(21)	同期型 (zoom)		分析化学検査学 (Ⅰ)(22)	非同期型 (webclass)			分析化学検査学 (Ⅰ)(23)	登校(面接授 業)	講義室4	分析化学検査学 (Ⅰ)(24)	登校(面接授 業)	7F & 8F 実習室	分析化学検査学 (Ⅰ)(25)	登校(面接授 業)	7F & 8F 実習室
	11 水																
	12 木																
1/16		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月																
	17 火	定期試験候補 日(湯島)			定期試験候補日 (湯島)				定期試験候補日 (湯島)			定期試験候補日 (湯島)			定期試験候補日 (湯島)		
	18 水																
	19 木																
1/20	金																

		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
1/23	月																
24	火	定期試験候補日(湯島)			定期試験候補日(湯島)				定期試験候補日(湯島)			定期試験候補日(湯島)			定期試験候補日(湯島)		
25	水																
26	木																
27	金																
1/30	月																
31	火	定期試験候補日(湯島)			定期試験候補日(湯島)				定期試験候補日(湯島)			定期試験候補日(湯島)			定期試験候補日(湯島)		
2/1	水																
2	木																
3	金																
2/6	月																
7	火	定期試験候補日(湯島)			定期試験候補日(湯島)				定期試験候補日(湯島)			定期試験候補日(湯島)			定期試験候補日(湯島)		
8	水																
9	木																
10	金																

時間割番号	013002A					
科目名	人体構造学講義			科目ID	MT-130300-L	
担当教員	星 治, 藤代 瞳[HOSHI OSAMU, FUJISHIRO Hitomi]					
開講時期	2022 年度通年	対象年次	1	単位数	3	
実務経験のある教員による授業	該当する					
英文名: Anatomy						
【科目責任者】 星 治						
授業の目的、概要等						
解剖学は正常なからだの形態と構造を細胞から器官レベルまで研究する学問で、医学の最も基礎的な領域である。						
授業の到達目標						
からだを構成している細胞から器官にいたる各単位について、基本的な構造を理解することを目指す。実物観察により理解を深めることも重視する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/27	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	解剖学総論Ⅰ	解剖学とは何か、人体の構成単位、器官と系統、	星 治
2	9/27	12:50-14:20	遠隔授業(同期型)	解剖学総論Ⅱ	細胞と組織、人体の方向用語	星 治
3	9/27	14:30-16:00	遠隔授業(同期型)	骨格系Ⅰ	骨組織、骨の発生、骨の連結、頭蓋	藤代 瞳
4	10/4	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	骨格系Ⅱ	脊柱、胸郭、上肢の骨格、下肢の骨格	藤代 瞳
5	10/4	12:50-14:20	遠隔授業(同期型)	筋系Ⅰ	筋の形態と構造、頭部の筋	星 治
6	10/4	14:30-16:00	遠隔授業(同期型)	筋系Ⅱ	胸腹部の筋、上肢の筋、下肢の筋	星 治
7	10/11	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	呼吸器系Ⅰ	鼻腔、副鼻腔、咽頭、喉頭	星 治
8	10/11	12:50-14:20	遠隔授業(同期型)	呼吸器系Ⅱ	気管、気管支、肺	星 治
9	10/11	14:30-16:00	遠隔授業(同期型)	発生学	発生学:ヒトの発生、受精から出生までのあらまし	原田 理代
10	10/18	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	循環器系Ⅰ	心臓の構造、刺激伝導系	佐藤 昇
11	10/18	12:50-14:20	遠隔授業(同期型)	循環器系Ⅱ	肺循環と体循環、動脈系、静脈系、リンパ系	星 治
12	10/18	14:30-16:00	遠隔授業(同期型)	循環器系Ⅲ	血管の構造	星 治
13	10/25	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	泌尿器系Ⅰ	腎臓	星 治
14	10/25	12:50-14:20	遠隔授業(同期型)	泌尿器系Ⅱ	尿管、膀胱、尿道	星 治
15	10/25	14:30-16:00	遠隔授業(非同期型)	生殖器系 (男性、女性)	精巣と精巣上体、精管、卵巣、卵管、子宮	秋田 恵一
16	11/1	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	内分泌系	内分泌器官	秋田 恵一
17	11/1	12:50-14:20	遠隔授業(同期型)	消化器系Ⅰ	消化管の基本構造、口腔、咽頭、食道、胃	星 治
18	11/1	14:30-16:00	遠隔授業(同期型)	消化器系Ⅱ	小腸、大腸	星 治
19	11/8	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	消化器系Ⅲ	肝臓、胆嚢、膵臓	星 治
20	11/8	12:50-14:20	遠隔授業(同期型)	神経系Ⅰ	神経系の構成	阪上 洋行
21	11/8	14:30-16:00	遠隔授業(同期型)	神経系Ⅱ	中枢神経系・末梢神経系	阪上 洋行
22	11/15	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	感覚器系Ⅰ	眼球とその付属器	藤代 瞳
23	11/15	12:50-14:20	遠隔授業(同期型)	感覚器系Ⅱ	平衡聴覚器、嗅覚器、味覚器、皮膚	藤代 瞳
24	11/15	14:30-16:00	遠隔授業(同期型)			
授業方法						
同期型もしくは非同期型授業(可能な場合は対面授業)。一部アクティブラーニングを実施する。						
授業内容						
人体を各系統に分け、それらを構成する各器官の形態と構造について講義し、基礎的な人体解剖学の概念を修得できるように努める。一部演習も行う。						
成績評価の方法						
小テストの成績(10%)、学期末筆記試験の成績(90%)により総合的に評価する。一部、英文による出題もある。						

成績評価の基準 学期末筆記試験の成績が 100 点満点で 60 点以上を合格とする。
準備学習等についての具体的な指示 指定の教科書を事前に読み込むこと。特に、講義当日の内容に該当する項目のところは十分に押さえておく。
試験の受験資格 授業時間数の 3 分の 2 以上出席した場合に定期試験を受験することができる。出席の扱いは以下の通り 同期型の場合: 講義を最初から最後まで参加しているログが確認できた場合を出席とする 非同期の場合: webclass での確認テストで 60 点以上だった場合を出席とする
教科書 解剖学／秋田恵一, 星治 著 秋田, 恵一, 1962-, 星, 治.: 医歯薬出版, 2021
参考書 藤田恒夫: 入門人体解剖学 南江堂 牛木辰男: 入門組織学 南江堂
他科目との関連 人体の様々な病態を理解するためには、からだの構造の基本的な知識が必要である。このため、解剖学は他の多くの科目と関連している。特に、生理学、病理学、病態学とは密接な関連がある。
履修上の注意事項 時間数が限られているので、予習、復習することが必要である。
連絡先(メールアドレス) 星 治: o-hoshi.aps@tmd.ac.jp 藤代 瞳: fujishiro.aps@tmd.ac.jp
オフィスアワー 星 治 オフィスアワーは特に定めない。事前にメールで連絡を。 湯島キャンパス3号館16階

時間割番号	013009A					
科目名	分析化学検査学Ⅰ			科目ID	MT-150500-Z	
担当教員	大川 龍之介, 亀田 貴寛[OKAWA RYUNOSUKE, KAMEDA Takahiro]					
開講時期	2022 年度通年	対象年次	1	単位数	2	
実務経験のある教員による授業	該当する					
英文名: Analytical Chemistry 1						
【科目責任者】大川 龍之介						
主な講義場所						
別途シラバスに記載						
授業の目的、概要等						
分析学を中心とした臨床検査全体の概要を理解する。また、「一般検査」と言われる検査項目である尿・脳脊髄液などの血液以外の体液や糞便、喀痰などに含まれる化学成分の定性および定量検査の方法とその臨床的意義を中心に学び実践する。精確な検査を行うために必要な検査法の原理、異常反応の発見法や対処法に関する知識を習得すると共に、考える力を身に着ける。実習では基本的な実験器具の使い方、分析法について学ぶ。						
授業の到達目標						
・一般検査の概要(主な検査項目、検体の取り扱いなど)が説明できる						
・尿が生成される機序を説明できる						
・尿定性検査の概要が説明できる						
・尿糖定性検査の原理と臨床的意義が説明できる						
・尿糖定量検査の原理を説明できる						
・尿蛋白の出現理由と蛋白主同定の意義が説明できる						
・尿蛋白定量測定の原理が説明できる						
・尿潜血検査の意義、測定原理を説明できる						
・尿比重検査の意義、測定原理を説明できる						
・その他の主な尿定性検査の概要が説明できる						
・便検査の意義、測定原理について説明できる						
・髄液検査の概要、意義について説明できる						
・穿刺液検査の概要、意義について説明できる						
・基本的な実験器具が取り扱える						
・分光光度計を用いた吸収スペクトル分析が行える						
・尿試験紙法を用いた半定量分析が行える						
・比重計を用いた尿比重測定が行える						
・脳脊髄液中の細胞数のカウントが行える						
・分光光度計を用いた定量分析が行える						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	11/22	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	分析化学検査学Ⅰ	臨床検査の概要	大川 龍之介
2	11/22	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	分析化学検査学Ⅰ	一般検査の概要(各種検査、尿の生成概要)	大川 龍之介
3	11/22	12:50-14:20	保健衛生学科講義室 4	分析化学検査学Ⅰ	(実習用)分光光度計を用いた分析	亀田 貴寛
4-5	11/22	14:30-17:50	保健衛生学実習室 検査学実習室 1	分析化学検査学Ⅰ	(実習)分光光度計を用いた分析	大川 龍之介, 亀田 貴寛
6	12/6	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	分析化学検査学Ⅰ	臨床検査概要(アクティブラーニング)	大川 龍之介
7	12/6	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	分析化学検査学Ⅰ	一般検査概要(尿の性状、取り扱い)	大川 龍之介
8	12/6	12:50-14:20	保健衛生学科講義室 4	分析化学検査学Ⅰ	(実習用)実験器具の使い方、再現性	亀田 貴寛
9-10	12/6	14:30-17:50	保健衛生学実習室 検査学実習室 1	分析化学検査学Ⅰ	(実習)実験器具の使い方、再現性	大川 龍之介, 亀田 貴寛
11	12/13	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	分析化学検査学Ⅰ	尿の生成、尿中の成分(詳細)	大川 龍之介
12	12/13	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	分析化学検査学Ⅰ	尿定性検査、尿沈渣検査(概要)	大川 龍之介

13	12/13	12:50-14:20	保健衛生学科講義室 4	分析化学検査学 I	(実習用)尿中成分の定性・同定法(試験紙, 用手法)	亀田 貴寛
14-15	12/13	14:30-17:50	保健衛生学実習室 検査学実習室 1	分析化学検査学 I	(実習)尿中成分の定性・同定法(試験紙, 用手法)	大川 龍之介, 亀田 貴寛
16	12/20	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	分析化学検査学 I	尿定性検査, 尿沈渣検査(詳細)	大川 龍之介
17	12/20	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	分析化学検査学 I	脳脊髄液検査(概要)	大川 龍之介
18	12/20	12:50-14:20	保健衛生学科講義室 4	分析化学検査学 I	(実習用)脳脊髄液中の細胞数の算定, 尿中タンパク質測定	亀田 貴寛
19-20	12/20	14:30-17:50	保健衛生学実習室 検査学実習室 1	分析化学検査学 I	(実習)脳脊髄液中の細胞数の算定, 尿中タンパク質測定	大川 龍之介, 亀田 貴寛
21	1/10	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	分析化学検査学 I	脳脊髄液検査(詳細)	大川 龍之介
22	1/10	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	分析化学検査学 I	尿以外の一般検査(便潜血, 喀痰, 穿刺液などの検査)	大川 龍之介
23	1/10	12:50-14:20	保健衛生学科講義室 4	分析化学検査学 I	(実習用)尿タンパク定量	亀田 貴寛
24-25	1/10	14:30-17:50	保健衛生学実習室 検査学実習室 1	分析化学検査学 I	(実習)尿タンパク定量	大川 龍之介, 亀田 貴寛
授業方法 講義と実習を行う。講義は座学のみならず, 任意の個人個人に質問しながらの講義とする。一部の授業は, 与えられたテーマでグループディスカッションを行い, 代表者がグループの意見を発表する(アクティブラーニング)。						
授業内容 検体の取り扱い方, 尿中化学成分に関する種々の分析法とその臨床的解釈, 糞便・胃液・十二指腸液・脳脊髄液などの体液成分に含まれる成分分析法と臨床的解釈について解説する。また, 実習内容に関する講義および実習を行う。						
成績評価の方法 学期末筆記試験および出席点, 講義時の積極性により評価する。実習はレポート, プレゼンテーションや実習時の積極性により評価する。学期末試験には当該学習内容に関する英語の問題や実習内容も出題する。 1) 学期末筆記試験 100 点 2) 実習レポート評価 100 点 3) 講義および実習時の出席点・積極性 100 点 4) 非同期型講義の課題・振り返り試験 100 点						
成績評価の基準 1), 2)において, それぞれ60点に達した場合に合格とする。最終的にどちらかでも不合格であった場合には, 分析化学検査学Iを不合格とする。 成績は1)と2)の平均:90%, 3):5%, 4):5% として合算する。						
準備学習等についての具体的な指示 事前に授業内容を記載したファイルを配布するので, 必ず予習し, 特に不明な点を明確にして授業に臨むこと。講義・実習後, 不明な点はメールにてすぐに質問し, わからないままにしないこと。						
試験の受験資格 授業に3分の2以上, 実習に4分の3以上出席し, 聴講・実験をした者。内容の都合上, 原則, 遅刻は認められない。zoom による講義の場合は, 講義を最初から最後まで参加しているログが確認出来た場合に出席とする。非同期型講義の場合は, その際に課された課題(または Web 試験)を提示された期限までに終了したことをもって出席とする。非同期型講義の次の同期型講義の初めに, 振り返り試験を行う。						
教科書 一般検査学／三村邦裕, 宿谷賢一 編集:医歯薬出版, 2016 :医歯薬出版						
参考書 臨床検査法提要 = Kanai's Manual of Clinical Laboratory Medicine／金井正光 監修,奥村伸生, 戸塚実, 矢富裕 編集:金原出版, 2015						
他科目との関連 化学, 生化学で学んだ知識及び技術が一般検査を学ぶ上でも基礎となる。						
履修上の注意事項 授業内容が前後する場合は事前に連絡する。欠席・遅刻をしないこと。						

備考 科目終了後に科目についてのアンケートを WebClass で実施する。 2021 年度の授業評価結果を踏まえ、2022 年度も引き続き、丁寧に指導・教育できる体制を整える。
連絡先(メールアドレス) 大川 龍之介:ohkawa.alc@tmd.ac.jp 亀田 貴寛:kameda.alc@tmd.ac.jp
オフィスアワー 大川 龍之介:特定の日時を確保できないためメールでアポイントメントを取ってください。 亀田 貴寛:月曜日～金曜日 AM.9:00-PM7:00 3号館 16 階 助教室, 先端分析検査学分野研究室

時間割番号	013014A					
科目名	病原体検査学講義(Ⅰ)			科目ID	MT-130600-L	
担当教員	齋藤 良一[SAITO RYOICHI]					
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する					
英文名:Medical microbiology, Lecture(Ⅰ) 【科目責任者】齋藤 良一						
主な講義場所 遠隔授業(同期・非同期)により行う。						
授業の目的、概要等 感染症の原因である微生物および微生物とその宿主(特に人間)との相互関係に関する学問である医学微生物学について学ぶ。また人間をとりまく環境中の微生物についても学習する。						
授業の到達目標 学生はこの講義を通して医学微生物学の基礎的知識を修得できる。 1)微生物の構造や細菌の代謝、遺伝、微生物の消毒、滅菌方法について説明できる。 2)微生物の病原因子や宿主の感染防御機構、感染症治療と予防・感染制御について説明できる。 3)医学微生物学の領域で問題となる主な病原微生物(細菌、真菌、ウイルス、寄生虫)とそれらが関わる感染症について説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/27	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	微生物学総論(1)	微生物学の概念と歴史, 微生物細胞の形態と構造, 微生物の分類・命名	齋藤 良一
2	10/4	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	微生物学総論(2)	大腸菌の生理と生化学	齋藤 良一
3	10/11	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	微生物学総論(3)	細菌の増殖・生残・死滅, 滅菌と消毒	齋藤 良一
4	10/18	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	微生物学総論(4)	微生物の遺伝, 環境と微生物	齋藤 良一
5	10/25	08:50-10:20	遠隔授業(非同期型)	微生物と免疫	免疫, 微生物の病原因子, 宿主の感染に対する抵抗性 , 化学療法薬・薬剤耐性菌	齋藤 良一
6	11/1	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	感染症学総論(1)	主な病原微生物(ウイルス)と感染症	齋藤 良一
7	11/8	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	感染症学総論(2)	主な病原微生物(細菌と真菌)と感染症	齋藤 良一
8	11/15	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	感染制御、化学療法	化学療法, 感染症の予防とコントロール	具 芳明
授業方法 遠隔授業(同期型):WebClass で事前配布した資料をもとに講義し、質疑応答やグループ討論を行う。 遠隔授業(非同期型):WebClass で配布された資料を視聴後、提示された課題を期限内に提出する。						
授業内容 医学微生物学全般(細菌学、ウイルス学、真菌学、免疫学)にわたる基礎的な事項について講義を行う。感染症に関してもその概略を述べる。一部で先進的な微生物検査について概説する。						
成績評価の方法 定期試験成績(85 点)、課題内容(10 点)および授業態度(5 点)により総合的評価(100 点満点)を行う。定期試験は多肢選択問題で構成され、基本的な専門用語を英語で示す問題も一部に含まれる。						
成績評価の基準 「成績評価の方法」に示した項目の合計が 60 点以上の場合を合格とする。						
準備学習等についての具体的な指示 講義前に事前配布資料で予習し、関連する内容は教科書でも学習すること。						
試験の受験資格 本学の試験規則を満たす者。但し、出席管理は以下のように行う。 ・遠隔授業(同期型):zoom のアクセス時間と講義中に行う小テストや質疑応答等により判断する。講義開始 30 分以上経過後のアクセスは欠席とみなす。 ・遠隔授業(非同期型):動画視聴後に提示された課題を期限内に提出した場合、出席とする。 ・対面授業:出席管理システム(カードタッチ)で判断する。講義開始 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。						

教科書 臨床微生物学／松本哲哉 編集：医歯薬出版, 2017
参考書 シンプル微生物学／小熊恵二, 堀田博, 若宮伸隆編集, 小熊, 恵二, 堀田, 博, 若宮, 伸隆：南江堂, 2018 標準微生物学／神谷茂, 錫谷達夫編集, 中込, 治, 神谷, 茂, 錫谷, 達夫：医学書院, 2018 イラストでわかる微生物学超入門：病原微生物の感染のしくみ／齋藤光正著, 齋藤, 光正：南山堂, 2018
他科目との関連 免疫学、生化学、病理学、公衆衛生学などの科目と密接な関係を持っている。
履修上の注意事項 微生物学の範囲は広く講義時間数は限られているので、毎回出席することが大切である。また講義内容の復習や講義で詳しく触れなかった事項も自主学習し、単元ごとに知識の定着を図って欲しい。講義・実習に関わる資料は全て著作物であり、著作権の関係上、外部に流出することの無いように十分気を付けること。
備考 前年度の授業評価結果を踏まえ、今年度も引き続き丁寧に指導・教育できる体制を整える。
連絡先(メールアドレス) 齋藤 良一 r-saito.mi@tmd.ac.jp
オフィスアワー 齋藤 良一 随時(必ず事前に連絡を入れること)

時間割番号	013091						
科目名	臨床検査総合管理学			科目ID	MT-130900-L		
担当教員	伊藤 南[ITO MINAMI]						
開講時期	2022 年度通年	対象年次	1	単位数	2		
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名: Clinical Laboratory Management							
【科目責任者】伊藤南							
主な講義場所							
(前期)3号館保健衛生学科講義室2							
(後期)遠隔講義(同期型)							
授業の目的、概要等							
検査技術学を専攻した学生が、自ら目指そうとしている専門性を理解し、専攻の特徴について習得することにより、スムーズに専門分野の学習に取り組めるようになること、また幅広い教養を身に付けた検査技術学分野の専門家を目指して教養教育に取り組めるようにすることを目的とする。病院検査部・輸血部・病理部見学、研究室見学等を通じて専門分野の専門家を目指す意識を高め、カリキュラムの概要を理解した上で、検査技術学を専攻する学生として積極的に基礎知識を習得する態度を身につける。							
信頼性の高い検査情報を得るためには、臨床検査の方法を良くするだけでなく、検査の質を維持・向上する必要がある。検査の精度管理と品質保証、臨床判断基準、検査室の安全管理について学ぶ。検査の品質管理ともいべき精度管理の考え方は臨床検査のみならず、ひろく研究・技術開発の様々な状況に通じる。							
授業の到達目標							
1.検査技術学の概要と基礎分野、専門分野、臨地実習、卒業研究等の内容を理解し、大学における学習・研究活動に積極的に取り組む姿勢を身につける。							
2.臨床検査技師の役割と使命、臨床検査技師の職業倫理と守秘義務、臨床検査の TPO とながれを理解し、説明できる。							
3.臨床検査の質、精度管理、品質保証を理解し、説明できる。							
4.測定誤差とその管理法を理解し、説明できる。							
5.臨床検査の標準化、測定法の評価、内部精度管理の方法を理解し、説明できる。							
6.疾患の有無を判断するため基準、確定診断や鑑別診断判断に至るための考え方を理解し、説明できる。							
7.臨床検査の安全管理、医療情報や個人情報の取り扱い、次世代の臨床検査技師像を理解し、説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/12	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	先端医療技術論	科目の概要	伊藤 南	
2	4/12	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	先端医療技術論	臨床検査の現状	大川 龍之介	
3	4/12	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	先端医療技術論	病院見学	伊藤 南	実地見学
4	4/12	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	先端医療技術論	病院見学	伊藤 南	実地見学
5	4/12	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	先端医療技術論	最先端の臨床検査とその利用①	角 勇樹 副島 友莉恵	
6	5/17	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	先端医療技術論	研究室見学	伊藤 南	実地見学
7	5/17	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	先端医療技術論	研究室見学	伊藤 南	実地見学
8	5/17	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	先端医療技術論	最先端の臨床検査とその利用②	齋藤 良一、 西尾 美和子	
9	9/27	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	検査管理学	臨床検査と臨床検査技師	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、アンケートソフトによる解答集計

10	10/4	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	検査管理学	精度管理と品質保証	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、 アンケートソフトによる解答集計
11	10/18	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	検査管理学	検査の標準化	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、 アンケートソフトによる解答集計
12	10/25	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	検査管理学	測定値の評価	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、 アンケートソフトによる解答集計
13	11/1	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	検査管理学	内部精度管理	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、 アンケートソフトによる解答集計
14	11/8	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	検査管理学	臨床判断基準	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、 アンケートソフトによる解答集計
15	11/15	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	検査管理学	検査室の安全管理	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、 アンケートソフトによる解答集計

授業方法

前期に集中して臨床検査の概要の講義と病院・研究室見学を行う。生体検査科学専攻の教員が、医療における臨床検査の利用や最新の臨床検査について平易に解説する。病院検査部・輸血部・病理部見学、研究室見学を通して実際の医療における臨床検査の現状や大学における今後の学習・研究活動を体感する。後期には精度管理について講義を行う。前回講義の内容について、講義冒頭で小テストを実施する。

授業内容

(前期)

1 臨床検査の概要(1)

オリエンテーション、臨床検査技師の役割と使命、病院見学の注意

2 臨床検査の現状 臨床検査部門の業務と各種管理

3-4 病院見学(本学付属病院の検査部・輸血部・病理部見学)

5 最先端の臨床検査とその利用①

6-7 研究室見学(生体検査科学専攻の各研究室)

8 最先端の臨床検査とその利用②

(後期)

9 臨床検査の概要(2)

臨床検査技師の職業倫理と守秘義務、臨床検査部門、検査の TPO

10 精度管理と品質保証

クオリティーマネージメント、検査の受付から報告まで、検体の採取・取り扱い・保存

外部精度管理(ISO15189)、代表値と測定誤差、誤差の種類、真度、精密度、精確さ

11 検査の標準化

基準分析法、標準物質、許容誤差限界、トレーサビリティ、不確かさ、単位

12 測定法の評価

併行精度、精密度プロファイル、希釈直線性試験、添加回収試験、干渉試験、比較試験

安定性試験、PDCA サイクル

13 内部精度管理

シューハート管理図、ウェストガードのマルチルール管理図

14 検査情報の利用

基準範囲、感度と特異度、尤度比、適中率、ROC 曲線、

臨床判断基準、治療閾値、コスト&ベネフィット

15 臨床検査の安全管理 リスクマネジメント、これからの臨床検査と臨床検査技師の役割

成績評価の方法

1) レポート(病院見学、研究室見学)

2) 学期末筆記試験の成績

3) 講義中の小テストの成績

成績評価の基準

①病院見学、研究室見学についてレポートを提出する。内容や締め切りについては講義中の指示に従うこと。到達目標に達しているもの

は60点、優れたものは80点、希に優れているものは100点を目安に評価する。 ②学期末筆記試験の成績(100点満点)に、講義中の小テストの成績(20点以内に換算)を加えて、総合的に評価する。学期末筆記試験の20%相当を英語で出題する。総合成績が60点以上のものを合格とする。期末試験が合格点に満たないものは再試験を実施し、総合成績が60点以上のものを合格とする。 ③総合成績とレポートの評価を6:4の割合で合算し、最終成績(100点満点)として科目の評価とする。
準備学習等についての具体的な指示 ①すでに統計学の教科書を持っているものは、教科書2は不要。 ②1年生で学んだ「統計学」の内容を良く理解しておくこと。 ③配布資料は各自で WebClass よりダウンロード、印刷しておくこと。当日の資料配布なし。 ④講義前に、配布資料と教科書の関連範囲に目を通しておくこと(教科書との対応は授業明細の備考欄を参照)。
試験の受験資格 ①病院見学、研究室見学への参加を必須とする。見学の無断欠席や無断早退が認められた場合には出席の要件を満たさないものとする。特段の理由があると認められる場合には、担当教員より代替法を指示する。 ②講義への2/3以上の出席をもって受験資格とする。遠隔講義では講義中に行う小テストおよびアンケート形式の質疑応答へ参加により出席確認とする。講義の無断欠席や無断早退が認められた場合には出席の要件を満たさないものとする。特段の理由があると認められる場合には、担当教員より代替法を指示する。
教科書 検査総合管理学／高木康、三村邦裕:医歯薬出版, 2016 入門統計学／栗原伸一著.:オーム社, 2011-07
参考書 バイオサイエンスの統計学: 正しく活用するための実践理論／市原清志:南江堂, 1990 入門医療統計学／森實敏夫:東京図書, 2004 統計学が最強の学問である／西内啓:ダイヤモンド社, 2013 統計学図鑑／栗原伸一、丸山敦史 共著.:オーム社, 2017 臨床医学総論: 臨床医学総論 放射性同位元素検査技術学 医用工学概論 情報科学・医療情報学 公衆衛生学／小山高敏、戸塚実編集; 小山高敏 [ほか] 執筆,小山, 高敏,戸塚, 実:医学書院, 2013 検査機器総論・検査管理総論／横田浩充、大久保滋夫編集; 大久保滋夫 [ほか] 執筆,横田, 浩充,大久保, 滋夫:医学書院, 2013
他科目との関連 臨床検査に関する入門的な講義としてすべての講義・演習・実習に関連し、臨床検査への興味、学習への意欲を高めてほしい。統計処理について、公衆衛生学、医学情報処理演習(Ⅰ)(Ⅱ)と関連する。医用工学は臨床検査学の周辺領域を広くカバーし、臨床検査を支えている。検査管理学、医用システム情報学(Ⅰ)(Ⅱ)、医学情報処理演習(Ⅰ)(Ⅱ)は、医用工学に関わる一連の講義、演習、実習として構成する。個別の検査機器の取り扱いについては生理検査学講義・実習等の教科を参照すること。
履修上の注意事項 能動的な講義への参加、講義時間を無駄に過ごさないことを希望する。講義資料は事前に WebClass で閲覧できるようにしてあるので予習すること。講義中ないし講義後の質問を歓迎する。受講に際しては画面の小さなスマホ等の使用を避けること。前回の講義の範囲で小テストを実施するので、必ず復習しておくこと。
備考 科目終了後に科目についてのアンケートを WebClass で実施する。 2021 年度の授業評価結果を踏まえ、2022 年度も引き続き、丁寧に指導・教育できる体制を整える。
連絡先(メールアドレス) 伊藤 南:minamibse@tmd.ac.jp、
オフィスアワー 伊藤 南:3号棟16階 生体機能支援システム学教授室 随時対応しますので、事前にメール等で連絡して下さい。

第 2 学年

(前期)

3/28	月	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
29	火																
30	水																
31	木																
4/1	金																

4/4	月	① 8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	【合】病理検査学講義 I (1)	同期型(zoom)		【合】生理検査学講義 I (1)	同期型(zoom)						【合】生化学講義 I (1)	同期型(zoom)		【合】生化学講義 I (2)	同期型(zoom)	
5	火	分析化学検査学Ⅱ (1)	同期型(zoom)		分析化学検査学Ⅱ (2)	同期型(zoom)											
6	水	遺伝子・染色体検査学講義 I (1)	同期型(zoom)		【合】病理検査学講義 I (2)	同期型(zoom)			Global Communication I (1)	同期型(zoom)							
7	木	【合】生理検査学講義 I (2)	同期型(zoom)		移動時間				医用システム情報学実習 I (1)	登校(面接授業)	7F 実習室	医用システム情報学実習 I (2)	登校(面接授業)	7F 実習室			
8	金	医用システム情報学講義 I (1)	同期型(zoom)		【合】生化学講義 I (3)	同期型(zoom)			人体構造学実習 (1) (14:00～15:30)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	7F 実習室	人体構造学実習 (2) (15:40～17:10)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	7F 実習室	人体構造学実習 (3) (17:20～18:50)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	7F 実習室

4/11	月	② 8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	【合】病理検査学講義 (3)	同期型(zoom)		【合】生化学講義 (4)	同期型(zoom)			医用システム情報学講義 I (2)	同期型(zoom)							
12	火	分析化学検査学Ⅱ (3)	同期型(zoom)		分析化学検査学Ⅱ (4)	非同期型(webclass)			分析化学検査学Ⅱ (5)	登校(面接授業)	7F & 8F 実習室	分析化学検査学Ⅱ (6)	登校(面接授業)	7F & 8F 実習室	分析化学検査学Ⅱ (7)	登校(面接授業)	7F & 8F 実習室
13	水	遺伝子・染色体検査学講義 (2)	同期型(zoom)		【合】病理検査学講義 (4)	同期型(zoom)			Global Communication I (2)	同期型(zoom)					【合】生化学講義 (5)	同期型(zoom)	
14	木	【合】病理検査学講義 (5)	同期型(zoom)		移動時間				医用システム情報学実習 I (3)	登校(面接授業)	7F 実習室	医用システム情報学実習 I (4)	登校(面接授業)	7F 実習室	2年生進級ガイダンス	登校(面接授業)	講義室4
15	金	【合】生化学講義 (6)	同期型(zoom)		医用システム情報学講義 I (3)	同期型(zoom)			人体構造学実習 (4) (14:00～15:30)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	7F 実習室	人体構造学実習 (5) (15:40～17:10)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	7F 実習室	人体構造学実習 (6) (17:20～18:50)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	7F 実習室

4/18	月	③ 8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	【合】病理検査学講義 (6)	同期型(zoom)		【合】生化学講義 (7)	同期型(zoom)			【合】生化学講義 (8)	同期型(zoom)		医用システム情報学講義 I (4)	同期型(zoom)				
19	火	分析化学検査学Ⅱ (8)	同期型(zoom)		分析化学検査学Ⅱ (9)	非同期型(webclass)			分析化学検査学Ⅱ (10)	登校(面接授業)	7F & 8F 実習室	分析化学検査学Ⅱ (11)	登校(面接授業)	7F & 8F 実習室	分析化学検査学Ⅱ (12)	登校(面接授業)	7F & 8F 実習室
20	水	遺伝子・染色体検査学講義 (3)	同期型(zoom)		【合】病理検査学講義 (7)	同期型(zoom)			Global Communication I (3)	同期型(zoom)					【連】遺伝学 I (1)	非同期型(webclass)	
21	木	【合】生理検査学講義 I (3)	同期型(zoom)		移動時間				医用システム情報学実習 I (5)	登校(面接授業)	7F 実習室	医用システム情報学実習 I (6)	登校(面接授業)	7F 実習室			
22	金	【合】生化学講義 (9)	同期型(zoom)		医用システム情報学講義 I (5)	同期型(zoom)			人体構造学実習 (7) (14:00～15:30)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	7F 実習室	人体構造学実習 (8) (15:40～17:10)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	7F 実習室	人体構造学実習 (9) (17:20～18:50)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	7F 実習室

4/25	月	④ 8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	【合】生理検査学講義 I (4)	同期型(zoom)		【合同】臨床病態学 I (1)	同期型(zoom)	webclass利用		【合】生化学講義 (10)	同期型(zoom)		【合】生化学講義 (11)	同期型(zoom)		【連】English for Health Care Sciences I (1)	同期型(zoom)	
26	火	分析化学検査学Ⅱ (13)	同期型(zoom)		分析化学検査学Ⅱ (14)	非同期型(webclass)			分析化学検査学Ⅱ (15)	登校(面接授業)	7F & 8F 実習室	分析化学検査学Ⅱ (16)	登校(面接授業)	7F & 8F 実習室	分析化学検査学Ⅱ (17)	登校(面接授業)	7F & 8F 実習室
27	水	【合】生化学講義 (12)	同期型(zoom)		【合】生化学講義 (13)	同期型(zoom)			Global Communication I (4)	同期型(zoom)		【合】病理検査学講義 (8)	同期型(zoom)				
28	木	【合】生化学講義 (14)	同期型(zoom)		医用システム情報学講義 I (6)	同期型(zoom)			Global Communication I (5)	同期型(zoom)							
29	金	昭和の日															

5/2	月	⑤ 8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月								医用システム情報学実習 I (7)	登校(面接授業)	7F 実習室	医用システム情報学実習 I (8)	登校(面接授業)	7F 実習室			
3	火	憲法記念日															
4	水	みどりの日															
5	木	こどもの日															
6	金	【合】生化学講義 (15)	同期型(zoom)		医用システム情報学講義 I (7)	同期型(zoom)			分析化学検査学Ⅱ (18) (14:00～15:30)	登校(面接授業)	7F & 8F 実習室	分析化学検査学Ⅱ (19) (15:40～17:10)	登校(面接授業)	7F & 8F 実習室	分析化学検査学Ⅱ (20) (17:20～18:50)	登校(面接授業)	7F & 8F 実習室

5/9	月	⑥ 8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	【合】生理検査学講義 I (5)	同期型(zoom)		遺伝子・染色体検査学講義 (4)	同期型(zoom)			分析化学検査学Ⅱ (21)	同期型(zoom)		分析化学検査学Ⅱ (22)	同期型(zoom)		分析化学検査学Ⅱ (23)	同期型(zoom)	
10	火	分析化学検査学Ⅱ (24)	同期型(zoom)		分析化学検査学Ⅱ (25)	非同期型(webclass)			分析化学検査学Ⅱ (26)	登校(面接授業)	7F & 8F 実習室	分析化学検査学Ⅱ (27)	登校(面接授業)	7F & 8F 実習室	分析化学検査学Ⅱ (28)	登校(面接授業)	7F & 8F 実習室
11	水				【合】生理検査学講義 I (6)	同期型(zoom)			Global Communication I (6)	同期型(zoom)					遺伝子・染色体検査学講義 (5)	同期型(zoom)	
12	木	【合】生理検査学講義 I (7)	同期型(zoom)						人体構造学実習 (10)	非同期型(webclass)		人体構造学実習 (11)	非同期型(webclass)				
13	金	【連】分子生物学 I (1)	同期型(zoom)		医用システム情報学講義 I (8)	同期型(zoom)			人体構造学実習 (12) (14:00～15:30)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	7F 実習室	人体構造学実習 (13) (15:40～17:10)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	7F 実習室	人体構造学実習 (14) (17:20～18:50)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	7F 実習室

5/16	月	⑦ 8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	【合】生理検査学講義 I (8)	同期型(zoom)		【合同】臨床病態学 I (2)	非同期型(webclass)			【合】生化学講義 I (3)	非同期型(webclass)					【連】English for Health Care Sciences I (2)	同期型(zoom)	
17	火	分析化学検査学Ⅱ (29)	同期型(zoom)		分析化学検査学Ⅱ (30)	非同期型(webclass)			分析化学検査学Ⅱ (31)	同期型(zoom)		分析化学検査学Ⅱ (32)	同期型(zoom)		分析化学検査学Ⅱ (33)	同期型(zoom)	
18	水	病理検査学講義 (9)	同期型(zoom)		病理検査学講義 (10)	同期型(zoom)			Global Communication I (7)	同期型(zoom)		遺伝子・染色体検査学講義 (6)	同期型(zoom)		【連】遺伝学 (2)	非同期型(webclass)	
19	木	【合】生理検査学講義 I (9)	同期型(zoom)						人体構造学実習 (15)	非同期型(webclass)		人体構造学実習 (16)	非同期型(webclass)		人体構造学実習 (17)	非同期型(webclass)	
20	金	【連】分子生物学 (2)	同期型(zoom)		医用システム情報学講義 I (9)	同期型(zoom)			人体構造学実習 (18) (14:00～15:30)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	7F 実習室	人体構造学実習 (19) (15:40～17:10)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	7F 実習室			

5/23	⑧	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	【合】生理検査学講義 I (10)	同期型(zoom)		【合】生理検査学講義 I (11)	同期型(zoom)			【合同】臨床病態学 I (4)	非同期型(webclass)					②[英]English for Health Care Sciences I (3)	同期型(zoom)	
	24 火	分析化学検査学Ⅱ (34)	同期型(zoom)		分析化学検査学Ⅱ (35)	非同期型(webclass)			分析化学検査学Ⅱ (36)	登校(面接授業)	7F & 8F 実習室	分析化学検査学Ⅱ (37)	登校(面接授業)	7F & 8F 実習室	分析化学検査学Ⅱ (38)	登校(面接授業)	7F & 8F 実習室
	25 水	病理検査学講義(11)	同期型(zoom)		病理検査学講義(12)	同期型(zoom)			Global Communication(I) (8)	同期型(zoom)							
	26 木	【合】生理検査学講義 I (12)	同期型(zoom)		移動時間				医用システム情報学実習 I (9)	登校(面接授業)	7F 実習室	医用システム情報学実習 I (10)	登校(面接授業)	7F 実習室			
27 金	③[選]分子生物学(3)	同期型(zoom)			医用システム情報学講義 I (10)	同期型(zoom)			人体構造学実習 (20) (14:00～15:30)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	7F 実習室	人体構造学実習 (21) (15:40～17:10)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	7F 実習室			
5/30	⑨	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	【合】生理検査学講義 I (13)	同期型(zoom)		【合同】臨床病態学 I (5)	非同期型(webclass)			【合同】臨床病態学 I (6)	非同期型(webclass)					②[英]English for Health Care Sciences I (4)	同期型(zoom)	
	31 火	分析化学検査学Ⅱ (39)	同期型(zoom)		分析化学検査学Ⅱ (40)	非同期型(webclass)			分析化学検査学Ⅱ (41)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	8F 実習室	分析化学検査学Ⅱ (42)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	8F 実習室	分析化学検査学Ⅱ (43)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	8F 実習室
	6/1 水	病理検査学講義(13)	同期型(zoom)		病理検査学講義(14)	同期型(zoom)			Global Communication(I) (9)	同期型(zoom)							
	2 木	【合】生理検査学講義 I (14)	同期型(zoom)		移動時間				医用システム情報学実習 I (11)	登校(面接授業)	7F 実習室	医用システム情報学実習 I (12)	登校(面接授業)	7F 実習室			
3 金	③[選]分子生物学(4)	同期型(zoom)			医用システム情報学講義 I (11)	同期型(zoom)			生理解検査学実習 I (1) (14:00～15:30)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	8F生理解検査実習室	生理解検査学実習 I (2) (15:40～17:10)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	8F生理解検査実習室	生理解検査学実習 I (3) (17:20～18:50)	非同期型(webclass)	
6/6	⑩	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	③[選]遺伝学(3)	非同期型(webclass)		【合同】臨床病態学 I (7)	非同期型(webclass)			遺伝子・染色体検査学講義(7)	同期型(zoom)					②[英]English for Health Care Sciences I (5)	同期型(zoom)	
	7 火	分析化学検査学Ⅱ (44)	同期型(zoom)		分析化学検査学Ⅱ (45)	非同期型(webclass)			分析化学検査学Ⅱ (46)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	8F 実習室	分析化学検査学Ⅱ (47)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	8F 実習室	分析化学検査学Ⅱ (48)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	8F 実習室
	8 水	病理検査学講義(15)	同期型(zoom)		病理検査学講義(16)	同期型(zoom)			Global Communication(I) (10)	同期型(zoom)		移動時間			生理解検査学実習 I (4)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	8F生理解検査実習室
	9 木	【合】生理検査学講義 I (15)	同期型(zoom)		【合】生理検査学講義 I (16)	同期型(zoom)			移動時間			医用システム情報学実習 I (13)	登校(面接授業)	7F 実習室	医用システム情報学実習 I (14)	登校(面接授業)	7F 実習室
10 金	③[選]分子生物学(5)	同期型(zoom)			医用システム情報学講義 I (12)	同期型(zoom)			生理解検査学実習 I (5) (14:00～15:30)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	8F生理解検査実習室	生理解検査学実習 I (6) (15:40～17:10)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	8F生理解検査実習室	生理解検査学実習 I (7) (17:20～18:50)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	8F生理解検査実習室
6/13	⑪	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	【合】生理検査学講義 I (17)	同期型(zoom)		遺伝子・染色体検査学講義(8)	同期型(zoom)			【合】臨床病態学 I (8)	非同期型(webclass)					②[英]English for Health Care Sciences I (6)	同期型(zoom)	
	14 火	臨床病態学 I (10) チーム医療導入(第一線補)	同期型(zoom)		臨床病態学 I (11) チーム医療導入(第二線補)	同期型(zoom)						分析化学検査学Ⅱ (49)	同期型(zoom)		分析化学検査学Ⅱ (50)	同期型(zoom)	
	15 水	③[選]遺伝学(4)	登校(面接授業)	講義室2	病理検査学講義(17)	非同期型(webclass)			Global Communication(I) (11)	同期型(zoom)		移動時間			生理解検査学実習 I (8)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	8F生理解検査実習室
	16 木	遺伝子・染色体検査学講義(9)	同期型(zoom)		移動時間				医用システム情報学実習 I (15)	登校(面接授業)	7F 実習室	医用システム情報学実習 I (16)	登校(面接授業)	7F 実習室			
17 金	③[選]分子生物学(6)	同期型(zoom)			【合同】臨床病態学 I (12)	非同期型(webclass)			医用システム情報学講義 I (13)	同期型(zoom)					生理解検査学実習 I (9)	非同期型(webclass)	
6/20	⑫	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月				【合同】臨床病態学 I (13)	同期型(zoom)			③[選]遺伝学(5)	同期型(zoom)		③[選]遺伝学(6)	同期型(zoom)		②[英]English for Health Care Sciences I (7)	同期型(zoom)	
	21 火	臨床病態学 I (10) チーム医療導入(第二線補)	同期型(zoom)		臨床病態学 I (11) チーム医療導入(第二線補)	同期型(zoom)			移動時間								
	22 水	病理検査学講義(18)	非同期型(webclass)		病理検査学講義(19)	同期型(zoom)			Global Communication(I) (12)	同期型(zoom)		移動時間			生理解検査学実習 I (10)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	8F生理解検査実習室
	23 木	遺伝子・染色体検査学講義(10)	同期型(zoom)		移動時間				医用システム情報学実習 I (17)	登校(面接授業)	7F 実習室	医用システム情報学実習 I (18)	登校(面接授業)	7F 実習室			
24 金	③[選]分子生物学(7)	同期型(zoom)			医用システム情報学講義 I (14)	同期型(zoom)			生理解検査学実習 I (11)	同期型(zoom)		生理解検査学実習 I (12)	同期型(zoom)		生理解検査学実習 I (13)	同期型(zoom)	
6/27	⑬	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月								生理解検査学実習 I (14)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	8F生理解検査実習室	生理解検査学実習 I (15)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	8F生理解検査実習室	生理解検査学実習 I (16)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	8F生理解検査実習室
	28 火	【合】生理検査学講義 I (18)	同期型(zoom)		【合】生理検査学講義 I (19)	同期型(zoom)			遺伝子・染色体検査学講義(11)	同期型(zoom)							
	29 水				【合】生理検査学講義 I (20)	同期型(zoom)			Global Communication(I) (13)	同期型(zoom)							
	6/30 木	【合同】臨床病態学 I (14)	非同期型(webclass)		【合同】臨床病態学 I (15)	同期型(zoom)						医用システム情報学実習 I (21)	登校(面接授業)	7F 実習室	医用システム情報学実習 I (22)	登校(面接授業)	7F 実習室
7/1 金	③[選]分子生物学(8)	同期型(zoom)			医用システム情報学講義 I (15)	同期型(zoom)			生理解検査学実習 I (17)(14:00～15:30)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	8F生理解検査実習室	生理解検査学実習 I (18)(15:40～17:10)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	8F生理解検査実習室			
7/4	⑭	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	【合】生理検査学講義 I (21)	非同期型(webclass)		【合】生理検査学講義 I (22)	非同期型(webclass)			遺伝子・染色体検査学講義(12)	非同期型(webclass)					②[英]English for Health Care Sciences I (8)	同期型(zoom)	
	5 火	【合】生理検査学講義 I (23)	非同期型(webclass)		【合】生理検査学講義 I (24)	非同期型(webclass)			遺伝子・染色体検査学講義(13)	非同期型(webclass)		医用システム情報学実習 I (19)	登校(面接授業)	7F 実習室	医用システム情報学実習 I (20)	登校(面接授業)	7F 実習室
	6 水	【合同】臨床病態学 I (16)	非同期型(webclass)		臨床病態学 I (17)	非同期型(webclass)			Global Communication(I) (14)	同期型(zoom)							
	7 木				遺伝子・染色体検査学講義(14)	同期型(zoom)			移動時間								
8 金					遺伝子・染色体検査学講義(15)	同期型(zoom)			移動時間			医用システム情報学実習 I (23)	登校(面接授業)	講義室4			
7/11	①	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	前期定期試験															
	12 火	前期定期試験															
	13 水	前期定期試験															
	14 木	前期定期試験															
15 金	前期定期試験																

【TOEFL/ITP】
7月の定期試験時に実施
Global Communication(I) (15) (16)

	②	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
7/18	月	海の日															
19	火	前期定期試験															
20	水	前期定期試験															
21	木	前期定期試験															
22	金	前期定期試験															
		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
7/25	月																
26	火				人体構造学実習 (22)	登校(面接授業)	解剖実習室	M&Dタワー2階 共用講義室2	人体構造学実習 (23)	登校(面接授業)	解剖実習室	人体構造学実習 (24)	登校(面接授業)	解剖実習室			
27	水																
28	木																
29	金																
		夏季休業 8/1(月)～															

夏季休業 8/1(月)～

(後期)

9/5	①	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
6	月																
7	火																
8	水																
9	木																
9	金																

9/12	②	8:50～10:20		講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
13	月	病理検査学講義(20)	同期型(zoom)		移動時間				病理検査学講義(21)	登校(面接授業)	実習室	病理検査学実習(1)	登校(面接授業)	実習室			
14	火	生理検査学講義Ⅱ(1)	非同期型(webclass)		生理検査学実習Ⅱ(1)	登校(面接授業)	8F実習室3 講義室3										
15	水	病理検査学講義(22)	同期型(zoom)		病理検査学講義(23)	同期型(zoom)			Global Communication(1)(18)	同期型(zoom)							
16	木	生理検査学講義Ⅱ(2)	非同期型(webclass)		生理検査学実習Ⅱ(2)	非同期型(webclass)											
16	金				病理検査学実習(2)	登校(面接授業)	実習室	昼食を挟まない登校	病理検査学実習(3)	登校(面接授業)	実習室	病理検査学実習(4)	登校(面接授業)	実習室			

9/19	③	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
20	月	敬老の日															
21	火	生理検査学講義Ⅱ(3)	登校(面接授業)	8F実習室3 講義室3	生理検査学実習Ⅱ(3)	登校(面接授業)	8F実習室3 講義室3										
22	水	病原体検査学実習Ⅰ(1)	登校(面接授業)	講義室4					Global Communication(1)(19)	同期型(zoom)							
23	木	病理検査学講義(24)	同期型(zoom)		病理検査学講義(25)	同期型(zoom)			病原体検査学実習Ⅰ(2)	同期型(zoom)		病原体検査学実習Ⅰ(3)	同期型(zoom)		病原体検査学実習Ⅰ(4)	同期型(zoom)	
23	金	秋分の日															

9/26	④	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
27	月				病理検査学実習(5)	登校(面接授業)	実習室	昼食を挟まない登校	病理検査学実習(6)	登校(面接授業)	実習室	病理検査学実習(7)	登校(面接授業)	実習室			
28	火	生理検査学講義Ⅱ(4)	登校(面接授業)	8F実習室3 講義室3	生理検査学実習Ⅱ(4)	登校(面接授業)	8F実習室3 講義室3	3号館6階・講義室3 →大学院特別講義室	生化学実習(1)	登校(面接授業)	7F実習室	生化学実習(2)	登校(面接授業)	7F実習室	生化学実習(3)	登校(面接授業)	7F実習室
29	水				病理検査学講義(26)	同期型(zoom)			Global Communication(1)(20)	同期型(zoom)							
30	木	病理検査学講義(27)	同期型(zoom)		病理検査学講義(28)	同期型(zoom)									②選AI実践演習(1)	同期型(zoom)	移動時間が無い学生は5
30	金	生理検査学講義Ⅱ(5)	登校(面接授業)	8F実習室3 講義室3	生理検査学講義Ⅱ(6)	登校(面接授業)	8F実習室3 講義室3	M&Dタワー2階 共用講義室1	病原体検査学実習Ⅰ(5)	登校(面接授業)	講義室4	病原体検査学実習Ⅰ(6)	登校(面接授業)	講義室4	病原体検査学実習Ⅰ(7)	登校(面接授業)	講義室4

10/3	⑤	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
4	月				病理検査学実習(8)	登校(面接授業)	実習室	昼食を挟まない登校	病理検査学実習(9)	登校(面接授業)	実習室	病理検査学実習(10)	登校(面接授業)	実習室			
5	火	病理検査学講義(29)	非同期型(webclass)		生化学講義(16)	非同期型(webclass)			生化学実習(4)	登校(面接授業)		生化学実習(5)	登校(面接授業)		生化学実習(6)	登校(面接授業)	
6	水	[自]薬理学(1)	同期型(zoom)		[自]薬理学(2)	同期型(zoom)			Global Communication(1)(21)	同期型(zoom)							
7	木														②選AI実践演習(2)	同期型(zoom)	移動時間が無い学生は5
7	金	生理検査学講義Ⅱ(7)	登校(面接授業)	8F実習室3 講義室3	生理検査学実習Ⅱ(5)	登校(面接授業)	8F実習室3 講義室3	M&Dタワー2階 共用講義室2	病原体検査学実習Ⅰ(8)	登校(面接授業)	講義室4	病原体検査学実習Ⅰ(9)	登校(面接授業)	講義室4	病原体検査学実習Ⅰ(10)	登校(面接授業)	講義室4

10/10	⑥	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
11	月	スポーツの日															
12	火				病理検査学実習(11)	登校(面接授業)	実習室	昼食を挟まない登校	病理検査学実習(12)	登校(面接授業)	実習室	病理検査学実習(13)	登校(面接授業)	実習室			
13	水	創立記念行事															
14	木																
14	金	生理検査学実習Ⅱ(6)	登校(面接授業)	8F実習室3 講義室3	生理検査学実習Ⅱ(7)	登校(面接授業)	8F実習室3 講義室3										

10/17	⑦	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
18	月				病理検査学実習(14)	登校(面接授業)	実習室	昼食を挟まない登校	病理検査学実習(15)	登校(面接授業)	実習室	病理検査学実習(16)	登校(面接授業)	実習室			
19	火	生化学講義(17)	同期型(zoom)		移動時間				生化学実習(7)	登校(面接授業)	7F実習室	生化学実習(8)	登校(面接授業)	7F実習室	生化学実習(9)	登校(面接授業)	7F実習室
20	水	[自]薬理学(3)	同期型(zoom)		[自]薬理学(4)	同期型(zoom)			Global Communication(1)(22)	同期型(zoom)							
21	木														②選AI実践演習(3)	同期型(zoom)	移動時間が無い学生は5
21	金	生理検査学講義Ⅱ(8)	登校(面接授業)	8F実習室3 講義室3	生理検査学実習Ⅱ(6)	登校(面接授業)	8F実習室3 講義室3	M&Dタワー2階 共用講義室2	病原体検査学実習Ⅰ(11)	登校(面接授業)	実習室	病原体検査学実習Ⅰ(12)	登校(面接授業)	実習室	病原体検査学実習Ⅰ(13)	登校(面接授業)	実習室

10/24	⑧	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
25	月				病理検査学実習(17)	登校(面接授業)	実習室	昼食を挟まない登校	病理検査学実習(18)	登校(面接授業)	実習室	病理検査学実習(19)	登校(面接授業)	実習室			
26	火	生化学講義(18)	同期型(zoom)		移動時間				生化学実習(10)	登校(面接授業)	7F実習室	生化学実習(11)	登校(面接授業)	7F実習室	生化学実習(12)	登校(面接授業)	7F実習室
27	水	[自]薬理学(5)	同期型(zoom)		[自]薬理学(6)	同期型(zoom)			Global Communication(1)(23)	同期型(zoom)							
28	木	解剖体追悼式(13:00～)															
28	金	生理検査学講義Ⅱ(9)	登校(面接授業)	8F実習室3 講義室3	生理検査学実習Ⅱ(9)	登校(面接授業)	8F実習室3 講義室3	3号館講義室3,4,5	病原体検査学実習Ⅰ(14)	登校(面接授業)	実習室	病原体検査学実習Ⅰ(15)	登校(面接授業)	実習室	病原体検査学実習Ⅰ(16)	登校(面接授業)	実習室

10/31	⑨	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月				病理検査学実習Ⅱグループ(20)	登校(面接授業)	実習室	M&Dタワー2階共用講義室1	病理検査学実習Ⅱグループ(21)	登校(面接授業)	実習室	病理検査学実習Ⅱグループ(22)	登校(面接授業)	実習室			
	11/1	火	免疫検査学講義(1)	同期型(zoom)	生化学講義(19)	非同期型(webclass)			生化学実習(13)	登校(面接授業)	7F実習室	生化学実習(14)	登校(面接授業)	7F実習室	生化学実習(15)	登校(面接授業)	7F実習室
2	水	病理検査学講義(30)	同期型(zoom)									Global Communication(Ⅰ)(24)	同期型(zoom)				
3	木	文化の日															
4	金	生理検査学講義Ⅱ(10)	登校(面接授業)	8F実習室3講義室3	生理検査学実習Ⅱ(10)	登校(面接授業)	8F実習室3講義室3	3号館講義室3,4,5	病原体検査学実習Ⅰ(17)	登校(面接授業)	実習室	病原体検査学実習Ⅰ(18)	登校(面接授業)	実習室	病原体検査学実習Ⅰ(19)	登校(面接授業)	実習室
11/7	⑩	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月				病理検査学実習Ⅱグループ(20)	登校(面接授業)	実習室	M&Dタワー2階共用講義室1	病理検査学実習Ⅱグループ(21)	登校(面接授業)	実習室	病理検査学実習Ⅱグループ(22)	登校(面接授業)	実習室			
	8	火	免疫検査学講義(2)	同期型(zoom)	生化学講義(20)	非同期型(webclass)			生化学実習(16)	登校(面接授業)		生化学実習(17)	登校(面接授業)		生化学実習(18)	登校(面接授業)	
9	水	【自】薬理学(7)	同期型(zoom)	【自】薬理学(8)	同期型(zoom)				Global Communication(Ⅰ)(25)	同期型(zoom)							
10	木	医学情報処理演習Ⅰ(1)	zoom又は登校	情報検索室	医学情報処理演習Ⅰ(2)	zoom又は登校	情報検索室								【選】AI実践演習(4)	同期型(zoom)	移動時間が無い学生は5
11	金	生理検査学講義Ⅱ(11)	登校(面接授業)	8F実習室3講義室3	生理検査学実習Ⅱ(11)	登校(面接授業)	8F実習室3講義室3										
11/14	⑪	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月				病理検査学実習(23)	登校(面接授業)	実習室	昼食を挟まない登校	病理検査学実習(24)	登校(面接授業)	実習室	病理検査学実習(25)	登校(面接授業)	実習室			
	15	火	免疫検査学講義(3)	同期型(zoom)	生化学講義(21)	非同期型(webclass)											
16	水	【自】薬理学(9)	同期型(zoom)	【自】薬理学(10)	同期型(zoom)				Global Communication(Ⅰ)(26)	同期型(zoom)							
17	木	医学情報処理演習Ⅰ(3)	同期型(zoom)	医学情報処理演習Ⅰ(4)	同期型(zoom)										【選】AI実践演習(5)	同期型(zoom)	移動時間が無い学生は5
18	金	生理検査学講義Ⅱ(12)	登校(面接授業)	8F実習室3講義室3	生理検査学実習Ⅱ(12)	登校(面接授業)	8F実習室3講義室3										
11/21	⑫	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月				病理検査学実習(26)	登校(面接授業)	実習室	昼食を挟まない登校	病理検査学実習(27)	登校(面接授業)	実習室	病理検査学実習(28)	登校(面接授業)	実習室			
	22	火	免疫検査学講義(4)	同期型(zoom)	病理検査学実習(29)	同期型(zoom)			病理検査学実習(30)	同期型(zoom)							
23	水	勤労感謝の日															
24	木	医学情報処理演習Ⅰ(5)	zoom又は登校	情報検索室	医学情報処理演習Ⅰ(6)	zoom又は登校	情報検索室								【選】AI実践演習(6)	同期型(zoom)	移動時間が無い学生は5
25	金	生理検査学講義Ⅱ(13)	登校(面接授業)	8F実習室3講義室3	生理検査学実習Ⅱ(13)	登校(面接授業)	8F実習室3講義室3		免疫検査学講義(5)(14:00～15:30)	同期型(zoom)							
11/28	⑬	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月																
	29	火	免疫検査学講義(6)	同期型(zoom)	生化学講義(22)	同期型(zoom)											
30	水	【自】薬理学(11)	同期型(zoom)	【自】薬理学(12)	同期型(zoom)				Global Communication(Ⅰ)(27)	同期型(zoom)							
12/1	木	医学情報処理演習Ⅰ(7)	zoom又は登校	情報検索室	医学情報処理演習Ⅰ(8)	zoom又は登校	情報検索室	M&Dタワー2階共用講義室1	免疫検査学講義(7)	zoom又は登校	講義室4	免疫検査学講義(8)	zoom又は登校	講義室4		【選】Learning Medical English(1)	同期型(zoom)
2	金	生理検査学講義Ⅱ(14)	登校(面接授業)	8F実習室3講義室3	生理検査学実習Ⅱ(14)	登校(面接授業)	8F実習室3講義室3	M&Dタワー2階共用講義室1	免疫検査学講義(9)	zoom又は登校	講義室4	免疫検査学講義(10)	zoom又は登校	講義室4			
12/5	⑭	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月								【未定】薬害講演			【未定】薬害講演					
	6	火	免疫検査学講義(11)	同期型(zoom)	生化学講義(23)	同期型(zoom)			【選】生命理工学概論(1)	同期型(zoom)		【選】生命理工学概論(2)	同期型(zoom)				
7	水								Global Communication(Ⅰ)(28)	同期型(zoom)		【選】English for Health Care SciencesⅡ(1)	同期型(zoom)		【選】English for Health Care SciencesⅡ(2)	同期型(zoom)	
8	木	医学情報処理演習Ⅰ(9)	zoom又は登校	情報検索室	医学情報処理演習Ⅰ(10)	zoom又は登校	情報検索室	M&Dタワー2階共用講義室1	免疫検査学講義(12)	zoom又は登校	講義室2	免疫検査学講義(13)	zoom又は登校	講義室2	【選】AI実践演習(7)	同期型(zoom)	移動時間が無い学生は5
9	金	生理検査学講義Ⅱ(15)	登校(面接授業)	8F実習室3講義室3	生理検査学実習Ⅱ(15)	登校(面接授業)	8F実習室3講義室3	M&Dタワー2階共用講義室1	免疫検査学講義(14)	zoom又は登校	講義室2	免疫検査学講義(15)	zoom又は登校	講義室2			
12/12	⑮	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月											【選】English for Health Care SciencesⅡ(3)	同期型(zoom)				
	13	火	免疫検査学講義(16)	同期型(zoom)					【選】生命理工学概論(3)	登校又は同期型	講義室5	【選】生命理工学概論(4)	登校又は同期型	講義室5			
14	水	【自】薬理学(13)	同期型(zoom)	【自】薬理学(14)	同期型(zoom)				Global Communication(Ⅰ)(29)	同期型(zoom)		【選】English for Health Care SciencesⅡ(4)	同期型(zoom)		【選】Learning Medical English(2)	同期型(zoom)	
15	木	医学情報処理演習Ⅰ(11)	zoom又は登校	情報検索室	医学情報処理演習Ⅰ(12)	zoom又は登校	情報検索室	M&Dタワー2階共用講義室1	免疫検査学講義(17)	zoom又は登校	講義室2	免疫検査学講義(18)	zoom又は登校	講義室2	【選】AI実践演習(8)	同期型(zoom)	移動時間が無い学生は5
16	金	生理検査学講義Ⅱ(16)	登校(面接授業)	8F実習室3講義室3	生理検査学実習Ⅱ(16)	登校(面接授業)	8F実習室3講義室3	M&Dタワー2階共用講義室1	免疫検査学講義(19)	zoom又は登校	講義室2	免疫検査学講義(20)	zoom又は登校	講義室2			
12/19	⑯	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月											【選】Learning Medical English(3)	同期型(zoom)		【選】Learning Medical English(4)	同期型(zoom)	
	20	火	免疫検査学講義(21)	同期型(zoom)					【選】生命理工学概論(5)	登校又は同期型	講義室5	【選】生命理工学概論(6)	登校又は同期型	講義室5			
21	水	【自】薬理学(15)	同期型(zoom)	【自】薬理学(16)	同期型(zoom)				Global Communication(Ⅰ)(30)	同期型(zoom)		【選】Learning Medical English(5)	同期型(zoom)		【選】Learning Medical English(6)	同期型(zoom)	
22	木																
23	金	【選】Learning Medical English(7)	同期型(zoom)	【選】Learning Medical English(8)	同期型(zoom)							【選】English for Health Care SciencesⅡ(5)	同期型(zoom)		【選】English for Health Care SciencesⅡ(6)	同期型(zoom)	

	①	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室	
1/2	月																	
3	火																	
4	水								Global Communication(Ⅰ) (31)	同期型(zoom)								
5	木	医学情報処理演習Ⅰ (13)	zoom 又は登校	情報検索 室	医学情報処理演習Ⅰ (14)	zoom 又は登校	情報検索 室	M&Dタワー2階 共用講義室1	免疫検査学講義(22)	zoom 又は登校	講義室2	免疫検査学講義(23)	zoom 又は登校	講義室2				
6	金	生理検査学講義Ⅱ (17)	登校(面接授 業)	8F実習室3 講義室3	生理検査学実習Ⅱ (17)	登校(面接授 業)	8F実習室3 講義室3	M&Dタワー2階 共用講義室1	免疫検査学講義(24)	zoom 又は登校	講義室2	免疫検査学講義(25)	zoom 又は登校	講義室2				
	②	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室	
1/9	月	成人の日																
10	火	免疫検査学講義(26)	同期型(zoom)						(選)生命理工学概論(7)	登校又は同期型	講義室5	(選)生命理工学概論(8)	登校又は同期型	講義室5				
11	水								Global Communication(Ⅰ) (32)	同期型(zoom)		講義室5 講義室5 講義室5	同期型(zoom)		講義室5 講義室5 講義室5	同期型(zoom)		
12	木	医学情報処理演習Ⅰ (15)	zoom 又は登校	情報検索 室				M&Dタワー2階 共用講義室1	免疫検査学講義(27)	zoom 又は登校	講義室2	免疫検査学講義(28)	zoom 又は登校	講義室2				
13	金	生理検査学実習Ⅱ (18)	登校(面接授 業)	8F実習室3 講義室3	生理検査学実習Ⅱ (19)	登校(面接授 業)	8F実習室3 講義室3	M&Dタワー2階 共用講義室1	免疫検査学講義(29)	zoom 又は登校	講義室2	免疫検査学講義(30)	zoom 又は登校	講義室2				
	①																	
1/16	月	後期定期試験																
17	火	後期定期試験																
18	水	後期定期試験																
19	木	後期定期試験																
20	金	後期定期試験																
	②																	
1/23	月	補講・再試																
24	火	補講・再試																
25	水	補講・再試																
26	木	補講・再試																
27	金	補講・再試																
	③																	
1/30	月	補講・再試																
31	火	補講・再試																
2/1	水	補講・再試																
2	木	補講・再試																
3	金	補講・再試																
	春季休業 2/6(月)～																	

時間割番号	013004						
科目名	人体構造学実習				科目ID	MT-250200-E	
担当教員	星 治, 藤代 瞳[HOSHI OSAMU, FUJISHIRO Hitomi]						
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2		単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名: Anatomy, Laboratory 【科目責任者】星治							
主な講義場所 保健衛生学実習室(3号館7階) 解剖実習室(3号館地下1階)							
授業の目的、概要等 人体構造学は正常なからだの形態と構造を細胞から器官レベルまで研究する学問で、医学の最も基礎的な領域である。							
授業の到達目標 からだを構成している細胞から器官にいたる各単位について、基本的な構造を理解することを目標とする。さらに、検査技術学を学ぶためにあたって必要な内容を講義するだけでなく、実物観察により理解を深めることも重視する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	4/8	14:00-18:50	保健衛生学実習室 遠隔授業(非同期型)	組織学実習	組織学総論Ⅰ	星 治, 藤代 瞳	半数に分かれて登校もしくは非同期
4-6	4/15	14:00-18:50	保健衛生学実習室 遠隔授業(非同期型)	組織学実習	組織学総論Ⅱ	星 治, 藤代 瞳	半数に分かれて登校もしくは非同期
7-9	4/22	14:00-18:50	保健衛生学実習室 遠隔授業(非同期型)	組織学実習	組織学各論Ⅰ	星 治, 藤代 瞳	半数に分かれて登校もしくは非同期
10-11	5/12	13:00-16:10	遠隔授業(非同期型)	組織学実習	組織学各論Ⅱ	星 治, 藤代 瞳	半数に分かれて登校もしくは非同期
12-14	5/13	14:00-18:50	保健衛生学実習室 遠隔授業(非同期型)	組織学実習	組織学各論Ⅲ	星 治, 藤代 瞳	半数に分かれて登校もしくは非同期
15-17	5/19	13:00-17:50	遠隔授業(非同期型)	組織学実習	組織学各論Ⅳ	星 治, 藤代 瞳	半数に分かれて登校もしくは非同期
18-19	5/20	14:00-17:10	保健衛生学実習室 遠隔授業(非同期型)	解剖学実習Ⅰ	肉眼解剖学	星 治, 藤代 瞳	半数に分かれて登校もしくは非同期
20-21	5/27	14:00-17:10	保健衛生学実習室 遠隔授業(非同期型)	解剖学実習Ⅱ	骨学実習	星 治, 藤代 瞳	半数に分かれて登校もしくは非同期
22-24	7/26	10:30-16:10	解剖学実習室	解剖学実習Ⅲ	解剖実習体見学	星 治, 藤代 瞳	分散登校
授業内容 2年次前期に行う。実習ならびに見学実習を行い、人体の構造の把握に努める。実質臓器に関しては実物標本の観察を通して、人体の構造に関する洞察力を深める。							
成績評価の方法 出席状況(10%)実習課題に対するレポートの評価(90%)により、総合的に判定を行う。(例えば、全出席で1割満点(10点)、レポート評価が60点の場合、9割×60点=54点で、総合点は64点となる。)							
成績評価の基準 総合評価が100点満点で60点以上を合格とする。							
準備学習等についての具体的な指示 事前に配布する実習書に関連した内容について十分な予習を行う。							
試験の受験資格 授業時間数の4分の3以上出席した場合に、この科目の評価を受ける資格がある。							
教科書 バーチャルスライド組織学／駒崎伸二著,駒崎 伸二,:羊土社, 2020 バーチャルスライド組織学 著/駒崎伸二 羊土社							

参考書 牛木辰男:入門組織学 南江堂 井上貴央(監訳):人体解剖学(構造と機能:ミクロからマクロまで)西村書店
他科目との関連 人体の様々な病態を理解するためには、人体の構造を熟知しなければならない。このため人体構造学は他の多くの科目と関連している。特に、生理検査学(Ⅱ)、病理検査学、臨床病態学とは密接な関連がある。
履修上の注意事項 必ず白衣を着用し、担当教員の指示に従う。
連絡先(メールアドレス) 星 治: o-hoshi.aps@tmd.ac.jp 藤代 瞳: fujishiro.aps@tmd.ac.jp
オフィスアワー 星 治: オフィスアワーは特に定めない。事前にメールで連絡を。 湯島キャンパス3号館16階

時間割番号	013005						
科目名	病理検査学講義				科目ID	MT-230300-L	
担当教員	伊藤 南, 副島 友莉恵[ITO MINAMI, SOEJIMA YURIE]						
開講時期	2022 年度通年	対象年次	2		単位数	4	
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名: Pathological Technology, Lecture							
【科目責任者】伊藤 南							
授業の目的、概要等							
病理検査学とは疾病の本態を解析、解明するにあたり必要な学問であり、基礎と臨床との両者にまたがった医学・医療の基本となる分野である。本講義では、前半に病理学総論として疾病病変の基礎を理解し、後半に病理学各論として臓器ごとの疾病や病理学的変化を具体的に学ぶ。さらに病理組織検査、細胞診検査などの検査法の意義や原理を学び、病理検査学実習や臨地実習への基盤を作っていたきたい。							
授業の到達目標							
1. 病理学総論では、疾病病変の共通の変化、病態の本質、その病因を系統的に把握し説明できる。							
2. 病理学各論では、臓器ごとの主な疾病についてその成因、臓器変化について説明できる。							
3. 疾病の診断や病因・病態の解明に寄与し得る病理学的検査法を説明できる。							
4. 病理検査学の学習を通して疾病の本態を理解し、医学・医療の基本的知識・思考を習得することを目標とする。							
5. 教科書の基本的用語に併記してある英語を読み書きできる。							
(1) 病理学総論							
第1回: 病気の原因(病因)と疾患の関係を理解する。							
ストレスに対する細胞反応・細胞障害・細胞死、組織の治癒・再生を理解する。							
第2回: 局所、全身の様々な循環障害を理解する。							
第3回: 主な代謝障害について理解する。							
第4回: 様々な炎症のメカニズム、感染症による炎症を理解する。							
第5回: 免疫現象、アレルギーのメカニズムを理解する。							
第6,7回: 腫瘍の本態と病態、代表的な悪性腫瘍について理解する。							
第8回: 先天異常、放射線による障害と細胞変化、老化と老年病について理解する。							
(2) 病理学各論							
第9-19回: 各臓器における疾患の病態、病理学的特徴について理解する。							
(3) 病理検査学							
第20,22-25回: 病理検査学の概要、検査法の原理について理解する。							
第21回: 病理解剖例の観察により、臓器の肉眼的病理所見を理解する。							
第26-28回: 細胞診検査の概要と臓器ごとの細胞所見について理解する。							
第29回: 電子顕微鏡を用いた病理検査について、原理、工程、応用を理解する。							
(4) 病理検査学の発展							
第30回: 病理学的手法を用いた研究・検査法の概要について理解する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/4	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	病理学概要、病因論、退行性病変ほか	病理学の概要、病因、退行性病変、進行性病変	大橋 健一	講義後に確認テスト
2	4/6	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	循環障害	局所・全身の循環障害	大橋 健一	講義後に確認テスト
3	4/11	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	代謝異常症	代謝異常症	大橋 健一	講義後に確認テスト
4	4/13	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	炎症、感染症	炎症、感染症	副島 友莉恵	講義後に確認テスト
5	4/14	08:50-10:20	遠隔授業	免疫	免疫、自己免疫疾患	副島 友莉恵	講義後に確認テスト

			(同期型)				
6	4/18	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	腫瘍病理総論1	良性腫瘍と悪性腫瘍、がんの発生・進展機序、原因	大橋 健一	講義後に確認テスト
7	4/20	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	腫瘍病理総論2	主要ながん、前がん病変、がんの組織型、転移	大橋 健一	講義後に確認テスト
8	4/27	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	先天異常、放射線病理学、老化	先天異常、放射線病理学、老化と老年病	副島 友莉恵	講義後に確認テスト
9	5/18	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	循環器系	心血管疾患の病理	大橋 健一	講義後に確認テスト
10	5/18	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	呼吸器系(1)	呼吸器の非腫瘍性疾患	明石 巧	講義後に確認テスト
11	5/25	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	呼吸器系(2)	肺腫瘍の病理(総論、各論)	明石 巧	講義後に確認テスト
12	5/25	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	内分泌系	内分泌疾患	大橋 健一	講義後に確認テスト
13	6/1	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	消化器系(1)	消化管の病理	熊谷 二郎	講義後に確認テスト
14	6/1	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	消化器系(2)	肝胆膵の病理	熊谷 二郎	講義後に確認テスト
15	6/8	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	腎臓、泌尿器系	腎臓、泌尿器の病理	大橋 健一	講義後に確認テスト
16	6/8	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	生殖器系	生殖器疾患(女性生殖器、男性生殖器)	大橋 健一	講義後に確認テスト
17	6/15	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	造血器系	造血器疾患(骨髄、リンパ節の病理)	山本 浩平	動画視聴後に確認テスト
18	6/22	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)	神経系	神経疾患の病理	山田 哲夫	動画視聴後に確認テスト
19	6/22	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	乳腺	乳腺の病理	本間 尚子	講義後に確認テスト
20	9/12	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	病理検査学序論	病理学的検査・細胞診検査の意義と流れ、病理遺伝子解析の意義	副島 友莉恵	講義後に確認テスト
21	9/12	13:00-14:30	保健衛生学 実習室	組織検査法(1)	臓器肉眼的観察、記録	副島 友莉恵 新宅 洋	臓器肉眼観察
22	9/14	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	組織検査法(2)	組織標本作成法(固定、脱灰、脱水、パラフィン包埋、薄切)	副島 友莉恵	グループ討論および課題発表、確認テスト
23	9/14	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	組織検査法(3)	組織標本染色法(一般染色、特殊染色1)	副島 友莉恵	グループ討論および課題発表、確認テスト
24	9/22	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	組織検査法(4)	組織標本染色法(特殊染色2)	副島 友莉恵	グループ討論および課題発表、確認テスト
25	9/22	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	組織検査法(5)	免疫染色、遺伝子検査	副島 友莉恵	グループ討論および課題発表、確認テスト
26	9/28	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	細胞診検査法(1)	細胞診標本作成法、染色法	副島 友莉恵 中嶋 裕	講義後に確認テスト
27	9/29	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	細胞診検査法(2)	細胞診標本観察法、評価法(婦人科)	副島 友莉恵	講義後に確認テスト
28	9/29	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	細胞診検査法(3)	細胞診標本観察法、評価法(呼吸器、体腔液、その他)	副島 友莉恵	講義後に確認テスト
29	10/4	08:50-10:20	遠隔授業	電子顕微鏡	電子顕微鏡検査	矢野 哲也	動画視聴後に確認テ

			(非同期型)				スト
30	11/2	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	病理学的研究法	病理学的研究・検査法の紹介	大橋 健一	講義後に質問する
授業方法 ○Zoomによる同期授業(第1-16,19,20,22-28,30回) ・配布資料は事前にWebClassで公開する。講義後に確認テストを行う。 ・「病理検査学」では事前配布した課題について学習し、グループでGoogleスライドにまとめて発表、質疑応答を行う。 ・動画は復習に使用できるよう一定期間WebClass上に閲覧可能な状態に置いておく。 ○非同期授業(第17,18,29回) ・時間割日程の週末日曜18時までには動画を閲覧し、WebClassの確認テストを終了すること。 (例:6/15(水)2限の非同期授業は、6/19(日)18時まで) ○対面授業(第21回) ・病理解剖例の臓器肉眼観察は対面授業で行う。感染予防のため2グループに分けて実施する。 ○質問はメールやWebClassの掲示板を利用し対応する。重要な内容については同期授業の際、全員に伝える。 (前期前半 / 総論):看護学専攻と合同講義 (前期後半および後期 / 各論):検査技術学専攻のみ							
授業内容 授業スケジュールに各回の内容は示してある。							
成績評価の方法 1)筆記試験(前期定期試験、後期定期試験) 2)講義中またはWebClassでの確認テストの成績 前期定期試験範囲:授業明細におけるNo.1-19の講義内容 後期定期試験範囲:授業明細におけるNo.20-29の講義内容 定期試験の約10%に英語の問題を出題する。							
成績評価の基準 評価は筆記試験(80%)、確認テスト(20%)とし、60%以上を合格とする。また、この点数を本科目の評価とする。合格点に満たないものは再試験を実施する。再試験合格者は60点とする。							
準備学習等についての具体的な指示 人体構造学講義で基本的な人体の形態と構造を学習済みのものとして扱う。 配布資料は各自でWebClassよりダウンロード、印刷しておくこと。「医歯薬出版 病理学/病理検査学」の教科書がよくまとまっているため、予習、復習に役立てること。							
試験の受験資格 2/3以上の出席をもって受験資格とする。出欠の確認は、同期授業(Zoom)の場合は講義の最初から最後まで参加しているログおよび小テストの提出により行う。非同期授業ではWebClassでの動画視聴記録および確認テストの提出により出席とみなす。特別な事情で授業に参加できない場合は、授業前に科目責任者または保健衛生教務係にメールで連絡をすること。緊急の場合には電話でもよいがその後メールすること。連絡ができないような特別な場合にはその限りではない。以上の十分な対応が行われていたと判断された場合には、事情などに応じてレポート提出により出席を代替することがあるので、指示に従うこと。							
教科書 病理学/病理検査学／松原修 [ほか] 著,松原 修,鴨志田 伸吾,大河戸 光章,小松 京子,古田 則行,:医歯薬出版, 2016							
参考書 スタンダード病理学／沢辺元司, 長坂徹郎編,沢辺 元司,長坂 徹郎,大西 俊造,梶原 博毅,神山 隆一,:文光堂, 2015 細胞診を学ぶ人のために／坂本穆彦編,坂本 穆彦,:医学書院, 2019 メディックメディア社の「病気が見える」シリーズはビジュアルであり、病態の理解に役立つので推薦する。							
他科目との関連 病理検査学は医学・医療の基本となる分野であり、人体構造学、生理学といった基礎的な科目から臨床病態学などの臨床的な科目とも密接に関連している。							
履修上の注意事項 講義画面の撮影は禁止する。講義動画、講義資料、参考資料などは著作権の問題があるので、受講登録者以外に公開することを禁ずる。							

備考 昨年度の授業評価アンケートを踏まえ、引き続きアクティブラーニングを多く取り入れ、質問の受け付けと対応法を周知する。
参照ホームページ 授業で用いた資料の多くは WebClass で公開するので自学自習に役立てること。
連絡先(メールアドレス) 伊藤 南:minami.bse@tmd.ac.jp、 副島 友莉恵:soejima.mp@tmd.ac.jp
オフィスアワー 伊藤 南:3号棟16階 生体機能支援システム学教授室 随時対応しますので、事前にメール等で連絡して下さい。 副島 友莉恵:オフィスアワーは特に定めない 3号館 16階 生体検査科学教員室

時間割番号	013006				
科目名	病理検査学実習			科目ID	MT-250500-E
担当教員	伊藤 南, 副島 友莉恵[ITO MINAMI, SOEJIMA YURIE]				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	2	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				
英文名: Pathological Technology, Laboratory Practices					
【科目責任者】伊藤 南					
授業の目的、概要等					
病理検査学実習では、病理検査学講義の総論・各論での学習を踏まえて、疾病病変の肉眼観察、病理標本作製、標本観察を行い、病理検査学的知識・思考と共に疾病の診断、更には病因・病態の解明に寄与し得るような病理学的検査法の基本とその応用を習得することを目標とする。					
授業の到達目標					
到達目標は、以下のようなことである。					
1. 病理組織標本の作製法、各種染色法の意義を理解し説明できる。					
2. 疾病病変を肉眼的、組織学的に観察し、正常構造と比較して所見を説明できる。					
3. 悪性腫瘍の細胞異型を組織学的に確認することができる。					
4. 細胞診標本作製、観察し、特徴的な所見を説明できる。					
5. 免疫組織化学的染色法の工程と評価を理解し説明できる。					
第1回: 組織標本作成における固定、切り出し、脱水操作を説明することができる。					
第2-4回: 包埋、薄切の原理を理解し、説明することができる。					
第5-7回: H-E 染色, EVG 染色の原理、染色法を説明することができる。					
EVG 染色による器質性肺炎、大動脈解離の特徴を正常組織と比較して説明することができる。					
扁平上皮癌の組織学的特徴を説明することができる。					
第8-10回: 膠原線維染色, アミロイド染色の原理、染色法を説明することができる。					
マッソン・トリクローム染色による肝硬変、心筋梗塞の特徴を正常組織と比較して説明することができる。					
コンゴ赤染色によるアミロイドーシスの特徴を説明することができる。					
第11-13回: PAS 染色, アルシアン青染色, アルシアン青-PAS 二重染色の原理、染色法を説明することができる。					
PAS 染色による糸球体腎炎の特徴を説明することができる。					
アルシアン青-PAS 二重染色による胃癌の特徴を正常組織と比較して説明することができる。					
第14-16回: 渡辺の鍍銀法、ベルリン青染色の原理、染色法を説明することができる。					
渡辺の鍍銀法による肝硬変の特徴を正常組織と比較して説明することができる。					
ベルリン青染色によるヘモジデローシスの特徴を説明することができる。					
第17-19回: チール・ネールゼン染色の原理、染色法を説明することができる。					
チール・ネールゼン染色による結核の特徴を説明することができる。					
凍結切片作製法および脂肪染色の原理、染色法を説明することができる。					
オイル赤 O 染色による脂肪肝の特徴を説明することができる。					
第20-22回: クリューバ・バレラ染色の原理、染色法を説明することができる。					
クリューバ・バレラ染色による脳梗塞の特徴を正常組織と比較して説明することができる。					
免疫組織化学染色の原理、染色法を説明することができる。					
免疫染色の特徴的な所見を説明することができる。					
悪性リンパ腫の組織学的特徴を説明することができる。					
第23-25回: 細胞診の検体処理を説明することができる。					
パパニコロウ染色の原理、染色法を説明することができる。					
呼吸器細胞診の特徴的な細胞像を理解し説明することができる。					
小細胞癌の組織学的特徴を説明することができる。					
第26-28回: 婦人科細胞診の特徴的な細胞像を理解し説明することができる。					
第29-30回: 体腔液・その他の細胞診の特徴的な細胞像を理解し説明することができる。					

授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/12	14:40-16:10	保健衛生学実習室	組織標本作成(固定、切り出し、脱水)	固定、切り出し、脱水	副島 友莉恵	
2-4	9/16	10:30-16:10	保健衛生学実習室	組織標本作成(包埋、薄切)	パラフィン包埋、薄切	副島 友莉恵	
5-7	9/26	10:30-16:10	保健衛生学実習室	組織標本作成(H-E、EVG 染色)、標本観察と評価	H-E 染色、EVG 染色、標本観察と評価、薄切	副島 友莉恵	
8-10	10/3	10:30-16:10	保健衛生学実習室	組織標本作成(マッソン・トリクローム、コンゴ赤染色)、標本観察と評価	マッソン・トリクローム染色、コンゴ赤染色、標本観察と評価、薄切	副島 友莉恵	
11-13	10/11	10:30-16:10	保健衛生学実習室	組織標本作成(PAS 反応、アルシアン青-PAS 染色)、標本観察と評価	PAS 反応、アルシアン青-PAS 染色、標本観察と評価、薄切	副島 友莉恵	
14-16	10/17	10:30-16:10	保健衛生学実習室	組織標本作成(渡辺の鍍銀法、ベルリン青染色)、標本観察と評価	渡辺の鍍銀法、ベルリン青染色、標本観察と評価、薄切	副島 友莉恵	
17-19	10/24	10:30-16:10	保健衛生学実習室	・組織標本作成(チール・ネルゼン染色)、標本観察と評価 ・凍結切片作成、オイル赤O染色、標本観察と評価	・チール・ネルゼン染色、標本観察と評価 ・凍結切片作製、オイル赤O染色、標本観察と評価	副島 友莉恵	
20-22	10/31	10:30-16:10	保健衛生学実習室	・組織標本作成(キューバ・パレラ染色)、標本観察と評価 ・免疫組織化学染色、標本観察と評価	・キューバ・パレラ染色、標本観察と評価 ・免疫組織化学的染色法、標本観察と評価	副島 友莉恵	B グループ (履修者をグループ分けして同じ内容を2回行う)
23-25	11/7	10:30-16:10	保健衛生学実習室	・組織標本作成(キューバ・パレラ染色)、標本観察と評価 ・免疫組織化学染色、標本観察と評価	・キューバ・パレラ染色、標本観察と評価 ・免疫組織化学的染色法、標本観察と評価	副島 友莉恵	A グループ (履修者をグループ分けして同じ内容を2回行う)
26-28	11/14	10:30-16:10	保健衛生学実習室	・細胞診検体処理、標本作製 ・呼吸器細胞診標本観察と判定	・細胞診検体処理、パパンニコウ染色 ・呼吸器細胞診標本観察と判定	副島 友莉恵 中嶋 裕	
29-31	11/21	10:30-16:10	保健衛生学実習室	婦人科細胞診標本観察と判定	婦人科細胞診標本観察と判定	副島 友莉恵 中嶋 裕	
32-33	11/22	10:30-14:30	遠隔授業(同期型)	体腔液・その他細胞診標本観察と判定	体腔液、その他細胞診標本観察と判定	副島 友莉恵	
授業方法 実習の説明やスケッチのポイントの資料、動画は事前に WebClass で公開するので、実習前に必ず予習しておくこと。また、病理検査学実習書は穴埋め式になっているので、実習前に予習し埋めておくこと。対面実習では切り出し、薄切、染色など技術的な項目について行う。標本観察は自宅で各自の PC やタブレット上でバーチャルスライド画像を閲覧し、正常組織と比較して病変のスケッチをする。スケッチは次回の実習時に提出しチェックを受けること。また、毎回実習の始めに、前回の実習内容の小テストを行う。質問は実習中およびメールによる質問も受け付ける。対面実習の感染対策として、2 グループに分けて実施する。							
授業内容 授業スケジュールに各回の内容は示してある。							
成績評価の方法 1) 実習への参加、実習態度 2) 小テスト 3) スケッチ 小テストは、毎回、前回の実習内容について行う。スケッチは絵の上手下手でなく、所見の特徴を捉え簡潔な説明を加えることが大事であ							

る。実習は班員との共同作業であるため、協調して行ってほしい。
成績評価の基準 1) 出席状況 20%(前実習日数の 3/4 以上) 2) 小テスト 40% 3) スケッチ 40% 以上を点数で評価し、60%に達した場合には合格とする。さらに実習態度を評価に加える。
準備学習等についての具体的な指示 実習前までに、実習の説明、スケッチのポイントについての動画視聴を WebClass で行う。また、実習書の手順を教科書で予習し穴埋めしてくる。予習が不完全であると、何をやっているかわからないまま手を動かし、間違えたり、意味のない実習になってしまう。また復習も行い知識を定着させること。
試験の受験資格 原則として出席すること。3/4(9 回) 以上は必須。出欠は実習開始時の小テストおよび実習中に確認し、さらにスケッチの提出でも確認する。時間内に作業が完了することができるように実習を設定しているため遅刻や早退にも注意すること。 特別な事情で実習に参加できない場合は、実習前に科目責任者または保健衛生教務係にメールで連絡をすること。緊急の場合には電話でもよいがその後メールすること。連絡ができないような特別な場合にはその限りではない。以上の十分な対応が行われていたと判断された場合には、事情などに応じてレポート提出により出席を代替することがあるので、指示に従うこと。
教科書 病理学/病理検査学／松原修 [ほか] 著, 松原 修, 鴨志田 伸吾, 大河戸 光章, 小松 京子, 古田 則行, : 医歯薬出版, 2016
参考書 細胞診を学ぶ人のために／坂本穆彦編, 坂本 穆彦, : 医学書院, 2019 組織学の教科書
他科目との関連 人体構造学、組織学の科目でまず正常の構造を理解しておく必要がある。さらに臨床病態学などの臨床的な科目への関連も考えながら学んでいただきたい。
履修上の注意事項 講義画面の撮影は禁止する。講義動画、実習書、講義資料、参考資料などは著作権の関係上、外部に流出することのないよう十分気を付けること。また、病理解剖例肉眼観察に関する内容を SNS 等へ書き込みした場合には、厳しい処分を行う。これらの諸注意は、実習前説明でも行う。
備考 昨年度の授業評価アンケートを踏まえ、今年度も引き続き、説明動画、配布資料、バーチャルスライド、対面でのスケッチチェックなどを活用して学生が理解しやすくなるよう努める。
参照ホームページ 授業で用いた資料の多くは webclass で公開するので自学自習に役立てること。
連絡先(メールアドレス) 伊藤 南:minami.bse@tmd.ac.jp、 副島 友莉恵:soejima.mp@tmd.ac.jp
オフィスアワー 伊藤 南:3号棟16階 生体機能支援システム学教授室 随時対応しますので、事前にメール等で連絡して下さい。 副島 友莉恵:オフィスアワーは特に定めない 3 号館 16 階 生体検査科学教員室

時間割番号	013007						
科目名	生化学講義			科目 ID	MT-230600-L		
担当教員	鈴木 喜晴[SUZUKI NOBUHARU]						
開講時期	2022 年度通年	対象年次	2	単位数	3		
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名: Biochemistry							
【科目責任者】鈴木喜晴							
主な講義場所							
zoom による遠隔授業(同期型)							
授業の目的、概要等							
生化学は生体に関するあらゆる学問の基礎と言っても過言ではない。長い歴史の過程で数多くの関連知見が得られ、現在も目覚ましい科学技術の発展と共に、生化学は進歩し続けている。本講義では、特に生体高分子の構造、反応、機能に着目し、細胞や組織、個体レベルでの生命現象の理解を深めることを目的とする。また、様々な生化学に関わる最新の基礎研究にも触れ、当該研究分野の現状を学ぶ。さらに、英語による解説ビデオ等から、当該分野における国際的な重要性についても理解を深める。アクティブラーニングとして、各章の終わりに演習問題を行い習得度を確認する。							
授業の到達目標							
国家試験に対応できる基礎知識の習得をする。さらに関連分野での基礎研究や臨床研究に応用できる実践的な知識も身につける。各章での具体的な目標は以下の通りである。							
1章:細胞の構造と構成要素について理解する。生化学における化学、物理学、遺伝学、進化論の基礎を理解する。							
2章:水の分子レベルでの性質と機能を学ぶ。							
3章:アミノ酸の種類と性質を理解し整理する。タンパク質の一次構造を学ぶ。							
4章:タンパク質の二次構造、三次構造、四次構造を理解する。							
5章:タンパク質の相互作用とその評価方法を学ぶ。							
6章:触媒としての酵素の機能をエネルギー論や基質特異性から学ぶ。							
7章:糖質の構造と機能を理解する。糖質の同定法や機能解析法を学ぶ。							
8章:核酸の構造と機能を理解する。核酸の同定法や機能解析法(PCR など)を学ぶ。							
9章:脂質の構造と機能を理解する。脂質の同定法や機能解析法を学ぶ。							
10章:高エネルギーリン酸化合物や生物学的酸化還元反応を担う分子について学ぶ。							
11章:解糖、糖新生、ペントースリン酸経路の仕組みを学ぶ。							
12章:解糖と糖新生の協調的調節機構を学ぶ。グリコーゲンの代謝(分解と合成)の仕組みを理解する。							
13章:クエン酸回路の仕組みを学ぶ。							
14章:脂質の異化(β酸化反応)を理解する。							
15章:アミノ酸の異化について学ぶ。							
16章:ミトコンドリアでの電子伝達経路の仕組みを学ぶ。							
17章:脂肪酸の生合成経路を理解する。							
18章:アミノ酸やアミノ酸派生体、ヌクレオチドの生合成経路を学ぶ。							
19章:各種ホルモンの分泌器官、性質、作用を整理・理解する。							
20章:遺伝子、染色体、ゲノムの構造を学ぶ。							
21章: DNA の複製、修復、組換えの仕組みを学ぶ。							
22章: RNA の種類と合成経路、機能を整理・理解する。							
23章:タンパク質の合成経路の仕組みを学ぶ。							
24章:遺伝子発現調節の概要と詳細を理解する。							
25章:組換え DNA 技術の基礎と応用について学ぶ。							
26章:生体膜の構造と機能を学ぶ。							
27章:細胞のシグナル伝達の基本原理と代表的な経路について学ぶ。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/4	14:40-16:10	遠隔授業	オリエンテーショ	本講義についての説明／1章 細胞の基	鈴木 喜晴	演習問題や口頭で

			(同期型)	ン／1章 生化学の基礎	礎;化学の基礎;遺伝学の基礎;進化論の基礎		の設問、考え問う等のアクティブラーニングも活用する。
2	4/4	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	2章 水／3章 アミノ酸、ペプチドおよびタンパク質	2章 水系における弱い相互作用;水、弱酸、弱塩基のイオン化;生物系のpH変化に対する緩衝作用;反応物としての水;生物の水環境への適合性／3章 アミノ酸;ペプチドとタンパク質;タンパク質研究法;タンパク質の構造 一次構造	鈴木 喜晴	演習問題や口頭での設問、考え問う等のアクティブラーニングも活用する。
3	4/8	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	4章 タンパク質の三次元構造／5章 タンパク質の機能	4章 タンパク質構造の概念;タンパク質の二次構造;タンパク質の三次構造と四次構造;タンパク質の変性とフォールディング／5章 リガンドに対するタンパク質の可逆的結合;タンパク質とリガンドの間の相補的相互作用	鈴木 喜晴	演習問題や口頭での設問、考え問う等のアクティブラーニングも活用する。
4	4/11	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	6章 酵素	6章 酵素の発見;酵素の作用機構;酵素反応速度論による作用機構の研究;酵素反応の例;調節酵素	鈴木 喜晴	演習問題や口頭での設問、考え問う等のアクティブラーニングも活用する。
5	4/13	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	7章 糖質と糖鎖生物学／8章ヌクレオチドと核酸	7章 単糖と二糖;多糖;複合糖質;プロテオグリカン、糖タンパク質、スフィンゴ糖脂質;情報分子としての糖質;シュガーコード;糖質研究／8章 基本事項;核酸の構造;核酸の化学;ヌクレオチドの他の機能	鈴木 喜晴	演習問題や口頭での設問、考え問う等のアクティブラーニングも活用する。
6	4/15	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	9章 脂質	9章 貯蔵脂質;膜に存在する構造脂質;シグナル分子、補因子および色素としての脂質;脂質研究	鈴木 喜晴	演習問題や口頭での設問、考え問う等のアクティブラーニングも活用する。
7	4/18	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	10章 生体エネルギー論と生化学反応のタイプ／11章 解糖、糖新生およびペントースリン酸経路	10章 ホスホリル基転移とATP;生物学的な酸化還元反応／11章 解糖;解糖への供給経路;嫌氣的条件下でのピルビン酸代謝運命;発酵;糖新生;グルコース酸化のペントースリン酸経路	鈴木 喜晴	演習問題や口頭での設問、考え問う等のアクティブラーニングも活用する。
8	4/18	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	12章 代謝調節の原理	12章 解糖と糖新生の協調的調節;動物におけるグリコーゲン代謝;グリコーゲンの合成と分解の協調的調節	鈴木 喜晴	演習問題や口頭での設問、考え問う等のアクティブラーニングも活用する。
9	4/22	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	13章 クエン酸回路／14章 脂肪酸の異化	13章 アセチル CoA(活性酢酸)の生成;クエン酸回路の反応;クエン酸回路の調節／14章 脂肪酸の消化、動員および運搬;脂肪酸の酸化;ケトン体	鈴木 喜晴	演習問題や口頭での設問、考え問う等のアクティブラーニングも活用する。
10	4/25	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	15章 アミノ酸の酸化と尿素の生成	15章 アミノ酸の代謝運命;窒素排泄と尿素回路;アミノ酸の分解経路	鈴木 喜晴	演習問題や口頭での設問、考え問う等のアクティブラーニングも活用する。
11	4/25	14:40-16:10	遠隔授業	16章 酸化的リン	16章 ミトコンドリアにおける呼吸鎖;	鈴木 喜晴	演習問題や口頭で

			(同期型)	酸化	ATP 合成; 酸化的リン酸化の調節; ミトコンドリア遺伝子: その起源と変異の影響		の設問、考え問う等のアクティブラーニングも活用する。
12	4/27	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	17 章 脂質の合成 / 18 章 アミノ酸、ヌクレオチドおよび関連分子の合成	17 章 脂肪酸とエイコサノイドの合成; トリアシルグリセロールの合成; 膜リン脂質の合成; コレステロール、ステロイド、イソプレノイドの合成 / 18 章 アミノ酸の合成; アミノ酸に由来する分子; ヌクレオチドの合成と分解	鈴木 喜晴	演習問題や口頭での設問、考え問う等のアクティブラーニングも活用する。
13	4/27	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	19 章 哺乳類の代謝のホルモンによる調節と統合 / 20 章 遺伝子と染色体	19 章 ホルモン: 多様な機能のための多様な構造; インスリンと糖尿病 / 20 章 染色体の成分; DNA のスーパーコイル形成; 染色体の構造	鈴木 喜晴	演習問題や口頭での設問、考え問う等のアクティブラーニングも活用する。
14	4/28	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	21 章 DNA 代謝 / 22 章 RNA 代謝	21 章 DNA 複製; DNA 修復; DNA 組換え / 22 章 RNA の DNA 依存的合成; RNA プロセッシング; RNA 依存的な RNA と DNA の合成	鈴木 喜晴	演習問題や口頭での設問、考え問う等のアクティブラーニングも活用する。
15	5/6	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	23 章 タンパク質代謝 / 24 章 遺伝子発現調節	23 章 遺伝暗号; タンパク質合成; タンパク質のターゲティングと分解 / 24 章 遺伝子発現調節の原理; 真核生物における遺伝子発現調節	鈴木 喜晴	演習問題や口頭での設問、考え問う等のアクティブラーニングも活用する。
16	10/4	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	生化学実習の補足説明①	生化学実習の補足説明	鈴木 喜晴	
17	10/18	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	25 章 DNA を基盤とする情報技術	25 章 遺伝子と遺伝子産物に関する研究; DNA 組換え技術によるタンパク質機能の理解	鈴木 喜晴	演習問題や口頭での設問、考え問う等のアクティブラーニングも活用する。
18	10/25	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	26 章 生体膜と輸送	26 章 生体膜の組成と構造; 生体膜のダイナミクス; 生体膜を横切る溶質の輸送	鈴木 喜晴	演習問題や口頭での設問、考え問う等のアクティブラーニングも活用する。
19	11/1	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	生化学実習の補足説明②	生化学実習の補足説明	鈴木 喜晴	
20	11/8	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	生化学実習の補足説明③	生化学実習の補足説明	鈴木 喜晴	
21	11/15	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	演習問題	演習問題	鈴木 喜晴	
22	11/29	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	27 章 バイオシグナリング	27 章 シグナル伝達の基本的な特徴; G タンパク質共役受容体とセカンドメッセンジャー; 受容体チロシンキナーゼ; 受容体グアニル酸シクラーゼ、cGMP と PKG; 開口型イオンチャネル; 核内ホルモン受容体による転写調節; プロテインキナーゼによる細胞周期の調節; その他	鈴木 喜晴	演習問題や口頭での設問、考え問う等のアクティブラーニングも活用する。
23	12/6	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	生化学的・分子生物学的解析法を用いた基礎研究	蛍光タンパク質による新規検査技術の開発、中枢神経系の髄鞘形成メカニズムに関する研究	鈴木 喜晴	演習問題や口頭での設問、考え問う等のアクティブラーニングも活用する。

授業方法 同期授業:講義スライドや資料、ビデオを用いて解説しながら進める。本講義内容は主に参考書1、2「レーニンジャーの新生化学(上、下)」に沿って「授業の到達目標」の下に進めて行き、国家試験対策を意識して、参考書3「最新臨床検査学講座 生化学」も利用する。アクティブラーニングとして、各章の終わりに演習問題を行い理解度を確認する。その他講義内容に応じて、口頭での設問や考えを問う等のアクティブラーニングも活用する。 非同期授業:本講義と深く関連し、同時に開講される生化学実習に有用な資料やビデオ等を WebClass 上あるいは WebClass からダウンロードして学習できるようにする。
授業内容 授業スケジュールを参照
成績評価の方法 1) 学期末試験の成績 2) 講義中の章末演習問題の成績 3) 出席状況
成績評価の基準 前期・後期ともに、各々の期間での同期型講義(zoom)の合計回数の3分の2以上の出席を必要とする。 前期 章末演習問題:3問中2問以上正解で1点×21章[初日(4月4日)の講義分は適用しない]=21点 出席点:出席1回で0.6点×15=9点 期末筆記試験(本試験):70点 合計:100点 後期 章末演習問題:3問中2問以上正解で4点×3章=12点 出席点:同期型授業の出席1回で4点×4=16点 期末筆記試験(本試験):72点 合計:100点 * 期末試験後、平均点、最高点、最低点を考慮して、点数配分に多少の変更があり得る。 上記に従い、前期、後期ともに60点以上で合格とする。60点未満の場合、再試験(筆記試験)を行い、60点以上で合格とする。 前期と後期の同期型講義の回数の割合(前期:15回=79%、後期:4回=21%)を、前期と後期の点数に掛け、通年の成績(満点=100点)とする。 例)前期=75点、後期=80点の場合、$75 \times 0.79 + 80 \times 0.21 = 76$点 学期末試験には英語の問題を10%程度出題する。
準備学習等についての具体的な指示 毎回講義の前に WebClass から講義資料をダウンロードし、参考書等も利用して準備学習を行うこと。本講義は主に参考書1、2「レーニンジャーの新生化学(上、下)」に沿って「授業の到達目標」の下に進めて行くが、国家試験対策に限れば、参考書3「最新臨床検査学講座 生化学」の方がより適していると思われる。各自の学習目的、レベルに合わせて、自主学習用の参考書を選択すること。 また、本科目は、高校や教養部の生物・化学の内容をある程度修得していることを前提とした専門科目である。その修得度に達していない受講者は、自主的に学習し、講義内容を理解できるよう努力する必要がある。
試験の受験資格 前期末と後期末にそれぞれ筆記試験を行う。試験の受験資格は、前期・後期ともに、各々の期間での同期型講義(zoom)の合計回数の3分の2以上の出席を必要とする。遅刻や早退となる際は、必ず科目責任者にメールで連絡し、理由を説明すること。連絡の無い遅刻や早退は出席回数を0.5回とする。勘案すべき事情があり、受験資格の出席数が足りない場合は、その旨科目責任者にメールで連絡すること。
参考書 レーニンジャーの新生化学:生化学と分子生物学の基本原理[上]/レーニンジャー, ネルソン, コックス [著], 川寄敏祐 監修, 中山和久 編集, Lehninger, Albert L, Nelson, David Lee, 1942-, Cox, Michael M, 川寄, 敏祐, 1941-, 中山, 和久, 1959-, : 廣川書店, 2019 レーニンジャーの新生化学:生化学と分子生物学の基本原理[下]/レーニンジャー, ネルソン, コックス [著], 川寄敏祐 監修, 中山和久 編集, Lehninger, Albert L, Nelson, David Lee, 1942-, Cox, Michael M, 川寄, 敏祐, 1941-, 中山, 和久, 1959-, : 廣川書店, 2019 最新臨床検査学講座 生化学/原諭吉 他編:医歯薬出版, 2021
他科目との関連 分子生物学, 細胞生物学, 生理学, 遺伝学, 遺伝子・染色体検査学, 臨床化学検査学などと関連する。

履修上の注意事項 講義資料、講義動画、参考資料などは著作権の問題があるので、受講登録者以外に公開することを禁ずる。
備考 前年度と同様に章末演習問題を設けることで、アクティブラーニングと講義の予習を促す。
連絡先(メールアドレス) nsuzbb@tmd.ac.jp
オフィスアワー オフィスアワーは特に定めない 3号館 16階

時間割番号	013008						
科目名	生化学実習				科目 ID	MT-250700-E	
担当教員	鈴木 喜晴[SUZUKI NOBUHARU]						
開講時期	2022 年度後期	対象年次	2		単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名: Biochemistry, Laboratory							
【科目責任者】鈴木喜晴							
主な講義場所							
保健衛生学実習室(3号館7階)							
授業の目的、概要等							
生化学基礎実験法として、遺伝子発現解析法とタンパク質濃縮法(粗精製法)・酵素活性測定法について学ぶ。							
・各器官で特異的に発現する遺伝子を予測し仮説を立て、実験で検証する。							
・遺伝子の構造・性質と、それに基づく核酸の精製法・検出法(PCR)を学ぶ。							
・組織からのタンパク質濃縮法(硫酸アンモニウム沈澱)とその粗精製画分を用いてアルカリホスファターゼの酵素活性の測定方法を学ぶ。							
授業の到達目標							
臨床検査に必要な基礎生化学手法(特に核酸解析法)を習得する。さらに関連分野での基礎研究や臨床研究に応用できる実践的な技術も身につける。							
各回での目標は以下の通りである。							
1回目:本実習の概要を理解する。NCBI データベースを利用した遺伝子情報の検索方法を学び、解析対象の遺伝子を決定する。動物組織からの核酸(DNA、RNA)精製を習得する。							
2回目:RNA を逆転写して cDNA を作製する方法を学ぶ。解析対象遺伝子の配列から PCR 用プライマーの配列をデザインする方法を学ぶ。							
3回目:cDNA とゲノム DNA を鋳型とした PCR 法を習得する。アガロースゲルの作製方法を学ぶ。							
4回目:アガロース電気泳動による PCR 産物の解析法を習得する。							
5回目:硫酸アンモニウム沈澱によるタンパク質の濃縮法を学ぶ。							
6回目:アルカリホスファターゼの酵素活性測定法を学ぶ。PCR 結果から遺伝子発現を考察する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	9/27	13:00-17:50	保健衛生学実習室	1. 本実習の説明／2. 解析遺伝子の決定／3. 核酸の精製	1. 本実習の概要説明／2. NCBI データベースを用いた解析遺伝子の決定／3. 動物組織からのゲノム DNA と RNA の抽出と精製	鈴木 喜晴	アクティブラーニング:原理や手順の説明を理解した上で、自らの手を動かして実験または解析を進める。
4-6	10/4	13:00-17:50	保健衛生学実習室	4. RNA の逆転写反応／5. PCR プライマーの設計	4. 逆転写反応による RNA から cDNA の合成／5. 解析遺伝子の塩基配列からのプライマーのデザイン	鈴木 喜晴	アクティブラーニング:原理や手順の説明を理解した上で、自らの手を動かして実験または解析を進める。
7-9	10/18	13:00-17:50	保健衛生学実習室	6. PCR／7. アガロースゲルの作製	6. cDNA とゲノム DNA を鋳型とした解析遺伝子の PCR による増幅／7. 電気泳動解析用のアガロースゲルの作製	鈴木 喜晴	アクティブラーニング:原理や手順の説明を理解した上で、自らの手を動かして実験または解析を進める。
10-12	10/25	13:00-17:50	保健衛生学実習室	8. アガロース電気泳動	8. アガロース電気泳動による PCR 産物の解析	鈴木 喜晴	アクティブラーニング:原理や手順の説明を理解した上で、自らの手を動かして実験または解析を進める。
13-15	11/1	13:00-17:50	保健衛生学実習室	9. 硫酸アンモニウム沈澱	9. 硫酸アンモニウム沈澱によるタンパク質の濃縮(粗精製)	鈴木 喜晴	アクティブラーニング:原理や手順の説明を理解した上で、自らの手を動かして実験または解析を進める。

16-18	11/8	13:00-17:50	保健衛生 学実習室	10. 酵素活性 測定／11. 結 果報告	10. アルカリホスファターゼ 活性の測定／11. PCR の結 果と考察の報告	鈴木 喜晴	アクティブラーニング:原理や手順の 説明を理解した上で、自らの手を動か して実験または解析を進める。
授業方法 実習書と資料を用いて実習課題の説明を行い、班毎に実習を進める。アクティブラーニングとして、原理や手順の説明を理解した上で、自らの手を動かして実験を進める。さらに、解析遺伝子の決定やPCR用プライマーのデザイン、結果報告の際、グループディスカッション等のアクティブラーニングを行い習得度を高める。							
授業内容 授業スケジュールを参照							
成績評価の方法 1)出席状況、学習への取組態度 2)レポートの評価							
成績評価の基準 原則、全出席を必要とする。 1)実習に取り組む姿勢(出席状況、予習や復習に基づく原理や手順の理解度、積極性、グループメンバーとの協力姿勢など):40点 2)レポート(客観的記載法、要点のまとめ、結果の論理的考察):60点 上記に従い、60点以上(100点満点)で合格とする。							
準備学習等についての具体的な指示 毎回事前にWebClassから実習書や資料をダウンロードし、実習当日までに予習をしておくこと。							
試験の受験資格 試験は行わないが、成績評価のためには、原則、全出席を必要とする。遅刻や早退となる際は、必ず科目責任者に連絡して理由を説明すること。勘案すべき事情のために欠席した場合は、その旨科目責任者に連絡をすること。							
他科目との関連 生化学的実験手法は、臨床化学、遺伝子検査学、免疫検査学、血液検査学、病原体検査学等の他の分野の検査法や研究方法の基礎となる。							
履修上の注意事項 講義資料、講義動画、参考資料などは著作権の問題があるので、受講登録者以外に公開することを禁ずる。実習室での対面実習の際は、白衣を着用すること。実験機の周りは常に整理整頓し、特に毒物・劇物に指定されている化学物質の取り扱いについては、説明を良く聞き、十分に注意すること。実習に関する事以外での携帯電話・スマートフォンの使用は慎むこと。							
備考 前年度のアンケート結果を参考にして、zoom遠隔授業でのグループディスカッションの日程を減らし、実習室での対面実習とグループディスカッションを増やした。							
連絡先(メールアドレス) 鈴木喜晴 nsuzbb@tmd.ac.jp							
オフィスアワー 鈴木喜晴 オフィスアワーは特に定めない 3号館16階							

時間割番号	013009C				
科目名	分析化学検査学Ⅱ			科目ID	MT-230900-L
担当教員	大川 龍之介, 亀田 貴寛[OKAWA RYUNOSUKE, KAMEDA Takahiro]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2	単位数	4
実務経験のある教員による授業	該当する				
英文名: Analytical Chemistry, Lecture(Ⅱ) 【科目責任者】大川 龍之介					
主な講義場所 別途シラバスに記載					
授業の目的、概要等 講義および実習を通じて、臨床化学検査について学習する。臨床化学検査においては、患者から採取した主に血液に含まれる各種の成分を生化学的に定量する方法や技術を習得するとともに、得られた客観的な検査情報(検査値)が患者の診療に果たす役割について学習する。また、精確な検査を行うために必要な検査法の原理、異常反応の発見法や対処法に関する知識を習得すると共に、考える力を身に着ける。実習では具体的な項目の測定を通じて、検査の妥当性確認、終点分析、初速度分析、電気泳動による分析についての測定技術を身に着ける。					
授業の到達目標 ・臨床化学検査の現状と課題の概要が説明できる ・検査の基礎特性(再現性、直線性、など)を解析する方法について説明できる ・定量分析法の基礎(分光光度法、電気泳動法など)について説明できる ・血清酵素活性の測定法の概要、各種項目の意義、測定原理が説明できる ・糖尿病関連検査の測定法とそれぞれの意義について説明できる ・血清中主要蛋白の測定法とそれぞれの意義について説明できる ・血清中微量蛋白の臨床的意義を説明できる ・比色計を用いた定量分析ができる ・妥当性確認試験ができる ・酵素活性分析ができる ・LD アインザイム分析、および判読ができる ・酵素法によるグルコースの測定ができる					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員
1	4/5	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	臨床化学検査の概要 同期型	大川 龍之介
2	4/5	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	定量分析法の基礎①(分光光度分析法①[基礎、化学的分析法]) 同期型	大川 龍之介
3	4/12	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	定量分析法の基礎②(分光光度分析法②[酵素学的分析法]) 同期型	大川 龍之介
4	4/12	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	定量分析法の基礎③(検査の妥当性確認) 非同期型	大川 龍之介
5-7	4/12	13:00-17:50	保健衛生学実習室 検査学実習室 1	(実習)基礎特性試験(1):クレアチニン(Jaffe 法)試薬作製、除タンパク操作の影響	大川 龍之介, 亀田 貴寛
8	4/19	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	定量分析法の基礎④(分光光度法③[酵素活性測定法])	大川 龍之介
9	4/19	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	定量分析法の基礎⑤(その他の分析法:電気化学分析法、電気泳動法、クロマトグラフ法など) 非同期型	大川 龍之介
10-12	4/19	13:00-17:50	保健衛生学実習室 検査学実習室 1	(実習)基礎特性試験(2):クレアチニン(Jaffe 法)同時再現性、添加回収試験	大川 龍之介, 亀田 貴寛
13	4/26	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	定量分析法の基礎⑥(分光光度法④ 計測の仕方(終点分析法、初速度分析法))	大川 龍之介
14	4/26	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	糖質(糖質の種類と機能、関連検査) 非同期型	大川 龍之介
15-17	4/26	13:00-17:50	保健衛生学実習室 検査学実習室 1	(実習)基礎特性試験(3):クレアチニン(Jaffe 法)直線性、検出限界	大川 龍之介, 亀田 貴寛
18-20	5/6	14:00-18:50	保健衛生学実習室 検査学実習室 1	(実習)基礎特性試験(4):クレアチニン(Jaffe 法、酵素法) 相関	大川 龍之介, 亀田 貴寛

21-23	5/9	13:00-17:50	遠隔授業(同期型)	(実習)まとめ(1)(プレゼンテーション)(第1回～第4回)	大川 龍之介, 亀田 貴寛
24	5/10	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	糖質(糖質の種類と機能, 関連検査)同期型	大川 龍之介
25	5/10	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	蛋白質(概要, 総蛋白, アルブミン, 蛋白分画, 免疫グロブリン, その他のタンパク)非同期型	大川 龍之介
26-28	5/10	13:00-17:50	保健衛生学実習室 検査学実習室1	(実習)基礎特性試験(5):クレアチニン(酵素法)(共存物質の影響)	大川 龍之介, 亀田 貴寛
29	5/17	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	蛋白質(概要, 総蛋白, アルブミン, 蛋白分画, 免疫グロブリン, その他のタンパク)同期型	大川 龍之介
30	5/17	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	測定値の変動要因(生理的, 技術的, 特殊な検体)非同期型	大川 龍之介
31-33	5/17	13:00-17:50	遠隔授業(同期型)	(実習)酵素(1):LDアイソザイム	大川 龍之介, 亀田 貴寛
34	5/24	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	分析化学検査学のまとめ①(病院検査部における臨床化学検査の実際)	大川 龍之介, 曾根 伸治
35	5/24	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	酵素(血中酵素概論, 各酵素の基礎)非同期型	大川 龍之介
36-38	5/24	13:00-17:50	保健衛生学実習室 検査学実習室1	(実習)酵素(2):AST, ALT	大川 龍之介, 亀田 貴寛
39	5/31	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	分析化学検査学のまとめ②(病院検査部における臨床化学検査の実際)同期型	大川 龍之介, 小野 佳一
40	5/31	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	酵素(各酵素の基礎②)非同期型	大川 龍之介
41-43	5/31	13:00-17:50	検査学実習室1, 遠隔授業(非同期型)	(実習)酵素(3):ALP活性(緩衝液pHの影響)A班、(対面実習)糖質:グルコース(酵素法)(ムタローターゼの影響)B班	大川 龍之介, 亀田 貴寛
44	6/7	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	酵素(各酵素, 応用編)同期型	大川 龍之介
45	6/7	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	講義のまとめ 非同期型	大川 龍之介
46-48	6/7	13:00-17:50	検査学実習室1, 遠隔授業(非同期型)	(非同期実習)酵素(3):ALP活性(緩衝液pHの影響)B班、(対面実習)糖質:グルコース(酵素法)(ムタローターゼの影響)A班	大川 龍之介, 亀田 貴寛
49-50	6/14	14:40-17:50	遠隔授業(同期型)	(実習)まとめ(2)(プレゼンテーション)(第5回～第9回)	大川 龍之介, 亀田 貴寛

授業方法

講義(同期および非同期)と実習を行う。講義は座学のみならず、任意の個人個人に質問しながらの講義とする。一部の授業は、病態解析など与えられたテーマでディスカッションを行い、代表者が意見を発表する(アクティブラーニング)。

授業内容

分析技術の進歩が著しい中であって、最新の知識・技術的内容を取り入れる。一方、時代とともに古典的検査になっても、成分分析の考え方の基本や現代の技術および将来の展開への理解を助けるものについても学べるよう配慮する。また、得られた検査結果を単に定量値として報告するだけでなく、検査情報として臨床へ提供できるように、検査値による病態解析能力を育成する内容とする。

成績評価の方法

学期末筆記試験および出席点、講義時の積極性により評価する。実習はレポート、プレゼンテーションや実習時の積極性により評価する。学期末試験には当該学習内容に関する英語の問題や実習内容も出題する。

- 1) 学期末筆記試験 100 点
- 2) 実習レポート評価 100 点
- 3) 講義および実習時の出席点・積極性 100 点
- 4) 非同期型講義の課題・振り返り試験 100 点

成績評価の基準

1), 2)において、それぞれ 60 点に達した場合に合格とする。最終的にどちらかでも不合格であった場合には、分析化学検査学Ⅱを不合格とする。

成績は1)と2)の平均:90%, 3):5%, 4):5%として合算する。

準備学習等についての具体的な指示

事前に授業内容を記載したファイルを配布するので、必ず予習し、特に不明な点を明確にして授業に臨むこと。講義・実習後、不明な点はメールにてすぐに質問し、わからないままにしないこと。

試験の受験資格 授業に3分の2以上、実習に4分の3以上出席し、聴講・実験をした者。内容の都合上、原則、遅刻は認められない。zoom による講義の場合は、講義を最初から最後まで参加しているログが確認出来た場合に出席とする。非同期型講義の場合は、その際に課された課題を提示された期限までに提出したことをもって出席とする。非同期型講義の次の同期型講義の初めに、振り返り試験を行う。
教科書 最新臨床検査学講座 臨床化学検査学 第2版／戸塚 実 編集、奥村 伸生 編集、浦山 修 編集、松下 誠 編集、山内 一由 編集、大川 龍之介 編集、戸塚 実、奥村 伸生、浦山 修、松下 誠、山内 一由、大川 龍之介、: 医歯薬出版, 2022-01-26 , 2018
参考書 臨床検査法提要 = Kanai's Manual of Clinical Laboratory Medicine／金井正光 監修、奥村伸生、戸塚実、矢富裕 編集、: 金原出版, 2022
他科目との関連 教養課程で学習した化学、専門課程で学習する生化学が本科目の背景となる。検査管理総論および分析化学検査学Ⅰは本科目と深い関わりがある。また、検査結果の解釈のためには生理学や血液学などの知識も必要である。
履修上の注意事項 非常勤講師の都合で授業内容が前後する場合は事前に連絡する。 欠席・遅刻をしないこと。
備考 科目終了後に科目についてのアンケートを WebClass で実施する。 2021 年度の授業評価結果を踏まえ、2022 年度も引き続き、丁寧に指導・教育できる体制を整える。
連絡先(メールアドレス) 大川 龍之介:ohkawa.alc@tmd.ac.jp 亀田 貴寛:kameda.alc@tmd.ac.jp
オフィスアワー 大川 龍之介: 特定の日時を確保できないためメールでアポイントメントを取ってください。 亀田 貴寛: 月曜日～金曜日 AM9:00-PM7:00 3号館 16 階 助教室、先端分析検査学分野研究室

時間割番号	013010						
科目名	医用システム情報学講義(Ⅰ)			科目ID	MT-231000-L		
担当教員	伊藤 南[ITO MINAMI]						
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2		単位数	2	
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名:Medical Measurement,System and Information, Lecture(Ⅰ)							
【科目責任者】伊藤南							
主な講義場所							
遠隔(同期)							
授業の目的、概要等							
神経系などの生体もまた電気的な信号伝達を行っており、臨床検査においても生理学的検査の多くは生体の電気信号を計測を通じて身体状況を検査している。そのため生体の電気的な性質や原理を正しく理解することが必要である。また、臨床検査を含む現代の医療は各種の検査・診断・治療機器に大きく依存しており、これらの機器の動作原理を正しく理解し、適切に使用、保守・管理することが必要である。臨床検査技師として最低限知っていてほしい、①基本的な電気現象や法則、②生体電気信号の各種フィルタ回路の原理、③生体電気信号の増幅回路の原理、④測定装置を電氣的に安全に使用するための考え方を学ぶ。実習と組み合わせることにより、体験的な理解や知識の修得を目指す。							
授業の到達目標							
1.電流が流れる原理と受動素子の役割を理解し、説明できる。回路図と単位を理解し、説明できる。							
2.ジュール熱とローレンツ力と電磁誘導の関係を理解し、その利用法について説明できる。							
3.複素インピータンスによりCR直列回路の過渡応答と応答特性を説明できる。							
4.受動素子によるフィルタ回路や共振回路の原理と性質を理解し、説明できる。							
5.生体の電気特性とそれに添った安全対策の考え方を理解し、説明できる。							
6.能動素子(ダイオード、トランジスタ、FET、OPアンプ)の原理と性質を説明し、理解できる。							
7.トランジスタの静特性と動特性、およびオペアンプ増幅回路の特性を理解し、説明できる。							
8.生体増幅器および生体電気計測の考え方を理解し、説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/8	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	医用システム情報学講義(Ⅰ)	電気現象の物理	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、アンケートソフトによる解答集計
2	4/11	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	医用システム情報学講義(Ⅰ)	抵抗	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、アンケートソフトによる解答集計
3	4/15	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	医用システム情報学講義(Ⅰ)	コンデンサ	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、アンケートソフトによる解答集計
4	4/18	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	医用システム情報学講義(Ⅰ)	コイル	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、アンケートソフトによる解答集計
5	4/22	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	医用システム情報学講義(Ⅰ)	電気と磁気の作用	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、アンケートソフトによる解答集計
6	4/28	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	医用システム情報学講義(Ⅰ)	交流と複素数インピーダンス	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、アンケートソフトによる解答集計
7	5/6	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	医用システム情報学講義(Ⅰ)	受動回路の性質	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、アンケートソフトによる解答集計
8	5/13	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	医用システム情報学講義(Ⅰ)	周波数による信号フィルタ	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、アンケートソフトによる解答集計
9	5/20	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	医用システム情報学講義(Ⅰ)	電気の安全対策	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、アンケートソフトによる解答集計
10	5/27	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	医用システム情報学講義(Ⅰ)	ダイオード	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、アンケートソフトによる解答集計
11	6/3	10:30-12:00	遠隔授業	医用システム情報	トランジスタ	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、

			(同期型)	学講義(Ⅰ)			アンケートソフトによる解答集計
12	6/10	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	医用システム情報 学講義(Ⅰ)	トランジスタ増幅回路	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、 アンケートソフトによる解答集計
13	6/17	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	医用システム情報 学講義(Ⅰ)	FET とオペアンプ	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、 アンケートソフトによる解答集計
14	6/24	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	医用システム情報 学講義(Ⅰ)	オペアンプの増幅回路	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、 アンケートソフトによる解答集計
15	7/1	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	医用システム情報 学講義(Ⅰ)	生体電気計測	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、 アンケートソフトによる解答集計

授業方法

Zoomによる同期授業を実施する。配布資料、教科書をもとに講義する。配布資料は事前にWebClass で公開する。前回講義の内容を範囲として小テストを行う。講義中、アンケートソフトを利用した質疑やグループ討論を行う。講義中の質問に加えて、メールによる質問も受け。授業方法の変更等があれば随時連絡する。

授業内容

1.臨床検査で用いられる医用工学の基礎

オリエンテーション、回路図、SI単位系、電流が流れる原理、クーロンの法則

2.受動素子の性質と応用

ガウスの法則、ファラデーの法則、フレミングの左手の法則、モーターと発電機、サイクロトロン、電磁波

3.交流と複素インピーダンス

複素数による交流の表現、複素インピーダンス、有効電力と無効電力

4.臨床検査で用いられる医用工学の応用～信号フィルタ回路

CR 直列回路の過渡応答と応答特性、ボード線図、周波数フィルタ回路、共振回路

5.医用電子機器の安全対策

生体の電気特性、電撃(マクロショックとミクロショック)、安全管理の考え方、電気機器の安全基準

施設の電氣的安全対策

6.能動素子の性質と応用

ダイオードの原理と性質、バイポーラトランジスタの原理と性質、FET の原理と性質

理想オペアンプ、バーチャルショート、同相弁別比

7.トランジスタと OP アンプによる信号増幅回路

エミッタ接地反転増幅回路の原理と性質

オペアンプ増幅回路(反転増幅回路、非反転増幅回路、差動増幅回路、コンパレータ)

8.生体検査に使用される医用電子技術～生体電気計測

生体アンプ、増幅回路の特性(入力インピーダンス、出力インピーダンス、インピーダンスマッチング)、電極、トランスデューサ(センサ)

成績評価の方法

1)学期末筆記試験の成績

2)講義中の小テストの成績

成績評価の基準

学期末筆記試験の成績(100点満点)に、講義中の小テストの成績(20点以内に換算)を加えて、総合的に評価する。学期末筆記試験の20%相当を英語で出題する。総合成績が60点以上のものを合格とする。総合成績により評点を決める。期末試験が合格に満たないものは再試験を実施し、総合成績が60点以上のものを合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

①高校で学んだ物理学の電気、磁気の内容を復習することが望ましい。

②前回までの講義内容を理解していることを前提にして次の講義を行うので、よく復習してから講義に参加する。欠席者は特に注意すること。

③配布資料は各自で WebClass よりダウンロード、印刷しておくこと。当日の資料配布なし。

④講義前に、配布資料と教科書の関連範囲に目を通しておくこと(教科書との対応は授業明細の備考欄を参照)。

試験の受験資格

2/3以上の出席をもって受験資格とする。講義中に行う小テストおよびアンケート形式の質疑応答へ参加により出席確認とする。講義の無断欠席や無断早退が認められた場合には出席の要件を満たさないものとする。特段の理由があると認められる場合には、

担当教員より代替法を指示する。
教科書 医用工学：医療技術者のための電気・電子工学(第二版)／若松秀俊, 本間達 著.: 共立出版, 2016
参考書 医用工学概論／嶋津秀昭, 若松秀俊, 北村清吉, 石川敏三, 石山陽事, 野島一雄 [著].: 医歯薬出版, 2005 医用電気工学 1／戸畑裕志, 中島章夫 編 日本臨床工学技士教育施設協議会 監修.: 医歯薬出版, 2009 医用電気工学 2／日本臨床工学技士教育施設協議会 監修, 戸畑裕志, 中島章夫 編.: 医歯薬出版, 2008 医用電子工学／中島章夫 編 日本臨床工学技士教育施設協議会 監修.: 医歯薬出版, 2009
他科目との関連 医用システム情報学実習(Ⅰ)と補完する。医用工学は臨床検査学の周辺領域を広くカバーし、臨床検査を支えている。検査管理学、医用システム情報学(Ⅰ)(Ⅱ)、医学情報処理演習(Ⅰ)(Ⅱ)は、医用工学に関わる一連の講義、演習、実習として構成する。個別の検査機器の取り扱いについては生理検査学講義・実習等の教科を参照すること。
履修上の注意事項 能動的な講義への参加、講義時間を無駄に過ごさないことを希望する。講義資料は事前に WebClass で閲覧できるようにしてあるので予習すること。講義中ないし講義後の質問を歓迎する。講義中に、学習ツール「スグキク」を使用するので、インターネットに接続可能なスマホ、パソコンを持参すること。前回の講義の範囲で小テストを実施するので、必ず復習しておくこと。
備考 科目終了後に科目についてのアンケートを WebClass で実施する。 2021 年度の授業評価結果を踏まえ、2022 年度も引き続き、丁寧に指導・教育できる体制を整える。
連絡先(メールアドレス) 伊藤南 minami.bse@tmd.ac.jp、
オフィスアワー 伊藤南 3号棟16階 生体機能支援システム学教授室 随時対応しますので、事前にメール等で連絡して下さい。

時間割番号	013011					
科目名	医用システム情報学実習(Ⅰ)			科目ID	MT-251100-E	
担当教員	伊藤 南, 本間 達[ITO MINAMI, HOMMA SATORU]					
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2	単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する					
英文名: Medical Measurement, System and Information, Laboratory(Ⅰ) 【科目責任者】伊藤南						
主な講義場所 保健衛生学実習室(3号館7階)						
授業の目的、概要等 本実習は医用システム情報学講義(Ⅰ)を基礎としており、生理検査学講義・実習の中で用いる 医用機材を操作する基礎技術の習得を目的とする。生理検査学・化学検査学等で使用する各種の検査・診断・治療機器を操作するうえで、必要となる電気回路、電子回路、デジタル回路、生体の電気特性、安全管理法の基礎を理解し、修得する。日常生活では直接触れる機会が少ないと思われるので、実習を通じて体験的な理解を目指す。実験レポート作成方法を修得する。						
授業の到達目標 1.レポート作成に伴う文章の構成および基本的な様式を理解する。 2.臨床検査における医用工学技術の役割を理解し、説明できる。 3.基本的な電気現象を理解し、安全に測定する方法、患者の安全を維持するための基礎的な知識を理解し、実践できる。 4.生体電気信号の処理に利用される電子回路(フィルタ回路、増幅回路)の知識、計測技術を、実習を通して修得する。 5.テストの制作と動作確認: はんだ付けの技術を習得し、実用に耐えるテストを作成できる。 6.テストの使用法: 測定する電気現象の違いにより適切な測定レンジを使用して測定がおこなえる。 7.オシロスコープの基礎: 電気現象を可視化するオシロスコープの基本的な使用法を修得する。 8.実習2: 電気が人体に及ぼす影響と安全対策および変換装置について、測定を通じて理解する。 9.実習4: 検査機器の時定数回路の基本である CR フィルタ回路の特性を、測定を通じて理解する。 10.実習5: ダイオード等の基本的な半導体の性質および電源回路の基礎を、測定を通じて理解する。 11.実習9: 増幅回路の同相弁別比: 生体の電気現象を測定する際に混入する雑音を取り除く性能を表す同相弁別比について、測定を通じて理解する。 12.実習10: 論理演算を実現するデジタル回路の特性、これを用いた演算回路の動作について、測定を通じて理解する。 13.測定した結果を正しく演算処理するための有効数字の概念を理解する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	4/7	13:00-16:10	保健衛生学実習室	医用システム情報学実習(Ⅰ)	ガイダンス・測定の基礎	伊藤 南, 本間 達
3-4	4/14	13:00-16:10	保健衛生学実習室	医用システム情報学実習(Ⅰ)	テストの制作と動作確認	伊藤 南, 本間 達
5-6	4/21	13:00-16:10	保健衛生学実習室	医用システム情報学実習(Ⅰ)	テストの使用法	伊藤 南, 本間 達
7-8	5/2	13:00-16:10	保健衛生学実習室	医用システム情報学実習(Ⅰ)	数学的関連講義・レポートの作成法	伊藤 南, 本間 達
9-10	5/26	13:00-16:10	保健衛生学実習室	医用システム情報学実習(Ⅰ)	医用機器の安全と脈波の測定	伊藤 南, 本間 達
11-12	6/2	13:00-16:10	保健衛生学実習室	医用システム情報学実習(Ⅰ)	レポート指導・再実験	伊藤 南, 本間 達
13-14	6/9	14:40-17:50	保健衛生学実習室	医用システム情報学実習(Ⅰ)	オシロスコープの基礎	伊藤 南, 本間 達
15-16	6/16	13:00-16:10	保健衛生学実習室	医用システム情報学実習(Ⅰ)	ダイオードの特性	伊藤 南, 本間 達
17-18	6/23	13:00-16:10	保健衛生学実習室	医用システム情報学実習(Ⅰ)	デジタル回路の性質	伊藤 南, 本間 達
19-20	6/30	14:40-17:50	保健衛生学実習室	医用システム情報学実習(Ⅰ)	CR フィルタ回路の特性	伊藤 南, 本間 達
21-22	7/5	14:40-17:50	保健衛生学実習室	医用システム情報学実習(Ⅰ)	増幅回路の同相弁別比の測定	伊藤 南, 本間 達
23	7/8	14:40-16:10	保健衛生学実習室	医用システム情報学実習(Ⅰ)	小試験	伊藤 南, 本間 達
授業方法 実習内容の詳細や手順は授業で説明する。配布資料は事前に WebClass で公開する。実習課題ごとに個人またはグループで実験レポートを提出する。実験レポートを添削指導する。実験内容が不十分な場合は再実験する場合もある。コロナ禍対策として学生を2グループに分けて、対面形式の実習と非同期型教材による学習を交互に行う。実習課題と並行して Web-Learning を行う。実習指導は主に本間達(生体機能システム学)が担当する。コロナ肺炎等の感染症対策は大学の方針に従う。授業方法の変更等がある場合は随時連絡する。						

授業内容 1-4 電子機器の取り扱い方 オリエンテーション、実習10:デジタル回路をつくる、その性質を調べる 5-8 テスタの制作 テスタの制作と動作確認 9-12 電氣的安全性の測定 実習2:医用機器を安全に使う 13-16 増幅素子と変換素子の特性の測定 実習1:テスタの使用法、実習4:CR回路特性の計測 17-20 増幅素子の特性の測定 実習5:オシロスコープ、電源装置の使用法、実習4:CR回路特性の計測 21-22 増幅器の総合特性 実習9:差動増幅回路の同相弁別比を求める 数学関連講義、有効数字、レポートの注意点、グラフの書き方 23 小試験
成績評価の方法 実際に自分で手を動かすことが重要である。実習への参加度合いと実習課題のレポート内容を重視する。実習課題のレポート内容、最終回の演習課題の成績、Web-Learning、実習での参加状況により総合的に評価する。
成績評価の基準 実習課題のレポート内容(40%)、最終回の演習課題の成績(20%)、Web-Learning(20%)、自習での参加状況(20%)を加えて総合成績(100 点満点)として科目の評価とする。総合成績が 60 点以上のものを合格とする。
準備学習等についての具体的な指示 事前に配布する資料、教科書に目を通して、実習内容を理解した上で参加する。 資料は Web Class を通じて配布する。
試験の受験資格 3/4 以上の実習への出席および全提出課題のレポートの提出をもって受験資格とする。 実習の無断欠席や無断早退が認められた場合には出席の要件を満たさないものとする。特段の理由があると認められる場合には、担当教員より代替法を指示する。
教科書 医用工学：医療技術者のための電気・電子工学(第二版)／若松秀俊、本間達 著、共立出版、2016
参考書 臨床医学総論：臨床医学総論 放射性同位元素検査技術学 医用工学概論 情報科学・医療情報学 公衆衛生学／小山高敏、戸塚実編集；小山高敏 [ほか] 執筆、小山、高敏、戸塚、実：医学書院、2013 【教材】SANWA 教材用テスタ組立キット KIT-8D
他科目との関連 医用システム情報学講義(Ⅰ)と補完する。医用工学は臨床検査学の周辺領域を広くカバーし、臨床検査を支えている。検査管理学、医用システム情報学(Ⅰ)(Ⅱ)、医学情報処理演習(Ⅰ)(Ⅱ)は、医用工学に関わる一連の講義、演習、実習として構成する。個別の検査機器の取り扱いについては生理検査学講義・実習等の教科を参照すること。
履修上の注意事項 火傷や感電事故を防ぐため、実習中は教員の指示にしたがうこと。服装は作業しやすいものとする。
備考 科目終了後に科目についてのアンケートを WebClass で実施する。 2021 年度の授業評価結果を踏まえ、2022 年度も引き続き、丁寧に指導・教育できる体制を整える。
連絡先(メールアドレス) 伊藤 南:minami.bse@tmd.ac.jp、 本間 達:hommtec@tmd.ac.jp
オフィスアワー 伊藤 南:3号棟16階 生体機能支援システム学教授室 随時対応しますので、事前にメール等で連絡して下さい。

時間割番号	013012A					
科目名	生理検査学講義(Ⅰ)			科目ID	MT-231300-L	
担当教員	星 治, 藤代 瞳[HOSHI OSAMU, FUJISHIRO Hitomi]					
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2	単位数	3	
実務経験のある教員による授業	該当する					
英文名: Physiological Laboratory Science, Lecture (Ⅰ)						
【科目責任者】星治						
授業の目的、概要等						
生理学は人体の各構成要素の機能がどのようなメカニズムで発現し、全体として統合されているかを、追求する学問である。生理検査学(Ⅰ)はその内容の講義・実習を行うものである。						
授業の到達目標						
人体の各構成要素の機能の基本的事項を、解剖学の知識を基盤に理解することを目標とする。正常な人体の機能を理解することは、疾病による人体の機能の変化を理解する上でも 検査技術学を修得する上でも重要なことである。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/4	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	総論	生理学の概念、意義	星 治
2	4/7	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	体液	体液とその調節	星 治
3	4/21	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	血液と生体防御(2)	血液とその成分、血液型、リンパ液、組織液、生体防御	星 治
4	4/25	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	血液と生体防御(1)	血液とその成分、血液型、リンパ液、組織液、生体防御	星 治
5	5/9	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	循環の生理(1)	心臓の機能、循環の調節のしくみ、循環器系の基本検査	星 治
6	5/11	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	循環の生理(2)	心臓の機能、循環の調節のしくみ、循環器系の基本検査	星 治
7	5/12	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	呼吸の生理	呼吸器の機能、呼吸の調節、呼吸器系の検査	星 治
8	5/16	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	消化と吸収	消化液のその作用、栄養吸収と水分吸収、腸管運動、肝臓のはたらき	星 治
9	5/19	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	体温調節	体温、熱の産生、放熱、発汗のしくみ	星 治
10	5/23	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	内分泌の機能(1)	内分泌器官、各種ホルモンの作用	星 治
11	5/23	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	尿の生成と排泄(1)	腎臓の機能と尿の生成	藤代 瞳
12	5/26	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	尿の生成と排泄(2)	腎臓の機能と尿の生成	藤代 瞳
13	5/30	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	内分泌の機能(2)	内分泌器官、各種ホルモンの作用	星 治
14	6/2	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	栄養と代謝(1)	糖質代謝、脂質代謝、蛋白質代謝、エネルギー代謝、基礎代謝	藤代 瞳
15	6/9	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	筋肉の機能	筋肉の分類とその機能 骨格筋収縮のしくみ	星 治
16	6/9	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	栄養と代謝(2)	糖質代謝、脂質代謝、蛋白質代謝、エネルギー代謝、基礎代謝	藤代 瞳
17	6/13	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	神経、シナプス	神経生理の基礎、活動電位、神経線維の種類、興奮の伝達、シナプス	星 治
18	6/28	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	生殖機能(1)	男性生殖機能(精子形成)	藤代 瞳
19	6/28	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	生殖機能(2)	女性生殖機能(排卵、受精、着床)、妊娠と分娩	藤代 瞳
20	6/29	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	神経系の機能(1)	大脳、間脳、脳幹(延髄、橋、中脳)、小脳、脊髄、体性神経系、自律神経、神経系の検査	星 治
21	7/4	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	神経系の機能(2)	大脳、間脳、脳幹(延髄、橋、中脳)、小脳、脊髄、体性神経系、自律神経、神経系の検査	星 治
22	7/4	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	感覚の生理(1)	感覚の一般的性質、視覚	星 治
23	7/5	08:50-10:20	遠隔授業(非同期型)	感覚の生理(2)	聴覚、平衡感覚、味覚	星 治
24	7/5	10:30-12:00				

授業方法
同期型もしくは非同期型授業(可能な場合は対面授業)。一部アクティブラーニングを実施する。
授業内容
生体の機能は基本的機能と高次機能に大別される。基本的機能は動物と植物の両者に共通に認められる機能で、呼吸、血液循環、消化と吸収、代謝、排泄、内分泌等の生体の維持に関する機能がこれに属する。一方、高次機能は動物において発達、特殊化した機能を意味し、運動、神経、感覚等がこれに属する。これらの生体の機能について順次、要点を講義する。また、一部演習も行う。
成績評価の方法
小テストの成績(10%)、学期末筆記試験の成績(90%)により総合的に評価する。一部、英文による出題もある。
成績評価の基準
学期末筆記試験の成績が 100 点満点で 60 点以上を合格とする。
準備学習等についての具体的な指示
指定の教科書を事前に読むこと。特に、講義当日の内容に該当する項目のところは十分に押さえておく。
試験の受験資格
授業時間数の 3 分の 2 以上出席した場合に定期試験を受験することができる。出席の扱いは以下の通り 同期型の場合：講義を最初から最後まで参加しているログが確認できた場合を出席とする 非同期の場合：webclass での確認テストで 60 点以上だった場合を出席とする
教科書
シンプル生理学(改訂第 8 版)／貴邑 富久子 著・文・その他根来 英雄 著・文・その他貴邑 富久子根来 英雄：南江堂, 2021-03-26
参考書
本郷利憲, 廣重力, 豊田順一, 熊田衛 編集：標準生理学, 医学書院
他科目との関連
人体の構造の理解を基盤に、それらのさまざまな機能の基本的事項を理解するのが生理検査学(Ⅰ)である。生理検査学(Ⅰ)は人体構造学と表裏一体をなすとともに、生理検査学(Ⅱ)に連続するものである。また、薬理学、生化学、臨床病態学とも密接な関係がある。
履修上の注意事項
人体構造学を基盤に講義する。講義時間数が限られているので、講義に関連した領域について自習することが必要である。
連絡先(メールアドレス)
星 治 o-hoshi.aps@tmd.ac.jp 藤代 瞳 fujishiro.aps@tmd.ac.jp
オフィスアワー
星 治 オフィスアワーは特に定めない。事前にメールで連絡を。 湯島キャンパス3号館16階

時間割番号	013049A						
科目名	生理検査学講義(Ⅱ)				科目ID	MT-232700-L	
担当教員	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司[SUMI YUKI, KAKINUMA SEI, AKAZA MIHO, YAMAGUCHI Junji]						
開講時期	2022 年度通年	対象年次	2		単位数	2	
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名:Physiological Laboratory Science, Lecture(Ⅱ) 【科目責任者】角 勇樹							
主な講義場所 同期型(zoom)、非同期型(zoom)、8F 実習室 3(生理検査学実習室)、講義室 3、スキルスラボなどで行う							
授業の目的、概要等 生理検査用機器を駆使して被検者からいろいろな生理的情報を取得・解析し、そのデータを疾病の診断・治療に役立たせる生理検査学を学ぶ。生理検査に携わる検査技師には機器の操作、生体現象の記録、データの整理・解析のみならず、疾病に対しての医学的知識が要求され、疾患に対しての理解を深める。							
授業の到達目標 各種生理検査法における原理の習得し適応について理解、測定結果の解釈ができるようになる。 電気機器に接することが多いので、機器障害への迅速な対応や安全対策、正しい結果が得られない場合のトラブルシューティングも学ぶ。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/13	08:50-10:20	遠隔授業(非同期型)	生理機能検査学講義、クルズス、演習	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、伝導検査、など	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	クルズス、演習などは少人数グループのローテーションで行う 個々の具体的スケジュールは Webclass を参照すること
2	9/15	08:50-10:20	遠隔授業(非同期型)	生理機能検査学講義、クルズス、演習	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、伝導検査、など	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	クルズス、演習などは少人数グループのローテーションで行う 個々の具体的スケジュールは Webclass を参照すること
3	9/20	08:50-10:20	検査学実習室 3, スキルスラボ	生理機能検査学講義、クルズス、演習	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、伝導検査、など	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	クルズス、演習などは少人数グループのローテーションで行う 個々の具体的スケジュールは Webclass を参照すること
4	9/27	08:50-10:20	検査学実習室 3, スキルスラボ	生理機能検査学講義、クルズス、演習	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、伝導検査、など	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	クルズス、演習などは少人数グループのローテーションで行う 個々の具体的スケジュールは Webclass を参照すること
5-6	9/30	08:50-12:00	検査学実習室 3, スキルスラボ			角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	
7	10/7	08:50-10:20	検査学実習室 3, スキルスラボ	生理機能検査学講義、クルズス、演習	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、伝導検査、など	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	クルズス、演習などは少人数グループのローテーションで行う 個々の具体的スケジュールは Webclass を参照すること
8	10/21	08:50-10:20	検査学実習室 3, スキルスラボ	生理機能検査学講義、クル	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	クルズス、演習などは少人数グループのローテー

				ズス、演習	一、脳波、伝導検査、など		ションで行う 個々の具体的スケジュールは Webclass を参照すること
9	10/28	08:50-10:20	検査学実習室 3, スキルスラボ	生理機能検査 学講義、クル ズス、演習	呼吸機能、心電図、 腹部エコー、心エ コー、脳波、伝導 検査、など	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	クルズス、演習などは少 人数グループのローテ ーションで行う 個々の具体的スケジュールは Webclass を参照すること
10	11/4	08:50-10:20	検査学実習室 3, スキルスラボ	生理機能検査 学講義、クル ズス、演習	呼吸機能、心電図、 腹部エコー、心エ コー、脳波、伝導 検査、など	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	クルズス、演習などは少 人数グループのローテ ーションで行う 個々の具体的スケジュールは Webclass を参照すること
11	11/11	08:50-10:20	検査学実習室 3, スキルスラボ	生理機能検査 学講義、クル ズス、演習	呼吸機能、心電図、 腹部エコー、心エ コー、脳波、伝導 検査、など	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	クルズス、演習などは少 人数グループのローテ ーションで行う 個々の具体的スケジュールは Webclass を参照すること
12	11/18	08:50-10:20	検査学実習室 3, スキルスラボ	生理機能検査 学講義、クル ズス、演習	呼吸機能、心電図、 腹部エコー、心エ コー、脳波、伝導 検査、など	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	クルズス、演習などは少 人数グループのローテ ーションで行う 個々の具体的スケジュールは Webclass を参照すること
13	11/25	08:50-10:20	検査学実習室 3, スキルスラボ	生理機能検査 学講義、クル ズス、演習	呼吸機能、心電図、 腹部エコー、心エ コー、脳波、伝導 検査、など	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	クルズス、演習などは少 人数グループのローテ ーションで行う 個々の具体的スケジュールは Webclass を参照すること
14	12/2	08:50-10:20	検査学実習室 3, スキルスラボ	生理機能検査 学講義、クル ズス、演習	生呼吸機能、心電 図、腹部エコー、心 エコー、脳波、伝導 検査、など	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	クルズス、演習などは少 人数グループのローテ ーションで行う 個々の具体的スケジュールは Webclass を参照すること
15	12/9	08:50-10:20	検査学実習室 3, スキルスラボ	生理機能検査 学講義、クル ズス、演習	呼吸機能、心電図、 腹部エコー、心エ コー、脳波、伝導 検査、など	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	クルズス、演習などは少 人数グループのローテ ーションで行う 個々の具体的スケジュールは Webclass を参照すること
16	12/16	08:50-10:20	検査学実習室 3, スキルスラボ	生理機能検査 学講義、クル ズス、演習	呼吸機能、心電図、 腹部エコー、心エ コー、脳波、伝導 検査、など	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	クルズス、演習などは少 人数グループのローテ ーションで行う 個々の具体的スケジュールは Webclass を参照すること
17	1/6	08:50-10:20	検査学実習室 3, スキルスラボ			角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	
18	1/6	08:50-10:20	検査学実習室 3, スキルスラボ			角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	

授業方法

講義、クルズス、演習(アクティブラーニングを含む)

授業内容
臨床生理検査学の内容は多岐にわたる。循環器系検査, 呼吸器系検査, 神経・筋機能検査, 超音波検査, MRI, サーモグラフィー, 無散瞳眼底検査, 平衡機能検査(眼振電図検査, 重心動揺検査)などについて学ぶ。講義と演習は有機的に結合している。
成績評価の方法
授業中に行う演習、レポート提出、実習試験、筆記試験にて生理検査学の知識・理解の達成度を評価する。講義中の態度も評価の対象とする。
成績評価の基準
演習および学期末定期試験による試験点数を基本とし、講義中の態度などを加味して点数を増減し、基準にしたがって成績評価を行う。
準備学習等についての具体的な指示
臨床生理検査学講義の範囲は広いため、学内・学外の多くの専門家に講義を依頼している。講義のテーマに関する準備学習をしておくこと。 生理検査学は人を対象とする検査であり、コミュニケーション能力に加え、人と接する上での最低限の礼儀・倫理感が必要とされる。受講態度にも留意すること。
試験の受験資格
少人数制クルズや演習などアクティブラーニングを行う講義は原則として全出席していること
教科書
呼吸機能検査技術教本／一般社団法人日本臨床衛生検査技師会／監：株式会社じほう, 2016 生理機能検査学／大久保善朗 [ほか] 著, 大久保 善朗, 医歯薬出版, 2010
参考書
各担当講師が Webclass に資料を upload する場合がある。
他科目との関連
解剖学, 生理検査学 I, 医学概論, 総合講義, 臨床病態学, 医用機器・工学, 心臓生理学などと関連。
履修上の注意事項
クルズや演習は少人数制とし班分けをしてローテーションする。 個人個人の詳細な割り当ておよび日程は Webclass に掲載する。
備考
実習と講義は有機的に結合していて、厳密な分離は困難である。 実習は百聞に一時はしかずの学習が行え、一期一会であるので全出席が前提である。遅れずに出席すること。 理論は講義で身につけるが、特に演習やクルズは教科書では学べない学習を行うので全出席が前提である。
参照ホームページ
臨床生理検査学は人を対象とした動的な検査であり、各種ホームページにて動画や図表、イラストを参照すると理解が進む場合がある。
連絡先(メールアドレス)
角 勇樹: ysumi.pulm@tmd.ac.jp
オフィスアワー
角 勇樹: 毎週 月・金 曜日 AM.9:00-PM.17:00 3号館 16 階 呼吸器神経系解析学教授室 (来室の前にメールで予約してください)

時間割番号	013013A					
科目名	生理検査学実習(Ⅰ)			科目ID	MT-251500-E	
担当教員	星 治, 藤代 瞳[HOSHI OSAMU, FUJISHIRO Hitomi]					
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2	単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する					
英文名:Physiological Laboratory Science, Laboratory(Ⅰ) 【科目責任者】星治						
主な講義場所 保健衛生学実習室(3号館7階), 検査実習室2(3号館8階)Zoom 講義						
授業の目的、概要等 生理学は人体の各構成要素の機能がどのようなメカニズムで発現し, 全体として統合されているかを, 追求する学問である。生理検査学(Ⅰ)はその内容の講義・実習を行うものである。						
授業の到達目標 人体の各構成要素の機能の基本的事項を解剖学の知識を基盤に理解することを目指す。正常な人体の機能を理解することは, 疾病による人体の機能の変化を理解する上でも検査技術学を修得する上でも重要なことである。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	6/3	14:00-17:10	保健衛生学実習室 遠隔授業(非同期型)	確認テスト	実習到達目標確認テスト	藤代 瞳 星 治
3	6/3	17:20-18:50	遠隔授業(非同期型)	生理検査学	生理検査学導入	藤代 瞳 星 治
4	6/8	16:20-17:50	検査学実習室 3, 遠隔授業(非同期型)	生理検査学各論	血圧脈波検査(CAVI/ABI)	藤代 瞳 星 治
5-7	6/10	14:00-18:50	検査学実習室 3, 遠隔授業(非同期型)	循環器系の機能	心電図の測定と解析	藤代 瞳 星 治
8	6/15	16:20-17:50	検査学実習室 3, 遠隔授業(非同期型)	腹部内臓の機能検査Ⅰ 循環器系の機能検査Ⅰ	腹部内臓の生理学的検査Ⅰ(腹部超音波) 頸部の超音波検査Ⅰ(頸動脈エコー検査)	藤代 瞳 星 治
9	6/17	16:20-17:50	遠隔授業(非同期型)	生理検査学各論	栄養と代謝の生理(糖尿病教室)	藤代 瞳 星 治
10	6/22	16:20-17:50	検査学実習室 3, 遠隔授業(非同期型)	腹部内臓の機能検査Ⅱ 循環器系の機能検査Ⅱ	腹部内臓の生理学的検査Ⅱ(腹部超音波) 頸部の超音波検査Ⅱ(頸動脈エコー検査)	藤代 瞳 星 治
11-13	6/24	13:00-17:50	遠隔授業(同期型)	腹部内臓の血管 呼吸 機能検査	腹部内臓の血管の模型作成 呼吸機能検査 法	藤代 瞳 星 治
14-16	6/27	13:00-17:50	検査学実習室 3, 遠隔授業(非同期型)	腹部内臓の機能検査Ⅲ 循環器系の機能検査Ⅲ	腹部内臓の生理学的検査Ⅲ(腹部超音波) 頸部の超音波検査Ⅲ(頸動脈エコー検査)	藤代 瞳 星 治
17-18	7/1	13:00-16:10	検査学実習室 3, 遠隔授業(非同期型)	腹部内臓の機能検査Ⅳ 循環器系の機能検査Ⅳ	腹部内臓の生理学的検査Ⅳ(腹部超音波) 頸部の超音波検査Ⅳ(頸動脈エコー検査)	藤代 瞳 星 治
授業内容 2年次前期に行う。講義で学習した生体のメカニズムに関する基本的事項について, 実習を通じて理解することを目指す。						
成績評価の方法 出席状況(10%)実習課題に対するレポートの評価(90%)により, 総合的に判定を行う。(例えば, 全出席で 1 割満点(10 点)、レポート評価が 60 点の場合、9 割×60 点=54 点で、総合点は 64 点となる。)						
成績評価の基準 総合評価が 100 点満点で 60 点以上を合格とする。						
準備学習等についての具体的な指示 事前に配布する実習書に関連した内容について十分な予習を行う。						
試験の受験資格 授業時間数の 4 分の 3 以上出席した場合に、この科目の評価を受ける資格がある。						

教科書 貴巴富久子、根来英雄:シンプル生理学, 南江堂
参考書 本郷利憲, 廣重力, 豊田順一, 熊田衛 編集:標準生理学, 医学書院
他科目との関連 人体の構造を理解し, それらのさまざまな機能の基本的事項を理解するのが生理検査学(Ⅰ)である。生理検査学(Ⅰ)は人体構造学と表裏一体をなすとともに, 生理検査学(Ⅱ)に連続するものである。また, 薬理学, 生化学, 臨床病態学とも密接な関係がある。
履修上の注意事項 必ず白衣を着用し, 担当教員の指示に従うこと。
連絡先(メールアドレス) 星 治: o-hoshi.aps@tmd.ac.jp 藤代 瞳: fujishiro.aps@tmd.ac.jp
オフィスアワー 星 治: オフィスアワーは特に定めない。事前にメールで連絡を。 湯島キャンパス3号館16階

時間割番号	013050A						
科目名	生理検査学実習(Ⅱ)				科目ID	MT-252800-E	
担当教員	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司[SUMI YUKI, KAKINUMA SEI, AKAZA MIHO, YAMAGUCHI Junji]						
開講時期	2022 年度通年	対象年次	2		単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名:Physiological Laboratory Science, Laboratory(Ⅱ)							
【科目責任者】角 勇樹							
主な講義場所							
同期型(zoom)、非同期型(zoom)、保健衛生学講義室5(3号館7階)、保健衛生学講義室 3(3号館 8 階)、8F 実習室 3(生理検査学実習室)、スキルスラボ(MD タワー地下 1 階)などで行う							
授業の目的、概要等							
生理検査用機器を駆使して被検者からいろいろな生理的情報を取得・解析し、そのデータを疾病の診断・治療に役立たせる生理検査学を学ぶ。生理検査に携わる検査技師には機器の操作、生体現象の記録、データの整理・解析のみならず、疾病に対しての医学的知識が要求され、疾患に対しての理解を深める。							
授業の到達目標							
各種生理検査法における原理の習得し適応について理解、測定結果の解釈ができるようになる。							
検査を受ける患者の心理、検体採取、急変時の対応など患者と接する際に必要な知識、技能、態度を身につける。							
電気機器に接することが多いので、機器障害への迅速な対応や安全対策、正しい結果が得られない場合のトラブルシューティングも学ぶ。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/13	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	生理検査学実習Ⅱ	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、神経伝導検査、など	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	小グループのローテーション 個々の具体的日程は Webclass を参照すること
2	9/15	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	生理検査学実習Ⅱ	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、神経伝導検査、など	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	小グループのローテーション 個々の具体的日程は Webclass を参照すること
3	9/20	10:30-12:00	検査学実習室 3	生理検査学実習Ⅱ	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、神経伝導検査、など	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	小グループのローテーション 個々の具体的日程は Webclass を参照すること
4	9/27	10:30-12:00	検査学実習室 3	生理検査学実習Ⅱ	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、神経伝導検査、など	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	小グループのローテーション 個々の具体的日程は Webclass を参照すること
5	10/7	10:30-12:00	検査学実習室 3	生理検査学実習Ⅱ	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、神経伝導検査、など	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	小グループのローテーション 個々の具体的日程は Webclass を参照すること
6-7	10/14	08:50-12:00	検査学実習室 3	生理検査学実習Ⅱ	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、神経伝導検査、など	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	小グループのローテーション 個々の具体的日程は Webclass を参照すること
8	10/21	10:30-12:00	検査学実習室 3	生理検査学実習Ⅱ	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	小グループのローテーション 個々の具体的日

					波、神経伝導検査、など		程は Webclass を参照すること
9	10/28	10:30-12:00	検査学実習室3	生理検査学実習Ⅱ	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、神経伝導検査、など	角 勇樹、柿沼 晴、赤座 実穂、山口 純司	小グループのローテーション 個々の具体的日程は Webclass を参照すること
10	11/4	10:30-12:00	検査学実習室3	生理検査学実習Ⅱ	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、神経伝導検査、など	角 勇樹、柿沼 晴、赤座 実穂、山口 純司	小グループのローテーション 個々の具体的日程は Webclass を参照すること
11	11/11	10:30-12:00	検査学実習室3	生理検査学実習Ⅱ	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、神経伝導検査、など	角 勇樹、柿沼 晴、赤座 実穂、山口 純司	小グループのローテーション 個々の具体的日程は Webclass を参照すること
12	11/18	10:30-12:00	検査学実習室3	生理検査学実習Ⅱ	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、神経伝導検査、など	角 勇樹、柿沼 晴、赤座 実穂、山口 純司	小グループのローテーション 個々の具体的日程は Webclass を参照すること
13	11/25	10:30-12:00	検査学実習室3	生理検査学実習Ⅱ	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、神経伝導検査、など	角 勇樹、柿沼 晴、赤座 実穂、山口 純司	小グループのローテーション 個々の具体的日程は Webclass を参照すること
14	12/2	10:30-12:00	検査学実習室3	生理検査学実習Ⅱ	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、神経伝導検査、など	角 勇樹、柿沼 晴、赤座 実穂、山口 純司	小グループのローテーション 個々の具体的日程は Webclass を参照すること
15	12/9	10:30-12:00	検査学実習室3	生理検査学実習Ⅱ	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、神経伝導検査、など	角 勇樹、柿沼 晴、赤座 実穂、山口 純司	小グループのローテーション 個々の具体的日程は Webclass を参照すること
16	12/16	10:30-12:00	検査学実習室3	生理検査学実習Ⅱ	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、神経伝導検査、など	角 勇樹、柿沼 晴、赤座 実穂、山口 純司	小グループのローテーション 個々の具体的日程は Webclass を参照すること
17	1/6	10:30-12:00	検査学実習室3	生理検査学実習Ⅱ	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、神経伝導検査、など	角 勇樹、柿沼 晴、赤座 実穂、山口 純司	小グループのローテーション 個々の具体的日程は Webclass を参照すること
18	1/13	08:50-10:20	検査学実習室3	生理検査学実習Ⅱ	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、神経伝導検査、など	角 勇樹、柿沼 晴、赤座 実穂、山口 純司	小グループのローテーション 個々の具体的日程は Webclass を参照すること
19	1/13	10:30-12:00	検査学実習室3	生理検査学実習Ⅱ	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、神経伝導検査、など	角 勇樹、柿沼 晴、赤座 実穂、山口 純司	小グループのローテーション 個々の具体的日程は Webclass を参照すること

授業方法

実習、演習(アクティブラーニングを含む)。少人数による班別に予定が組まれるので、個々の具体的時間割は Webclass を参照すること。

授業内容 臨床生理検査学の内容は多岐にわたる。循環器系検査, 呼吸器系検査, 神経・筋機能検査, 超音波検査, MRI, サーモグラフィー, 無散瞳眼底検査, 平衡機能検査(眼振電図検査, 重心動揺検査)など生理検査学について学ぶ。また患者からの検体採取法, 検査を受ける患者の心理, 急変時の対応など患者と直接関連する臨床的事項を全てカバーする。講義とは有機的に結合している。
成績評価の方法 授業中に行う演習、レポート提出、実習試験、筆記試験にて知識・理解の達成度を評価する。講義中の態度も評価の対象とする。
成績評価の基準 実技試験を行い、実践能力を評価する。実技試験に合格しないものには単位を認定しない。 出席規定を満たし、実技試験に合格したものについて、試験の受験資格を認め、定期試験ではマルチプルチョイス形式の筆記試験を行い、それを評価の中心として成績を評価する。 定期試験で60点以上の者に単位を認定する。
準備学習等についての具体的な指示 臨床生理検査学は人を対象とする検査であり、コミュニケーション能力に加え、人と接する上での最低限の礼儀・倫理感が必要とされる。受講態度にも留意すること。
試験の受験資格 基本的には実習全出席（参加しないと理解できない。百聞は一見にしかず。）
教科書 呼吸機能検査技術教本／一般社団法人日本臨床衛生検査技師会／監：株式会社じほう 生理機能検査学／大久保善朗 [ほか] 著 大久保 善朗：医歯薬出版, 2010
参考書 各担当講師が Webclass に資料を upload する場合がある。
他科目との関連 解剖学, 生理検査学 I, 医学概論, 総合講義, 臨床病態学, 医用機器・工学, 心臓生理学などと関連。
履修上の注意事項 少人数制とし、班分けをして各実習項目をローテーションする。 個人個人の詳細な割り当ておよび日程は Webclass に掲載する。
備考 実習と講義は有機的に結合していて、厳密な分離は困難である。 実習は百聞に一見はしかずの学習が行え、一期一会であるので全出席が前提である。遅れずに出席すること。 理論は講義で身につけるが、特に演習やクルズスは教科書では学べない学習を行うので全出席が前提である。
参照ホームページ 生理検査は人を対象とした動的な検査であり、各種ホームページにて動画や図表、イラストを参照すると理解が進む場合がある。
連絡先(メールアドレス) 角 勇樹:ysumi.pulm@tmd.ac.jp 柿沼 晴:skakinuma.gast@tmd.ac.jp
オフィスアワー 角 勇樹:毎週 月-金 曜日 AM.9:00-PM.17:00 3号館 16 階 呼吸器・神経系解析学教授室 (来室の前にメールで予約してください) 柿沼 晴:毎週 月曜または金曜日 9:00-17:00 3号館 16 階 疾患生理機能解析学分野教授室 (来室前にメールで予約すること)

時間割番号	013015					
科目名	病原体検査学実習(Ⅰ)			科目ID	MT-251700-E	
担当教員	石野 智子, 熊谷 貴, 新澤 直明[ISHINO Tomoko, KUMAGAI TAKASHI, SHINNZAWA Naoaki]					
開講時期	2022 年度後期	対象年次	2	単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する					
英文名: microbiology, Laboratory(Ⅰ)						
【科目責任者】齋藤 良一						
主な講義場所						
同期型遠隔授業(zoom)						
対面講義: 講義室4(3号館7階)						
対面実習: 保健衛生学科実習室(3号館7階)						
授業の目的、概要等						
病原体検査学(Ⅰ)は、医学部のカリキュラムでは医動物学と呼ばれている分野である。ここでは、人体に寄生して直接病害を起こす動物や、感染症などを媒介する動物とヒトの関わり合いについて講義・実習を行う。ヒトに病害を与える動物には、原生動物から脊椎動物まで、全ての動物群が含まれる。これらを大きく分けると、人体内部に寄生して病害を与える動物を扱う寄生虫学とよばれる分野と、ヒトの体表に寄生して病原体を媒介したり、咬傷や刺傷を与えたりする動物を研究する衛生動物学とよばれる分野がある。						
授業の到達目標						
扱う動物の種類が全ての動物群にわたり非常に広いため、講義で取り上げるものは現在国内で問題になっている寄生虫や疾病媒介動物を中心に講義と実習を行う。この他、熱帯地域の発展途上国で未だ多くの人々を苦しめている熱帯病や海外旅行者が感染する可能性のある輸入寄生虫症の問題についても講義する。						
これらの寄生虫や衛生害虫の発育史、感染経路などをよく理解し、国際社会においても貢献しうる人材を養成することを目標のひとつとしている。						
講義						
・線虫類によって起きる病気について理解する。						
・食品媒介吸虫症及び輸入吸虫症について理解する。						
・消化管寄生原虫類によって起きる病気について理解する。						
・組織寄生条虫類によって起きる病気について理解する。						
・熱帯輸入原虫症によって起きる病気について理解する。						
アクティブラーニング(実習)						
・線虫類の寄生虫の虫卵、成虫の形態を習得する。						
・吸虫類及び条虫類の成虫、虫卵の形態を習得する。						
・消化管寄生原虫類の形態を習得する。						
・マラリア原虫の同定を習得する。						
・組織寄生原虫の形態を習得する。						
・糞便検査法について習得する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/21	08:50-10:20	保健衛生学科講義室4	【講義】医動物学総論	医動物学総論を理解し、寄生虫学・衛生動物学の基本について理解する。また、国際的な寄生虫感染症の動向についても理解する。	石野 智子
2-4	9/22	13:00-17:50	遠隔授業(同期型)	【講義】線虫類によって起きる病気	消化管寄生線虫類によって起きる病気について説明する。また、幼虫移行症の原因となる動物由来線虫類によって起きる疾患について説明する。	石野 智子
5	9/30	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	【講義】吸虫類によって引き起こされる病気	食品媒介吸虫症及び輸入吸虫症について説明する。	石野 智子
6	9/30	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	【講義】条虫類によって起きる病気	消化管寄生条虫類について説明する。	新澤 直明

7	9/30	16:20-17:50	保健衛生学 科講義室 4	【講義】消化管寄生原虫類 によって起きる病気	消化管寄生原虫について説明する。	新澤 直明
8-10	10/7	13:00-17:50	保健衛生学 科講義室 4	【講義】組織寄生原虫類に よって起きる病気及び医 学上重要な衛生動物学	組織寄生原虫類について説明する。また、疾患を媒 介する衛生動物について、説明する。	新澤 直明
11-13	10/21	13:00-17:50	保健衛生学 実習室	【遠隔実習】線虫類	線虫類の寄生虫の虫卵、成虫を観察する。	熊谷 貴
14-16	10/28	13:00-17:50	保健衛生学 実習室	【遠隔実習】吸虫類及び条 虫類	吸虫類及び条虫類の成虫、虫卵を観察する。	熊谷 貴
17-19	11/4	13:00-17:50	保健衛生学 実習室	【対面実習】寄生原虫類に よる病気、糞便検査法	マラリアやトリパノソーマ、リーシュマニアなどの熱 帯輸入原虫症を観察する。糞便検査の実技を行う。	熊谷 貴

授業方法

講義は、対面型と同期型遠隔授業にて行う。各単元毎に説明を行い質疑応答に答える。

アクティブラーニングとして行う実習は、対面での顕微鏡観察と糞便検査実技を行い、ヴァーチャルスライドでの予習・復習を組み合わせた形で実施する。対面実習中は常時質問等を受けながら説明を行う。対面講義・実習では、マスクを着用し、十分なスペースを確保して着席し、講義実習中の私語は慎むようにする。また講義実習中の飲食は不可とする。

授業内容

各回の講義の資料をあらかじめ提示しておくので予習しておくこと。その対象となる寄生虫に関する生物学、臨床的側面、社会医学的側面などについて総合的に解説を行う。

実習は、事前に実習書を提示するので予習を行うこと。対面実習では、実際に顕微鏡による観察を行いスケッチする。また、糞便検査の実技も同時に行う。レポートはスケッチを元に、実習後に提出を行う。実習の予習・復習やスケッチのためにヴァーチャルスライドを導入する。

成績評価の方法

次の2つの項目で評価を行う。

- (1) 記述試験: 80%: 講義全般のうち、重要事項について国家試験問題に模して選択形式で行われる。10%は必ず、英文により出題される。
- (2) レポート: 20%: 実習レポートの5段階評価により判定する。

成績評価の基準

「成績評価の方法」に示す各項目の成績の合計により評価を行う。試験等により到達目標に達しているかを評価し、60%以上の到達が確認された場合を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

1. 講義は予め WebClass で配布される講義資料を熟読の上、出席する。講義はそれを前提に進める。
2. 実習には白衣を着用し、授業開始前に顕微鏡を実習テーブルに準備しておくこと。
3. スケッチは B5 版スケッチブック(ケント紙)(推奨)を用意し、2B 鉛筆及び色鉛筆を準備する。

試験の受験資格

3/4 以上の講義出席をもって受験資格とする。同期型遠隔講義に関しては、出席管理は zoom のアクセス時間により行う。30 分以上経過してのアクセスは欠席とみなす。

実習は3回しか行わないために、理由なき欠席は筆記試験の受験資格を与えない。

参考書

医動物学／平山謙二著, 平山 謙二, : 医歯薬出版, 2016

寄生虫学テキスト／上村清, 井関基弘, 木村英作, 福本宗嗣 著, : 文光堂, 2008

医動物学／吉田幸雄, 有蘭直樹, 山田稔著, 吉田, 幸雄, 有蘭, 直樹, 山田, 稔(農学・医学), : 南山堂, 2018

他科目との関連

寄生虫は、あらゆる組織、細胞などに寄生するため、その検査方法や原因の究明には他の多くの教科の知識を必要とする。例えば、動物については、分類学、生態学、生理学などと密接に関連する。寄生を受ける人体側については、解剖学、組織学、病理学はもとより、血清学、血液学などの知識も必要とする。また、人の生活に関連して公衆衛生学との関連も深い。

履修上の注意事項

受講上の注意: 講義のみでは寄生虫や衛生動物について十分に理解することが困難であるため、実物標本やスライド写真を供覧して解説を行う。講義回数が限られているので毎回出席することが大切である。

備考 実習では感染性病原体を扱うこともあるので白衣は必ず持参すること、B5 版スケッチブック(1枚ずつ切り離せる形式のもの)と色鉛筆および鉛筆(2B)を持参すること。2021 年度からヴァーチャルスライドによる同期型遠隔授業と対面実習のハイブリット型を採用しているが、対面での実習の希望を受けて、2022 年度から対面実習の機会を増やしている。
連絡先(メールアドレス) 石野 智子:tishino.vip@tmd.ac.jp 熊谷 貴:tkuma.vip@tmd.ac.jp
オフィスアワー 熊谷 貴:随時(必ず事前に連絡を入れること)

時間割番号	013053A				
科目名	免疫検査学講義			科目 ID	MT-232900-L
担当教員	田中 ゆきえ, 齋藤 良一[TANAKA Yukie, SAITO RYOICHI]				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	2	単位数	4
実務経験のある教員による授業	該当する				
英文名: Clinical Immunology, Lecture					
【科目責任者】 田中 ゆきえ					
主な講義場所					
対面授業: 時間割で示された場所					
遠隔授業(同期・非同期): Zoom					
授業の目的、概要等					
免疫検査学は免疫学的手法を臨床検査に応用する学問である。ほとんどあらゆる疾患における臨床検査に免疫学的手法は利用されており、その原理や意義について学ぶ。輸血や臓器移植に必須である輸血検査学についても学ぶ。また、自己免疫疾患、免疫不全症、感染症、悪性腫瘍など、免疫機能の異常が直接的に関わる疾患については、それらの病態についても理解する。しかし、臨床検査法は年々改良されて、より優れた方法に代わられている。そのような変化に対応するため、また自ら新しい検査法の開発を目指す研究に取り組むために、最も大切なことは免疫学の基本をしっかり学んで応用力を養うことである。					
授業の到達目標					
1. 自然免疫と獲得免疫のそれぞれについて、構成要素と機能を説明できる。					
2. 自然免疫と獲得免疫の違い、および相互作用について説明できる。					
3. 免疫担当細胞の種類とそれぞれの機能について説明できる。					
4. 中枢リンパ組織と末梢リンパ組織の構造と機能を説明できる。					
5. リンパ節と脾臓の構造を図示し、どの部位でどのような機能が営まれているか説明できる。					
6. MHC 分子の構造と機能について図示して説明できる。					
7. MHC 分子の多型とその免疫学的意義について説明できる。					
8. IgG の基本構造を図示し、各部位の機能を説明できる。					
9. 免疫グロブリンの各クラスの構造、機能、およその血中濃度について説明できる。					
10. B 細胞が多様な特異性をもつ抗体を産生できる機序について説明できる。					
11. T 細胞が多様な特異性をもつ抗原レセプターを産生できる機序について説明できる。					
12. モノクローナル抗体の作製法の原理を説明できる。					
13. T 細胞レセプターについて、構造、機能、共刺激分子との関係等を説明できる。					
14. TH1 細胞と TH2 細胞が産生するサイトカインと機能について説明できる。					
15. 主なサイトカインの機能について説明できる。					
16. B 細胞と T 細胞の相互作用について図示して説明できる。					
17. 感染巣に病原体に特異的なリンパ球が集集するメカニズムを説明できる。					
18. 一次免疫応答と二次免疫応答について説明できる。					
19. 補体系の経路と機能について説明できる。					
20. 自然免疫および獲得免疫における自己寛容のしくみについて説明できる。					
21. 梅毒の主な検査法と結果の解釈について説明できる。					
22. 急性 A 型肝炎の経過における血清学的検査結果の推移を図示して説明できる。					
23. 急性 B 型肝炎の経過における血清学的検査結果の推移を図示して説明できる。					
24. B 型肝炎ウイルスキャリアーの血清学的検査結果の推移を図示して説明できる。					
25. M 蛋白の原因疾患、検出方法、性質について説明できる。					
26. 主な腫瘍マーカーを、陽性率の高い腫瘍の例とともに列挙できる。					
27. アレルギーのメカニズムと代表的病態について説明できる。					
28. 全身性エリテマトーデスと関節リウマチのそれぞれについて、よくみられる検査所見を列挙できる。					
29. 組織特異的自己免疫疾患を、よくみられる自己抗体とともに列挙できる。					
30. 全身性自己免疫疾患を、よくみられる自己抗体とともに列挙できる。					

授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	11/1	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	免疫検査学	概論	田中 ゆきえ
2	11/8	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	免疫検査学	輸血療法とは、輸血用血液製剤の種類と特性	梶原 道子
3	11/15	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	免疫検査学	輸血の適応と製剤の選択	梶原 道子
4	11/22	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	免疫検査学	輸血前に必要な検査	梶原 道子
5	11/25	14:00-15:30	遠隔授業(同期型)	免疫検査学		田中 ゆきえ
6	11/29	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	免疫検査学	血液型とその検査	梶原 道子
7	12/1	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4, 遠隔授業(同期型)	免疫検査学	免疫系の構成要素、自然免疫	長谷川 温彦
8	12/1	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 4, 遠隔授業(同期型)	免疫検査学	獲得免疫における抗原の補足と提示、獲得免疫における抗原の認識	長谷川 温彦
9	12/2	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4, 遠隔授業(同期型)	免疫検査学	獲得免疫における抗原の認識、細胞性免疫	長谷川 温彦
10	12/2	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 4, 遠隔授業(同期型)	免疫検査学	獲得免疫における液性免疫、免疫寛容	長谷川 温彦
11	12/6	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	免疫検査学	赤血球抗体検査, 交差適合試験	梶原 道子
12	12/8	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2, 遠隔授業(同期型)	免疫検査学	感染症	齋藤 良一
13	12/8	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 2, 遠隔授業(同期型)	免疫検査学	組織特異的自己免疫疾患	田中 ゆきえ
14	12/9	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2, 遠隔授業(同期型)	免疫検査学	腫瘍性疾患, アレルギー	田中 ゆきえ
15	12/9	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 2, 遠隔授業(同期型)	免疫検査学	全身性自己免疫疾患	田中 ゆきえ
16	12/13	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	免疫検査学	自己免疫性溶血性貧血と自己抗体, 輸血副作用, 自己血輸血	梶原 道子
17	12/15	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2, 遠隔授業(同期型)	免疫検査学	免疫不全症	田中 ゆきえ
18	12/15	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 2, 遠隔授業(同期型)	免疫検査学	免疫学的検査の原理(1)	田中 ゆきえ
19	12/16	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2, 遠隔授業(同期型)	免疫検査学	免疫学的検査の原理(2)	田中 ゆきえ
20	12/16	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 2, 遠隔授業(同期型)	免疫検査学	免疫学的検査の原理(3)	田中 ゆきえ
21	12/20	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	免疫検査学	血液型不適合妊娠と新生児溶血性疾患, HLA 検査	梶原 道子
22	1/5	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2, 遠隔授業(同期型)	免疫検査学	免疫学的検査の実際(1)	田中 ゆきえ
23	1/5	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 2, 遠隔授業(同期型)	免疫検査学	免疫学的検査の実際(2)	田中 ゆきえ
24	1/6	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2, 遠隔授業(同期型)	免疫検査学	免疫学的検査の実際(3)	田中 ゆきえ
25	1/6	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 2, 遠隔授業(同期型)	免疫検査学	免疫学的検査の実際(4)	田中 ゆきえ
26	1/10	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	免疫検査学	血小板抗原, 顆粒球抗原, 移植	梶原 道子
27	1/12	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2, 遠隔授業(同期型)	免疫検査学		田中 ゆきえ
28	1/12	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 2, 遠隔授業(同期型)	免疫検査学		田中 ゆきえ

29	1/13	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2 遠隔授業(同期型)	免疫検査学	田中 ゆきえ
30	1/13	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 2 遠隔授業(同期型)	免疫検査学	田中 ゆきえ
授業方法 対面授業・遠隔授業(同期型):WebClass で事前配布した資料をもとに講義し、質疑応答やグループ討論を行う。 遠隔授業(非同期型):WebClass で配布された資料を視聴後、提示された課題を期限内に提出する。					
授業内容 「授業スケジュール」参照					
成績評価の方法 定期試験成績(85 点)、小テスト・課題内容(10 点)および授業態度(5 点)により総合的評価(100 点満点)を行う。定期試験は多肢選択問題で構成され、基本的な専門用語を英語で示す問題も一部に含まれる。					
成績評価の基準 「成績評価の方法」に示した項目の合計が 60 点以上の場合を合格とする。					
準備学習等についての具体的な指示 教科書に沿って進めるので、毎回予習と復習をし、分からない点は質問して下さい。					
試験の受験資格 本学の試験規則を満たす者。但し、出席管理は以下のように行う。 ・遠隔授業(同期型):zoom のアクセス時間と講義中に行う小テストや質疑応答等により判断する。講義開始 30 分以上経過後のアクセスは欠席とみなす。 ・遠隔授業(非同期型):動画視聴後に提示された課題を期限内に提出した場合、出席とする。 ・対面授業:出席管理システム(カードタッチ)で判断する。講義開始 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。					
教科書 免疫検査学／窪田哲朗 [ほか] 編集,窪田, 哲朗,藤田, 清貴,細井, 英司,梶原, 道子,:医歯薬出版, 2020					
参考書 Cellular and Molecular Immunology／Abbas A K, et al.:Elsevier, 2018					
履修上の注意事項 毎回出席することが大切である。また講義内容の復習や講義で詳しく触れなかった事項も自主学習し、單元ごとに知識の定着を図って欲しい。講義・実習に関わる資料は全て著作物であり、著作権の関係上、外部に流出することの無いように十分気を付けること。					
備考 前年度の授業評価結果を踏まえ、今年度も引き続き丁寧に指導・教育できる体制を整える。					
連絡先(メールアドレス) 田中 ゆきえ:yutanaka.rcc@tmd.ac.jp 齋藤 良一:r-saito.mi@tmd.ac.jp					
オフィスアワー 田中 ゆきえ:随時(必ず事前に連絡を入れる) 齋藤 良一:随時(必ず事前に連絡を入れること)					

時間割番号	013016						
科目名	遺伝子・染色体検査学講義			科目ID	MT-231800-L		
担当教員	鈴木 喜晴[SUZUKI NOBUHARU]						
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2	単位数	2		
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名:Medical Genetics and Human Genome Science, Lecture							
【科目責任者】鈴木喜晴							
主な講義場所							
遠隔授業(同期型)							
授業の目的、概要等							
近年のゲノムサイエンスの進歩に伴い、疾患を遺伝子レベルで理解し、診断・治療を行うことが常用化されて来ている。本講義では、遺伝子・染色体レベルでの分子遺伝学の基礎を学び、変異等によって正常な機能が障害されることによる疾患の分子メカニズムを理解する。さらに遺伝子や染色体の解析技術を学び、疾患ごとの検査法を学習する。また、遺伝子の発現や機能に関わる最新の基礎研究にも触れ、当該研究分野の現状を学ぶ。さらに、英語による解説ビデオ等から、当該分野における国際的な重要性についても理解を深める。アクティブラーニングとして、各回の終わりに演習問題を行い習得度を確認する。							
授業の到達目標							
国家試験に対応できる基礎知識の習得をする。さらに関連分野での基礎研究や臨床研究に応用できる実践的な知識も身につける。各回での目標は以下の通りである。							
1回目:ゲノムについて理解する。新型コロナウイルス検査をはじめとする感染症の遺伝子検査を理解する。							
2回目:遺伝子の基礎を理解する。							
3回目:染色体の基礎を理解する。							
5回目:臨床遺伝学について学ぶ。							
6回目:造血器腫瘍と先天異常を理解・整理する。							
7回目:分子病理学的診断と標的治療について理解する。遺伝子多型について学ぶ。							
8回目:遺伝子検査法(遺伝子検査の種類、検体の取扱い、核酸抽出、核酸の電気泳動)を理解・整理する。							
9回目:遺伝子検査法(核酸増幅)を理解する。							
10回目:遺伝子検査法(遺伝子検査の解析法)について学ぶ。							
11回目:染色体検査法(細胞培養法、標本作成法、分染法)を理解・整理する。							
14回目:染色体検査法(核型分析、FISH 法、検出機器)について理解する。							
15回目:倫理や品質保証認証について理解する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/6	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	1. ゲノム／2. 感染症の遺伝子検査	1. ゲノムとは;ゲノム医療;先端技術の概要;データベースの種類と検索法／2. 検査の種類;検査の方法(PCRによる生菌検出法);新型コロナウイルス検査	鈴木 喜晴	演習問題や口頭での設問、考え問う等のアクティブラーニングも活用する。
2	4/13	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	3. 遺伝子の基礎	3. 核酸の構造;遺伝子の構造;DNAの複製と修復機構;遺伝子の発現と制御;蛋白質のプロセシング;ノンコーディングRNA;遺伝子変異・修飾と多型;エピジェネティクス;癌;遺伝子治療;ファーマコゲノミクス	鈴木 喜晴	演習問題や口頭での設問、考え問う等のアクティブラーニングも活用する。
3	4/20	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	4. 染色体の基礎	4. 染色体の構造;染色体の構成;細胞周期と遺伝子染色体;	鈴木 喜晴	演習問題や口頭での設問、考え問う等のアクティブラーニン

					細胞分裂;配偶子から受精・着床		グモ活用する。
4	5/9	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	5. 臨床遺伝学	5. メンデル遺伝;非メンデル遺伝;染色体異常の発生機序	鈴木 喜晴	演習問題や口頭での設問、考え問う等のアクティブラーニングも活用する。
5	5/11	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	6. 造血器腫瘍 ／7. 先天異常	6. WHO 分類;分子標的薬;リンパ球の分化と遺伝子再構成 7. 染色体異常症候群	鈴木 喜晴	演習問題や口頭での設問、考え問う等のアクティブラーニングも活用する。
6	5/18	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	8. 分子病理学的診断と標的治療／9. 遺伝子多型	8. 病型分類と遺伝子染色体変異;治療薬選択に関わる遺伝子検査;家族性腫瘍／9. 遺伝子多型解析の意義;多型の種類と検出法	鈴木 喜晴	演習問題や口頭での設問、考え問う等のアクティブラーニングも活用する。
7	6/6	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	10-1. 遺伝子検査法 1	10-1. 遺伝子関連検査の種類;検体の取扱い;遺伝子検査に必要なもの;核酸抽出;核酸の電気泳動	鈴木 喜晴	演習問題や口頭での設問、考え問う等のアクティブラーニングも活用する。
8	6/13	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	10-2. 遺伝子検査法 2	10-2. 核酸増幅	鈴木 喜晴	演習問題や口頭での設問、考え問う等のアクティブラーニングも活用する。
9	6/16	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	10-3. 遺伝子検査法 3	10-3. 解析	鈴木 喜晴	演習問題や口頭での設問、考え問う等のアクティブラーニングも活用する。
10	6/23	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	11-1. 染色体検査法 1	11-1. 細胞培養法;標本作成法;分染法	鈴木 喜晴	演習問題や口頭での設問、考え問う等のアクティブラーニングも活用する。
11	6/28	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	11-2. 染色体検査法 2	11-2. 核型分析;蛍光 in situ ハイブリダイゼーション法;FISH 法;検出機器	鈴木 喜晴	演習問題や口頭での設問、考え問う等のアクティブラーニングも活用する。
12	7/4	13:00-14:30	遠隔授業 (非同期型)	演習問題	演習問題	鈴木 喜晴	
13	7/5	13:00-14:30	遠隔授業 (非同期型)	演習問題	演習問題	鈴木 喜晴	
14	7/7	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	12. 倫理／13. 品質保証認証 ／演習問題解説	12. 遺伝倫理;インフォームド・コンセント／13. 遺伝子関連検査の品質保証;染色体検査の品質保証／演習問題解説	鈴木 喜晴	演習問題や口頭での設問、考え問う等のアクティブラーニングも活用する。
15	7/8	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	予備	予備	鈴木 喜晴	

授業方法

同期授業:講義スライドや資料、ビデオを用いて解説しながら進める。本講義は主に教科書1「遺伝子・染色体検査技術教本」の図表を用いて、教科書1と2「臨床検査学講座 遺伝子・染色体検査学」の内容に沿って解説して行く。アクティブラーニングとして、各回の終わりに演習問題を行い理解度を確認する。その他講義内容に応じて、口頭での設問や考えを問う等のアクティブラーニングも活用する。

授業内容

授業スケジュールを参照

成績評価の方法

1) 学期末試験の成績

2) 講義中の章末演習問題の成績
3) 出席状況
成績評価の基準 同期型講義(zoom)の合計回数の3分の2以上の出席を必要とする。 各回演習問題: 3問中2問以上正解で2点(1問正解で1点) × 12回=24点(12点) 出席点: 同期型授業の出席1回で0.5点 × 12=6点 期末筆記試験(本試験): 70点 合計: 100点 * 期末試験後、平均点、最高点、最低点を考慮して、点数配分に多少の変更があり得る。 上記に従い、60点以上で合格とする。60点未満の場合、再試験(筆記試験)を行い、60点以上で合格とする。学期末試験には英語の問題を10%程度出題する。
準備学習等についての具体的な指示 毎回講義の前にWebClassから講義資料をダウンロードし、参考書等も利用して準備学習を行うこと。本講義は主に教科書1「遺伝子・染色体検査技術教本」の図表を用いて、教科書1と2「臨床検査学講座 遺伝子・染色体検査学」の内容に沿って解説して行く。各自の学習目的(例: 国家試験対策等)や学習方法に合わせて、自主学習用の教科書を選択すること。
試験の受験資格 前期末に筆記試験を行う。試験の受験資格は、同期型講義(zoom)の合計回数の3分の2以上の出席を必要とする。遅刻や早退となる際は、必ず科目責任者にメールで連絡し、理由を説明すること。連絡の無い遅刻や早退は出席回数を0.5回とする。勘案すべき事情があり、受験資格の出席数が足りない場合は、その旨科目責任者にメールで連絡をすること。
教科書 遺伝子・染色体検査技術教本／日本臨床衛生検査技師会 監修、日本臨床衛生検査技師会: 丸善出版, 2019 遺伝子・染色体検査学／東田修二編集、東田 修二: 医歯薬出版, 2021
他科目との関連 分子生物学、生化学、遺伝学、細胞生物学、血液検査学、臨床病態学などに関連する。
履修上の注意事項 講義資料、講義動画、参考資料などは著作権の問題があるので、受講登録者以外に公開することを禁ずる。
備考 各回に演習問題を設けることで、アクティブラーニングと講義の予習を促す点を前年度より改善している。
連絡先(メールアドレス) 鈴木喜晴 nsuzbb@tmd.ac.jp
オフィスアワー 鈴木喜晴 オフィスアワーは特に定めない 3号館 16階

時間割番号	013018					
科目名	医学情報処理演習(Ⅰ)			科目ID	MT-252000-S	
担当教員	伊藤 南[ITO MINAMI]					
開講時期	2022 年度後期	対象年次	2	単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する					
英文名:Principles and Practice of Medical Information Processing(Ⅰ) 【科目責任者】伊藤南						
主な講義場所 図書館情報検索室(M&D タワー4階)						
授業の目的、概要等 臨床検査の精度管理や様々な科学研究において大量のデータを取り扱う機会が増えている。大量のデータを効率的に処理するだけでなく、統計学的な考え方に沿ってデータの意味するところを正しく理解することが求められている。統計検定法はデータ処理の重要な手段であり、データを適切に計算処理して論文やレポート作成に役立てる技術というだけでなく、科学的なデータの解析すべてに通じる。本科目では基本的な統計解析の考え方を学び、表計算ソフトを利用した統計検定の実施方法と、表計算ソフトを有効かつ適切に利用する方法を学ぶ。						
授業の到達目標 1.精度管理における検定の役割について理解し、説明できる。 2.表計算ソフトの基本操作(設定の変更、ファイルの保存、印刷)、表のコピーと貼り付け、データの並べ替えを行える。 3.エクセルのピボットテーブルによる代表値の計算、棒グラフ、散布図、箱ひげ図の作成を行える。 4.エクセルのフリークエンシー関数による度数分布の計算、ヒストグラムの作成を行える。 5.エクセルのマクロを利用して2項分布のシミュレーションを行える。 6.正規分布、パラメトリック検定の考え方を理解し、説明できる。 7.度数分布の差を検定できる(カイニ乗適合度検定)。 8.2群の代表値の差を検定できる(F検定、t検定、U検定)。 9.多群の代表値の差を検定できる(一元配置分散分析)。 10.適切な検定法の選択し、利用できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	11/10	08:50-12:00	情報検索室	医学情報処理演習(Ⅰ)	データを整理する	伊藤 南
3-4	11/17	08:50-12:00	遠隔授業(同期型)	医学情報処理演習(Ⅰ)	データの代表値をみる	伊藤 南
5-6	11/24	08:50-12:00	情報検索室	医学情報処理演習(Ⅰ)	データの分布をみる	伊藤 南
7-8	12/1	08:50-12:00	情報検索室	医学情報処理演習(Ⅰ)	偶然誤差を表す	伊藤 南
9-10	12/8	08:50-12:00	情報検索室	医学情報処理演習(Ⅰ)	度数分布の比較	伊藤 南
11-12	12/15	08:50-12:00	情報検索室	医学情報処理演習(Ⅰ)	2群の平均の比較	伊藤 南
13-14	1/5	08:50-12:00	情報検索室	医学情報処理演習(Ⅰ)	多群の平均の比較	伊藤 南
15	1/12	08:50-10:20	情報検索室	医学情報処理演習(Ⅰ)	まとめ	伊藤 南
授業方法 情報検索室で演習を実施する。配布資料をもとに演習内容を説明する。配布資料は事前に WebClass で公開する。課題は各人が行うものとし、メールにより随時添削指導する。前回演習の内容を範囲として小テストを行う。演習中の質問に加えて、メールによる質問も受ける。コロナ肺炎等の感染症対策は大学の方針に従う。状況により遠隔講義(同期)により実施する。授業方法の変更等がある場合は随時連絡する。						
授業内容 1.精度管理と統計検定～データの比較 オリエンテーション、精度管理と統計検定、表計算ソフトの基本操作(設定の変更、ファイルの保存、印刷)、表のコピーと貼り付け、フィルタ、ソート 2.データの代表値をみる 代表値、ピボットテーブル、棒グラフの作成、エラーバーの表示、散布図の作成、箱ひげ図の作成 3.データの分布をみる						

図の基本デザインと作図の注意、度数分布と確率密度分布、frequency 関数、度数分布図の作成 4.偶然誤差を表す 2 項分布、マクロ、マクロを利用したシミュレーション、累積度数分布の作成 5.度数分布の比較 正規分布、中心極限定理、大数の法則、カイニ乗分布、累積度数分布、パラメトリック検定の考え方(帰無仮説、有意水準、棄却値、検定結果の説明法)、カイニ乗適合度検定 6.2 群の平均の比較 F 分布、t 分布、分析ツールの利用、F 検定、t 検定、U 検定 7.多群の平均の比較 分散分析と多重比較の考え方、一元配置分散分析 8.まとめ 検定方法の選択、統計検定の利用と注意
成績評価の方法 (1)提出課題 (2)小テスト (3)期末試験(総合演習)の成績
成績評価の基準 期末テストでは小テスト形式の問題と演習問題を課す。期末試験の成績(100点満点)に、講義中の小テストの成績(20点以内に換算)を加えて、総合的に評価する。総合成績が60点以上のものを合格とする。総合成績により評点を決める。期末試験が合格に満たないものは再試験を実施し、総合成績が60点以上のものを合格とする。未提出の課題がある場合には総合成績より減点する。
準備学習等についての具体的な指示 ①配布資料は WebClass よりダウンロードできるので、講義前に印刷しておくこと。 ②講義前に、配布資料と教科書の関連範囲に目を通しておくこと(教科書との対応は授業明細の備考欄を参照)。 ③統計検定の方法や手順については事前に確認しておくこと。 ④コンピュータを自分で操作して慣れることが重要である。演習中の実習や提出課題で学んだことをそれ以降の演習ですぐに使えるように復習しておくこと。必ず自分で操作できるように反復練習すること。 ⑤提出された課題について添削指導のコメントを返信するので、必ず課題を修正して再度提出すること。
試験の受験資格 ①演習中に指示した提出課題をすべて提出すること。 ②2/3 以上の出席をもって受験資格とする。遠隔講義の場合は、講義中に行う小テストにより出席確認とする。演習の無断欠席や無断早退が認められた場合には出席の要件を満たさないものとする。特段の理由があると認められる場合には、担当教員より代替法を指示する。
教科書 入門統計学／栗原伸一：オーム社、2011 やさしい保健統計学 = Health statistics made simple／縣俊彦著、県、俊彦、：南江堂、2019
参考書 バイオサイエンスの統計学：正しく活用するための実践理論／市原清志 著、：南江堂、1990 入門医療統計学／森實敏夫：東京図書、2004 統計学図鑑／栗原伸一、丸山敦史 共著、：オーム社、2017 統計学が最強の学問である：データ社会を生き抜くための武器と教養／西内啓 著、：ダイヤモンド社、2013
他科目との関連 医学情報処理演習(Ⅱ)と合わせて、臨床検査や研究に必要な統計検定の方法を一通りカバーする。医用工学は臨床検査学の周辺領域を広くカバーし、臨床検査を支えている。検査管理学、医用システム情報学(Ⅰ)(Ⅱ)、医学情報処理演習(Ⅰ)(Ⅱ)は、医用工学に関わる一連の講義、演習、実習として構成する。個別の検査機器の取り扱いについては生理検査学講義・実習等の教科を参照すること。
履修上の注意事項 ①表計算ソフトはマイクロソフト社の Excel2016 を使用する。 ②演習中に作成したファイルを保存するためのUSBメモリを各自用意する(1GB 程度、医用システム情報学実習(Ⅱ)、医学情報処理演習(Ⅱ)でも使用する)。 ③すでに別の統計学の教科書を持っている場合は、教科書を購入する必要はない。 ④回数が少ないので出席に注意すること。
備考 科目終了後に科目についてのアンケートを WebClass で実施する。

2021 年度の授業評価結果を踏まえ、2022 年度も引き続き、丁寧に指導・教育できる体制を整える。
連絡先(メールアドレス) 伊藤南 minami.bse@tmd.ac.jp、
オフィスアワー 伊藤南 3号棟16階 生体機能支援システム学教授室 随時対応しますので、事前にメール等で連絡して下さい。

時間割番号	013022					
科目名	臨床病態学(Ⅰ)			科目ID	MT-232400-L	
担当教員	角 勇樹, 赤座 実穂[SUMI YUKI, AKAZA MIHO]					
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2	単位数	2	
実務経験のある教員による授業	該当する					
英文名: Clinical Medicine(Ⅰ) 【科目責任者】角 勇樹						
主な講義場所 同期型(zoom)、非同期型(zoom) コロナの感染状況により講義室1や講義室3などで行う場合もある						
授業の目的、概要等 生体における疾患およびその病因・病態について学ぶ、臨床医学入門のための講義である。						
授業の到達目標 最終的に臨床検査にて異常所見を呈する疾患、原因、病態を理解できることを目的としている。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/25	10:30-12:00	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	臨床病態学Ⅰ(1)	内科疾患総論Ⅰ	角 勇樹, 赤座 実穂
2	5/16	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	臨床病態学Ⅰ(2)	内科疾患総論Ⅱ	角 勇樹, 赤座 実穂
3	5/16	13:00-14:30	遠隔授業(非同期型)	臨床病態学Ⅰ(3)	糖尿病内分泌代謝疾患総論	角 勇樹, 赤座 実穂
4	5/23	13:00-14:30	遠隔授業(非同期型)	臨床病態学Ⅰ(4)	外科疾患総論	角 勇樹, 赤座 実穂
5	5/30	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	臨床病態学Ⅰ(5)	消化器内科疾患総論	角 勇樹, 赤座 実穂
6	5/30	13:00-14:30	遠隔授業(非同期型)	臨床病態学Ⅰ(6)	腎疾患総論	角 勇樹, 赤座 実穂
7	6/6	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	臨床病態学Ⅰ(7)	形成外科疾患総論	角 勇樹, 赤座 実穂
8	6/13	13:00-14:30	遠隔授業(非同期型)	臨床病態学Ⅰ(8)	整形外科疾患総論	角 勇樹, 赤座 実穂
9	6/13	14:40-16:10	遠隔授業(非同期型)	臨床病態学Ⅰ(9)	皮膚科疾患総論	角 勇樹, 赤座 実穂
10-11	6/14	08:50-12:00	未定	チーム医療導入 (他職種連携教育)	M3D3N2MT2を対象とした患者中心の 医療を考えるワークショップを行える。	角 勇樹, 赤座 実穂
12	6/17	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	臨床病態学Ⅰ(11)	耳鼻咽喉科疾患総論	角 勇樹, 赤座 実穂
13	6/20	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	臨床病態学Ⅰ(10)	アレルギー疾患総論	角 勇樹, 赤座 実穂
14	6/30	08:50-10:20	遠隔授業(非同期型)	臨床病態学Ⅰ(12)	眼科疾患総論	角 勇樹, 赤座 実穂
15	6/30	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	臨床病態学Ⅰ(13)	婦人科疾患総論	角 勇樹, 赤座 実穂
16	7/6	08:50-10:20	遠隔授業(非同期型)	臨床病態学Ⅰ(14)	乳腺外科疾患総論	角 勇樹, 赤座 実穂
17	7/6	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	臨床病態学Ⅰ(15)	精神科医疾患総論	角 勇樹, 赤座 実穂
授業方法 各診療科より講師を招き、専門領域の内容について講義を行う。 講師によりアクティブラーニング形式になる場合がある。						
授業内容 基本的には講義であるが、方法は各講師により異なる。 実習は行わない。 講義内容は各診療科専門領域概論である。						
成績評価の方法 筆記試験により評価する。						
成績評価の基準 マークシートによる筆記試験を基本とし、出席点、受講態度点の加味して増減して、基準に従い成績評価を行う。						
準備学習等についての具体的な指示 各専門診療科講師は一度しか講義を担当しない。 一期一会の機会であり、重要性を認識して講義に臨むこと。						

質問は、メールなどで積極的に行うこと。
試験の受験資格 授業への出席が3分の2以上であること
教科書 日本臨床検査医学会「臨床検査のガイドライン JSLM2012」 以下のサイトからダウンロード可能（クリックして各項目閲覧可能） http://jslm.info/GL2012/00-1.pdf
参考書 臨床検査技師ブルー・ノート：臨床検査総論，臨床検査医学総論，臨床生理学，臨床化学，病理組織細胞学／芝 紀代子 編集，芝 紀代子，メジカルビュー社，2021-03-31 最新臨床検査学講座 病態学／臨床検査医学総論：医歯薬出版 各担当講師がホームページや Webclass にスライドをアップする事が多い。
他科目との関連 医療従事者として取得すべき基礎知識であり臨床医学の基本科目である。 一部は看護学専攻学生との共同講義である。
履修上の注意事項 必ず授業に出席し，分からないことは些細なことでも積極的に質問すること。
備考 必ず授業に出席し，分からないことは些細なことでも積極的に質問すること。
参照ホームページ 疾患について正しく理解を深めるためには，各学会より発行されているガイドラインや患者向け説明を参照すると良い。
連絡先(メールアドレス) 角 勇樹:ysumi.pulm@tmd.ac.jp
オフィスアワー 角 勇樹:毎週 月-金 曜日 AM.9:00-PM.17:00 3号館 16 階 呼吸器神経系解析学教授室 (来室の前にメールで予約してください)

時間割番号	013082						
科目名	Global Communication(Ⅰ)				科目ID	MT-213100-L	
担当教員	鈴木 喜晴, JANELLE RENEE MOROSS[SUZUKI NOBUHARU, JANELLE RENEE MOROSS]						
開講時期	2022 年度通年	対象年次	2		単位数	2	
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名:Global Communication(Ⅰ)							
【科目責任者】鈴木 喜晴							
主な講義場所							
遠隔授業(同期型)、Zoom ID/Passcode は WebClass 参照							
授業の目的、概要等							
学生は医療技術に関連するトピックについて読み、議論します。また、ディスカッション、インターネット調査、プレゼンテーションのスキルを向上させるチャンスもあります。授業のスタイルは小グループで、健康トピック/病気に関する小グループのディスカッションと、英語のネイティブスピーカーが討議を進める。							
授業の到達目標							
到達目標は海外留学や研究に興味のある学生に医療のトピック・課題についての知識を増し、トピックに関する自分の意見を持ち、英語で包括的にそれを表現するのを助けることとする。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/6	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	意見を述べ、丁寧に反対する方法	グループ討論、 個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料 がある)
2	4/13	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	医療技術者の役割	グループ討論、 個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料 がある)
3	4/20	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	健康と人種	グループ討論、 個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料 がある)
4	4/27	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	栄養	グループ討論、 個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料 がある)
5	4/28	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	運動	グループ討論、 個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料 がある)
6	5/11	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	ウイルス	グループ討論、 個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料 がある)
7	5/18	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	PCR 検査	グループ討論、 個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料 がある)
8	5/25	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	HIV/AIDS	グループ討論、 個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料 がある)
9	6/1	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	細菌	グループ討論、 個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料 がある)
10	6/8	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	院内感染	グループ討論、 個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料 がある)

11	6/15	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	抗生物質耐性	グループ討論、 個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料 がある)
12	6/22	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	細胞とは何です か？	グループ討論、 個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料 がある)
13	6/29	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	アポトーシス	グループ討論、 個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料 がある)
14	7/6	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	口頭試問と作文	口頭試問と作文	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資 料・説明がある)
15	7/13	13:00-14:30		TOEFL		JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	この授業は定期 試験期間に行う 可能性がある。
16	7/13	14:40-16:10		TOEFL		JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	この授業は定期 試験期間に行う 可能性がある。
17	9/7	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	ラボおよび診断エ ラー	グループ討論、 個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料 がある)
18	9/14	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	血液型	グループ討論、 個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料 がある)
19	9/21	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	Complete Blood Count	グループ討論、 個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料 がある)
20	9/28	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	貧血	グループ討論、 個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料 がある)
21	10/5	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	白血病	グループ討論、 個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料 がある)
22	10/19	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	コレステロール	グループ討論、 個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料 がある)
23	10/26	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	毒物学	グループ討論、 個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料 がある)
24	11/2	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	骨髄	グループ討論、 個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料 がある)
25	11/9	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	滑液	グループ討論、 個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料 がある)
26	11/16	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	尿	グループ討論、 個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料 がある)
27	11/30	13:00-14:30	遠隔授業	髄液	グループ討論、	JANELLE RENEE MOROSS,	(WebClass に資料

			(同期型)		個人の予習	WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	がある)
28	12/7	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	喀痰(痰)	グループ討論、 個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料 がある)
29	12/14	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	便	グループ討論、 個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料 がある)
30	12/21	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	寄生虫	グループ討論、 個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料 がある)
31	1/4	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	遺伝子検査	グループ討論、 個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料 がある)
32	1/11	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	口頭試問と作文	口頭試問と作文	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資 料・説明がある)

授業方法

全ての学習活動は英語で行われる

1. 英語で専門的医学知識の獲得に関する小グループ討論
2. 一般的な医学英語ボキャブラリー、語句、発音を教授する。前の週に行ったボキャブラリークイズを行う
3. 作文課題により作文技術の向上の機会を与える
4. オンライン調査とプレゼンテーションスキルを向上させる機会。

授業内容

授業スケジュール参照

成績評価の方法

成績は、出席、宿題の組み合わせに基づいて決定されます。宿題は、授業前の章の先読み、WebClass でのオンライン語彙クイズ、学期末の口頭試験、および授業活動への積極的な参加で構成されます。

成績評価の基準

出席 5%、
小テスト、宿題作文、オラル期末試験 30%、
授業への積極的参加 50%、
2022 TOEFL/ITP の結果 15%

準備学習等についての具体的な指示

宿題は常に授業前に行うこと、課題は WebClass から入手すること

試験の受験資格

口頭試問と作文、前期と後期の最後のレッスンに行います。

教科書

この科目では教科書を用いない。教員は文章、語句練習、包括的質問を WebClass に準備してある。

備考

授業最終日から、科目についてのアンケートが webclass でできるようになっている。アンケートに回答しない場合は、定期試験の可否を含む成績が webclass に表示されない。
昨年のアンケート結果に基づいて、グループとペアの練習パートナーはズームによって自動化され、毎週変更されます。

連絡先(メールアドレス)

鈴木 喜晴 nsuzbb@tmd.ac.jp
JANELLE RENEE MOROSS jmoross.isc@tmd.ac.jp

オフィスアワー

鈴木 喜晴 オフィスアワーは特に定めない 3 号館 16 階
JANELLE RENEE MOROSS: 予約をしたい方は電子メールを送ってください。

第 3 学年

(前期)

3/28	月	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
29	火																
30	水																
31	木																
4/1	金																
4/4	月	① 8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
5	火											病原体検査学講義Ⅱ(1)	同期型(zoom)		病原体検査学講義Ⅱ(2)	同期型(zoom)	
6	水				[選]生体医工学(1)	同期型(zoom)			[選]生体医工学(2)	同期型(zoom)		Global Communication(Ⅱ)(1)	同期型(zoom)				
7	木				血液検査学講義(3)	同期型(zoom)			生理検査学実習Ⅲ オリエンテーション	同期型(zoom)		病原体検査学講義Ⅱ(3)	同期型(zoom)		病原体検査学講義Ⅱ(4)	同期型(zoom)	
8	金	生理検査学実習Ⅲ(1)	登校(面接授業)	8F実習室3 講義室3	生理検査学実習Ⅲ(2)	登校(面接授業)	8F実習室3 講義室3		移動時間			病原体検査学講義Ⅱ(5)	同期型(zoom)		病原体検査学講義Ⅱ(6)	同期型(zoom)	
4/11	月	② 8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
12	火				医用システム情報学講義Ⅱ(2)	同期型(zoom)			移動時間			医用システム情報学実習Ⅱ(1)	登校(面接授業)	情報検索室	医用システム情報学実習Ⅱ(2)	登校(面接授業)	情報検索室
13	水				血液検査学講義(4)	同期型(zoom)			血液検査学実習(1)	同期型(zoom)		血液検査学実習(2)	同期型(zoom)		血液検査学実習(3)	同期型(zoom)	
14	木				血液検査学講義(5)	同期型(zoom)			[選]生体医工学(3)	同期型(zoom)		Global Communication(Ⅱ)(2)	同期型(zoom)				
15	金	生理検査学実習Ⅲ(3)	非同期型(webclass)		生理検査学実習Ⅲ(4)	非同期型(webclass)			病原体検査学講義Ⅱ(7)(14:00～15:30)	登校(面接授業)/ 同期型	講義室4	病原体検査学実習Ⅱ(1)(15:40～17:10)	登校(面接授業)/ 非同期型(webclass)	3号館 検査学実習室1	病原体検査学実習Ⅱ(2)(17:20～18:50)	登校(面接授業)/ 非同期型(webclass)	3号館 検査学実習室1
病原体検査学実習Ⅱ(Aグループ:3号館 検査学実習室1、Bグループ:非同期型(webclass))																	
病原体検査学実習Ⅱ(Aグループ:3号館 検査学実習室1、Bグループ:非同期型(webclass))																	
4/18	月	③ 8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30		講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
19	火				[選]心電図判読(1)	同期型(zoom)			血液検査学実習(4)(14:00～15:30)	登校(面接授業)/ 非同期型(webclass)	3号館 検査学実習室1	血液検査学実習(5)(15:40～17:10)	登校(面接授業)/ 非同期型(webclass)	3号館 検査学実習室1	血液検査学実習(6)(17:20～18:50)	登校(面接授業)/ 非同期型(webclass)	3号館 検査学実習室1
20	水				医用システム情報学講義Ⅱ(3)	同期型(zoom)			移動時間			医用システム情報学実習Ⅱ(3)	登校(面接授業)	情報検索室	医用システム情報学実習Ⅱ(4)	登校(面接授業)	情報検索室
21	木				血液検査学講義(7)	同期型(zoom)			[選]生体医工学(4)	同期型(zoom)		Global Communication(Ⅱ)(3)	同期型(zoom)		[選]遺伝学(1)	非同期型(webclass)	
22	金	生理検査学実習Ⅲ(7)	登校(面接授業)	8F実習室3 講義室3	生理検査学実習Ⅲ(8)	登校(面接授業)	8F実習室3 講義室3	3号館講義室2.4	病原体検査学講義Ⅱ(9)(14:00～15:30)	登校(面接授業)/ 同期型	講義室2	病原体検査学実習Ⅱ(7)(15:40～17:10)	登校(面接授業)/ 非同期型(webclass)	3号館 検査学実習室1	病原体検査学実習Ⅱ(8)(17:20～18:50)	登校(面接授業)/ 非同期型(webclass)	3号館 検査学実習室1
病原体検査学実習Ⅱ(Aグループ:非同期型(webclass)、Bグループ:3号館 検査学実習室1)																	
病原体検査学実習Ⅱ(Aグループ:非同期型(webclass)、Bグループ:3号館 検査学実習室1)																	
4/25	月	④ 8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
26	火				[選]心電図判読(2)	同期型(zoom)			血液検査学実習(7)(14:00～15:30)	登校(面接授業)/ 非同期型(webclass)	3号館 検査学実習室1	血液検査学実習(8)(15:40～17:10)	登校(面接授業)/ 非同期型(webclass)	3号館 検査学実習室1	血液検査学実習(9)(17:20～18:50)	登校(面接授業)/ 非同期型(webclass)	3号館 検査学実習室1
27	水				医用システム情報学講義Ⅱ(4)	同期型(zoom)			移動時間			医用システム情報学実習Ⅱ(5)	登校(面接授業)	情報検索室	医用システム情報学実習Ⅱ(6)	登校(面接授業)	情報検索室
28	木				病原体検査学講義Ⅱ(11)	登校(面接授業)/ 同期型	講義室2	M&Dタワー2階 共用講義室1	病原体検査学講義Ⅱ(12)	登校(面接授業)/ 同期型	講義室2	病原体検査学実習Ⅱ(9)	登校(面接授業)/ 非同期型(webclass)	3号館 検査学実習室1	病原体検査学実習Ⅱ(10)	登校(面接授業)/ 非同期型(webclass)	3号館 検査学実習室1
病原体検査学実習Ⅱ(Aグループ:3号館 検査学実習室1、Bグループ:非同期型(webclass))																	
病原体検査学実習Ⅱ(Aグループ:3号館 検査学実習室1、Bグループ:非同期型(webclass))																	
29	金	昭和の日															
5/2	月	⑤ 8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
3	火				生理検査学実習Ⅲ(11)	非同期型(webclass)			移動時間			病原体検査学講義Ⅱ(14)	非同期型(webclass)		病原体検査学講義Ⅱ(15)	非同期型(webclass)	
4	水	憲法記念日															
5	木	みどりの日															
6	金	こどもの日															
5/9	月	⑥ 8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
10	火				[選]心電図判読(3)	同期型(zoom)			血液検査学実習(10)(14:00～15:30)	登校(面接授業)/ 非同期型(webclass)	3号館 検査学実習室1	血液検査学実習(11)(15:40～17:10)	登校(面接授業)/ 非同期型(webclass)	3号館 検査学実習室1	血液検査学実習(12)(17:20～18:50)	登校(面接授業)/ 非同期型(webclass)	3号館 検査学実習室1
11	水				医用システム情報学講義Ⅱ(5)	同期型(zoom)			移動時間			医用システム情報学実習Ⅱ(7)	登校(面接授業)	情報検索室	医用システム情報学実習Ⅱ(8)	登校(面接授業)	情報検索室
12	木				[選]生体医工学(5)	同期型(zoom)			[選]生体医工学(6)	同期型(zoom)		Global Communication(Ⅱ)(4)	同期型(zoom)				
13	金	生理検査学実習Ⅲ(13)	登校(面接授業)	8F実習室3 講義室3	生理検査学実習Ⅲ(14)	登校(面接授業)	8F実習室3 講義室3	M&Dタワー2階 共用講義室2	病原体検査学講義Ⅱ(18)(14:00～15:30)	登校(面接授業)/ 同期型	講義室2	病原体検査学実習Ⅱ(13)(15:40～17:10)	登校(面接授業)/ 非同期型(webclass)	3号館 検査学実習室1	病原体検査学実習Ⅱ(14)(17:20～18:50)	登校(面接授業)/ 非同期型(webclass)	3号館 検査学実習室1
病原体検査学実習Ⅱ(Aグループ:非同期型(webclass)、Bグループ:3号館 検査学実習室1)																	
病原体検査学実習Ⅱ(Aグループ:非同期型(webclass)、Bグループ:3号館 検査学実習室1)																	

[illegible][illegible]

	⑨	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
5/30	月	[選]心電図判読(6)	同期型(zoom)		移動時間				血液検査学習(19)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	3号館 検査学習室Ⅰ	血液検査学習(20)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	3号館 検査学習室Ⅰ	血液検査学習(21)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	3号館 検査学習室Ⅰ
	火			医用システム情報学講義Ⅱ(8)	同期型(zoom)			移動時間				医用システム情報学実習Ⅱ(13)	登校(面接授業)	情報検索室	医用システム情報学実習Ⅱ(14)	登校(面接授業)	情報検索室
6/1	水	生理検査学習Ⅲ(17)	同期型(zoom)		生理検査学習Ⅲ(18)	同期型(zoom)						Global Communication(Ⅱ)(7)	同期型(zoom)		[選]生体工学Ⅸ(9)	同期型(zoom)	
	木	生理検査学講義Ⅲ(3)	登校(面接授業)	8F実習室3 講義室3	生理検査学講義Ⅲ(4)	登校(面接授業)	8F実習室3 講義室3		病原体検査学習Ⅱ(25) (14:00～15:30)	同期型(zoom)		病原体検査学習Ⅱ(26) (15:40～17:10)	同期型(zoom)		病原体検査学習Ⅱ(27) (17:20～18:50)	同期型(zoom)	
	金	[選]分子生物学(4)	同期型(zoom)		血液検査学講義(14)	同期型(zoom)			病原体検査学習Ⅱ(28)	同期型(zoom)		病原体検査学習Ⅱ(29)	同期型(zoom)		病原体検査学習Ⅱ(30)	同期型(zoom)	

⑩	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
6/6	月	[選]遺伝学(3)	非同期型 (webclass)	移動時間				血液検査実習(22)	登校(面接授業)/ 非同期型 (webclass)	3号館 検査学実習 室1	血液検査実習(23)	登校(面接授業)/ 非同期型 (webclass)	3号館 検査学実習 室1	血液検査実習(24)	登校(面接授業)/ 非同期型 (webclass)	3号館 検査学実習 室1
7	火	生理検査実習Ⅲ (19)	登校(面接授 課)	8F実習室3 講義室3	生理検査実習Ⅲ (20)	登校(面接授 課)	8F実習室3 講義室3	血液検査実習(25) (14:00～15:30)	同類型(zoom)		血液検査実習(26) (15:40～17:10)	同類型(zoom)		血液検査実習(27) (17:20～18:50)	同類型 (zoom)	
8	水	生理検査実習Ⅲ (21)	登校(面接授 課)	8F実習室3 講義室3	生理検査実習Ⅲ (22)	登校(面接授 課)	8F実習室3 講義室3				Global Communication(Ⅱ)(8)	同類型(zoom)		[選]生体工学(10)	同類型 (zoom)	
9	木	[選]心電図判読(7)	同類型 (zoom)		生理検査学講義Ⅲ (5)	同類型(zoom)/非 同期型(webclass)		免疫検査実習 (1)(14:00～15:30)	登校(面接授業)/ 非同期型 (webclass)	3号館 検査学実 習室1	免疫検査実習 (2)(15:40～17:10)	登校(面接授業)/ 非同期型 (webclass)	3号館 検査学実 習室1	免疫検査実習 (3)(17:20～18:50)	登校(面接授業)/ 非同期型 (webclass)	3号館 検査学実 習室1
10	金	[選]分子生物学(5)	同類型 (zoom)		分析化学検査実 習(2)	同類型(zoom)		免疫検査実習 (4)(14:00～15:30)	登校(面接授業)/ 非同期型 (webclass)	3号館 検査学実 習室1	免疫検査実習 (5)(15:40～17:10)	登校(面接授業)/ 非同期型 (webclass)	3号館 検査学実 習室1	免疫検査実習 (6)(17:20～18:50)	登校(面接授業)/ 非同期型 (webclass)	3号館 検査学実 習室1

日	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
6/13 月	【薬】心電図判読(8)	同期型(zoom)		医用システム情報学実習Ⅱ(15)	同期型(zoom)			血液検査学実習(28)(14:00～15:30)	実習(面接授業)・非同期型(webclass)		血液検査学実習(29)(15:40～17:10)	実習(面接授業)・非同期型(webclass)		血液検査学実習(30)(17:20～18:50)	実習(面接授業)・非同期型(webclass)	
14 火	生理検査学講義Ⅵ(6)	同期型(ZOOM), 非同期型(webclass)		医用システム情報学実習Ⅱ(16)	同期型(zoom)			移動時間			医用システム情報学実習Ⅱ(17)	実習(面接授業)		情報検査室	医用システム情報学実習Ⅱ(18)	実習(面接授業)
15 水	【薬】遺伝学(4)	実習(面接授業)	講義室2	血液検査学講義(15)	同期型(zoom)			【薬】生体医工学(11)	同期型(zoom)	移動時間がない学生は2で受講	Global Communication(Ⅱ)(9)	同期型(zoom)	移動時間がない学生は2で受講	Global Communication(Ⅱ)(10)	同期型(zoom)	移動時間がない学生は2で受講
16 木	生理検査学講義Ⅶ(7)	実習(面接授業)	8F実習室3	生理検査学講義Ⅷ(8)	実習(面接授業)	8F実習室3	M&Dタワー2階 共用講義室3	免疫検査学実習(7)(14:00～15:30)	実習(面接授業)・非同期型(webclass)	3号館検査学実習室1	免疫検査学実習(8)(15:40～17:10)	実習(面接授業)・非同期型(webclass)	3号館検査学実習室1	免疫検査学実習(9)(17:20～18:50)	実習(面接授業)・非同期型(webclass)	3号館検査学実習室1
17 金	【薬】分子生物学(6)	同期型(zoom)		分析化学検査学Ⅷ(8)	同期型(zoom)			免疫検査学実習(10)(14:00～15:30)	実習(面接授業)・非同期型(webclass)	3号館検査学実習室1	免疫検査学実習(11)(15:40～17:10)	実習(面接授業)・非同期型(webclass)	3号館検査学実習室1	免疫検査学実習(12)(17:20～18:50)	実習(面接授業)・非同期型(webclass)	3号館検査学実習室1

②	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
6/20	月	分岐化学実験Ⅱ(8)	登校(面接授業)	7F・8F実習室	分岐化学実験Ⅱ(10)	登校(面接授業)	7F・8F実習室	選)選伝学(5)	同期型(zoom)	移動時間がない学生は3号館講義室	選)選伝学(6)	同期型(zoom)	移動時間がない学生は3号館講義室			
21	火	生理検査学実習Ⅲ(2)	登校(面接授業)	8F実習室3講義室3	生理検査学実習Ⅲ(24)	登校(面接授業)	8F実習室3講義室3	3号館講義室2 (※「選伝学」履修学生のみの授業)			選)選伝学(7)	登校(面接授業)	2	選)選伝学(8)	非同期型(webclass)	
22	水	医用システム情報学実習Ⅱ(19)	同期型(zoom)		選)生体医工学(12)	同期型(zoom)		選)生体医工学(13)	同期型(zoom)		Global Communication(Ⅱ)(11)	同期型(zoom)		Global Communication(Ⅱ)(12)	同期型(zoom)	
23	木	生理検査学講義Ⅲ(9)	登校(面接授業)	8F実習室3講義室3	生理検査学講義Ⅲ(10)	登校(面接授業)	8F実習室3講義室3	M&Dタワー2階共用講義室2	免疫検査学実習(13)(14:00～15:30)	登校(面接授業)・非同期型(webclass)	免疫検査学実習(14)(15:40～17:10)	登校(面接授業)・非同期型(webclass)	3号館検査学実習Ⅰ	免疫検査学実習(15)(17:20～18:50)	登校(面接授業)・非同期型(webclass)	3号館検査学実習Ⅰ
24	金	選)分子生物学(7)	同期型(zoom)		免疫検査学実習(16)	非同期型(webclass)		免疫検査学実習(17)	登校(面接授業)・非同期型(webclass)	3号館検査学実習Ⅰ	免疫検査学実習(18)	登校(面接授業)・非同期型(webclass)	3号館検査学実習Ⅰ	免疫検査学実習(19)	登校(面接授業)・非同期型(webclass)	3号館検査学実習Ⅰ

	⑬	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
6/27	月	分析化学検査ⅢⅡ (11)	登校(面接授業)	7F・8F実習室	分析化学検査ⅢⅡ (12)	登校(面接授業)	7F・8F実習室	M&Dタワー2階 共用講義室2	医用システム情報Ⅱ実習Ⅱ(20)	登校(面接授業)	情報検査室	医用システム情報Ⅱ実習Ⅱ(21)	登校(面接授業)	情報検査室			
28	火	生理検査Ⅲ実習Ⅲ (25)	登校(面接授業)	8F実習室3 講義室3	生理検査Ⅲ実習Ⅲ (26)	登校(面接授業)	8F実習室3 講義室3	M&Dタワー2階 共用講義室2	医用システム情報Ⅲ実習Ⅲ(22)	登校(面接授業)	情報検査室	医用システム情報Ⅲ実習Ⅲ(23)	登校(面接授業)	情報検査室			
29	水	分析化学検査ⅢⅢ (13)	同席型 (zoom)		【隔】生体医工学Ⅲ(14)	同期型(zoom)			【隔】生体医工学Ⅲ(15)	同期型(zoom)		Global CommunicationⅡⅢ (15)	同期型(zoom)		Global CommunicationⅡⅢ (14)	同期型(zoom)	
30	木	生理検査Ⅲ講義Ⅲ (11)	登校(面接授業)	8F実習室3 講義室5	生理検査Ⅲ講義Ⅲ (12)	登校(面接授業)	8F実習室3 講義室5		分析化学検査ⅢⅢ (14)3限14:40～	同期型(zoom)		分析化学検査ⅢⅢ (15)4限15:40～	同期型(zoom)		分析化学検査ⅢⅢ (16)5限17:20～	同期型(zoom)	
7/1	金	【隔】分子生物学Ⅲ(8)	同期型 (webclass)		分析化学検査ⅢⅢ (17)	非同席型 (webclass)			分析化学検査ⅢⅢ (18)	登校(面接授業)	8F実習室 R0実験棟 (8号館)	分析化学検査ⅢⅢ (19)	登校(面接授業)	8F実習室 R0実験棟 (8号館)	分析化学検査ⅢⅢ (20)	登校(面接授業)	8F実習室 R0実験棟 (8号館)

	⑨	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
7/4	月	分析化学検査実習Ⅱ(21)	校校(面接授業)	7F・8F実習室	分析化学検査実習Ⅱ(21)	校校(面接授業)	7F・8F実習室										
5	火	生理検査実習Ⅲ(22)	校校(面接授業)	8F実習室 講義室3	生理検査実習Ⅲ(22)	校校(面接授業)	8F実習室 講義室3	M&Dタワー2階 共用講義室2	遺伝子検査実習Ⅲ(23)	校校(面接授業)	8F実習室	遺伝子検査実習Ⅲ(23)	校校(面接授業)	8F実習室	遺伝子検査実習Ⅲ(23)	校校(面接授業)	8F実習室
6	水	免疫検査実習(20)	非同期型 (webclass)		移動時間				分析化学検査実習Ⅱ(21)	校校(面接授業)	8F実習室 R実習室 (8号館)	分析化学検査実習Ⅱ(21)	校校(面接授業)	8F実習室 R実習室 (8号館)	分析化学検査実習Ⅱ(21)	校校(面接授業)	8F実習室 R実習室 (8号館)
7	木	免疫検査実習(21)	校校(面接授業) / 非同期型 (webclass)	3号館検査実習室Ⅰ	免疫検査実習(22)	校校(面接授業) / 非同期型 (webclass)	3号館検査実習室Ⅰ	M&Dタワー2階 共用講義室2	免疫検査実習(23)	校校(面接授業) / 非同期型 (webclass)	3号館検査実習室Ⅰ	免疫検査実習(24)	校校(面接授業) / 非同期型 (webclass)	3号館検査実習室Ⅰ	免疫検査実習(25)	校校(面接授業) / 非同期型 (webclass)	3号館検査実習室Ⅰ
8	金	免疫検査実習(26)	校校(面接授業) / 非同期型 (webclass)	3号館検査実習室Ⅰ	免疫検査実習(27)	校校(面接授業) / 非同期型 (webclass)	3号館検査実習室Ⅰ	M&Dタワー2階 共用講義室2	免疫検査実習(28)	校校(面接授業) / 非同期型 (webclass)	3号館検査実習室Ⅰ	免疫検査実習(29)	校校(面接授業) / 非同期型 (webclass)	3号館検査実習室Ⅰ	免疫検査実習(30)	校校(面接授業) / 非同期型 (webclass)	3号館検査実習室Ⅰ

7/11	⑭	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室	
	月	分析化学検査学Ⅲ (26)	登校(面接授 業)	7F & 8F 実習室	分析化学検査学Ⅲ (27)	登校(面接授 業)	7F & 8F 実習室	M&Dタワー2階 共用講義室1	遺伝子検査学実習 (4)	登校(面接授 業)	8F 実習室	遺伝子検査学実習(5)	登校(面接授 業)	8F 実習室	遺伝子検査学実習(6)	登校(面接授 業)	8F 実習室	
	12	火	生理検査学実習Ⅲ (29)	登校(面接授 業)	8F実習室3 講義室3	生理検査学実習Ⅲ (30)	登校(面接授 業)	8F実習室3 講義室3	3号館6階 大学院特別講義室 3号館3階 講義室	遺伝子検査学実習 (7)	登校(面接授 業)	8F 実習室	遺伝子検査学実習(8)	登校(面接授 業)	8F 実習室	遺伝子検査学実習(9)	登校(面接授 業)	8F 実習室
	13	水	生理検査学講義Ⅲ (13)	登校(面接授 業)	8F実習室3 講義室3	生理検査学講義Ⅲ (14)	登校(面接授 業)	8F実習室3 講義室3	M&Dタワー共用セ ミナー室12(6階),10 (8階),5(15階),5 (15階)	分析化学検査学Ⅲ (28)	登校(面接授 業)	7F & 8F 実習室	分析化学検査学Ⅲ (29)	登校(面接授 業)	7F & 8F 実習室	分析化学検査学Ⅲ (30)	登校(面接授 業)	7F & 8F 実習室
	14	木	分析化学検査学Ⅲ (31)	同期型 (zoom)		分析化学検査学Ⅲ (32)	非同同期型 (webclass)			分析化学検査学Ⅲ (33)	登校(面接授 業)	7F & 8F 実習室	分析化学検査学Ⅲ (34)	登校(面接授 業)	7F & 8F 実習室	分析化学検査学Ⅲ (35)	登校(面接授 業)	7F & 8F 実習室
15	金	分析化学検査学Ⅲ (36)	非同同期型 (zoom)		分析化学検査学Ⅲ (37)	非同同期型 (webclass)			分析化学検査学Ⅲ (38)	登校(面接授 業)	8F実習室 RI実験棟 (8号館)	分析化学検査学Ⅲ (39)	登校(面接授 業)	8F実習室 RI実験棟 (8号館)	分析化学検査学Ⅲ (40)	登校(面接授 業)	8F実習室 RI実験棟 (8号館)	
7/18	⑮	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室	
	19	火	分析化学検査学Ⅲ (41)	同期型 (zoom)		分析化学検査学Ⅲ (42)	非同同期型 (webclass)			分析化学検査学Ⅲ (43)	登校(面接授 業)	8F実習室 RI実験棟 (8号館)	分析化学検査学Ⅲ (44)	登校(面接授 業)	8F実習室 RI実験棟 (8号館)	分析化学検査学Ⅲ (45)	登校(面接授 業)	8F実習室 RI実験棟 (8号館)
	20	水										Global CommunicationⅡⅩ15) TOEFL/ITP	登校(面接授 業)	講義室2	Global CommunicationⅡⅩ16) TOEFL/ITP	登校(面接授 業)	講義室2	
	21	木	生理検査学講義Ⅲ (15)	登校(面接授 業)	8F実習室3 講義室3	生理検査学実習Ⅲ (31)	登校(面接授 業)	8F実習室3 講義室3	M&Dタワー2階 共用講義室1	遺伝子検査学実習 (10)	登校(面接授 業)	8F 実習室	遺伝子検査学実習 (11)	登校(面接授 業)	8F 実習室	遺伝子検査学実習 (12)	登校(面接授 業)	8F 実習室
	22	金	分析化学検査学Ⅲ (46)	同期型 (zoom)		分析化学検査学Ⅲ (47)	同期型(zoom)			分析化学検査学Ⅲ (48)	同期型(zoom)		分析化学検査学Ⅲ (49)	同期型(zoom)		分析化学検査学Ⅲ (50)	同期型 (zoom)	
7/25	⑯	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室	
	月	前期定期試験																
	26	火																
	27	水																
	28	木	前期定期試験															
29	金	前期定期試験																
8/1	⑰	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室	
	月	前期定期試験																
	2	火	前期定期試験															
	3	水																
	4	木																
5	金																	

夏季休業 8/3(水)

～

(後期)																			
9/5	①	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室		
	月																		
	火																		
	水																		
	木	前期定期試験(再試)																	
9	金	前期定期試験(再試)																	
9/12	①	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室		
	月	前期定期試験(再試)																	
	火	前期定期試験(再試)																	
	水	前期定期試験(再試)														臨地実習説明会		登校(面接授業)	講義室2
	木	国家模試(合同)						M&Dタワー2階 共用講義室1								登校(面接授業)	講義室1,2		
16	金								接遇研修	同期型(zoom)			接遇研修	同期型(zoom)					
9/19	②	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室		
	月	敬老の日																	
	火	OSCE(仮)			OSCE(仮)				OSCE(仮)			OSCE(仮)			OSCE(仮)				
	水	OSCE(仮)			OSCE(仮)				OSCE(仮)			OSCE(仮)			卒業研究Ⅰ説明会	未定			
	木	OSCE(仮)			OSCE(仮)				Global Communication(Ⅱ) (17)	同期型(zoom)		OSCE(仮)			OSCE(仮)				
23	金	秋分の日																	
9/26	③	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室		
	月	[選]アドバンスド 生理機能検査Ⅰ(1)	同期型 (zoom)		[選]心臓生理学(1)	同期型(zoom)			臨床病態学Ⅱ(Ⅰ)	同期型(zoom)		臨床病態学Ⅱ(Ⅱ)	非同期型 (webclass)						
	火	臨地実習①																	
	水																		
	木																		
30	金								Global Communication(Ⅱ) (18)	同期型(zoom)		Global Communication(Ⅱ) (19)	同期型(zoom)						
10/3	④	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室		
	月	[選]アドバンスド 生理機能検査Ⅱ(2)	同期型 (zoom)		[選]心臓生理学(2)	同期型(zoom)			臨床病態学Ⅱ(Ⅲ)	同期型(zoom)		臨床病態学Ⅱ(Ⅳ)	非同期型 (webclass)						
	火	臨地実習②																	
	水																		
	木																		
7	金								Global Communication(Ⅱ) (20)	同期型(zoom)		Global Communication(Ⅱ) (21)	同期型(zoom)						
10/10	⑤	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室		
	月	スポーツの日																	
	火	臨地実習③																	
	水	創立記念行事																	
	木	臨地実習③																	
14	金																		
10/17	⑥	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室		
	月	[選]アドバンスド 生理機能検査Ⅲ(3)	同期型 (zoom)		[選]心臓生理学(3)	同期型(zoom)			臨床病態学Ⅱ(Ⅴ)	同期型(zoom)		医学情報処理演習Ⅱ (1)	同期型(zoom)		医学情報処理演習Ⅱ (2)	同期型 (zoom)			
	火	臨地実習④																	
	水																		
	木																		
21	金								Global Communication(Ⅱ) (22)	同期型(zoom)									
10/24	⑦	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室		
	月	[選]アドバンスド 生理機能検査Ⅳ(4)	同期型 (zoom)		[選]心臓生理学(4)	非同期型 (webclass)			臨床病態学Ⅱ(Ⅵ)	同期型(zoom)		医学情報処理演習Ⅱ (3)	同期型(zoom)		医学情報処理演習Ⅱ (4)	同期型 (zoom)			
	火	臨地実習⑤																	
	水																		
	木																		
28	金								Global Communication(Ⅱ) (23)	同期型(zoom)									
10/31	⑧	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室		
	月	[選]アドバンスド 生理機能検査Ⅴ(5)	同期型 (zoom)		[選]心臓生理学(5)	同期型(zoom)			臨床病態学Ⅱ(Ⅶ)	同期型(zoom)									
	火	臨地実習⑥																	
	水																		
	3	木	文化の日																
4	金	臨地実習⑥																	

11/7	⑩	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室			
	月				臨床病態学Ⅱ(8)	同期型(zoom)			臨床病態学Ⅱ(9)	同期型(zoom)										
	8	火	障地実習⑦																	
	9	水																		
	10	木																		
11	金	医学情報処理演習Ⅱ(5)	zoom 又は登校	情報検索室	医学情報処理演習Ⅱ(6)	zoom 又は登校	情報検索室		Global Communication(Ⅱ)(24) ※14:00～15:30	同期型(zoom)		Global Communication(Ⅱ)(25) ※15:40～17:10	同期型(zoom)							
11/14	⑪	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室			
	月	臨床病態学Ⅱ(10)	同期型(zoom)		臨床病態学Ⅱ(11)	同期型(zoom)			進路指導ガイダンス	同期型(zoom)		進路指導ガイダンス	同期型(zoom)		進路指導ガイダンス	同期型(zoom)				
	15	火	障地実習⑧																	
	16	水																		
	17	木																		
18	金	医学情報処理演習Ⅱ(7)	同期型(zoom)		医学情報処理演習Ⅱ(8)	同期型(zoom)			Global Communication(Ⅱ)(26) ※14:00～15:30	同期型(zoom)		Global Communication(Ⅱ)(27) ※15:40～17:10	同期型(zoom)							
11/21	⑫	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室			
	月																			
	22	火	障地実習⑨																	
	23	水	勤労感謝の日																	
	24	木	障地実習⑩																	
25	金	医学情報処理演習Ⅱ(9)	zoom 又は登校	情報検索室	医学情報処理演習Ⅱ(10)	zoom 又は登校	情報検索室		Global Communication(Ⅱ)(28) ※14:00～15:30	同期型(zoom)										
11/28	⑬	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室			
	月	[選]アドバンスド生理機能検査学(6)	同期型(zoom)		[選]心臓生理学(6)	同期型(zoom)			臨床病態学Ⅱ(12)	同期型(zoom)										
	29	火	障地実習⑪																	
	30	水																		
	12/1	木																		
2	金	医学情報処理演習Ⅱ(11)	zoom 又は登校	情報検索室	医学情報処理演習Ⅱ(12)	zoom 又は登校	情報検索室		Global Communication(Ⅱ)(29) ※14:00～15:30	同期型(zoom)		卒業研究Ⅰ	各研究室	[選]Learning Medical English(1)	同期型(zoom)					
12/5	⑭	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室			
	月	卒業研究Ⅰ								臨床病態学Ⅱ(13)	同期型(zoom)	卒業研究Ⅰ			各研究室					
	6	火	卒業研究Ⅰ								[選]生命理工学概論(1)	同期型(zoom)	[選]生命理工学概論(2)	同期型(zoom)		卒業研究Ⅰ	各研究室			
	7	水	卒業研究Ⅰ								各研究室		卒業研究Ⅰ					各研究室		
	8	木	卒業研究Ⅰ																	
9	金	医学情報処理演習Ⅱ(13)	zoom 又は登校	情報検索室	医学情報処理演習Ⅱ(14)	zoom 又は登校	情報検索室		Global Communication(Ⅱ)(30) ※14:00～15:30	同期型(zoom)		卒業研究Ⅰ			各研究室					
12/12	⑮	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室			
	月	[選]アドバンスド生理機能検査学(7)	同期型(zoom)		[選]心臓生理学(7)	同期型(zoom)			臨床病態学Ⅱ(14)	同期型(zoom)		[選]Learning Medical English(3)	同期型(zoom)	卒業研究Ⅰ	各研究室					
	13	火	卒業研究Ⅰ				各研究室		[選]生命理工学概論(1)	同期型(zoom)	[選]生命理工学概論(2)	同期型(zoom)	卒業研究Ⅰ							
	14	水	卒業研究Ⅰ						[選]生命理工学概論(3)	登校又は同期型	講義室5	[選]生命理工学概論(4)	登校又は同期型	講義室5				卒業研究Ⅰ		
	15	木	卒業研究Ⅰ								各研究室		卒業研究Ⅰ							
16	金	卒業研究Ⅰ	各研究室	医学情報処理演習Ⅱ(15)	zoom 又は登校	情報検索室		Global Communication(Ⅱ)(31) ※14:00～15:30	同期型(zoom)				Global Communication(Ⅱ)(32) ※15:40～17:10	同期型(zoom)					卒業研究Ⅰ	
12/19	⑯	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室			
	月	[選]アドバンスド生理機能検査学(8)	同期型(zoom)		[選]心臓生理学(8)	同期型(zoom)			臨床病態学Ⅱ(15)	同期型(zoom)	各研究室	[選]Learning Medical English(3)	同期型(zoom)		[選]Learning Medical English(4)	同期型(zoom)				
	20	火	卒業研究Ⅰ				各研究室		[選]生命理工学概論(5)	登校又は同期型	講義室5	[選]生命理工学概論(6)	登校又は同期型	講義室5	卒業研究Ⅰ	各研究室				
	21	水	卒業研究Ⅰ						卒業研究Ⅰ											
	22	木	卒業研究Ⅰ																	
23	金	[選]Learning Medical English(7)	同期型(zoom)		[選]Learning Medical English(8)	同期型(zoom)		卒業研究Ⅰ		各研究室	[選]Learning Medical English(5)	同期型(zoom)		[選]Learning Medical English(6)	同期型(zoom)					
冬季休業 12/26(月)～																				

①	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
1/2	月															
3	火															
4	水	卒業研究Ⅰ													各研究室	
5	木	卒業研究Ⅰ													各研究室	
6	金	卒業研究Ⅰ													各研究室	
②	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
1/9	月	成人の日														
10	火	卒業研究Ⅰ			各研究室			(選)生命理工学概論(7)	登校又は同期型	講義室5	(選)生命理工学概論(8)	登校又は同期型	講義室5	卒業研究Ⅰ		各研究室
11	水	卒業研究Ⅰ						各研究室		卒業研究Ⅰ						
12	木	卒業研究Ⅰ													各研究室	
13	金	卒業研究Ⅰ													各研究室	
①																
1/16	月	後期定期試験														
17	火	後期定期試験														
18	水	後期定期試験														
19	木	後期定期試験														
20	金	後期定期試験														
②																
1/23	月	補講・再試														
24	火	補講・再試														
25	水	補講・再試														
26	木	補講・再試														
27	金	補講・再試														
春季休業 1/30(月)～																

時間割番号	013043					
科目名	血液検査学講義			科目ID	MT-330300-L	
担当教員	西尾 美和子[NISHIO Miwako]					
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3	単位数	2	
実務経験のある教員による授業	該当する					
英文名: Clinical Laboratory Hematology, Lecture 【科目責任者】西尾 美和子						
主な講義場所 zoom(同期型)						
授業の目的、概要等 血液成分の産生機構・形態・機能についての基本事項を習得し、各種血液疾患における血液検査学の意義を習得する。						
授業の到達目標 血液検査学は、従来形態学を母地として発展してきたが、今日では、生化学、細胞生物学、細胞遺伝学、分子生物学などが広く取り入れられている。このような多角度からの知識や技術を十分に理解し、かつ応用できることを目標とする。 各授業題目の到達目標は、時間割にある各授業題目の授業内容に記述してある内容を説明できること、とする。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	4/4	13:00-16:10	遠隔授業 (同期型)	採血	採血行為の範囲・採血の種類、採血に際しての注意事項、採血の部位と手段、乳幼児の採血	西尾 美和子
3	4/7	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	血液の基礎	血液の成分、血球の形態と機能、血球の産生と崩壊	西尾 美和子
4	4/12	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	白血球の産生、白血球異常	白血球の産生、白血球異常	東田 修二
5	4/13	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	血小板、血液凝固	血小板の機能、血液凝固制御機構	伊藤 真以
6	4/18	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	白血病	急性白血病・慢性白血病の病態	東田 修二
7	4/20	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	線溶、出血性疾患	血液凝固制御機構、線溶制御機構、出血性疾患	伊藤 真以
8	4/22	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	血栓性疾患、播種性血管内凝固症候群(DIC)	血栓性疾患、播種性血管内凝固症候群(DIC)	伊藤 真以
9	4/25	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	骨髄異形成症候群、多発性骨髄腫、悪性リンパ腫	骨髄異形成症候群・多発性骨髄腫・悪性リンパ腫の病態	東田 修二
10	5/9	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	貧血	貧血症の分類、鉄欠乏性貧血・再生不良性貧血・溶血性貧血・巨赤芽球性貧血の病態	西尾 美和子
11	5/13	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	血液検査学(1)	血球に関する検査	西尾 美和子
12	5/23	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	血液検査学(2)	形態に関する検査	西尾 美和子
13	5/25	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	血液検査学(3)	血小板に関する検査、凝固・線溶検査	西尾 美和子
14	6/3	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	ウイルスと血液疾患	EBウイルスなどウイルスが関わる血液疾患の病態	今留 謙一、 西尾 美和子
15	6/15	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	総括		西尾 美和子
授業方法 講義室での対面授業ないし zoom による同期授業を実施する。 配布資料は事前にWebClass で公開する。アクティブラーニングの一環として、アンケートソフトを使用した質疑や提示した症例や課題につ						

いてグループで討論する。 質問は適宜 zoom のチャットで受け付けるが、授業後に zoom 上で対応する時間を設ける。
授業内容 総論において、各血液成分の内容と、機能について概説する。また、血球の産生部位、産生機構などについて説明する。 各論においては、血球成分については、赤血球・白血球・血小板のそれぞれについて、形態学、機能を習得する。また、止血・凝固線溶系については、その機能について習得する。 代表的な血液疾患について、その病態生理を理解するとともに、診断・治療・経過における血液検査学の意義を習得する。造血幹細胞移植の基礎についても理解する。 ○血液細胞の起源・分化、赤血球の生成と異常について理解する。 ○白血球: その生成と異常について理解する。 ○血栓・止血: 止血の機序と異常について理解する。
成績評価の方法 血液検査学講義の評価は、学期末筆記試験の成績によって行う。 記述式問題と多肢選択式問題から構成される。
成績評価の基準 学期末筆記試験の成績(100 点満点)で評価し、評点を決める。 学期末筆記試験の 10%相当を英語で出題する。総合成績が 60 点以上のものを合格とする。 授業態度(アクティブラーニングの参加)を評価に加えることもある。 期末試験が合格に満たないものは再試験を実施する。再試験合格者は 60 点とする。
準備学習等についての具体的な指示 教科書の講義予定内容の箇所を読んでおくとい。講義と復習で内容の理解が深まる。
試験の受験資格 2/3 以上の出席が定期試験ならびに追・再試験を受験する資格となる。講義の無断遅刻や無断早退が認められた場合には出席の要件を満たさないものとすることがある。
教科書 血液検査学／奈良信雄、小山高敏 ほか著: 医歯薬出版, 2017-02 アンダーソン血液学アトラス／小山高敏: メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2014-11
他科目との関連 血液検査学は講義だけで習得されるものではなく、実習による習得がより重要である。また、臨床化学・病理検査学・免疫検査学との関連も深い。
履修上の注意事項 講義では、血球の形態・造血幹細胞の動態などはよりよく理解できるようスライドを多く供覧する。その他教科書等では得られない知識や応用のきく理解を習得できるよう講義を行うので、必ず遅刻せずに出席してほしい。
備考 2021 年度の授業評価結果を踏まえ、2022 年度も引き続き、丁寧に指導・教育できる体制を整える。
連絡先(メールアドレス) 西尾 美和子: mnishio.lmg@tmd.ac.jp

時間割番号	013044					
科目名	血液検査学実習			科目 ID	MT-350500-E	
担当教員	西尾 美和子[NISHIO Miwako]					
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3	単位数	2	
実務経験のある教員による授業	該当する					
英文名: Clinical Laboratory Hematology, Laboratory						
【科目責任者】西尾 美和子						
主な講義場所						
保健衛生学実習室 1(3 号館 8 階)または zoom(同期型/非同期型)						
授業の目的、概要等						
血液成分の産生機構・形態・機能についての基本事項を習得し、各種血液疾患における血液検査学の意義を習得する。						
授業の到達目標						
血液検査学実習では、血液検査学総論・各論で学習したことをふまえて、血液検査の基本とともに、日進月歩の新しい知識や技術に対応できる応用力・理解力が習得されることを目標とする。						
各実習題目の到達目標は、時間割にある各実習題目の授業内容に記述してある検査を正しく測定できること、とする。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	4/12	13:00-17:50	遠隔授業(同期型)	採血法 血沈、白血球数 網赤血球数	採血行為の範囲・種類と注意、採血部位と手技、乳幼児の採血、血液検体の扱い方、血漿・血清の分離法を習得し、よく使われる器具と抗凝固剤について学ぶ。赤血球沈降速度・赤血球浸透圧抵抗試験・白血球数・網赤血球数測定法について学ぶ。	西尾 美和子
4-6	4/18	14:00-18:50	検査学実習室 1, 遠隔授業(非同期型)	赤血球に関する検査	赤血球数・ヘマトクリット値・ヘモグロビン濃度測定法、赤血球指数算定法、赤血球の大きさの測定について学ぶ。	西尾 美和子
7-9	4/25	14:00-18:50	検査学実習室 1, 遠隔授業(非同期型)	血液塗抹標本作製と染色	末梢血塗抹標本の作製法と普通染色(ライト、ギムザ染色)法・特殊染色法を習得する。	西尾 美和子
10-12	5/9	14:00-18:50	検査学実習室 1, 遠隔授業(非同期型)	末梢血塗抹標本の見方(1)	正常人末梢血塗抹標本を観察し、血球像の観察法を身につける。	西尾 美和子
13-15	5/16	14:00-18:50	検査学実習室 1, 遠隔授業(非同期型)	骨髓血の見方(1)	骨髓穿刺液標本の作成法を学び、正常骨髓像を観察し、骨髓像の観察法を習得する。	西尾 美和子
16-18	5/23	14:00-18:50	検査学実習室 1, 遠隔授業(非同期型)	末梢血塗抹標本の見方(2)	各種患者末梢血塗抹標本の観察を行い、病的血球像の判別を学ぶ。	西尾 美和子
19-21	5/30	13:00-17:50	検査学実習室 1, 遠隔授業(非同期型)	骨髓像の見方(2)	各種患者骨髓液塗抹標本の観察を行い、病的骨髓像の判別を学ぶ。	西尾 美和子
22-24	6/6	13:00-17:50	検査学実習室 1, 遠隔授業(非同期型)	血小板の関係する検査	血小板数、出血時間、毛細血管抵抗試験、血小板凝集能の検査法を習得する。	西尾 美和子
25-27	6/7	14:00-18:50	遠隔授業(同期型)	自動化された血液検査	自動血球計数器、白血球分類装置などについて原理と測定の実際を習得する。	西尾 美和子
28-30	6/13	14:00-18:50	検査学実習室 1, 遠隔授業(非同期型)	凝固関係の検査	活性化部分トロンボラスチン時間・プロトロンビン時間・フィブリノゲン値測定法を習得する。	西尾 美和子
授業方法						
基本的には対面で実習を行う。感染状況によっては、zoom を用いた同期型で行う。						
またアクティブラーニングの一環として、実習で得られた結果や提示した症例、課題についてグループで討論する。						
質問は実習中に適宜受け付ける。加えて、メールによる質問も受ける。						
実習レポートやスケッチの提出を持って参加したものとみなす。						
授業内容						
授業スケジュール参照						

成績評価の方法 実習であるので、基本的には、実習項目毎にレポートやスケッチの提出を求め、これを重視するが、血液検査学講義の定期試験に実習内容を含めることがある。 (1) 出席状況、実習への取組態度 (2) レポートの評価 (3) 実技試験、口頭試問
成績評価の基準 (1) 出席状況、実習への取組態度 20% (2) 課題の到達度 80%: レポート内容、実技試験や口頭試問の結果を総合して評価する。 出席状況を 20 点満点、課題到達度を 80 点満点に換算して総合成績とし、評点にする。総合得点が 60 点以上の者を合格とする。レポート内容が規準を満たさない場合は、レポートの再提出を求めることがある。提出期限を守らない場合は成績評価の対象としない。
準備学習等についての具体的な指示 教科書の実習予定内容の箇所を読んでおくこと。血液検査学講義を十分に学習しておくことが求められる。
教科書 血液検査学／奈良信雄 [ほか] 著、奈良 信雄、小山 高敏、東 克巳、近藤 弘、三村 邦裕、小河原 はつ江、西岡 淳二、: 医歯薬出版、2016 アンダーソン血液学アトラス／シャウナ C. アンダーソン ヤング、ケイラ B. ポールセン 著、小山高敏 訳: メディカル・サイエンス・インターナショナル、2014 血液検査学講義と同じ、血液検査学(医歯薬出版)を用いる。
他科目との関連 血液検査学講義参照。
備考 2021 年度の授業評価結果を踏まえ、2022 年度も引き続き、丁寧に指導・教育できる体制を整える。
連絡先(メールアドレス) 西尾 美和子 mnishio.img@tmd.ac.jp

時間割番号	013089				
科目名	分析化学検査学Ⅲ			科目ID	MT-352400-Z
担当教員	大川 龍之介, 亀田 貴寛[OKAWA RYUNOSUKE, KAMEDA Takahiro]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3	単位数	4
実務経験のある教員による授業	該当する				
英文名: Analytical Chemistry, Lecture Ⅲ					
【科目責任者】大川 龍之介					
主な講義場所					
別途シラバスに記載					
授業の目的、概要等					
臨床化学検査、放射性同位元素技術学について学習する。臨床化学検査においては、患者から採取した主に血液に含まれる各種の成分を生化学的に定量する方法を習得するとともに、得られた客観的な検査情報(検査値)が患者の診療に果たす役割について学習する。放射性同位元素技術では、原子の構造と放射能、放射線と物質との相互作用、アルファ線、ベータ線、ガンマ線などの性質、放射能、放射線の単位、放射性同位元素の製造、分離と精製及び安全管理について理解する。					
授業の到達目標					
・非蛋白性窒素測定の方法と臨床的意義を説明できる ・リポ蛋白の種類別に、その構造、代謝について説明できる ・アポリポ蛋白の種類とそれぞれの機能について説明できる ・血清脂質の測定法と臨床的意義について説明できる ・電解質の測定法と臨床的意義を説明できる ・微量元素の測定法と臨床的意義を説明できる ・下垂体ホルモン、甲状腺ホルモン、副腎皮質ホルモンの分泌調節と疾患との関わりを説明できる ・カルシウム調節ホルモン、性腺ホルモン、睪ホルモン、等の分泌調節と疾患との関わりを説明できる ・ICG、クレアチニンクリアランス検査の概要を説明できる ・病院検査部の臨床化学検査の実際について、その概要を説明できる ・病院検査部の標準化について、その概要を説明できる ・臨床化学データを用いた基礎的な病態解析ができる ・放射性同位元素のエネルギー単位について説明できる ・放射性同位元素のα、β崩壊について説明できる ・放射性同位元素の原子構造について説明できる ・放射性同位元素のα、β線の性質について説明できる ・放射性同位元素のγ線、X線と物質の相互作用について説明できる ・X線の発生方法と線量の単位について説明できる ・放射性同位元素の安全取扱法と管理法について説明できる ・放射線の測定方法について説明できる ・放射性医薬品を用いた in vivo 検査の概要が説明できる					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員
1	5/18	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	脂質①(種類と機能) 同期型	大川 龍之介
2	5/18	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	脂質②(種類と機能) 非同期型	大川 龍之介
3	5/19	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	脂質③(脂質の検査と病態) 同期型	大川 龍之介
4	5/19	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	脂質④(脂質の検査と病態) 非同期型	原 正幸
5	5/25	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	放射性同位元素検査技術学①(放射線、放射性同位元素の物理学Ⅰ)	原 正幸
6	5/27	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	放射性同位元素検査技術学②(放射線、放射性同位元素の物理学Ⅱ)	原 正幸
7	6/10	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	放射性同位元素検査技術学③(放射性同位元素の化学、放射線生物学)	原 正幸
8	6/17	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	放射性同位元素検査技術学④(自然放射線、放射線の人体に及ぼす影響)	原 正幸
9-10	6/20	08:50-12:00	保健衛生学実習室	(実習)タンパク電気泳動①(血清蛋白分画)	大川 龍之介,

			検査学実習室 1		亀田 貴寛
11-12	6/27	08:50-12:00	保健衛生学実習室 検査学実習室 1	(実習)タンパク電気泳動②(免疫固定法)	大川 龍之介, 亀田 貴寛
13	6/29	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	放射性同位元素検査技術学⑤(放射線、放射性同位元素取扱のための関係法令)	原 正幸
14-16	6/30	14:00-18:50	遠隔授業(同期型)	(実習)リポ蛋白分画(リポタンパク電気泳動)	大川 龍之介, 亀田 貴寛
17	7/1	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	ホルモン 非同期型	大川 龍之介
18-20	7/1	13:00-17:50	検査学実習室 1	(実習)尿沈渣 A 班/放射性同位元素の検出, 定量の実際 B 班	大川 龍之介, 亀田 貴寛, 原 正幸, 田中 雅美
21-22	7/4	08:50-12:00	保健衛生学実習室 検査学実習室 1	(実習)コレステロール酵素法(界面活性剤の影響)	大川 龍之介, 亀田 貴寛
23-25	7/6	13:00-17:50	検査学実習室 1	(実習)尿沈渣 B 班/放射性同位元素の検出, 定量の実際 A 班	大川 龍之介, 亀田 貴寛, 原 正幸, 田中 雅美
26-27	7/11	08:50-12:00	保健衛生学実習室 検査学実習室 1	(実習)SDS-PAGE, WB によるアポリポタンパクの検出①	大川 龍之介, 亀田 貴寛
28-30	7/13	13:00-17:50	保健衛生学実習室 検査学実習室 1	(実習)SDS-PAGE, WB によるアポリポタンパクの検出②	大川 龍之介, 亀田 貴寛
31	7/14	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	分析化学検査学のまとめ①(今後の臨床化学検査に求められること)同期型	大川 龍之介, 戸塚 実
32	7/14	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	電解質と微量元素①(Na, K, Cl, カルシウム, 無機リン)非同期型	大川 龍之介
33-35	7/14	13:00-17:50	保健衛生学実習室 検査学実習室 1	(実習)SDS-PAGE, WB によるアポリポタンパクの検出③	大川 龍之介, 亀田 貴寛
36	7/15	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	電解質と微量元素①(Na, K, Cl, カルシウム, 無機リン)同期型	大川 龍之介
37	7/15	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	機能検査(経口ブドウ糖負荷試験, ICG, クレアチニンクリアランス), ROPC 非同期型	大川 龍之介
38-40	7/15	13:00-17:50	検査学実習室 1	(実習)定量法の確認(個別実習)A 班/土壤中の放射性同位元素の影響 B 班	大川 龍之介, 亀田 貴寛, 原 正幸
41	7/19	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	分析化学検査学のまとめ②(病院検査部における臨床化学検査の実際) 同期型	大川 龍之介, 川崎 健治
42	7/19	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	非蛋白性窒素①(アンモニア, 尿素窒素, クレアチニン, 尿酸, ビリルビン)非同期型	大川 龍之介
43-45	7/19	13:00-17:50	検査学実習室 1	(実習)定量法の確認(個別実習)B 班/土壤中の放射性同位元素の影響 A 班	大川 龍之介, 亀田 貴寛, 原 正幸
46	7/22	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	非蛋白性窒素②(アンモニア, 尿素窒素, クレアチニン, 尿酸, ビリルビン)同期型	大川 龍之介
47	7/22	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	ROPC 発表(アクティブラーニング)	大川 龍之介
48-50	7/22	13:00-17:50	遠隔授業(同期型)	(実習)まとめ(プレゼンテーション)	大川 龍之介, 亀田 貴寛

授業方法

講義と実習を行う。講義は座学のみならず、任意の個人個人に質問しながらの講義とする。一部の授業は、与えられたテーマでグループディスカッションをして、代表者がグループの意見を発表する(アクティブラーニング)。

授業内容 分析技術の進歩が著しい中であって、最新の知識・技術的内容を取り入れる。一方、時代とともに古典的検査になっても、成分分析の考え方の基本や現代の技術および将来の展開への理解を助けるものについても学べるよう配慮する。また、得られた検査結果を単に定量値として報告するだけでなく、検査情報として臨床へ提供できるように、検査値による病態解析能力を育成する内容とする。 放射性同位元素技術学では、検査技術の学習の前提としてRIIについての基礎知識を養成する。検査法を試料測定法と体外測定法に大別し、原理と実際について習得させる。
成績評価の方法 学期末筆記試験および出席点、講義時の積極性により評価する。実習はレポート、プレゼンテーションや実習時の積極性により評価する。学期末試験には当該学習内容に関する英語の問題や実習内容も出題する。 1) 学期末筆記試験(分析化学) 100 点 2) 学期末筆記試験(放射性同位元素技術学) 100 点 3) 実習レポート評価 100 点 4) 講義および実習時の出席点・積極性 100 点 5) 非同期型講義の課題・振り返り試験 100 点
成績評価の基準 1), 2), 3)において、それぞれ60点に達した場合に合格とする。最終的にいずれか一つでも不合格であった場合には、分析化学検査学Ⅲを不合格とする。 成績は[1):70%, 2):30%]と3)の平均]:90%と4):5%, 5):5%として合算する。
準備学習等についての具体的な指示 事前に授業内容を記載したファイルを配布するので、必ず予習し、特に不明な点を明確にして授業に臨むこと。講義・実習後、不明な点はメールにてすぐに質問し、わからないままにしないこと。
試験の受験資格 授業に3分の2以上、実習に4分の3以上出席し、聴講・実験をした者。内容の都合上、原則、遅刻は認められない。zoom による講義の場合は、講義を最初から最後まで参加しているログが確認出来た場合に出席とする。非同期型講義の場合は、その際に課された課題を提示された期限までに提出したことをもって出席とする。非同期型講義の次の同期型講義の初めに、振り返り試験を行う。
教科書 最新臨床検査学講座 臨床化学検査学 第2版／戸塚 実 編集、奥村 伸生 編集、浦山 修 編集、松下 誠 編集、山内 一由 編集、大川 龍之介 編集、戸塚 実、奥村 伸生、浦山 修、松下 誠、山内 一由、大川 龍之介.: 医歯薬出版, 2022-01-26 放射性同位元素検査技術学／小野口昌久, 川井恵一, 絹谷清剛 編集.: 医歯薬出版, 2018
参考書 臨床検査法提要 = Kanai's Manual of Clinical Laboratory Medicine／金井正光 監修、奥村伸生, 戸塚実, 矢富裕 編集.: 金原出版, 2015
他科目との関連 教養課程で学習した化学、専門課程で学習する生化学が本科目の背景となる。検査管理総論および分析化学検査学IおよびIIは本科目と深いかわりがある。放射性同位元素技術学に関しても、RIを用いるという特殊性を除けば基本的に同様である。また、検査結果の解釈のためには生理学や血液学などの知識も必要である。
履修上の注意事項 非常勤講師の都合で授業内容が前後する場合は事前に連絡する。欠席・遅刻をしないこと。
備考 科目終了後に科目についてのアンケートを WebClass で実施する。 2021 年度の授業評価結果を踏まえ、2022 年度も引き続き、丁寧に指導・教育できる体制を整える。
連絡先(メールアドレス) 大川 龍之介:ohkawa.alc@tmd.ac.jp 亀田 貴寛:kameda.alc@tmd.ac.jp
オフィスアワー 大川 龍之介:特定の日時を確保できないためメールでアポイントメントを取ってください。 亀田 貴寛:月曜日～金曜日 AM.9:00-PM7:00 3号館 16 階 助教室、先端分析検査学分野研究室

時間割番号	013047						
科目名	医用システム情報学講義(Ⅱ)			科目ID	MT-330800-L		
担当教員	伊藤 南[ITO MINAMI]						
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名:Medical Measurement, System and Information, Lecture(Ⅱ)							
【科目責任者】伊藤南							
主な講義場所							
Zoom による同期授業を実施する。							
授業の目的、概要等							
社会のIT化が進む中、現代の医療は情報通信技術の支え無くしてはもはや成立しえず、情報科学がもたらす成果を十分理解し、それを十分活用することが必要である。臨床検査技師として知っていてほしい、情報量の表現、情報のデジタル化、コンピュータ、通信ネットワークの基本的な原理や知識を学ぶ。医療のIT化の例として電子カルテや病院情報システムについて学ぶ。							
授業の到達目標							
1.情報の概念、IT の概念、情報科学の成り立ち、ノイマン型コンピュータの基本要素を理解し、説明できる。							
2.情報を計量する意味、情報量の定義を理解し、説明できる。							
3.アナログ量とデジタル量の定義、A/D 変換、サンプリング定理、データのフォーマットと圧縮法を理解し、説明できる。							
4.コンピュータのハードウェアとソフトウェアの概要を理解し、説明できる。							
5.ネットワークの構成、通信プロトコル、ネットワークの大規模化、インターネットの仕組みを理解し、説明できる。							
6.ネットワークのセキュリティの考え方、通信暗号システムの仕組み(守秘、電子署名、電子認証)を理解し、説明できる。							
7.電子カルテ、病院情報システムの仕組みを理解し、説明できる。							
8.個人情報の定義、個人情報の取り扱い、病院における情報管理を理解し、説明できる。							
9.医療情報システムにおけるこれからのIT 技術の利用法を理解し、説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/4	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	医用システム情報学講義(Ⅱ)	情報科学入門	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、アンケートソフトによる解答集計
2	4/11	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	医用システム情報学講義(Ⅱ)	情報量	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、アンケートソフトによる解答集計
3	4/19	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	医用システム情報学講義(Ⅱ)	アナログとデジタル	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、アンケートソフトによる解答集計
4	4/26	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	医用システム情報学講義(Ⅱ)	コンピュータ	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、アンケートソフトによる解答集計
5	5/10	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	医用システム情報学講義(Ⅱ)	ネットワーク	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、アンケートソフトによる解答集計
6	5/16	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	医用システム情報学講義(Ⅱ)	インターネットとセキュリティ	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、アンケートソフトによる解答集計
7	5/24	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	医用システム情報学講義(Ⅱ)	通信暗号システム	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、アンケートソフトによる解答集計
8	5/31	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	医用システム情報学講義(Ⅱ)	電子カルテから病院情報システムへ	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、アンケートソフトによる解答集計
授業方法							
Zoom による同期授業を実施する。配布資料、教科書をもとに講義する。配布資料は事前にWebClass で公開する。前回講義の内容を範囲として小テストを行う。講義中、アンケートソフトを利用した質疑やグループ討論を行う。講義中の質問に加えて、メールによる質問も受ける。コロナ肺炎等の感染症対策は大学の方針に従う。授業方法の変更等がある場合は随時連絡する。							
授業内容							
1.情報科学入門:情報の概念とコンピュータ							
オリエンテーション、情報の概念、情報科学の成り立ち、ノイマン型コンピュータ							

2.情報量 情報の計量化、情報量(自己エントロピー、平均情報量、結合エントロピー、条件付きエントロピー、相互情報量) 3.アナログデータとデジタルデータ 情報の容量、ビット列、A/D 変換、サンプリング定理、データのフォーマットと圧縮 4.コンピュータ 仮想化と階層化、ノイマン型コンピュータ、ハードウェアとソフトウェアの概要 5.コンピュータネットワーク ネットワークの構成、通信プロトコル、インターネット仕組み 6.ネットワークのセキュリティと通信暗号システム サイバー攻撃、情報セキュリティのCIA、ネットワークのセキュリティ対策、通信暗号システム(守秘、電子署名、電子認証) 7.電子カルテ・病院情報システムの導入 カルテ情報、電子カルテの3原則、部門システム、オーダリングシステム、病院情報システム 8.医療情報・個人情報の保護と取り扱い 個人情報の定義、プライバシー権、個人情報保護法、情報の2字利用、インフォームドコンセント、オプトアウト、匿名化、医療情報のセキュリティ 9.医療情報システムとIT のサポート 医療過誤防止、電子タグ、ウェアラブルセンサ、生涯カルテ、地域連携病院ネットワーク、AI による医療支援、データベース
成績評価の方法 1) 学期末筆記試験の成績 2) 講義中の小テストの成績
成績評価の基準 学期末筆記試験の成績(100点満点)に、講義中の小テストの成績(20点以内に換算)を加えて、総合的に評価する。学期末筆記試験の20%相当を英語で出題する。総合成績が60点以上のものを合格とする。総合成績により評点を決める。期末試験が合格に満たないものは再試験を実施し、総合成績が60点以上のものを合格とする。
準備学習等についての具体的な指示 配布資料は各自でWebClass よりダウンロード、印刷しておくこと。講義前に、配布資料と教科書の関連範囲に目を通しておくこと(教科書との対応は授業明細の備考欄を参照)。
試験の受験資格 2/3以上の出席をもって受験資格とする。講義中に行う小テストおよびアンケート形式の質疑応答へ参加により出席確認とする。講義の無断欠席や無断早退が認められた場合には出席の要件を満たさないものとする。特段の理由があると認められる場合には、担当教員より代替法を指示する。
教科書 情報科学／松戸隆之 著、:医歯薬出版, 2006
参考書 医療情報 情報処理技術編／日本医療情報学会医療情報技術師育成部会／編集:篠原出版新社, 2013
他科目との関連 医用システム情報学実習(Ⅱ)と補完する。医用工学は臨床検査学の周辺領域を広くカバーし、臨床検査を支えている。検査管理学、医用システム情報学(Ⅰ)(Ⅱ)、医学情報処理演習(Ⅰ)(Ⅱ)は、医用工学に関わる一連の講義、演習、実習として構成する。個別の検査機器の取り扱いについては生理検査学講義・実習等の教科を参照すること。
履修上の注意事項 ①講義回数が少ないので出席日数に注意すること。 ②医療の IT 化(Ⅱ～Ⅳ)は医用システム情報学実習(Ⅱ)の時間に講義する(3回、実習の授業明細を参照)。 ③医療情報システムは最近急速に発展している。新聞・テレビのマスメディア等に、先端的な事例が報告されているので、日頃からこれらに関心を持つことが望ましい。④能動的な講義への参加、講義時間を無駄に過ごさないことを希望する。講義資料は事前にWebClass で閲覧できるようにしてあるので予習すること。講義中ないし講義後の質問を歓迎する。受講に際しては画面の小さなスマホ等の使用を避けること。前回の講義の範囲で小テストを実施するので、必ず復習しておくこと。著作権の問題があるのでZoom 講義の撮影と講義資料の受講者以外への公開を禁ずる。
備考 科目終了後に科目についてのアンケートを WebClass で実施する。 2021 年度の授業評価結果を踏まえ、2022 年度も引き続き、丁寧に指導・教育できる体制を整える。

連絡先(メールアドレス)

伊藤南 minami.bse@tmd.ac.jp、

オフィスアワー

伊藤南 3号棟16階 生体機能支援システム学教授室
随時対応しますので、事前にメール等で連絡して下さい。

時間割番号	013048					
科目名	医用システム情報学実習(Ⅱ)			科目ID	MT-350900-E	
担当教員	伊藤 南, 本間 達[ITO MINAMI, HOMMA SATORU]					
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3	単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する					
英文名:Medical Measurement, System and Information, Laboratory(Ⅱ)						
【科目責任者】伊藤南						
主な講義場所						
情報検索室(M&D タワー4階)						
授業の目的、概要等						
医療のIT化に際して、臨床検査もコンピュータとは無縁ではいられず、それを十分に理解し活用することが必要である。臨床検査技師として知っていてほしい、コンピュータの動作原理やプログラミングの基本的な考え方を学ぶ。日常生活では直接関わる機会が少ないと思われるので、実習を通じて体験的な理解を目指す。実習全体を通じて、①コンピュータのプログラミングに必要な、OS 操作実習を行う。②C言語による初歩的なプログラム作成の演習課題を行う。プログラミングの特徴は、プログラムの書式を守りながら、既存のプログラムを発展させて、変幻自在な処理を実現できることにある。単にプログラミング法の知識を習得するだけでなく、そうした基本的原理を状況に合わせて応用する考え方を養う。						
授業の到達目標						
1.コンピュータの概要、アルゴリズムとプログラムの役割、プログラム作成の流れを理解し、説明できる。						
2.プログラムに対する文字(情報)の入力とプログラムから文字(情報)を出力する関数の動作を理解し、これを用いたプログラムを構築できる。						
3.条件によってプログラムの動作を分岐する関数の動作を理解し、これを用いたプログラムを構築できる。						
4.ループ関数の動作を理解し、これを用いたプログラムを構築できる。						
5.数学的演算を実現する関数の動作を理解し、これを用いたプログラムを構築できる。						
6.コンピュータのメモリ管理の概念とこれを取り扱うポインタの動作を理解し、これを用いたプログラムを構築できる。						
7.グラフィックを画面上に描画する関数の動作を理解し、これを用いたプログラムを構築できる。						
8.グラフィック関数を組みあわせて画面上にグラフを描画するためのプログラムを構築できる。						
9.複数の数学的な演算関数やループ関数、分岐処理を組みあわせて、加算平均や最小二乗法などの演算をおこなうためのプログラムを構築できる。						
10.様々な関数の組み合わせにより、与えられた目的を実現するためのプログラムを構築できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	4/11	14:40-17:50	情報検索室	医用システム情報学実習(Ⅱ)	プログラミングの基礎	伊藤 南, 本間 達
3-4	4/19	14:40-17:50	情報検索室	医用システム情報学実習(Ⅱ)	入出力関数 分岐関数	伊藤 南, 本間 達
5-6	4/26	14:40-17:50	情報検索室	医用システム情報学実習(Ⅱ)	繰り返し処理	伊藤 南, 本間 達
7-8	5/10	14:40-17:50	情報検索室	医用システム情報学実習(Ⅱ)	数値関数 ポインタ	伊藤 南, 本間 達
9-10	5/17	14:40-17:50	情報検索室	医用システム情報学実習(Ⅱ)	数値関数 ポインタ	伊藤 南, 本間 達
11-12	5/24	14:40-17:50	情報検索室	医用システム情報学実習(Ⅱ)	演算処理	伊藤 南, 本間 達
13-14	5/31	14:40-17:50	情報検索室	医用システム情報学実習(Ⅱ)	演算処理	伊藤 南, 本間 達
15	6/13	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	医用システム情報学実習(Ⅱ)	講義 病院情報システムの導入 個人情報の取り扱い	伊藤 南
16	6/14	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	医用システム情報学実習(Ⅱ)	講義 情報のセキュリティ	伊藤 南
17-18	6/14	14:40-17:50	情報検索室	医用システム情報学実習(Ⅱ)	グラフィック関数 グラフ描画	伊藤 南, 本間 達
19	6/22	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	医用システム情報学実習(Ⅱ)	講義 これからの医療体制 AI による医療支援グラ	伊藤 南
20-21	6/27	13:00-16:10	情報検索室	医用システム情報学実習(Ⅱ)	フィック関数 グラフ描画	伊藤 南, 本間 達
22-23	6/28	13:00-16:10	情報検索室	医用システム情報学実習(Ⅱ)	総合演習	伊藤 南, 本間 達
授業方法						
配布資料は事前に WebClass で公開する。配布した実習用テキストをもとに課題の計算処理を行うプログラムを作成する。実習内容の詳細						

細や手順は授業で説明する。コロナ肺炎等の感染症対策は大学の方針に従い、課題は各自が個別に行うものとする。課題の進捗に伴い、各人が実習課題のレポートを随時提出する。それに対して口頭試問を行い、添削指導する。内容が不十分な場合は再提出を求める場合もある。直接の指導は主に本間達(生体機能システム学)が担当する。原則として、演習では対面でのプログラミング添削指導 e-learning による学習を行う。講義は遠隔講義(同期)を実施する。配布資料の事前公開、小テスト、事前課題、アンケート形式の質問を行う。講義中の質問に加えて、メールによる質問も受ける。状況により、子演習や講義方法等に変更等がある場合は随時連絡する。

授業内容

1-2 電子計算機の概要

オリエンテーション、実習用 USB の作成、実習の進め方

3-4 プログラムの基礎

C 言語、MS-DOS、Cコンパイラの動作、main 関数とは

5-6 入出力関数

printf 関数、scanf 関数、getc 関数、変数の型変換、エスケープシーケンス

7-8 条件分岐

if-else 構文、switch-case 構文

9-10 繰り返し処理

for-while 構文

11-12 数値関数

三角関数、指数・対数関数、文字列処理関数

13-14 ポインタ

ファイル操作

15-16 グラフィック関数

line 関数、circle 関数、pset 関数

17-18 グラフ描画

折れ線図や散布図の作成

19-20 演算処理

加算平均、最小二乗法

21-23 以下の内容の履修については講義中に説明する

医療の IT 化

医療過誤防止、電子タグ、ウェアラブルセンサ、生涯カルテ

地域連携病院ネットワーク、AI による医療支援、データベース

検査機器の概要

共通機器(秤量装置、分離装置、恒温装置、保冷装置、測光装置電気化学装置など)の原理・使用法・注意事項

各種検査機器(血液学的検査用、病理学的検査用、生化学的検査用、輸血・免疫検査用など)の原理・使用法・注意事項

成績評価の方法

1)出席状況、学習への取組態度

2)レポートの評価

3)演習中の口頭試問

4)演習中の小テスト

5)e-learning

成績評価の基準

1)出席状況 20% (全実習日数の3/4以上)

2)課題の到達度 80% レポート内容、演習中の口頭試問や小テストの結果、e-learning の結果を総合して評価する。

出席状況を20点満点、課題到達度を80点満点に換算して総合成績とし、評点にする。総合得点が60点以上の者を合格とする。

演習では自分でプログラム内容を創意工夫することが重要であり、実習課題レポートの内容を重視する。レポート内容が規準を満たさない場合は、レポートの再提出を求めることがある。提出期限を守らない場合は成績評価の対象としない。評価方法の詳細を演習冒頭に説明する。実習の時間内で3回講義(医療の IT 化)を行うが、その評価は医用システム情報学講義(Ⅱ)の評価に含める。

準備学習等についての具体的な指示

プログラム作成には時間がかかるので、早めに課題をこなす。

事前に配布する資料、教科書を目を通して、実習内容を理解した上で参加する。

資料は Web Class を通じて配布する。

試験の受験資格 3/4 以上の実習への出席および全提出課題の提出をもって受験資格とする。演習の無断欠席や無断早退が認められた場合には出席の要件を満たさないものとする。特段の理由があると認められる場合には、担当教員より代替法を指示する。
教科書 実習用のテキスト(PDF ファイル)を事前に配布する。
他科目との関連 医用システム情報学講義(Ⅱ)と補完する。医用工学は臨床検査学の周辺領域を広くカバーし、臨床検査を支えている。検査管理学、医用システム情報学(Ⅰ)(Ⅱ)、医学情報処理演習(Ⅰ)(Ⅱ)は、医用工学に関わる一連の講義、演習、実習として構成する。個別の検査機器の取り扱いについては生理検査学講義・実習等の教科を参照すること。
履修上の注意事項 作成したプログラムを記録するために 1GB 以上の新品の USB メモリを各自で用意する。 実習の時間内で3回講義(医療の IT 化)を行う。教室が違うので注意する。講義の評価は医用システム情報学講義(Ⅱ)で行う。
備考 インターネット参照などによる剽窃の事例が後を絶たないが、本実習では一切認めないので注意すること。 科目終了後に科目についてのアンケートを WebClass で実施する。 昨年度のアンケートより改善点を探して確認します。
連絡先(メールアドレス) 伊藤 南:minami.bse@tmd.ac.jp、 本間 達:hommtec@tmd.ac.jp
オフィスアワー 伊藤 南:3号棟16階 生体機能支援システム学教授室 随時対応しますので、事前にメール等で連絡して下さい。

時間割番号	013087						
科目名	生理検査学講義(Ⅲ)				科目ID	MT-332500-L	
担当教員	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司[SUMI YUKI, KAKINUMA SEI, AKAZA MIHO, YAMAGUCHI Junnji]						
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3		単位数	2	
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名:Physiological Laboratory Science, Lecture(Ⅱ)							
【科目責任者】角 勇樹							
主な講義場所							
保健衛生学講義室3(3号館8階)、保健衛生学実習室3(3号館8階)、スキルスラボ(MD タワー地下1 階)、など。							
詳細は webclass で指示する。							
授業の目的、概要等							
生理検査用機器を駆使して被検者からいろいろな生理的情報を取得・解析し、そのデータを疾病の診断・治療に役立たせる生理検査学を学ぶ。生理検査に携わる検査技師には機器の操作、生体現象の記録、データの整理・解析のみならず、疾病に対しての医学的知識が要求され、疾患に対しての理解を深める。							
授業の到達目標							
各種生理検査法における原理の習得し適応について理解、測定結果の解釈ができるようになる。							
電気機器に接することが多いので、機器障害への迅速な対応や安全対策、正しい結果が得られない場合のトラブルシューティングも学ぶ。							
筆記試験の成績で 90 点以上を A+、80 点以上を A、70 点以上を B、60 点以上を C とする。							
合否判定は素点によって行い、点数調整は行わない。							
なお、本試験合格者における筆記試験の合計点は、試験問題の難易度に基づく相対評価に基づいて点数調整を行い、最終成績とする。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	5/17	08:50-10:20	検査学実習室3、スキルスラボ	生理機能検査学講義、クルズス、演習	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、伝導検査、など	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	クルズス、演習などは少人数グループのローテーションで行う 個々の具体的スケジュールは Webclass を参照すること
2	5/17	10:30-12:00	検査学実習室3、スキルスラボ	生理機能検査学講義、クルズス、演習	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、伝導検査、など	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	クルズス、演習などは少人数グループのローテーションで行う 個々の具体的スケジュールは Webclass を参照すること
3	6/2	08:50-10:20	検査学実習室3、スキルスラボ	生理機能検査学講義、クルズス、演習	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、伝導検査、など	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	クルズス、演習などは少人数グループのローテーションで行う 個々の具体的スケジュールは Webclass を参照すること
4	6/2	10:30-12:00	検査学実習室3、スキルスラボ	生理機能検査学講義、クルズス、演習	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、伝導検査、など	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	クルズス、演習などは少人数グループのローテーションで行う 個々の具体的スケジュールは Webclass を参照すること
5	6/9	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)、遠隔授業(非同期型)	生理機能検査学講義、クルズス、演習	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、伝導検査、など	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	クルズス、演習などは少人数グループのローテーションで行う 個々の具体的スケジュールは Webclass を参照すること

			型)				
6	6/14	08:50-10:20	遠隔授業 (同期 型), 遠 隔授業 (非同期 型)	生理機能検査学 講義、クルズス、 演習	呼吸機能、心電図、腹部 エコー、心エコー、脳 波、伝導検査、など	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	クルズス、演習などは少人 数グループのローテーション で行う 個々の具体的スケジ ュールは Webclass を参照す ること
7	6/16	08:50-10:20	検査学実 習室 3, スキルス ラボ	生理機能検査学 講義、クルズス、 演習	呼吸機能、心電図、腹部 エコー、心エコー、脳 波、伝導検査、など	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	クルズス、演習などは少人 数グループのローテーション で行う 個々の具体的スケジ ュールは Webclass を参照す ること
8	6/16	10:30-12:00	検査学実 習室 3, スキルス ラボ	生理機能検査学 講義、クルズス、 演習	呼吸機能、心電図、腹部 エコー、心エコー、脳 波、伝導検査、など	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	クルズス、演習などは少人 数グループのローテーション で行う 個々の具体的スケジ ュールは Webclass を参照す ること
9	6/23	08:50-10:20	検査学実 習室 3, スキルス ラボ	生理機能検査学 講義、クルズス、 演習	呼吸機能、心電図、腹部 エコー、心エコー、脳 波、伝導検査、など	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	クルズス、演習などは少人 数グループのローテーション で行う 個々の具体的スケジ ュールは Webclass を参照す ること
10	6/23	10:30-12:00	検査学実 習室 3, スキルス ラボ	生理機能検査学 講義、クルズス、 演習	呼吸機能、心電図、腹部 エコー、心エコー、脳 波、伝導検査、など	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	クルズス、演習などは少人 数グループのローテーション で行う 個々の具体的スケジ ュールは Webclass を参照す ること
11	6/30	08:50-10:20	検査学実 習室 3, スキルス ラボ	生理機能検査学 講義、クルズス、 演習	呼吸機能、心電図、腹部 エコー、心エコー、脳 波、伝導検査、など	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	クルズス、演習などは少人 数グループのローテーション で行う 個々の具体的スケジ ュールは Webclass を参照す ること
12	6/30	10:30-12:00	検査学実 習室 3, スキルス ラボ	生理機能検査学 講義、クルズス、 演習	呼吸機能、心電図、腹部 エコー、心エコー、脳 波、伝導検査、など	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	クルズス、演習などは少人 数グループのローテーション で行う 個々の具体的スケジ ュールは Webclass を参照す ること
13	7/13	08:50-10:20	検査学実 習室 3, スキルス ラボ	生理機能検査学 講義、クルズス、 演習	呼吸機能、心電図、腹部 エコー、心エコー、脳 波、伝導検査、など	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	クルズス、演習などは少人 数グループのローテーション で行う 個々の具体的スケジ ュールは Webclass を参照す ること
14	7/13	10:30-12:00	検査学実 習室 3, スキルス ラボ	生理機能検査学 講義、クルズス、 演習	生呼吸機能、心電図、腹 部エコー、心エコー、脳 波、伝導検査、など	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	クルズス、演習などは少人 数グループのローテーション で行う 個々の具体的スケジ ュールは Webclass を参照す ること
15	7/21	08:50-10:20	検査学実 習室 3,	生理機能検査学 講義、クルズス、	呼吸機能、心電図、腹部 エコー、心エコー、脳	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	クルズス、演習などは少人 数グループのローテーション

			スキルス ラボ	演習	波、伝導検査、など		で行う 個々の具体的スケジ ュールは Webclass を参照す ること
授業方法 オンライン講義、クルズス、演習(アクティブラーニングを含んでいる)							
授業内容 生理検査学の内容は多岐にわたる。循環器系検査、呼吸器系検査、神経・筋機能検査、超音波検査、MRI、サーモグラフィー、無散瞳眼底検査、平衡機能検査(眼振電図検査、重心動揺検査)などについて学ぶ。							
成績評価の方法 授業中に行う演習、レポート提出、実習試験、筆記試験にて生理検査学の知識・理解の達成度を評価する。							
成績評価の基準 演習および学期末定期試験による試験点数を基本とし、講義中の態度などを加味して点数を増減し、基準にしたがって成績評価を行う。							
準備学習等についての具体的な指示 生理学講義の範囲は広いので、学内・学外の多くの専門家に講義を依頼している。講義のテーマに関する準備学習をしておくこと。 生理検査学は人を対象とする検査であり、コミュニケーション能力に加え、人と接する上での最低限の礼儀・倫理感が必要とされる。受講態度にも留意すること。							
試験の受験資格 講義全体で 2/3 以上の出席がないものは、試験の受験資格を喪失する。							
モジュールの単位判定 講義と実習は個別に期末試験を行い、それぞれ単位の認定を行う。							
教科書 呼吸機能検査技術教本／日本臨床衛生検査技師会監修、日本臨床衛生検査技師会、じほう、2016 生理機能検査学／大久保善朗 [ほか] 著、大久保 善朗、医歯薬出版、2010 最新臨床検査学講座 生理機能検査学 第2版／東條 尚子 編集、川良 徳弘 編集、東條 尚子、川良 徳弘、医歯薬出版、2022-01-12							
参考書 各担当講師が Webclass に資料を upload する場合がある。							
他科目との関連 解剖学、生理検査学Ⅰ、医学概論、総合講義、臨床病態学、医用機器・工学、心臓生理学などと関連する。							
履修上の注意事項 クルズスや演習は少人数制とし班分けをしてローテーションする。 個人個人の詳細な割り当ておよび日程は Webclass に掲載する。							
備考 実習と講義は有機的に結合していて、厳密な分離は困難である。 実習は百聞に一言はかずの学習が行え、一期一会であるので全出席が前提である。遅れずに出席すること。 理論は講義で身につけるが、特に演習やクルズスは教科書では学べない学習を行うので全出席が前提である。							
参照ホームページ 生理検査は人を対象とした動的な検査であり、各種ホームページにて動画や図表、イラストを参照すると理解が進む場合がある。							
連絡先(メールアドレス) 角 勇樹:ysumi.pulm@tmd.ac.jp							
オフィスアワー 角 勇樹:毎週 月-金 曜日 AM.9:00-PM.17:00 3号館 16 階 呼吸器・神経系解析学教授室 (来室の前にメールで予約してください)							

時間割番号	013088						
科目名	生理検査学実習(Ⅲ)				科目ID	MT-352600-E	
担当教員	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司[SUMI YUKI, KAKINUMA SEI, AKAZA MIHO, YAMAGUCHI Junji]						
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3		単位数	2	
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名: Physiological Laboratory Science, Laboratory (Ⅱ)							
【科目責任者】角 勇樹							
主な講義場所							
保健衛生学実習室3(3号館8階)、スキルスラボ(MD タワー地下1 階)、ほか							
webclass もしくは教務からの通知によって指示を出すので、確認して参加すること。							
授業の目的、概要等							
生理検査用機器を駆使して被検者からいろいろな生理的情報を取得・解析し、そのデータを疾病の診断・治療に役立たせる生理検査学を体得する。電気機器に接することが多いので、機器障害への迅速な対応や安全対策も学ぶ。生理検査は直接人体に接する検査法であるので、倫理性やコミュニケーション能力も要求される。検査時における患者へ配慮や急変時の対応についても学ぶ。							
授業の到達目標							
生理検査学講義(ⅡI)の教育目標を参照。							
生理検査機器の取り扱いの実技、および生理検査法の手順を修得する。検査時の患者の急変への対応や検査機器障害への迅速な対応や安全対策を学ぶ。							
筆記試験の成績で 90 点以上を A+、80 点以上を A、70 点以上を B、60 点以上を C とする。							
合否判定は素点によって行い、点数調整は行わない。							
なお、本試験合格者における筆記試験の合計点は、試験問題の難易度に基づく相対評価に基づいて点数調整を行い、最終成績とする。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/7	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	生理検査学実習	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、神経伝導検査、など	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	小グループのローテーション 個々の具体的日程は Webclass を参照すること
2	4/8	08:50-10:20	検査学実習室3、スキルスラボ	生理検査学実習	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、神経伝導検査、など	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	小グループのローテーション 個々の具体的日程は Webclass を参照すること
3	4/8	10:30-12:00	検査学実習室3、スキルスラボ	生理検査学実習	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、神経伝導検査、など	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	小グループのローテーション 個々の具体的日程は Webclass を参照すること
4	4/14	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)	生理検査学実習	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、神経伝導検査、など	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	小グループのローテーション 個々の具体的日程は Webclass を参照すること
5	4/14	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	生理検査学実習	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、神経伝導検査、など	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	小グループのローテーション 個々の具体的日程は Webclass を参照すること
6	4/15	08:50-10:20	検査学実習室3、スキルスラボ	生理検査学実習	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、神経伝導検査、など	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	小グループのローテーション 個々の具体的日程は Webclass を参照すること
7	4/15	10:30-12:00	検査学実習室3、スキルスラボ	生理検査学実習	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、神経伝導検査、など	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	小グループのローテーション 個々の具体的日程は Webclass を参照すること
8	4/21	08:50-10:20	検査学実習室3、スキルスラボ	生理検査学実習	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、神経伝導検査、など	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	小グループのローテーション 個々の具体的日程は Webclass を参照すること
9	4/21	10:30-12:00	検査学実	生理検査学実	呼吸機能、心電図、腹部	角 勇樹, 柿沼 晴,	小グループのローテーション

			キルスラボ		波、神経伝導検査、など		Webclassを参照すること
26	6/28	08:50-10:20	検査学実 習室3, ス キルスラボ	生理検査学実 習	呼吸機能、心電図、腹部 エコー、心エコー、脳 波、神経伝導検査、など	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	小グループのローテーション 個々の具体的日程は Webclassを参照すること
27	6/28	10:30-12:00	検査学実 習室3, ス キルスラボ	生理検査学実 習	呼吸機能、心電図、腹部 エコー、心エコー、脳 波、神経伝導検査、など	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	小グループのローテーション 個々の具体的日程は Webclassを参照すること
28	7/5	08:50-10:20	検査学実 習室3, ス キルスラボ	生理検査学実 習	呼吸機能、心電図、腹部 エコー、心エコー、脳 波、神経伝導検査、など	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	小グループのローテーション 個々の具体的日程は Webclassを参照すること
29	7/5	10:30-12:00	検査学実 習室3, ス キルスラボ	生理検査学実 習	呼吸機能、心電図、腹部 エコー、心エコー、脳 波、神経伝導検査、など	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	小グループのローテーション 個々の具体的日程は Webclassを参照すること
30	7/12	08:50-10:20	検査学実 習室3, ス キルスラボ	生理検査学実 習	呼吸機能、心電図、腹部 エコー、心エコー、脳 波、神経伝導検査、など	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	小グループのローテーション 個々の具体的日程は Webclassを参照すること
31	7/12	10:30-12:00	検査学実 習室3, ス キルスラボ	生理検査学実 習	呼吸機能、心電図、腹部 エコー、心エコー、脳 波、神経伝導検査、など	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	小グループのローテーション 個々の具体的日程は Webclassを参照すること
32	7/21	10:30-12:00	検査学実 習室3, ス キルスラボ	生理検査学実 習	呼吸機能、心電図、腹部 エコー、心エコー、脳 波、神経伝導検査、など	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂, 山口 純司	小グループのローテーション 個々の具体的日程は Webclassを参照すること

授業方法

シミュレーターや人形、あるいは人に対して実際に検査を行う。最も効率的な学習法は人に教えることであるので、学生同士で教え合う形式もとっている。これらの手法を用いたアクティブ・ラーニングが中心となっており、自学自習を行うことが必要である。

授業内容

循環器系検査、神経・筋機能検査、呼吸器系検査、腹部超音波検査などの生理検査法について実習を行う。

成績評価の方法

実習への出席状況・服装・実習態度と共に、各実習にはレポート・スケッチの提出を求める。

実技試験を行い、実践能力を評価する。実技試験に合格しないものには単位を認定しない。

出席規定を満たし、実技試験に合格したものについて、試験の受験資格を認め、定期試験ではマルチプルチョイス形式の筆記試験を行い、それを評価の中心として成績を評価する。

定期試験で60点以上の者に単位を認定する。

成績評価の基準

実技試験を行い、実践能力を評価する。実技試験に合格しないものには単位を認定しない。

出席規定を満たし、実技試験に合格したものについて、試験の受験資格を認め、定期試験ではマルチプルチョイス形式の筆記試験を行い、それを評価の中心として成績を評価する。

定期試験で60点以上の者に単位を認定する。

準備学習等についての具体的な指示

生理機能検査では、患者の苦痛を最低限にするための努力が必要とされる。実習開始までに検査の内容・意味・手順は理解しておくこと。また、自分が得た知識を人に教えることは、自らの理解を深める上で重要であると共に、コミュニケーション能力を養う訓練でもある。指導を担当する際は上記の点に留意して準備すること。

試験の受験資格

実習の3/4以上の出席がないものは、試験の受験資格を喪失する。

モジュールの単位判定

生理機能検査学Ⅲ実習全体で単位を認定する

教科書

呼吸機能検査技術教本／日本臨床衛生検査技師会監修, 日本臨床衛生検査技師会, じほう, 2016

生理機能検査学／大久保善朗 [ほか] 著, 大久保 善朗, 医歯薬出版, 2010

最新臨床検査学講座 生理機能検査学 第2版／東條 尚子 編集、川良 徳弘 編集、東條 尚子、川良 徳弘：医歯薬出版、2022-01-12	
他科目との関連	生理検査学講義(Ⅱ)、生理検査学実習(ⅠⅡ)、生理検査学講義(Ⅲ)、臨床病態学、臨地実習と関連する。
履修上の注意事項	少人数制とし、班分けをして各実習項目をローテーションする。 個人個人の詳細な割り当ておよび日程はWebclassに掲載する。
備考	遅れずに出席すること。自ら機器を手にとってみること、被検者の心理面にも十分注意すること。被験者が病院の患者や身内だと思って実習を行うこと。
参照ホームページ	生理検査は人を対象とした動的な検査であり、各種ホームページにて動画や図表、イラストを参照すると理解が進む場合がある。
連絡先(メールアドレス)	角 勇樹:ysumi.pulm@tmd.ac.jp
オフィスアワー	角 勇樹:毎週 月-金 曜日 AM.9:00-PM.17:00 3号館16階 呼吸器神経系解析学教授室 (来室の前にメールで予約してください)

時間割番号	013051A					
科目名	病原体検査学講義(Ⅱ)			科目ID	MT-331300-L	
担当教員	齋藤 良一[SAITO RYOICHI]					
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3	単位数	3	
実務経験のある教員による授業	該当する					
英文名: Clinical microbiology, Lecture(Ⅱ)						
【科目責任者】齋藤 良一						
主な講義場所						
対面授業: 時間割で示された場所						
遠隔授業(同期・非同期): Zoom						
授業の目的、概要等						
第1年次に学んだ病原体検査学講義Ⅰの内容をもとに、医学的に重要な微生物(細菌、真菌、ウイルス)の詳しい特徴と感染症の診断・治療に寄与するような微生物学的検査法を学ぶ。						
授業の到達目標						
学生はこの講義を通して下記の知識を修得できる。						
1)微生物検査の概要とバイオハザードについて説明できる						
2)病原細菌の分類、感染の伝播および病原性のメカニズム、検査室で使用される分離・同定法や薬剤感受性試験法について説明できる						
3)医学真菌学領域で重要な真菌の分類、検査室で使用される分離・同定法や薬剤感受性試験法について説明できる						
4)検体採取法や検体別の微生物検査法、分子生物学的手法を用いた迅速検出法について説明できる						
5)ウイルスの分類、感染の伝播および病原性のメカニズム、検査室で使用される分離・同定法について説明できる						
6)医療関連感染とそれに関わる疫学解析、またその制御について説明できる						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/5	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	臨床微生物検査総論	臨床微生物検査の概要、バイオハザード	齋藤 良一
2	4/5	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	通性嫌気性グラム陽性球菌(1)	Staphylococcus 属	齋藤 良一
3	4/7	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	通性嫌気性グラム陽性球菌(2)	Streptococcus 属, Enterococcus 属	齋藤 良一
4	4/7	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	好気性グラム陽性桿菌(1)	Listeria 属, Corynebacterium 属など	齋藤 良一
5	4/8	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	好気性グラム陽性桿菌(2)	Bacillus 属, Mycobacterium 属(1)	齋藤 良一
6	4/8	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	好気性グラム陽性桿菌(3)	Mycobacterium 属(2), Nocardia 属	齋藤 良一
7	4/14	14:00-15:30	保健衛生学科講義室 4, 遠隔授業(同期型)	通性嫌気性グラム陰性桿菌(1)	Enterobacteriaceae(1)	齋藤 良一
8	4/15	14:00-15:30	保健衛生学科講義室 4, 遠隔授業(同期型)	通性嫌気性グラム陰性桿菌(2), グラム陰性球菌	Enterobacteriaceae(2), Neisseria 属, Moraxella 属	齋藤 良一
9	4/21	14:00-15:30	保健衛生学科講義室 2, 遠隔授業(同期型)	通性嫌気性グラム陰性桿菌(3)	Vibrionaceae 属	齋藤 良一
10	4/22	14:00-15:30	保健衛生学科講義室 2, 遠隔授業(同期型)	ブドウ糖非発酵好気性グラム陰性桿菌	Pseudomonas 属, Burkholderia 属など	齋藤 良一
11	4/27	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2, 遠隔授業(同期型)	通性嫌気性グラム陰性小桿菌	Pasteurella 属, Haemophilus 属, Actinobacillus 属など	齋藤 良一
12	4/27	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2, 遠隔授業(同期型)	化学療法薬と薬剤耐性菌(1)	抗菌薬, 薬剤感受性検査法	齋藤 良一
13	4/28	14:00-15:30	保健衛生学科講義室 2, 遠隔授業(同期型)	薬剤耐性菌(2)	細菌の薬剤耐性機構	齋藤 良一
14	5/2	14:40-16:10	遠隔授業(非同期型)	好気性グラム陰性桿菌	Bordetella 属, Brucella 属, Francisella 属, Legionella 属など	齋藤 良一
15	5/2	16:20-17:50	遠隔授業(非同期型)	微好気性グラム陰性らせん菌	Campylobacter 属, Helicobacter 属, Treponema 属, Borrelia 属, Leptospira	齋藤 良一

					属など	
16	5/6	14:40-16:10	遠隔授業(非同期型)	偏性嫌気性菌	偏性嫌気性菌	齋藤 良一
17	5/6	16:20-17:50	遠隔授業(非同期型)	細菌(その他)	マイコプラズマ, リケッチア, クラミジア	齋藤 良一
18	5/12	14:00-15:30	保健衛生学科講義室 2, 遠隔授業(同期型)	中間テスト、グループワーク、解説	第1回目～第13回目までの講義内容	齋藤 良一
19	5/13	14:00-15:30	保健衛生学科講義室 2, 遠隔授業(同期型)	臨床微生物検査法	医療機関検査室で行われる検体別検査法	齋藤 良一
20	5/19	14:00-15:30	保健衛生学科講義室 4, 遠隔授業(同期型)	真菌	主要な真菌症と起因菌	齋藤 良一
21	5/20	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2, 遠隔授業(同期型)	ウイルス(1)	DNA ウイルスと感染症(1)	齋藤 良一
22	5/26	14:00-15:30	保健衛生学科講義室 2, 遠隔授業(同期型)	ウイルス(2)	RNA ウイルスと感染症(2)	齋藤 良一
23	5/27	14:00-15:30	保健衛生学科講義室 2, 遠隔授業(同期型)	感染症のコントロールと疫学	医療機関における感染防止対策、疫学解析	齋藤 良一
授業方法 対面授業・遠隔授業(同期型): WebClass で事前配布した資料をもとに講義し、質疑応答やグループ討論を行う。 遠隔授業(非同期型): WebClass で配布された資料を視聴後、提示された課題を期限内に提出する。						
授業内容 臨床微生物学全般にわたる基礎的な内容に加え、発展的な内容についても講義を行う。感染症に関してもその概略を述べるだけでなく、先進的な微生物検査法を合わせて講義する。						
成績評価の方法 定期試験成績(75 点)、小テスト・課題内容(15 点)および授業態度(10 点)により総合的評価(100 点満点)を行う。定期試験は多肢選択問題で構成され、基本的な専門用語を英語で示す問題も一部に含まれる。						
成績評価の基準 「成績評価の方法」に示した項目の合計が 60 点以上の場合を合格とする。						
準備学習等についての具体的な指示 病原体検査学講義Ⅰの内容を復習しておく必要がある。また講義前に事前配布資料で予習し、関連する内容は教科書でも学習すること。						
試験の受験資格 本学の試験規則を満たす者。但し、出席管理は以下のように行う。 ・遠隔授業(同期型): zoom のアクセス時間と講義中に行う小テストや質疑応答等により判断する。講義開始 30 分以上経過後のアクセスは欠席とみなす。 ・遠隔授業(非同期型): 動画視聴後に提示された課題を期限内に提出した場合、出席とする。 ・対面授業: 出席管理システム(カードタッチ)で判断する。講義開始 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。						
教科書 臨床微生物学／松本哲哉 編集: 医歯薬出版, 2017						
参考書 標準微生物学／神谷茂, 錫谷達夫編集, 中込 治, 神谷 茂, 錫谷 達夫: 医学書院, 2018 シンプル微生物学／小熊惠二, 堀田博, 若宮伸隆編集, 小熊 惠二, 堀田 博, 若宮 伸隆: 南江堂, 2018 臨床微生物検査技術教本／日本臨床衛生検査技師会監修, 日本臨床衛生検査技師会: 丸善出版, 2017						
他科目との関連 免疫学、生化学、病理学、公衆衛生学のほか、臨床医学(感染症学、感染制御学)などの科目と密接な関係を持っている。						
履修上の注意事項 臨床微生物学の範囲は広く講義時間数は限られているので、毎回出席することが大切である。また講義内容の復習や講義で詳しく触れなかった事項も自主学習し、單元ごとに知識の定着を図って欲しい。講義・実習に関わる資料は全て著作物であり、著作権の関係上、外部に流出することの無いように十分気を付けること。						
備考 前年度の授業評価結果を踏まえ、今年度も引き続き丁寧に指導・教育できる体制を整える。						
連絡先(メールアドレス) 齋藤 良一 r-saito.mi@tmd.ac.jp						
オフィスアワー 齋藤 良一 随時(必ず事前に連絡を入れること)						

時間割番号	013052					
科目名	病原体検査学実習(Ⅱ)			科目ID	MT-351400-E	
担当教員	齋藤 良一, 太田 悠介[SAITO RYOICHI, OOTA Yuusuke]					
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3	単位数	2	
実務経験のある教員による授業	該当する					
英文名: Clinical microbiology, Laboratory(Ⅱ)						
【科目責任者】齋藤 良一						
主な講義場所						
オンライン実習のほか、検査学実習室1(3号館8階)を使用する。						
授業の目的、概要等						
病原体検査学講義ⅠとⅡの内容をもとに、細菌、真菌およびウイルス感染症の診断・治療に貢献する基本的な微生物学的検査法を学ぶ。更に、先進的な微生物学的検査法についても概説する。						
授業の到達目標						
学生はこの実習を通して下記の知識と技術を修得できる。						
1)病原細菌の染色法や分離・同定法、薬剤感受性試験法を実践できる						
2)臨床検体の採取法や現在、検査室で行われる微生物検査法を実践できる						
3)臨床で分離頻度が高い病原真菌の染色法や分離・同定法について実践できる						
4)ウイルスの同定法や抗体検査法について実践できる						
5)病原体同定等の遺伝子検査の基盤技術を説明できる						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	4/14	15:40-18:50	検査学実習室1, 遠隔授業(非同期型)	グラム陽性球菌の細菌同定(1)	染色, 分離・培養, 同定, 薬剤感受性など	太田 悠介, 齋藤 良一
3-4	4/15	15:40-18:50	検査学実習室1, 遠隔授業(非同期型)	グラム陽性球菌の細菌同定(2)	染色, 分離・培養, 同定, 薬剤感受性など	太田 悠介, 齋藤 良一
5-6	4/21	15:40-18:50	検査学実習室1, 遠隔授業(非同期型)	グラム陽性球菌の細菌同定(3)	染色, 分離・培養, 同定, 薬剤感受性など	太田 悠介, 齋藤 良一
7-8	4/22	15:40-18:50	検査学実習室1, 遠隔授業(非同期型)	グラム陽性球菌の細菌同定(4)	染色, 分離・培養, 同定, 薬剤感受性など	太田 悠介, 齋藤 良一
9-10	4/27	14:40-17:50	検査学実習室1, 遠隔授業(非同期型)	グラム陰性桿菌の細菌同定(1)	染色, 分離・培養, 同定, 薬剤感受性など	太田 悠介, 齋藤 良一
11-12	4/28	15:40-18:50	検査学実習室1, 遠隔授業(非同期型)	グラム陰性桿菌の細菌同定(2)	染色, 分離・培養, 同定, 薬剤感受性など	太田 悠介, 齋藤 良一
13-14	5/12	15:40-18:50	検査学実習室1, 遠隔授業(非同期型)	グラム陰性桿菌の細菌同定(3)	染色, 分離・培養, 同定, 薬剤感受性など	太田 悠介, 齋藤 良一
15-16	5/13	15:40-18:50	検査学実習室1, 遠隔授業(非同期型)	グラム陰性桿菌の細菌同定(4)	染色, 分離・培養, 同定, 薬剤感受性など	太田 悠介, 齋藤 良一
17-18	5/19	15:40-18:50	検査学実習室1, 遠隔授業(非同期型)	臨床検体中の細菌同定(1)	染色, 分離・培養, 同定, 薬剤感受性など	太田 悠介, 齋藤 良一
19-20	5/20	14:40-17:50	検査学実習室1, 遠隔授業(非同期型)	臨床検体中の細菌同定(2)	染色, 分離・培養, 同定, 薬剤感受性など	太田 悠介, 齋藤 良一
21-22	5/26	15:40-18:50	検査学実習室1, 遠隔授業(非同期型)	臨床検体中の細菌同定(3)	染色, 分離・培養, 同定, 薬剤感受性など	太田 悠介, 齋藤 良一
23-24	5/27	15:40-18:50	検査学実習室1, 遠隔授業(非同期型)	臨床検体中の細菌同定(4)	染色, 分離・培養, 同定, 薬剤感受性など	太田 悠介, 齋藤 良一
25-27	6/2	14:00-18:50	遠隔授業(同期型)	臨床検体中の細菌同定(5)	プレゼンテーション作成	太田 悠介, 齋藤 良一
28-30	6/3	13:00-17:50	遠隔授業(同期型)	臨床検体中の細菌同定(6), まとめ	課題発表	太田 悠介, 齋藤 良一

授業方法
Zoomによる同期型実習と対面実習にて実施する。双方の形式においてグループごとに課題に取り組み、得られた結果をまとめ・発表し、最後に全体で討論を行う。
授業内容
「授業スケジュール」参照
成績評価の方法
課題内容、出席状況およびグループ討論参加等の実習態度により総括的評価を行う。
成績評価の基準
実習に4分の3以上出席しており、かつ課題内容(80%)と実習態度(20%)の評価を合算後、最終的に60%以上であった場合を合格とする。
準備学習等についての具体的な指示
病原体検査学講義ⅠおよびⅡの内容を復習してから望む必要がある。また実習に関連する内容は予め実習書や教科書で確認しておくこと。
試験の受験資格
本学の専門科目履修規則を満たす者。出席管理は実習開始時ならびに実習中に確認する。
教科書
臨床微生物学／松本哲哉 編集：医歯薬出版、2017
参考書
臨床微生物検査技術教本／日本臨床衛生検査技師会監修、日本臨床衛生検査技師会、丸善出版、2017 臨床微生物検査ハンドブック／小栗豊子編集、小栗 豊子、三輪書店、2017
他科目との関連
臨床医学(感染症学、感染制御学)などの科目と密接な関係を持っている。
履修上の注意事項
1)病原微生物を扱うため実習中は細心の注意を払うこと 2)実習中は配布されたガウンを着用すること 3)各作業の終了時に速乾性擦式消毒薬等で手指消毒すること 4)スケッチのため色鉛筆を準備する その他、講義・実習に関わる資料は全て著作物であり、著作権の関係上、外部に流出することの無いように十分気を付けること。
備考
前年度の授業評価結果を踏まえ、今年度も引き続き丁寧に指導・教育できる体制を整える。
連絡先(メールアドレス)
齋藤 良一 r-saito.mi@tmd.ac.jp 太田 悠介 y-ota.micr@tmd.ac.jp
オフィスアワー
齋藤 良一 随時(必ず事前に連絡を入れること) 太田 悠介 随時(必ず事前に連絡を入れること)

時間割番号	013054					
科目名	免疫検査学実習			科目ID	MT-351700-E	
担当教員	田中 ゆきえ, 太田 悠介[TANAKA Yukie, OOTA Yuusuke]					
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3	単位数	2	
実務経験のある教員による授業	該当する					
英文名: Clinical Immunology, Laboratory 【科目責任者】 田中 ゆきえ						
主な講義場所 オンライン実習のほか、保健衛生学実習室1(3号館8階)で行う。						
授業の目的、概要等 臨床検査に用いられる免疫学的方法の代表的なものについて、方法、原理、意義を理解する。						
授業の到達目標 1. 免疫電気泳動の方法、意義を理解し、実施できる。 2. ELISA の方法を理解し、実施できる。 3. 抗核抗体検査の方法、意義を理解し、実施できる。 4. フローサイトメトリーの方法を理解する。 5. 輸血検査の基礎(血液型検査、不規則抗体検査)を理解し、実施できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	6/9	14:00-18:50	検査学実習室 1, 遠隔授業(非同期型)	免疫検査学実習 1-3	flow cytometry(1)	田中 ゆきえ, 太田 悠介
4-6	6/10	14:00-18:50	検査学実習室 1, 遠隔授業(非同期型)	免疫検査学実習 4-6	flow cytometry(2)	田中 ゆきえ, 太田 悠介
7-9	6/16	14:00-18:50	検査学実習室 1, 遠隔授業(非同期型)	免疫検査学実習 7-9	輸血検査(1)	田中 ゆきえ, 太田 悠介
10-12	6/17	14:00-18:50	検査学実習室 1, 遠隔授業(非同期型)	免疫検査学実習 10-12	輸血検査(2)	田中 ゆきえ, 太田 悠介
13-15	6/23	14:00-18:50	検査学実習室 1, 遠隔授業(非同期型)	免疫検査学実習 13-15	免疫電気泳動(1)／ 血液型検査(1)	田中 ゆきえ, 太田 悠介
16	6/24	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	免疫検査学実習 17-19	免疫電気泳動(2)／ 血液型検査(2)	田中 ゆきえ, 太田 悠介
17-19	6/24	13:00-17:50	検査学実習室 1, 遠隔授業(非同期型)	免疫検査学実習 16	免疫電気泳動(1)／ 血液型検査(1)予備	田中 ゆきえ, 太田 悠介
20	7/6	08:50-10:20	遠隔授業(非同期型)	免疫検査学実習 20	免疫電気泳動(2)／ 血液型検査(2)予備	田中 ゆきえ, 太田 悠介
21-25	7/7	08:50-17:50	検査学実習室 1, 遠隔授業(非同期型)	免疫検査学実習 21-25	ELISA(1)／抗核抗体(1)	田中 ゆきえ, 太田 悠介
26-30	7/8	08:50-17:50	検査学実習室 1, 遠隔授業(非同期型)	免疫検査学実習 26-30	ELISA(2)／抗核抗体(2)	田中 ゆきえ, 太田 悠介
授業方法 対面実習および Zoom による同期型実習にて行う。双方の形式において、グループごとに課題に取組み、得られた結果をまとめ・発表し、最後に全体で討論を行う。						
成績評価の方法 定期試験成績(70 点)、課題内容(20 点)およびグループ討論参加態度(10 点)により総合的評価(100 点満点)を行う。定期試験は多肢選択問題で構成され、基本的な専門用語を英語で示す問題も一部に含まれる。						
成績評価の基準 実習に 4 分の 3 以上出席しており、かつ定期試験成績(60%)、課題内容(30%)および実習態度(10%)の評価を合算後、最終的に 60% 以上であった場合を合格とする。						

準備学習等についての具体的な指示 免疫検査学講義の内容を再度復習しておく必要がある。更に実習内容を毎回予習、復習をすること。
試験の受験資格 本学の専門科目履修規則を満たす者。出席管理は実習開始時ならびに実習中に確認する。
教科書 免疫検査学／窪田哲朗 [[ほか] 編集窪田, 哲朗, 藤田, 清貴, 細井, 英司, 梶原, 道子.: 医歯薬出版, 2020
参考書 Cellular and Molecular Immunology／Abbas A K, et al.: Elsevier, 2018
履修上の注意事項 講義・実習に関わる資料は全て著作物であり、著作権の関係上、外部に流出することの無いように十分気を付けること。
備考 前年度の授業評価結果を踏まえ、今年度も引き続き丁寧に指導・教育できる体制を整える。
連絡先(メールアドレス) 田中 ゆきえ: yutanaka.rcc@tmd.ac.jp 太田 悠介: y-ota.micr@tmd.ac.jp
オフィスアワー 田中 ゆきえ: 随時(必ず事前に連絡を入れる) 太田 悠介: 随時(必ず事前に連絡を入れること)

時間割番号	013055B						
科目名	遺伝子検査学実習			科目ID	MT-351900-E		
担当教員	鈴木 喜晴[SUZUKI NOBUHARU]						
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名: Medical Genetics, Laboratory							
【科目責任者】鈴木喜晴							
主な講義場所							
検査学実習室1 (3号館8階)							
授業の目的、概要等							
遺伝子検査学と遺伝子工学の基礎実験法を学び、様々な検査法や研究方法に共通する原理と手技を習得する。							
・疾患の原因となる塩基置換・欠失等の検出・解析方法を習得する。							
・遺伝子工学的技術を用いて組換えタンパク質を作製する方法を学ぶ。							
授業の到達目標							
臨床検査に必要な遺伝子解析技術を習得する。さらに関連分野での基礎研究に応用できる実践的な技術も身につける。							
各回での目標は以下の通りである。							
1回目: シークエンス解析とPCR-RFLP 解析、さらに組換えタンパク質作製のための PCR 法、核酸精製法、制限酵素反応を習得する。							
2回目: シークエンス解析方法を学ぶ。アガロース電気泳動による PCR-RFLP 解析方法、さらに組換えタンパク質作製のための核酸精製法を習得する。							
3回目: 組換えタンパク質作製のためのアガロース電気泳動とライゲーションを習得する。							
4回目: 組換えタンパク質作製のためのアルカリプレップ法とトランスフェクション法を学ぶ。							
5回目: アガロース電気泳動による組換えタンパク質作製のための発現プラスミドの解析、蛍光顕微鏡を用いた組換えタンパク質の発現解析を学ぶ。結果を考察・発表し、総括する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	7/5	13:00-17:50	検査学実習室1	1. シークエンス解析法-1/2. PCR-RFLP 法-1/3. 組換えタンパク質作製法-1	1-1, 2-1, 3-1. PCR 法とPCR 産物(DNA 断片)の精製/ 2-1, 3-1. 制限酵素反応	鈴木 喜晴	アクティブラーニング: 原理や手順の説明を理解した上で、自らの手を動かして実験または解析を進める。
4-6	7/11	13:00-17:50	検査学実習室1	1. シークエンス解析法-2/2. PCR-RFLP 法-2/3. 組換えタンパク質作製法-2	1-2. ダイターミネーター法結果の解析/2-2. アガロース電気泳動(PCR-RFLP 法の結果解析)/3-2. 制限酵素反応後の DNA 断片の精製	鈴木 喜晴	アクティブラーニング: 原理や手順の説明を理解した上で、自らの手を動かして実験または解析を進める。
7-9	7/12	13:00-17:50	検査学実習室1	3. 組換えタンパク質作製法-3	3-3. アガロース電気泳動、ライゲーション	鈴木 喜晴	アクティブラーニング: 原理や手順の説明を理解した上で、自らの手を動かして実験または解析を進める。
10-12	7/21	13:00-17:50	検査学実習室1	3. 組換えタンパク質作製法-4	3-4. アルカリプレップ法、トランスフェクション法	鈴木 喜晴	アクティブラーニング: 原理や手順の説明を理解した上で、自らの手を動かして実験または解析を進める。
13-15	7/25	13:00-17:50	検査学実習室1	3. 組換えタンパク質作製法-5/結果発表	3-5. アガロース電気泳動(発現プラスミド作製の結果解析)、組換えタンパク質の検出(蛍光顕微鏡観察、結果解析)/結果の報告	鈴木 喜晴	アクティブラーニング: 原理や手順の説明を理解した上で、自らの手を動かして実験または解析を進める。

授業方法 実習書と資料を用いて実習課題の説明を行い、班毎に実習を進める。アクティブラーニングとして、原理や手順の説明を理解した上で、自らの手を動かして実験を進める。さらに、解析遺伝子の決定や PCR 用プライマーのデザイン、結果報告の際、グループディスカッション等のアクティブラーニングを行い習得度を高める。
授業内容 授業スケジュールを参照
成績評価の方法 1)出席状況、学習への取組態度 2)レポートの評価
成績評価の基準 原則、全出席を必要とする。 1)実習に取り組む姿勢(出席状況、予習や復習に基づく原理や手順の理解度、積極性、グループメンバーとの協力姿勢など):40 点 2)レポート(客観的記載法、要点のまとめ、結果の論理的考察):60 点 上記に従い、60 点以上(100 点満点)で合格とする。
準備学習等についての具体的な指示 毎回事前に WebClass から実習書や資料をダウンロードし、実習当日までに予習をしておくこと。
試験の受験資格 試験は行わないが、成績評価のためには、原則、全出席を必要とする。遅刻や早退となる際は、必ず科目責任者に連絡して理由を説明すること。勘案すべき事情のために欠席した場合は、その旨科目責任者に連絡をすること。
他科目との関連 遺伝子検査学的実験手法は、生化学、臨床化学、免疫検査学、血液検査学、病原体検査学等の他の分野の検査法や研究方法の基礎となる。
履修上の注意事項 講義資料、講義動画、参考資料などは著作権の問題があるので、受講登録者以外に公開することを禁ずる。 実習室での対面実習の際は、白衣を着用すること。実験機の周りは常に整理整頓し、特に毒物・劇物に指定されている化学物質の取り扱いについては、説明を良く聞き、十分に注意すること。実習に関する事以外での携帯電話・スマートフォンの使用は慎むこと。
備考 前年度のアンケート結果を参考にして、zoom 遠隔授業でのグループディスカッションを減らし、実習室での対面実習とグループディスカッションを増やした。
連絡先(メールアドレス) 鈴木 喜晴nsuzbb@tmd.ac.jp
オフィスアワー 鈴木 喜晴オフィスアワーは特に定めない 3 号館 16 階

時間割番号	013057A					
科目名	医学情報処理演習(Ⅱ)		科目ID	MT-451200-S		
担当教員	伊藤 南[ITO MINAMI]					
開講時期	2022 年度後期	対象年次	3	単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する					
英文名:Principles and Practice of Medical Information Processing(Ⅱ) 【科目責任者】伊藤南						
主な講義場所 図書館情報検索室(M&D タワー4階)						
授業の目的、概要等 臨床検査や科学研究において大量のデータを取り扱う機会が増えている。大量のデータを効率的に処理するだけでなく、統計学的な考え方に沿ってデータの意味するところを正しく理解することが求められている。本演習では、根拠に基づく医療(EBM)の考え方や実践法を学び、それを支える医療データベース、文献データベースの利用方法を修得する。生物統計学の基本的な考え方を学ぶ。表計算ソフト(エクセル)を利用して、データの関連性や因果関係を解析する方法を学ぶ。医療データの解析に欠かせない、ロジスティック曲線や生存曲線の解析について学ぶ。今後ますます必要性が高まると思われる、多変量解析やベイズ統計の基本的な考え方を学ぶ。						
授業の到達目標 1.精度管理における検定の役割について理解し、説明できる。 2.EBM(根拠に基づく医療)における統計検定の役割を理解し、説明できる。 3.フィッシャーの3原則、交絡と交互作用、因果関係と相関関係について理解し、説明できる。 4.パラメトリック検定における信頼区間、区間推定、標本数の決め方、比率の検定について理解し、説明できる。 5.対応のある二群のデータ間の差を検定できる(McNemar 検定、1 標本t検定、Wilcoxon の符号付き順位和検定)。 6.2因子間の独立性を検定できる(フィッシャーの正確確率検定、カイニ乗適合度検定)。 7.2因子多群のデータの差を検定できる(2元配置分散分析)。 8.2変量のデータの相関解析、回帰分析を行える。 9.一般線形回帰モデルによる多変量解析、最尤法、AIC について理解し、説明できる。 10.エクセルのソルバーによる数値解析を利用して多変量解析を行える(ポアソン回帰、ロジスティック回帰) 11.EZR を利用して多変量解析を行える(生存曲線の比較)。 12.ベイズ推定、 適中率とベイズ定理について理解し、説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	10/17	14:40-17:50	遠隔授業(同期型)	医学情報処理演習(Ⅱ)	EBM	伊藤 南,
3-4	10/24	14:40-17:50	遠隔授業(同期型)	医学情報処理演習(Ⅱ)	フェアな比較	伊藤 南,
5-6	11/11	08:50-12:00	情報検索室	医学情報処理演習(Ⅱ)	2因子の関係を見る	伊藤 南,
7-8	11/18	08:50-12:00	遠隔授業(同期型)	医学情報処理演習(Ⅱ)	2因子の分散分析	伊藤 南,
9-10	11/25	08:50-12:00	情報検索室	医学情報処理演習(Ⅱ)	相関と回帰	伊藤 南,
11-12	12/2	08:50-12:00	情報検索室	医学情報処理演習(Ⅱ)	多変量解析(Ⅰ)	伊藤 南,
13-14	12/9	08:50-12:00	情報検索室	医学情報処理演習(Ⅱ)	多変量解析(Ⅱ)	伊藤 南,
15	12/16	10:30-12:00	情報検索室	医学情報処理演習(Ⅱ)	ベイズ推定	伊藤 南,
授業方法 授業方法 配付資料をもとに講義と演習をおこなう。配布資料は事前にWebClass で公開する。毎回、前回の講義、演習内容を範囲として小テストを行う。コロナ禍対策として講義、演習の説明は遠隔講義とする。課題はメールにより随時添削指導する。						
授業内容 1.精度管理と統計検定～データの関係性 オリエンテーション、精度管理と統計検定、EBM と統計検定、データの集計、平均値の比較 2.フェアな比較と誤差 実験デザイン、バイアスと交絡、区間推定、標本サイズ、比率の検定、度数分布の比較 3.関連のあるデータを比較する						

関連のあるデータの比較(マクネマー検定、1標本のt検定、Wilcoxon の符号付順位和検定)、二因子間の独立性の検定(フィッシャーの正確確率検定、カイニ乗適合度検定) 4.2因子の関係をみる 因果関係と相関関係、症例対照研究とランダム化比較試験、交絡と交互作用、二元配置分散分析 5.相関と回帰 相関解析、単回帰分析、重回帰分析 6.多変量解析① 一般線形回帰モデル、最尤法、数値解析、最適モデルの選択、ポアソン回帰 7.多変量解析② 交絡の解消、傾向化スコア、ロジスティック回帰、生存曲線の解析 8.ベイズ推定 適中率とベイズ推定、ベイズ更新、ベイズ推定、統計のまとめ、統計検定の利用法と注意
成績評価の方法 (1)提出課題 (2)小テスト (3)期末試験(総合演習)の成績
成績評価の基準 期末テストでは小テスト形式の問題と演習問題を課す。期末試験の成績(100点満点)に、講義中の小テストの成績(20点以内に換算)を加えて、総合的に評価する。総合成績が60点以上のものを合格とする。総合成績により評点を決める。期末試験が合格に満たないものは再試験を実施し、総合成績が60点以上のものを合格とする。未提出の課題がある場合には総合成績より減点する。
準備学習等についての具体的な指示 ①配布資料は WebClass よりダウンロードできるので、講義前に印刷しておくこと。 ②講義前に、配布資料と教科書の関連範囲に目を通しておくこと(教科書との対応は授業明細の備考欄を参照)。 ③統計検定の方法や手順については事前に確認しておくこと。 ④コンピュータを自分で操作して慣れることが重要である。演習中の実習や提出課題で学んだことをそれ以降の演習ですぐに使えるように復習しておくこと。必ず自分で操作できるように反復練習すること。 ⑤提出された課題について添削指導のコメントを返信するので、必ず課題を修正して再度提出すること。
試験の受験資格 ①演習中に指示した提出課題をすべて提出すること。 ②2/3 以上の出席をもって受験資格とする。遠隔講義の場合は、講義中に行う小テストにより出席確認とする。演習の無断欠席や無断早退が認められた場合には出席の要件を満たさないものとする。特段の理由があると認められる場合には、担当教員より代替法を指示する。
教科書 入門統計学：検定から多変量解析・実験計画法まで／栗原伸一 著、：オーム社、2011 やさしい保健統計学 = Health statistics made simple／縣俊彦著、県、俊彦、：南江堂、2019
参考書 統計学図鑑／栗原伸一、丸山敦史 共著、：オーム社、2017 医療情報 医療情報システム編／日本医療情報学会医療情報技師育成部会／編集、：篠原出版新社、2013 バイオサイエンスの統計学：正しく活用するための実践理論／市原清志 著、：南江堂、1990 医学統計データを読む：医学・医療に必要な統計学活用法／ベス・ドーンソン、ロバート・G.トラップ 著、澤智博、森田茂穂 監訳、：メディカル・サイエンス・インターナショナル、2006
他科目との関連 医学情報処理演習(Ⅰ)と合わせて、臨床検査や研究に必要な統計検定の方法を一通りカバーする。医用工学は臨床検査学の周辺領域を広くカバーし、臨床検査を支えている。検査管理学、医用システム情報学(Ⅰ)(Ⅱ)、医学情報処理演習(Ⅰ)(Ⅱ)は、医用工学に関わる一連の講義、演習、実習として構成する。個別の検査機器の取り扱いについては生理検査学講義・実習等の教科を参照すること。
履修上の注意事項 ①表計算ソフトはマイクロソフト社の Excel2016 を使用する。 ②演習中に作成したファイルを保存するためのUSBメモリを各自用意する(1GB 程度、医用システム情報学実習(Ⅱ)、医学情報処理演習(Ⅱ)でも使用する)。 ③すでに別の統計学の教科書を持っている場合は、教科書を購入する必要はない。 ④日数が少ないので出席回数に注意すること。 ⑤能動的な講義への参加、講義時間を無駄に過ごさないことを希望する。講義資料は事前に WebClass で閲覧できるようにしてあるので予習すること。講義中ないし講義後の質問を歓迎

する。受講に際しては画面の小さなスマホ等の使用を避けること。前回の講義の範囲で小テストを実施するので、必ず復習しておくこと。著作権の問題があるので Zoom 講義の撮影と講義資料の受講者以外への公開を禁ずる。
備考 科目終了後に科目についてのアンケートを WebClass で実施する。 2021 年度の授業評価結果を踏まえ、2022 年度も引き続き、丁寧に指導・教育できる体制を整える。
連絡先(メールアドレス) 伊藤 南:minami.bse@tmd.ac.jp、
オフィスアワー 伊藤 南:3号棟16階 生体機能支援システム学教授室 随時対応しますので、事前にメール等で連絡して下さい。

時間割番号	013058A					
科目名	臨床病態学(Ⅱ)			科目ID	MT-431300-L	
担当教員	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂, 山口 純司[KAKINUMA SEI, SUMI YUKI, AKAZA MIHO, YAMAGUCHI Junnji]					
開講時期	2022 年度後期	対象年次	3	単位数	2	
実務経験のある教員による授業	該当する					
英文名: Clinical Medicine(Ⅱ) 【科目責任者】柿沼 晴						
主な講義場所 2022 年度は全てオンライン授業で行う。同期型と非同期型が混在するので確認して参加すること。						
授業の目的、概要等 今までに学んだ臨床検査をどのように臨床に用いるのか、疾患の病因・病態の理解と共に臨床医学の観点から学ぶことを目的とする。						
授業の到達目標 各臓器領域別に、どのような疾患・病態において臨床検査の異常が見られるのか理解できる。 各講義はオムニバス形式で行われるため、各回の講師が、臨床検査技師にとって必要な臨床病態について概説し、講義に基づいた筆記試験を講師が出題する。 試験の成績で 90 点以上を A+, 80 点以上を A, 70 点以上を B, 60 点以上を C とする。 合否判定に関しては定期試験の素点によって行い、点数調整は行わない。 ただ、本試験合格者における筆記試験の合計点は、試験問題の難易度に基づく相対評価に基づいて点数調整を行い、最終成績とする。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/26	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	臨床病態Ⅱ(1)	臨床病態Ⅱ	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂, 山口 純司
2	9/26	14:40-16:10	遠隔授業(非同期型)	臨床病態Ⅱ(2)	臨床病態Ⅱ	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂, 山口 純司
3	10/3	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	臨床病態Ⅱ(3)	臨床病態Ⅱ	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂, 山口 純司
4	10/3	14:40-16:10	遠隔授業(非同期型)	臨床病態Ⅱ(4)	臨床病態Ⅱ	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂, 山口 純司
5	10/17	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	臨床病態Ⅱ(5)	臨床病態Ⅱ	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂, 山口 純司
6	10/24	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	臨床病態Ⅱ(6)	臨床病態Ⅱ	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂, 山口 純司
7	10/31	13:00-14:30	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	臨床病態Ⅱ(7)	臨床病態Ⅱ	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂, 山口 純司
8	11/7	10:30-12:00	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	臨床病態Ⅱ(8)	臨床病態Ⅱ	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂, 山口 純司
9	11/7	13:00-14:30	遠隔授業(非同期型)	臨床病態Ⅱ(9)	臨床病態Ⅱ	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂, 山口 純司
10	11/14	08:50-10:20	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	臨床病態Ⅱ(10)	臨床病態Ⅱ	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂, 山口 純司
11	11/14	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	臨床病態Ⅱ(11)	臨床病態Ⅱ	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂, 山口 純司
12	11/28	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	臨床病態Ⅱ(12)	臨床病態Ⅱ	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂, 山口 純司
13	12/5	13:00-14:30	遠隔授業(非同期型)	臨床病態Ⅱ(13)	臨床病態Ⅱ	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂, 山口 純司
14	12/12	13:00-14:30	遠隔授業(非同期型)	臨床病態Ⅱ(14)	臨床病態Ⅱ	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂, 山口 純司
15	12/19	13:00-14:30	遠隔授業(非同期型)	臨床病態Ⅱ(15)	臨床病態Ⅱ	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂, 山口 純司
授業方法 各領域の専門診療科より講師を招き、オムニバス形式で各々の臨床病態学概論について講義を行う。担当講師と講義形式に関しては、別途連絡(Webclass と Zoom を併用)するので、必ず教務・webclass での連絡を確認すること。 アクティブ・ラーニングが中心となっており、自学自習を行うことが必要である。						
授業内容 講義のみで実習は行わない。 講義内容は各診療科専門領域概論である。 講義によって、Webclass と Zoom を併用して実施する。						

時間割については、別途教務・webclass における連絡の通りとするので、確認すること。
成績評価の方法 筆記試験により成績評価を行う。 可否判定は素点によって行い、出席点などによる点数調整は行わない。
成績評価の基準 単位判定はモジュール全体で行う。 成績評価はマルチプルチョイス形式の筆記試験の結果に基づいて評価する。 筆記試験における評点により評価を行い、試験で 60 点以上の者に単位を認定する。 試験の成績で 90 点以上を A+, 80 点以上を A, 70 点以上を B, 60 点以上を C とする。 可否判定は素点によって行い、出席点などによる点数調整は行わない。 ただ、本試験 60 点以上の合格者における筆記試験の合計点は、試験問題の難易度に基づく相対評価に基づいて点数調整を行い、上記の基準に従って最終成績とする。
準備学習等についての具体的な指示 臨床病態学(Ⅰ)で講義があった科目内容については復習しておくこと。 今までに学んだ検査項目について、それが異常値を示す主な疾患について復習しておくこと。
試験の受験資格 本学規定の出席基準に満たない場合は試験の受験資格を欠く。すなわち、計 15 回の講義のうち、10 回以上の出席がなければ、試験の受験資格を喪失する。出席の有無は Zoom の視聴ログにより、最初から最後までを視聴していたことが確認できたことをもって、判定する。 Webclass の非同期授業の場合は、受講履歴から最初から最後までを視聴していたことが確認できた(90 分の授業時間に対して、最低でも 45 分以上の視聴履歴があることをもって出席としてみなす)こと、及び、指定の視聴確認テストがあった場合には、視聴確認テストを受験したこと、の両者があることをもって出席と認める。すなわち確認テストで満点をとっていても、講義の視聴履歴が 45 分以上なければ、出席とは認めない。 webclass の授業視聴は、試験終了までは視聴可能な状態にしておくので、それまでに視聴すれば良い。視聴確認テストは授業日程から 1 週間に限定されているので、留意すること。なお、視聴確認テストの答えは公表しない。
モジュールの単位判定 臨床病態学(Ⅱ)モジュール全体で単位判定を行う。
参考書 臨床医学総論/臨床検査医学総論／奈良信雄, 高木康, 和田隆志 編集, 医歯薬出版, 2015 ハリソン内科学 第 5 版 Vol.2／デニス L カスパー ほか 編, 福井次矢, 黒川清 日本語版監, デニス L カスパー, フレイツグヤ, クロウキヨシ, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2017-03-16 はじめの一步の病態・疾患学: 病態生理から治療までわかる／林洋編, 林, 洋, 羊土社, 2018
他科目との関連 臨床病態学(Ⅰ)で講義があった科目内容については復習しておくこと。 生理機能検査学、解剖学、病理学、分析化学と関連している。
履修上の注意事項 時間割については、本シラバスは暫定的であり、別途教務・webclass における連絡の通りとする。変更の可能性もあるので、必ず受講の直前に時間割を確認すること。
備考 講義中の講師との質疑応答を介してアクティブ・ラーニングを行う。 講師との discussion を通じて、疾患の理解を深めるように進めることを求める。
連絡先(メールアドレス) 柿沼 晴: skakinuma.gast@tmd.ac.jp 角 勇樹: ysumi.pulm@tmd.ac.jp
オフィスアワー 柿沼 晴: 毎週 月曜または金曜日 9:00-17:00 3 号館 16 階 疾患生理機能解析学分野教授室 (来室前にメールで予約すること) 角 勇樹: 毎週 月-金 曜日 AM.9:00-PM.17:00 3 号館 16 階 呼吸器神経系解析学教授室 (来室の前にメールで予約してください)

時間割番号	013060A					
科目名	臨床実習			科目ID	MT-471400-E	
担当教員	齋藤 良一, 太田 悠介[SAITO RYOICHI, OOTA Yuusuke]					
開講時期	2022 年度後期	対象年次	3	単位数	7	
実務経験のある教員による授業	該当する					
英文名: Clinical Practice						
【科目責任者】齋藤 良一						
授業の目的、概要等						
今まで学んできた知識や技術が実践現場でどのように生かせるのか、あるいは生かさなければならないのかを、実習を通じて理解する。各臨床検査部門を小グループに分けてローテートし、実際に検査の現場である東京医科歯科大学病院検査部、病理部、輸血部等で実習や見学を行う。						
授業の到達目標						
臨床検査技師として必要な基本的実践技術を習得するとともに、検査機器の取扱法、精度管理法、検査情報管理法など、検査室の運営に関する必要な知識を習得する。また、臨床検査の現場を体験することによって、医療における検査室の重要性を理解し、合わせて患者への対応の仕方を学び、医療チームの一員としての自覚と責任感を養う。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/27	08:50-10:20		臨床実習	臨床実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
2	9/27	10:30-12:00		臨床実習	臨床実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
3	9/27	13:00-14:30		臨床実習	臨床実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
4	9/27	14:40-16:10		臨床実習	臨床実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
5	9/27	16:20-17:50		臨床実習	臨床実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
6	9/28	08:50-10:20		臨床実習	臨床実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
7	9/28	10:30-12:00		臨床実習	臨床実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
8	9/28	13:00-14:30		臨床実習	臨床実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
9	9/28	14:40-16:10		臨床実習	臨床実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
10	9/28	16:20-17:50		臨床実習	臨床実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
11	9/29	08:50-10:20		臨床実習	臨床実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
12	9/29	10:30-12:00		臨床実習	臨床実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
13	9/29	13:00-14:30		臨床実習	臨床実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
14	9/29	14:40-16:10		臨床実習	臨床実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
15	9/29	16:20-17:50		臨床実習	臨床実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
16	10/4	08:50-10:20		臨床実習	臨床実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
17	10/4	10:30-12:00		臨床実習	臨床実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
18	10/4	13:00-14:30		臨床実習	臨床実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
19	10/4	14:40-16:10		臨床実習	臨床実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
20	10/4	16:20-17:50		臨床実習	臨床実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
21	10/5	08:50-10:20		臨床実習	臨床実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
22	10/5	10:30-12:00		臨床実習	臨床実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
23	10/5	13:00-14:30		臨床実習	臨床実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
24	10/5	14:40-16:10		臨床実習	臨床実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
25	10/5	16:20-17:50		臨床実習	臨床実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
26	10/6	08:50-10:20		臨床実習	臨床実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
27	10/6	10:30-12:00		臨床実習	臨床実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
28	10/6	13:00-14:30		臨床実習	臨床実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
29	10/6	14:40-16:10		臨床実習	臨床実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
30	10/6	16:20-17:50		臨床実習	臨床実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一

127	11/22	13:00-14:30		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
128	11/22	14:40-16:10		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
129	11/22	16:20-17:50		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
130	11/24	08:50-10:20		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
131	11/24	10:30-12:00		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
132	11/24	13:00-14:30		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
133	11/24	14:40-16:10		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
134	11/24	16:20-17:50		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
135	11/29	08:50-10:20		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
136	11/29	10:30-12:00		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
137	11/29	13:00-14:30		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
138	11/29	14:40-16:10		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
139	11/29	16:20-17:50		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
140	11/30	08:50-10:20		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
141	11/30	10:30-12:00		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
142	11/30	13:00-14:30		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
143	11/30	14:40-16:10		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
144	11/30	16:20-17:50		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
145	12/1	08:50-10:20		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
146	12/1	10:30-12:00		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
147	12/1	13:00-14:30		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
148	12/1	14:40-16:10		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
149	12/1	16:20-17:50		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一

授業方法

小グループによるクルズス、実習、検査見学

授業内容

- 1) 病原体検査学（病院検査部）
- 2) 免疫検査学（病院検査部、輸血・細胞治療センター）
- 3) 血液検査学（病院検査部）
- 4) 分析化学検査学（病院検査部）
- 5) 生理検査学（病院検査部）
- 6) 病理検査学（病院病理部）
- 7) 学内・学外関連施設におけるチーム医療実習（3～4人の少人数グループに分けて、病院内外の保健、医療、福祉の現場で実習を行い、チーム医療における臨床検査技術のさまざまな役割を学ぶ。）

成績評価の方法

臨地実習指導者の評価を参考に、各教科目の担当教員が評価を行い、その評価を総合的に判定する。

準備学習等についての具体的な指示

講義で習った基本的事項について復習した上で実習に臨むこと。
臨地実習書に具体的なスケジュールが記載されている。

教科書

各教科目の担当教員が指示する。

参考書

臨地実習ガイドライン 2013 - 日本臨床衛生検査技師会
www.jamt.or.jp/data/asset/docs/臨地実習ガイドライン%202013.pdf

他科目との関連

これまでに履修した知識が、現場でどのように活用されているかを学ぶ。

履修上の注意事項

病院内は公の場であるから、身だしなみや態度に十分気をつけること。私語は慎むこと。遅刻は厳禁。

備考 ツイッター等への投稿に対する注意事項について 実習で知り得た患者や住民の情報を、無断で外部に持ち出したり、不用意に公の場で話したり、ソーシャルメディア(ツイッター、ブログ、ソーシャルネットワーキングサービス、動画共有サイトなど)に発信してはならない。諸君の軽率な行動が、個人情報の漏洩や、個人の尊厳・感情を傷つけることにつながり、受け入れ先をはじめ多くの人に迷惑をかけることになる。いったん拡散した情報は取り消すことができないので、情報の取り扱いに注意すること。
連絡先(メールアドレス) 齋藤 良一 r-saito.mi@tmd.ac.jp 太田 悠介 y-ota.micr@tmd.ac.jp
オフィスアワー 齋藤 良一 随時(必ず事前に連絡を入れること) 太田 悠介 随時(必ず事前に連絡を入れること)

時間割番号	013061A				
科目名	卒業研究Ⅰ			科目ID	MT-463100-S
担当教員	星 治[HOSHI OSAMU]				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	3	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				
英文名: Undergraduate Research					
【科目責任者】星 治					
担当教員: 検査技術学専攻に所属する教員					
主な講義場所					
研究指導教員の指示に従う。					
授業の目的、概要等					
指導教員と相談の上、それぞれテーマに沿って研究を行い、その結果を 4 年生時に、卒業論文として提出するとともに、卒業研究発表会において口頭発表する準備を行う。					
授業の到達目標					
臨床検査および関連分野の研究にふれることによって、論文の読み方、実験の進め方、研究結果のまとめ方、口頭発表の方法等の基本を学ぶ。さらに一連の過程を通して、科学的思考法を身につける。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容
1	12/2	14:40-16:10		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
2-3	12/5	08:50-12:00		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
4-5	12/5	14:40-17:50		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
6-7	12/6	08:50-12:00		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
8-9	12/6	14:40-17:50		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
10-14	12/7	08:50-17:50		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
15-19	12/8	08:50-17:50		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
20	12/9	14:40-16:10		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
21-22	12/12	08:50-12:00		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
23-24	12/12	14:40-17:50		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
25-26	12/13	08:50-12:00		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
27	12/13	16:20-17:50		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
28-32	12/14	08:50-17:50		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
33-37	12/15	08:50-17:50		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
38	12/16	08:50-10:20		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
39	12/16	16:20-17:50		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
40-41	12/19	08:50-12:00		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
42-43	12/19	14:40-17:50		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
44-45	12/20	08:50-12:00		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
46-47	12/20	14:40-17:50		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
48-52	12/21	08:50-17:50		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
53-57	12/22	08:50-17:50		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
58-60	12/23	08:50-14:30		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
61-65	1/4	08:50-17:50		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
66-70	1/5	08:50-17:50		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
71-75	1/6	08:50-17:50		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
76-77	1/10	08:50-12:00		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
78	1/10	16:20-17:50		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ

79-83	1/11	08:50-17:50		卒業研究 I	卒業研究 I
84-88	1/12	08:50-17:50		卒業研究 I	卒業研究 I
89-93	1/13	08:50-17:50		卒業研究 I	卒業研究 I
授業内容 研究内容と指導法は指導教員に一任する。 1) 研究テーマの選択 研究指導者名、受け入れ人数、テーマ等の一覧を学生に提示し、学生の希望を尊重しつつ指導教員を決定する。 2) 研究期間は4年の前期までとする。 3) 卒業研究論文の提出と研究発表 卒業論文は A4 用紙の両面を用い、図表を含めて3枚以内。文献はおおむね 10 編以内。表紙は無し。用語は日本語を用い、文字は全て印字をすることとし、文字、図、表ともそのまま製本できる状態であること。 論文形式で、要旨、はじめに、方法、結果、考察、文献の順で記載すること。					
成績評価の方法 直接指導する教員が評価する。					
成績評価の基準 評価が 60 点以上の場合を合格とする。					
準備学習等についての具体的な指示 本学の倫理研修を必ず受講し、修了していること。修了していない場合、卒業研究を行うことはできない。					
試験の受験資格 研究指導教員の指示に従い十分な研究活動を行った場合に、評価を受ける資格を有する。					
参考書 研究指導教員に指定された書籍・論文を参考にする。					
他科目との関連 3 年生までに履修した様々な科目と、また大学院進学後の様々な科目とも関連がある。					
履修上の注意事項 所属する研究室のきまりや約束事を必ず守ること。遅刻をしないこと。研究には積極的に参加すること。					
備考 卒業研究指導者となることができるのは、本学生体検査科学専攻の教員および、保健衛生学科の教育に関わった実績のある教員とする。					
連絡先(メールアドレス) 星 治 o-hoshi.aps@tmd.ac.jp					
オフィスアワー 星 治 オフィスアワーは特に定めない。事前にメールで連絡を。 湯島キャンパス3号館16階					

時間割番号	013083						
科目名	Global Communication(Ⅱ)			科目ID	MT-312200-L		
担当教員	鈴木 喜晴, JANELLE RENEE MOROSS[SUZUKI NOBUHARU, JANELLE RENEE MOROSS]						
開講時期	2022 年度通年	対象年次	3	単位数	2		
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名:Global Communication(Ⅱ)							
【科目責任者】鈴木 喜晴							
主な講義場所							
遠隔授業(同期型)、Zoom ID/Passcode は WebClass 参照							
授業の目的、概要等							
学生は医療技術に関連するトピックについて読み、議論します。また、ディスカッション、インターネット調査、プレゼンテーションのスキルを向上させるチャンスもあります。授業のスタイルは、人体の臓器系と病気/ラポテストに関する小グループディスカッションになり、英語のネイティブスピーカーが討議を進める。							
授業の到達目標							
到達目標は海外留学や研究に興味のある学生に医療のトピック・課題についての知識を増し、トピックに関する自分の意見を持ち、英語で包括的にそれを表現するのを助けることとする。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/6	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	Systems of the body	グループ討論、ロールプレイ、個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH, WARREN ASHLEY ROBERT	(WebClass に資料がある)
2	4/13	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	Cardiac function	グループ討論、ロールプレイ、個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH, WARREN ASHLEY ROBERT	(WebClass に資料がある)
3	4/20	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	Inflammation markers (CRP)	グループ討論、ロールプレイ、個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH, WARREN ASHLEY ROBERT	(WebClass に資料がある)
4	5/11	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	Presentations Groups 1-4	グループ討論、ロールプレイ、個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH, WARREN ASHLEY ROBERT	(WebClass に資料がある)
5	5/18	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	Presentations Groups 5-8	グループ討論、ロールプレイ、個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH, WARREN ASHLEY ROBERT	(WebClass に資料がある)
6	5/25	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	Immune system (vaccinations)	グループ討論、ロールプレイ、個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH, WARREN ASHLEY ROBERT	(WebClass に資料がある)
7	6/1	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	Integumentary system (AD)	グループ討論、ロールプレイ、個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH, WARREN ASHLEY ROBERT	(WebClass に資料がある)
8	6/8	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	Musculoskeletal System	グループ討論、ロールプレイ、個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH, WARREN ASHLEY ROBERT	(WebClass に資料がある)
9	6/15	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	Metabolic Syndrome	グループ討論、ロールプレイ、個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH, WARREN ASHLEY ROBERT	(WebClass に資料がある)
10	6/15	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	Group 1 Presentation	発表:グループ1	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH, WARREN ASHLEY ROBERT	(WebClass に資料がある)

11	6/22	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	COPD	グループ討論、ロール プレイ、個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH, WARREN ASHLEY ROBERT	(WebClass に資料 がある)
12	6/22	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	Group 2 Presentation	発表:グループ 2	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH, WARREN ASHLEY ROBERT	(WebClass に資料 がある)
13	6/29	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	口頭試問と作 文	口頭試問と作文	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH, WARREN ASHLEY ROBERT	
14	6/29	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	口頭試問と作 文	口頭試問と作文	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH, WARREN ASHLEY ROBERT	
15	7/20	14:40-16:10		TOEFL			この授業は定期 試験期間に行う 可能性がある。
16	7/20	16:20-17:50		TOEFL			この授業は定期 試験期間に行う 可能性がある。
17	9/22	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	Thyroid function	グループ討論、ロール プレイ、個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH, WARREN ASHLEY ROBERT	(WebClass に資料 がある)
18	9/30	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	Pulmonary function	グループ討論、ロール プレイ、個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH, WARREN ASHLEY ROBERT	(WebClass に資料 がある)
19	9/30	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	Presentation Group 3	発表:グループ 3	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH, WARREN ASHLEY ROBERT	(WebClass に資料 がある)
20	10/7	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	GI function	グループ討論、ロール プレイ、個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH, WARREN ASHLEY ROBERT	(WebClass に資料 がある)
21	10/7	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	Presentation Group 4	発表:グループ 4	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH, WARREN ASHLEY ROBERT	(WebClass に資料 がある)
22	10/21	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	Pancreas	グループ討論、ロール プレイ、個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH, WARREN ASHLEY ROBERT	(WebClass に資料 がある)
23	10/28	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	Presentation Group 5	発表:グループ 5	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH, WARREN ASHLEY ROBERT	(WebClass に資料 がある)
24	11/11	14:00-15:30	遠隔授業 (同期型)	Renal function	グループ討論、ロール プレイ、個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH, WARREN ASHLEY ROBERT	(WebClass に資料 がある)
25	11/11	15:40-17:10	遠隔授業 (同期型)	Presentation Group 6	発表:グループ 6	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH, WARREN ASHLEY ROBERT	(WebClass に資料 がある)
26	11/18	14:00-15:30	遠隔授業 (同期型)	Liver function	グループ討論、ロール プレイ、個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH, WARREN ASHLEY ROBERT	(WebClass に資料 がある)
27	11/18	15:40-17:10	遠隔授業	Presentation	発表:グループ 7	JANELLE RENEE MOROSS,	(WebClass に資料

			(同期型)	Group 7		WARREN L ELIZABETH, WARREN ASHLEY ROBERT	がある)
28	11/25	14:00-15:30	遠隔授業 (同期型)	Genitourinary	グループ討論、ロール プレイ、個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH, WARREN ASHLEY ROBERT	(WebClass に資料 がある)
29	12/2	14:00-15:30	遠隔授業 (同期型)	Presentation Group 8	発表:グループ 8	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH, WARREN ASHLEY ROBERT	(WebClass に資料 がある)
30	12/9	14:00-15:30	遠隔授業 (同期型)	Neurology	グループ討論、ロール プレイ、個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH, WARREN ASHLEY ROBERT	(WebClass に資料 がある)
31	12/16	14:00-15:30	遠隔授業 (同期型)	Preparation for final exam		JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH, WARREN ASHLEY ROBERT	(WebClass に資料 がある)
32	12/16	15:40-17:10	遠隔授業 (同期型)	口頭試問と作 文	口頭試問と作文	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH, WARREN ASHLEY ROBERT	

授業方法

全ての学習活動は英語で行われる

1. 英語で専門的医学知識の獲得に関する小グループ討論
2. 一般的な医学英語ボキャブラリー、語句、発音を教授する。ボキャブラリークイズを行う
3. 作文課題により作文技術の向上の機会を与える
4. オンライン調査とプレゼンテーションスキルを向上させる機会。

授業内容

授業スケジュール参照

成績評価の方法

成績は、出席、宿題の組み合わせに基づいて決定されます。宿題は、授業前の章の先読み、WebClass でのオンライン語彙クイズ、学期末の口頭試験、および授業活動への積極的な参加で構成されます。

成績評価の基準

出席 5%、

小テスト、宿題作文、オラル期末試験 30%、

授業への積極的参加 50%、

2022 TOEFL/ITP の結果 15%

準備学習等についての具体的な指示

宿題は常に授業前に行うこと、課題は WebClass から入手すること

試験の受験資格

口頭試問と作文、前期と後期の最後のレッスンに行います。

教科書

この科目では教科書を用いない。教員は文章、語句練習、包括的質問を WebClass に準備してある。

備考

授業最終日から、科目についてのアンケートが webclass でできるようになっている。アンケートに回答しない場合は、定期試験の可否を含む成績が webclass に表示されない。

昨年のアンケート結果に基づいて、グループとペアの練習パートナーはズームによって自動化され、毎週変更されます。

連絡先(メールアドレス)

鈴木 喜晴 nsuzbb@tmd.ac.jp

JANELLE RENEE MOROSS jmoross.isc@tmd.ac.jp

オフィスアワー

鈴木 喜晴 オフィスアワーは特に定めない 3号館 16階

JANELLE RENEE MOROSS: 予約をしたい方は電子メールを送ってください。

第 4 学年

(前期) ※卒業研究の時間帯に選択科目及び自由科目を受講してもよい。

3/28	①	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室		
	月	卒業研究Ⅱ																各研究室	
	29 火																		
	30 水																		
	31 木																		
4/1	金	卒業研究Ⅱ																各研究室	
4/4	②	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室		
	月	卒業研究Ⅱ																各研究室	
	5 火	医療人間学概論(1) (法学)	同期型 (zoom)		卒業研究Ⅱ													各研究室	
	6 水	卒業研究Ⅱ																各研究室	
	7 木	卒業研究Ⅱ																各研究室	
8 金	卒業研究Ⅱ																各研究室		
4/11	③	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室		
	月	卒業研究Ⅱ														各研究室			
	12 火	医療人間学概論(2) (法学)	同期型 (zoom)		総合講義(1)	同期型(zoom)		卒業研究Ⅱ										各研究室	
	13 水	卒業研究Ⅱ																各研究室	
	14 木	卒業研究Ⅱ															各研究室		
15 金	卒業研究Ⅱ															各研究室			
4/18	④	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室		
	月	[選]心電図判読(1)	同期型 (zoom)		総合講義(2)	同期型(zoom)		卒業研究Ⅱ								各研究室			
	19 火	医療人間学概論(3) (法学)	同期型 (zoom)		総合講義(3)	同期型(zoom)		卒業研究Ⅱ								各研究室			
	20 水	卒業研究Ⅱ													[選]遺伝学(1)	非同期型 (asynchronous)	各研究室		
	21 木	卒業研究Ⅱ		各研究室	総合講義(4)	同期型(zoom)	卒業研究Ⅱ									各研究室			
22 金	卒業研究Ⅱ																各研究室		
4/25	⑤	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室		
	月	[選]心電図判読(2)	同期型 (zoom)		総合講義(5)	同期型(zoom)		卒業研究Ⅱ						各研究室	卒業研究Ⅱ	同期型(zoom)	各研究室		
	26 火	医療人間学概論(4) (法学)	同期型 (zoom)		卒業研究Ⅱ													各研究室	
	27 水	卒業研究Ⅱ																各研究室	
	28 木	卒業研究Ⅱ																各研究室	
29 金	昭和の日																		
5/2	⑥	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室		
	月	卒業研究Ⅱ														各研究室			
	3 火	憲法記念日																	
	4 水	みどりの日																	
	5 木	こどもの日																	
6 金	卒業研究Ⅱ																各研究室		
5/9	⑦	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室		
	月	[選]心電図判読(3)	同期型 (zoom)		卒業研究Ⅱ												各研究室		
	10 火	医療人間学概論(5) (法学)	同期型 (zoom)		卒業研究Ⅱ													各研究室	
	11 水	卒業研究Ⅱ																各研究室	
	12 木	卒業研究Ⅱ					各研究室		公衆衛生学実習(1)		登校(面接授業)	7F実習室 講義室4,5	公衆衛生学実習(2)		登校(面接授業)	7F実習室 講義室4,5	卒業研究Ⅱ		各研究室
13 金	[選]分子生物学(1)	同期型 (zoom)	講義室3	卒業研究Ⅱ		各研究室		公衆衛生学講義(1)		同期型(zoom)		公衆衛生学講義(2)		同期型(zoom)		医療概論・関係法規(1)		同期型(zoom)	

		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室	
5/16	月	[選]心電図判読(4)	同期型 (zoom)		卒業研究Ⅱ								各研究室		[選]English for Health Care Sciences I (2)	同期型(zoom)		
		卒業研究Ⅱ		各研究室											卒業研究Ⅱ		各研究室	
17	火	医療人間学概論(6) (法学)	同期型 (zoom)		卒業研究Ⅱ												各研究室	
18	水	卒業研究Ⅱ													[選]通信学(2)	非同期型 (webclass)		
19	木	卒業研究Ⅱ		各研究室	公衆衛生学実習(3)	登校(面接授業)	7F実習室 講義室4,5	M&Dタワー2階 共用講義室2	公衆衛生学実習(4)	登校(面接授業)	7F実習室 講義室5	公衆衛生学実習(5)	登校(面接授業)	7F実習室 講義室5	卒業研究Ⅱ		各研究室	
20	金	[選]分子生物学(2)	同期型 (zoom)		卒業研究Ⅱ		各研究室		公衆衛生学講義(3)	非同期型 (webclass)		公衆衛生学講義(4)	同期型(zoom)		医療概論・関係法規 (2)	同期型(zoom)		
		卒業研究Ⅱ		各研究室														
		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室	
5/23	月	[選]心電図判読(5)	同期型 (zoom)		卒業研究Ⅱ								各研究室		[選]English for Health Care Sciences I (2)	同期型(zoom)		
		卒業研究Ⅱ		各研究室											卒業研究Ⅱ		各研究室	
24	火	医療人間学概論(7) (法学)	同期型 (zoom)		卒業研究Ⅱ												各研究室	
25	水	卒業研究Ⅱ																
26	木	卒業研究Ⅱ				各研究室			公衆衛生学実習(6)	同期型(zoom)		公衆衛生学実習(7)	同期型(zoom)		卒業研究Ⅱ		各研究室	
27	金	[選]分子生物学(3)	同期型 (zoom)		卒業研究Ⅱ		各研究室		公衆衛生学講義(5)	同期型(zoom)		公衆衛生学講義(6)	同期型(zoom)		医療概論・関係法規 (3)	同期型(zoom)		
		卒業研究Ⅱ		各研究室														
		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室	
5/30	月	[選]心電図判読(6)	同期型 (zoom)		卒業研究Ⅱ								各研究室		[選]English for Health Care Sciences I (2)	同期型(zoom)		
		卒業研究Ⅱ		各研究室											卒業研究Ⅱ		各研究室	
31	火	医療人間学概論(8) (法学)	同期型 (zoom)		卒業研究Ⅱ												各研究室	
6/1	水	卒業研究Ⅱ																
2	木	卒業研究Ⅱ				各研究室			公衆衛生学実習(8)	同期型(zoom)		公衆衛生学実習(9)	同期型(zoom)		卒業研究Ⅱ		各研究室	
3	金	[選]分子生物学(4)	同期型 (zoom)		卒業研究Ⅱ		各研究室		公衆衛生学講義(7)	同期型(zoom)		公衆衛生学講義(8)	同期型(zoom)		医療概論・関係法規 (4)	非同期型 (webclass)		
		卒業研究Ⅱ		各研究室														
		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室	
6/6	月	[選]通信学(3)	非同期型 (webclass)		卒業研究Ⅱ								各研究室		[選]English for Health Care Sciences I (2)	同期型(zoom)		
		卒業研究Ⅱ		各研究室											卒業研究Ⅱ		各研究室	
7	火	卒業研究Ⅱ																
8	水	卒業研究Ⅱ																
9	木	[選]心電図判読(7)	同期型 (zoom)		卒業研究Ⅱ		各研究室		公衆衛生学実習(10)	同期型(zoom)		公衆衛生学実習(11)	同期型(zoom)		卒業研究Ⅱ		各研究室	
		卒業研究Ⅱ		各研究室														
10	金	[選]分子生物学(5)	同期型 (zoom)		卒業研究Ⅱ		各研究室		公衆衛生学講義(9)	同期型(zoom)		公衆衛生学講義(10)	同期型(zoom)		医療概論・関係法規 (5)	非同期型 (webclass)		
		卒業研究Ⅱ		各研究室														
		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室	
6/13	月	[選]心電図判読(8)	同期型 (zoom)		卒業研究Ⅱ								各研究室		[選]English for Health Care Sciences I (2)	同期型(zoom)		
		卒業研究Ⅱ		各研究室											卒業研究Ⅱ		各研究室	
14	火	卒業研究Ⅱ																
15	水	[選]通信学(4)	登校(面接授業)	講義室2	卒業研究Ⅱ											各研究室		
16	木	卒業研究Ⅱ				各研究室			公衆衛生学実習(12)	同期型(zoom)		公衆衛生学実習(13)	同期型(zoom)		卒業研究Ⅱ		各研究室	
17	金	[選]分子生物学(6)	同期型 (zoom)		卒業研究Ⅱ		各研究室		公衆衛生学講義(11)	登校(面接授業)	講義室4	卒業研究Ⅱ		各研究室	医療概論・関係法規 (6)	同期型(zoom)		
		卒業研究Ⅱ		各研究室														
		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室	
6/20	月	卒業研究Ⅱ		各研究室	総合講義(6)	登校又は 同期型	講義室2		[選]通信学(5)	同期型(zoom)		[選]通信学(6)	同期型(zoom)		[選]English for Health Care Sciences I (2)	同期型(zoom)		
									卒業研究Ⅱ		各研究室	卒業研究Ⅱ		各研究室	卒業研究Ⅱ		各研究室	
21	火	卒業研究Ⅱ								[選]通信学(7)		登校(面接授業)	講義室2	[選]通信学(8)	非同期型 (webclass)			
22	水	卒業研究Ⅱ																
23	木	卒業研究Ⅱ				各研究室			公衆衛生学実習(14)	登校(面接授業)	講義室4	卒業研究Ⅱ					各研究室	
24	金	[選]分子生物学(7)	同期型 (zoom)		卒業研究Ⅱ		各研究室		公衆衛生学講義(12)	同期型(zoom)		公衆衛生学講義(13)	同期型(zoom)		医療概論・関係法規 (7)	同期型(zoom)		
		卒業研究Ⅱ		各研究室														
		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室	
6/27	月	卒業研究Ⅱ													各研究室			
	28	火	総合講義(7～11):包括医療統合教育(チーム医療入門(仮))															
29	水	総合講義(12～16):包括医療統合教育(チーム医療入門(仮))																
30	木	総合講義(17～21)国試模試7月分						3号館講義室2,4									登校(面接授業)	
7/1	金	[選]分子生物学(8)	同期型 (zoom)		公衆衛生学実習(15)	同期型(zoom)			公衆衛生学講義(14)	同期型(zoom)		公衆衛生学講義(15)	同期型(zoom)		医療概論・関係法規 (8)	同期型(zoom)		
		卒業研究Ⅱ		各研究室														

④	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
7/4	月	卒業研究Ⅱ												卒業研究Ⅱ	同期型(zoom)	
5	火	卒業研究Ⅱ														各研究室
6	水															
7	木															
8	金															

①																
7/11	月	前期定期試験														
12	火	前期定期試験														
13	水	前期定期試験														
14	木	前期定期試験														
15	金	前期定期試験														

②																
7/18	月	薄の日														
19	火	前期定期試験														
20	水	前期定期試験														
21	木	前期定期試験														
22	金	前期定期試験														

夏季休業 7/25(月)～

		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
7/25	月																
26	火																
27	水																
28	木																
29	金																

(後期)

	①	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
9/5	月																
6	火																
7	水																
8	木																
9	金																

	②	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室		
9/12	月	卒業研究発表会 準備 保健衛生学講義室1(3号館18階)							M&Dタワー2階 共用講義室1										
13	火	卒業研究発表会 保健衛生学講義室1(3号館18階)							3号館講義室1,2										
14	水																		
15	木	総合講義(22～26) 国試模試9月分							講義室1,2									登校(面接授 業)	講義室 1,2
16	金								総合講義(27)	登校又は同期 型	講義室2	総合講義(28)	登校又は同期 型	講義室2	総合講義(29)	登校又は同期 型	講義室2		

	③	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
9/19	月	敬老の日															
20	火																
21	水																
22	木																
23	金	秋分の日															

④	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
9/26	月	[選]アドバンスド 生理機能検査学(1)	同期型 (zoom)		[選]心臓生理学(1)	同期型(zoom)										
27	火															
28	水															
29	木													[選]AI実践演習(1)	同期型(zoom)	移動時間 11時15分
30	金							総合講義(30)	登校又は同期型	講義室2	総合講義(31)	登校又は同期型	講義室2	総合講義(32)	登校又は同期型	講義室2

⑤	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
10/3	月	[選]アドバンスド 生理機能検査学(2)	同期型 (zoom)		[選]心臓生理学(2)	同期型(zoom)		総合講義(33)	登校又は同期型	講義室2	総合講義(34)	登校又は同期型	講義室2	総合講義(35)	登校又は同期型	講義室2
4	火															
5	水															
6	木													[選]AI実践演習(2)	同期型(zoom)	移動時間 11時15分
7	金															

	⑥	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
10/10	月	スポーツの日															
11	火																
12	水	創立記念行事															
13	木																
14	金																

⑦	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
10/17	月	[選]アドバンスド 生理機能検査学(3)	同期型 (zoom)		[選]心臓生理学(3)	同期型(zoom)		総合講義(36)	登校又は同期型	講義室2	総合講義(37)	登校又は同期型	講義室2	総合講義(38)	登校又は同期型	講義室2
18	火															
19	水															
20	木													[選]AI実践演習(3)	同期型(zoom)	移動時間 11時15分
21	金															

⑧	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
10/24	月	[選]アドバンスド 生理機能検査学(4)	同期型 (zoom)		[選]心臓生理学(4)	非同同期型 (webclass)		総合講義(39)	登校又は同期型	講義室2	総合講義(40)	登校又は同期型	講義室2	総合講義(41)	登校又は同期型	講義室2
25	火															
26	水															
27	木															
28	金															

10/31	⑩	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	[選]アドバンスド 生理機能検査学(5)	同期型 (zoom)		[選]心臓生理学(5)	同期型(zoom)			総合講義(42)	登校又は同 期型	講義室2	総合講義(43)	登校又は同 期型	講義室2	総合講義(44)	登校又は同 期型	講義室2
	11/1	火															
2	水																
	3	木	文化の日														
4	金																
11/7	⑪	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月								総合講義(45)	登校又は同 期型	講義室2	総合講義(46)	登校又は同 期型	講義室2	総合講義(47)	登校又は同 期型	講義室2
	8	火															
9	水																
	10	木															
11	金	総合講義(48～52)国試模試11月分						M&Dタワー2階 共用講義室1									
															[選]AI実践演習(4)	同期型(zoom)	移動時間 が無い学 生は1,2学
11/14	⑫	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月								総合講義(53)	登校又は同 期型	講義室2	総合講義(54)	登校又は同 期型	講義室2	総合講義(55)	登校又は同 期型	講義室2
	15	火															
16	水																
	17	木															
18	金														[選]AI実践演習(5)	同期型(zoom)	移動時間 が無い学 生は1,2学
11/21	⑬	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	総合講義(56)(I)	登校又は同 期型	講義室2	総合講義(57)(I)	登校又は同 期型	講義室2										
	22	火															
23	水	勤労感謝の日															
	24	木															
25	金														[選]AI実践演習(6)	同期型(zoom)	移動時間 が無い学 生は1,2学
11/28	⑭	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	[選]アドバンスド 生理機能検査学(6)	同期型 (zoom)		[選]心臓生理学(6)	同期型(zoom)											
	29	火															
30	水																
	12/1	木															
2	金														[選]Learning Medical English(1)	同期型(zoom)	
12/5	⑮	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月																
	6	火															
7	水								総合講義(58)(I)試験	登校(面接授 業)	講義室4	総合講義(59)(I)試験	登校(面接授 業)	講義室4			
	8	木													[選]AI実践演習(7)	同期型(zoom)	移動時間 が無い学 生は1,2学
9	金																
12/12	⑯	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	[選]アドバンスド 生理機能検査学(7)	同期型 (zoom)		[選]心臓生理学(7)	同期型(zoom)											
	13	火															
14	水								総合講義(60)(II)試験	登校(面接授 業)	講義室4	総合講義(61)(II)試験	登校(面接授 業)	講義室4	[選]Learning Medical English(2)	同期型(zoom)	移動時間 が無い学 生は5
	15	木													[選]AI実践演習(8)	同期型(zoom)	移動時間 が無い学 生は1,2学
16	金																
12/19	⑰	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	[選]アドバンスド 生理機能検査学(8)	同期型 (zoom)		[選]心臓生理学(8)	同期型(zoom)					[選]Learning Medical English(3)	同期型(zoom)		[選]Learning Medical English(4)	同期型(zoom)		
	20	火															
21	水										[選]Learning Medical English(5)	同期型(zoom)		[選]Learning Medical English(6)	同期型(zoom)		
	22	木															
23	金	[選]Learning Medical English(7)	同期型 (zoom)		[選]Learning Medical English(8)	同期型(zoom)											

冬季休業
12/26(月)～

①		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
1/2	月																
3	火																
4	水								総合講義(再試)	登校(面接授業)	講義室4	総合講義(再試)	登校(面接授業)	講義室4			
5	木																
6	金	総合講義(62～66)国試模試(合同)1月分						M&Dタワー2階 共用講義室2								登校(面接授業)	講義室1
①																	
1/9	月	成人の日															
10	火	後期定期試験															
11	水	後期定期試験															
12	木	後期定期試験															
13	金	後期定期試験															
②																	
1/16	月	補講・再試															
17	火	補講・再試															
18	水	補講・再試															
19	木	補講・再試															
20	金	補講・再試															
②		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室		13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
1/23	月																
24	火																
25	水																
26	木																
27	金	総合講義(67～71)国試模試2月分						M&Dタワー2階 共用講義室2								登校(面接授業)	講義室1

春季休業 1/30(月)～

時間割番号	013019A					
科目名	公衆衛生学講義			科目ID	MT-232100-L	
担当教員	緒方 泰子, 西尾 美和子[OGATA YASUKO, NISHIO Miwako]					
開講時期	2022 年度前期	対象年次	4	単位数	2	
実務経験のある教員による授業	該当する 保健師、看護師					
英文名:Publc Health, Lecture						
【科目責任者】緒方泰子						
【担当教員】 緒方泰子、西尾美和子						
主な講義場所						
・遠隔授業(同期型)						
・対面の場合は、保健衛生学講義室4(3号館7階)ほか						
授業の目的、概要等						
疾病を予防し人々の健康増進に資する科学的な手法を含む、幅広い学問体系より成る公衆衛生学について、基本的な知識・技術を習得する。臨床検査技師として、将来、多職種と連携しながら国民の健康の保持増進に資する活動をしていくために、保健・医療・福祉の制度や動向、人々の健康に影響する環境要因、生活習慣等について理解する。						
授業の到達目標						
公衆衛生学の膨大な領域の中から、将来、医療の一翼を担う臨床監査技師として必要不可欠な知識を効率よく学習でき、自ら課題を課し、それを自己解決できる能力を養う上での基礎知識を習得することを目標とする。						
<授業の到達目標>						
1)健康・予防の概念、衛生統計について理解し説明できる。						
2)母子・成人・高齢者保健について理解し説明できる。						
3)精神保健、産業保健、学校保健について理解し説明できる。						
4)健康教育について理解し説明できる。						
5)社会保障と医療・介護について理解し説明できる。						
6)疫学及び疫学研究、感染症の予防、健康と環境について理解し説明できる。						
7)栄養保健について理解し説明できる。						
8)国際機関の役割、国際協力等について理解し説明できる。						
9)1)～8)の知識を組み合わせ、多職種連携に応用していく態度を身につける。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	5/13	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	公衆衛生概論等	公衆衛生概論、健康の定義、予防の概念など: WHO による健康の定義、ICF の考え方、一次予防、二次予防、三次予防の考え方、健康の保持増進	緒方 泰子, 西尾 美和子, 廣山 奈津子, 大久保 豪
2	5/13	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	感染症対策・予防	日本における感染症対策の仕組み(平時および流行拡大時)、予防接種の仕組み	緒方 泰子, 西尾 美和子, 廣山 奈津子, 大久保 豪
3	5/20	13:00-14:30	遠隔授業 (非同同期型)	母子・成人・老人 保健 1	母子・成人・高齢者のライフステージにおける国内の主要な保健統計、健康課題、保健政策、公衆衛生の専門職による活動	緒方 泰子, 西尾 美和子, 廣山 奈津子, 霜越 多麻美
4	5/20	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	母子・成人・老人 保健 2	母子・成人・高齢者のライフステージにおける国内の主要な保健統計、健康課題、保健政策、公衆衛生の専門職による活動(続き)	緒方 泰子, 西尾 美和子, 廣山 奈津子, 霜越 多麻美
5	5/27	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	疫学 1	疫学とは・疫学指標など・疫学的考え方、特に重要な疫学指標(罹患率、有病割合)	緒方 泰子, 西尾 美和子, 廣山 奈津子, 大久保 豪
6	5/27	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	疫学 2	疫学研究の種類・バイアス・交絡:観察研究(横断研究、コホート研究、症例対照研究)と介入研究及び情報バイアス、選択バイアス、交絡	緒方 泰子, 西尾 美和子, 廣山 奈津子, 大久保 豪
7	6/3	13:00-14:30	遠隔授業	スクリーニング	スクリーニングの基本的考え方、スクリーニング	緒方 泰子, 西尾 美和子,

			(同期型)		の効果評価方法	廣山 奈津子, 大久保 豪
8	6/3	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	医療・介護制度 1	医療提供体制: 医療施設の法的位置づけやその種類、医師・看護師の人数や分布、医療計画	緒方 泰子, 西尾 美和子, 廣山 奈津子, 大久保 豪
9	6/10	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	医療・介護制度 2	医療保険制度: 公的医療保険制度の理念と仕組み、その課題	緒方 泰子, 西尾 美和子, 廣山 奈津子, 大久保 豪
10	6/10	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	医療・介護制度 3	介護保険制度: 人口動態統計・人口動態統計、介護保険制度の理念と仕組み、その課題(特に医療保険制度との比較から)	緒方 泰子, 西尾 美和子, 廣山 奈津子, 大久保 豪
11	6/17	13:00-14:30	保健衛生学 科講義室 4	精神保健・産業保健	精神保健・産業保健: 精神的健康、ライフサイクルにおける精神保健、精神保健福祉対策、薬物依存、職場のストレス・暴力、産業疲労、トータル・ヘルス・プロモーション	緒方 泰子, 西尾 美和子, 廣山 奈津子, 小宮 浩美
12	6/24	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	栄養保健	栄養保健: 食品衛生、栄養に関する主要統計など	緒方 泰子, 西尾 美和子, 廣山 奈津子, 吉成 知也
13	6/24	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	国際保健	国際保健: 国際機関の役割とは何か、日本の公的な国際協力と民間の国際協力	緒方 泰子, 西尾 美和子, 廣山 奈津子, 大久保 豪
14	7/1	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	学校保健	学校保健: 学校保健の組織と運営、学校保健活動、環境管理、安全管理など	緒方 泰子, 西尾 美和子, 廣山 奈津子, 関 由起子
15	7/1	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	健康教育	健康教育: 家庭、学校、職場、地域における健康教育	緒方 泰子, 西尾 美和子, 廣山 奈津子, 関 由起子

授業方法

Zoom を用いた同期型授業と対面講義を組み合わせで行う。
講義の他に、グループワーク、リフレクションペーパー等を通してアクティブラーニングを行う。
講義後にリフレクションペーパーを通して質問を受け付ける。

成績評価の方法

以下の項目について総合的に評価を行う。

1) 出席状況

※出席とは同期型授業、対面授業等への参加をさす。

2) 課題への取り組み姿勢・授業への参加態度

※原則、Zoom のカメラはオンとし、顔が映るように設定する。

※授業中の発言状況、グループワーク・資料の作成・プレゼンテーションへの責任ある参加度合い。

3) 期末テスト

※授業で学んだ英語を試験に引用することもあるため、よく理解しておく必要がある。

成績評価の基準

1) 出席状況(30%)

2) 課題への取り組み姿勢・授業への参加態度(30%)

3) 期末テスト(40%)

出席状況を 30 点満点、課題到達度を 30 点満点、期末テストを 40 点満点に換算して総合成績とし、評点にする。総合得点が 60 点以上の者を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

シラバスに書かれている内容について、事前に参考書等で予習をしてもらうことが望ましい。

試験の受験資格

本学試験規則に準じ、授業に 2/3 以上出席していること。

参考書

最新臨床検査学講座 公衆衛生学 2022 年版／照屋 浩司 著・文・その他、川村 堅 著・文・その他、照屋 浩司、川村 堅：医歯薬出版、2022-01-12

・(財)厚生統計協会：国民衛生の動向、厚生指標臨時増刊、(財)厚生統計協会、東京

他科目との関連

全ての他領域科目と相互に関連する科目であり、さらに法律、工学、心理学、統計学、経済学、人文科学等や行政と密接な関係がある。

履修上の注意事項 内容が多岐にわたるため講義・実習共に欠席するとその部分の再講習は不可能で、欠落箇所の穴埋めは難しい。広い社会常識が求められるので、マスメディアにおける医療問題にはよく注意しておくこと。
備考 2021 年度の授業評価結果を踏まえ、2022 年度も引き続き、丁寧に指導・教育できる体制を整える。
連絡先(メールアドレス) 緒方 泰子:yogata.gh@tmd.ac.jp 3 号館 19 階 西尾 美和子:mnishio.img@tmd.ac.jp
オフィスアワー 緒方 泰子オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	013020A					
科目名	公衆衛生学実習			科目ID	MT-252200-E	
担当教員	緒方 泰子, 西尾 美和子, 廣山 奈津子[OGATA YASUKO, NISHIO Miwako, HIROYAMA NATSUKO]					
開講時期	2022 年度前期	対象年次	4	単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する 保健師、看護師					
英文名:Public Health, Laboratory						
【科目責任者】緒方 泰子						
【担当教員】緒方 泰子、西尾 美和子、廣山 奈津子						
主な講義場所						
・遠隔授業(同期型)						
・対面の場合は、保健衛生学講義室4(3号館7階)ほか						
授業の目的、概要等						
少子高齢化や新型コロナウイルスの流行等を背景に、個人レベルでも、行政レベルでも、予防医学のひとつの流れである公衆衛生学の重要性和その手法はますます高まる。今後、臨床検査技師となる受講者が、検査技術学にとどまらず、人々の望ましい生活習慣の獲得・普及に向けて多職種と協働しながらその役割を担っていけるよう、公衆衛生学に関わる基本的な知識や技術を習得する。						
人間を取り巻く環境・社会要因と人間の健康・疾患との関わりを考え、それを健康の維持・増進・疾患の予防・早期発見・早期治療に役立てるために必要な知識・技術を習得する。健康上の諸現象を疫学的に把握し、それが健康の保持増進、疾患予防の上でいかに利用されているかを理解する。国民の健康保持・増進のための制度・組織についての知識を習得する。						
授業の到達目標						
公衆衛生学の膨大な領域の中から、将来医療に携わる学生が必要不可欠な知識を効率よく学習でき、自ら課題を課し、それを自己解決できる能力を養う上での基礎知識を習得することを目標とする。						
<到達目標>						
1)公衆衛生学実習に伴う基本的概念について理解する。						
2)公衆衛生に必要な各種環境測定について理解し、実際に器具を用いて測定できる。						
3)疫学に必要な知識を獲得し、寄与危険度などの適切な計算ができる。						
4)臨床検査技師として求められる公衆衛生学の基礎的知識を獲得する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	5/12	13:00-16:10	保健衛生学実習室 保健衛生学科講義室 4, 保健衛生学科講義室 5	生活環境測定	公衆衛生学実習の基本的概念、実習で求められる学習課題等を学ぶ。室内環境測定の原理・特徴、測定機器を用いて、生活環境各所の測定を行う。	緒方 泰子, 西尾 美和子, 廣山 奈津子, 原田 直昌
3-4	5/19	10:30-14:30	保健衛生学実習室 保健衛生学科講義室 4, 保健衛生学科講義室 5	化学物質と健康影響	化学物質による健康影響と規制基準についてその基準の設定や根拠について学ぶ。	緒方 泰子, 西尾 美和子, 廣山 奈津子, 吉岡 範幸
5	5/19	14:40-16:10	保健衛生学実習室 保健衛生学科講義室 5	上・下水道	上下水道のシステムとその規制基準について学び、身近な水の水質検査の実施。	緒方 泰子, 西尾 美和子, 廣山 奈津子, 吉岡 範幸
6-7	5/26	13:00-16:10	遠隔授業(同期型)	疫学演習 1	疫学とは何か、疾病の頻度を表す様々な疫学指標について学ぶ。	緒方 泰子, 西尾 美和子, 廣山 奈津子, 平田 あや
8-9	6/2	13:00-16:10	遠隔授業(同期型)	疫学演習 2	疫学研究方法(記述疫学、横断研究、コホート研究、症例対照研究、介入研究)、偏りと交絡について学ぶ。	緒方 泰子, 西尾 美和子, 廣山 奈津子, 平田 あや
10-11	6/9	13:00-16:10	遠隔授業(同期型)	疫学演習 3	スクリーニングについて、スクリーニング検査の評価や有効性を理解する。	緒方 泰子, 西尾 美和子, 廣山 奈津子, 平田 あや
12-13	6/16	13:00-16:10	遠隔授業(同期型)	疫学演習 4	疫学演習 1-3 の内容に基づいた総合演習を行う。	緒方 泰子, 西尾 美和子, 廣山 奈津子, 平田 あや
14	6/23	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4	公衆衛生学実習総括 1-①	臨床検査技師の国家試験形式の問題をもとに、公衆衛生学実習に関する理解を深め	緒方 泰子, 西尾 美和子, 廣山 奈津子

					る。公衆衛生学実習全体を通じた評価・まとめを行う。	
15	7/1	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	公衆衛生学実習総括 1-②	臨床検査技師の国家試験形式の問題をもとに、公衆衛生学実習に関する理解を深める。公衆衛生学実習全体を通じた評価・まとめを行う。	緒方 泰子, 西尾 美和子, 廣山 奈津子, 吉岡 範幸
授業方法 対面による実習と Zoom を用いた同期型授業を行う。 環境測定といった実技等を通してアクティブラーニングを実施する。 実習後、リフレクションペーパーを通して質問を受け付ける。						
成績評価の方法 以下の項目について総合的に評価を行う。 1) 出席状況 ・出席とは同期型授業および対面による授業への参加をさす。 2) 課題への取り組み姿勢・授業への参加態度 ・原則、Zoom のカメラはオンとし、顔が映るように設定する。 ・授業中の発言状況、グループワーク・資料の作成・プレゼンテーションへの責任ある参加度合い。 3) 期末テスト ・テキストや配布資料等に記載された英語(単語や文章)をそのまま試験に引用することがある。よく理解しておく必要がある。実施日・実施方法については、授業中または WebClass 等を通じて伝える。 4) 課題レポート ・課題内容について個別にレポートを作成・提出する。課題は授業中または WebClass 等を通じて提示する。						
成績評価の基準 1) 出席状況(30%) 2) 演習への取り組み姿勢・授業への参加態度(20%) 3) テスト(30%) 4) 課題レポート(20%) 出席状況を 30 点満点、演習への取り組み姿勢・授業への参加態度を 20 点満点、テストを 30 点満点、課題レポートを 20 点満点に換算して総合成績とし、評点にする。総合得点が 60 点以上の者を合格とする。						
準備学習等についての具体的な指示 シラバスに書かれている内容について、事前に参考書などで予習をしてもらうことが望ましい。						
試験の受験資格 本学試験規則に準じ、授業に 3/4 以上出席していること。zoom での出席は、最初から最後まで参加しているログが確認できた場合に認める。						
参考書 最新臨床検査学講座 公衆衛生学 2022 年版／照屋 浩司 著・文・その他、川村 堅 著・文・その他、照屋 浩司、川村 堅：医歯薬出版、2022-01-12 ・(財)厚生統計協会：国民衛生の動向，厚生指標臨時増刊，(財)厚生統計協会，東京						
他科目との関連 全ての他領域科目と相互に関連する科目でありさらに法律，工学，心理学，統計学，経済学，人文科学等や行政と密接な関係がある。						
履修上の注意事項 内容が多岐にわたるため講義・実習共に欠席するとその部分の再講習は不可能であり、欠落箇所の穴埋めは難しい。また、広い社会常識が求められるので、マスメディアにおける医療問題にはよく注意しておくこと。						
備考 2021 年度の授業評価結果を踏まえ、2022 年度も引き続き、丁寧に指導・教育できる体制を整える。						
連絡先(メールアドレス) 緒方 泰子:yogata.gh@tmd.ac.jp 3 号館 19 階 廣山 奈津子:nhiro.rhn@tmd.ac.jp 西尾 美和子:mnishio.lmg@tmd.ac.jp						

オフィスアワー

緒方 泰子 オフィスアワーは特に定めませんが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

廣山 奈津子: 平日 AM10:00 -PM5:00 3 号館 15 階 高齢社会看護システム管理学分野 教員室 3

時間割番号	013021A						
科目名	医療概論・関係法規			科目ID	MT-232300-L		
担当教員	鈴木 喜晴[SUZUKI NOBUHARU]						
開講時期	2022 年度前期	対象年次	4	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名:Medical Ethics, Laws and Regulations							
【科目責任者】鈴木喜晴							
主な講義場所							
遠隔授業(同期型)							
授業の目的、概要等							
医療概論では医学・医療を取り巻く社会情勢や医学研究を概観し医学とは何かを考える。関係法規では臨床検査および検査技術に関する法規をはじめ、医事法規、薬事法規、保健衛生法規、予防衛生法規、環境衛生法規、労働衛生法規、社会保障・福祉関連法規などについて学ぶ。							
授業の到達目標							
医学・医療とは何かを理解し、医学医療のあり方を考える力、高い倫理観を持ち、医療に携わるにふさわしい感性を養う。また医療職に関わる法規を理解することを目標とする。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	5/13	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	1. 法の概念 2. 労働衛生法規	1. 法の概念;法令の種類;法の読み方;臨床検査技師関係法規とその種類 2. 労働基準法、労働安全衛生法、労働者災害補償保険法(労災保険法)	鈴木 喜晴	演習問題や口頭での設問、考え問等のアクティブラーニングも活用する
2	5/20	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	3. 臨床検査技師の役割と使命 4. 臨床検査技師等に関する法律	3. 臨床検査技師とは:臨床検査技師の役割と使命、期待される姿;臨床検査技師における心構えと一般的な注意 4. 総則;免許;試験;業務;罰則	亀田 貴寛	演習問題や口頭での設問、考え問等のアクティブラーニングも活用する
3	5/27	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	5. 医療安全管理学 6. 医事法規	5. 医療倫理、法規の概念、医療安全、法的知識と責任範囲 6. 医療法 内部精度管理、外部精度管理調査など;保健師助産師看護師法;診療放射線技師法;臨床工学技士法;個人情報保護法;臨床研究法	伊藤 南 本間 達	演習問題や口頭での設問、考え問等のアクティブラーニングも活用する
4	6/3	16:20-17:50	遠隔授業 (非同期型)	7. 薬事法規	7. 毒物及び劇物取締法;医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(医薬品医療機器等法)医薬品医療機器総合機構(PMDA);麻薬及び向精神薬取締法;大麻取締法	星 治 藤代 瞳	
5	6/10	16:20-17:50	遠隔授業 (非同期型)	8. 医学とは何か:医療・医学の歴史、臨床検査とは 9. 臨床検査における心構えと一般的注意	8. 医療における倫理:医療倫理、個人情報の取扱い方、他 9. 医療の展望:チーム医療、テラーメイド医療、他 10. 検査の目的と業務範囲;検	角 勇樹 柿沼 晴 赤座 実穂	

				10. 臨床生理学の総論 11. 医事法規 12. 保健衛生法規	査の注意事項; 患者の心理と対応 11. 医師法 12. 地域保健法; 母子保健法; 健康増進法、他		
6	6/17	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	13. 予防衛生法規	13. 感染症の予防及び感染症患者に対する医療に関する法律<感染症法>; 予防接種法; 検疫法	齋藤 良一	演習問題や口頭での設問、考え問う等のアクティブラーニングも活用する。
7	6/24	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	14. 関連法規: JAS 法、景品表示法、特定商取引法 15. 環境衛生法規	15. 食品衛生法; 環境基本法; 公害健康被害の補償等に関する法律	西尾 美和子	演習問題や口頭での設問、考え問う等のアクティブラーニングも活用する。
8	7/1	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	16. 医事法規 17. 社会保障・福祉関連法規	16. 死体解剖保存法 17. 生活保護法; 障害者基本法; 障害者自立支援法	副島 友莉恵	演習問題や口頭での設問、考え問う等のアクティブラーニングも活用する。

授業方法

本講義は主に教科書1「臨床検査学講座 関係法規」の内容に沿って進めて行が、各回担当の教員によって、講義スライドや資料、あるいはビデオを用いた解説をしながら進める。演習問題や口頭での設問、考えを問う等のアクティブラーニングも活用する。

成績評価の方法

学期末試験の成績

成績評価の基準

合計回数の3分の2以上の出席を必要とする。

期末筆記試験(満点=100点)によって成績評価を行う。

上記に従い、60点以上で合格とする。60点未満の場合、再試験(筆記試験)を行い、60点以上で合格とする。学期末試験には英語の問題を10%程度出題する。

準備学習等についての具体的な指示

本講義は主に教科書1「臨床検査学講座 関係法規」の内容に沿って進めて行が、各回の担当教員の指示に従って準備学習を行うこと。

試験の受験資格

期末筆記試験を行う。試験の受験資格は、同期型講義(zoom)の合計回数の3分の2以上の出席を必要とする。遅刻や早退となる際は、必ずその回の担当教員にメールで連絡し、理由を説明すること。勘案すべき事情があり、受験資格の出席数が足りない場合は、その旨科目責任者にメールで連絡をすること。

教科書

臨床検査学講座 関係法規/宮島喜文 他編: 医歯薬出版, 2021

他科目との関連

臨床検査技師の職務に関わる全ての科目と関連する。

履修上の注意事項

講義資料、講義動画、参考資料などは著作権の問題があるので、受講登録者以外に公開することを禁ずる。

連絡先(メールアドレス)

鈴木 喜晴 nsuzbb@tmd.ac.jp

オフィスアワー

鈴木 喜晴 オフィスアワーは特に定めなし 3号館 16階

時間割番号	013085					
科目名	総合講義			科目ID	MT-433000-L	
担当教員	伊藤 南[ITO MINAMI]					
開講時期	2022 年度通年	対象年次	4	単位数	3	
実務経験のある教員による授業	該当する					
英文名: General Medical Technology 【科目責任者】伊藤 南						
主な講義場所 保健衛生学講義室1(3号館18階) 保健衛生学講義室2(3号館8階) 保健衛生学講義室4(3号館7階) ないし 遠隔 (授業明細を参照すること)						
授業の目的、概要等 これまで学んできた集大成ならびに国家試験受験の準備として、各分野の総合的かつ重点的なまとめを行なう。社会に出る準備として、臨床検査関連の第一線で活躍されている先生方に up-to-date な知識や技術に関する講義のほか、臨床検査の現状と求められる臨床検査技師像について講義していただく。チーム医療の演習を通じて、他の医療分野について学び、医療の一分野としての臨床検査について理解を深める。最終学年における進路指導、国家試験対策と並行して実施する。						
授業の到達目標 検査技術学専攻を卒業後、どのような職種に進もうとも、臨床検査技師の資格を取得しておくことが肝要である。これまで学んできた臨床検査学の全般にわたる科目について、重要、かつ、up-to-date な臨床検査学に関する知識を整理しつつ講義を行い、確実な知識として身に付ける。その結果として、臨床検査技師の国家試験合格に十分な知識、技能を修養したことを確認する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/12	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	総合講義	臨床検査技師の国際化	坂本 秀生
2	4/18	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	総合講義	各種認定資格とこれからの臨床検査	三村 邦裕
3	4/19	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	総合講義	本校検査部の業務、精度管理、先進医療ー臨床実習とキャリアパス設計のためにー	東田 修二
4	4/21	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	総合講義	臨床検査医学と病院検査部-最近の動向-	村田 満
5	4/25	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	総合講義	検体検査の品質・精度に係わる医療法等の改正	矢富 裕
6	6/20	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2	包括医療統合教育	チーム医療入門事前勉強会(チーム医療入門担当委員)	
7-11	6/28	08:50-17:50		包括医療統合教育	チーム医療入門	
12-16	6/29	08:50-17:50		包括医療統合教育	チーム医療入門	
17-21	6/30	08:50-17:50	保健衛生学科講義室 2	模擬試験(7 月分)		
22-26	9/15	08:50-17:50	保健衛生学科講義室 2, 保健衛生学科講義室 1	模擬試験(9 月分)		
27-29	9/16	13:00-17:50	保健衛生学科講義室 2, 遠隔授業(同期型)	まとめ講義	詳細は後日連絡	
30-32	9/30	13:00-17:50	保健衛生学科講義室 2, 遠隔授業(同期型)	まとめ講義	詳細は後日連絡	
33-35	10/3	13:00-17:50	保健衛生学科講義室 2, 遠隔授業(同期型)	まとめ講義	詳細は後日連絡	
36-38	10/17	13:00-17:50	保健衛生学科講義室 2, 遠隔授業(同期型)	まとめ講義	詳細は後日連絡	
39-41	10/24	13:00-17:50	保健衛生学科講義室 2, 遠隔授業(同期型)	まとめ講義	詳細は後日連絡	

42-44	10/31	13:00-17:50	保健衛生学科講義室 2, 遠隔授業(同期型)	まとめ講義	詳細は後日連絡	
45-47	11/7	13:00-17:50	保健衛生学科講義室 2, 遠隔授業(同期型)	まとめ講義	詳細は後日連絡	
48-52	11/11	08:50-17:50	保健衛生学科講義室 1	模擬試験(11 月分)		
53-55	11/14	13:00-17:50	保健衛生学科講義室 2, 遠隔授業(同期型)	まとめ講義	詳細は後日連絡	
56-57	11/21	08:50-12:00	保健衛生学科講義室 2, 遠隔授業(同期型)	まとめ講義	詳細は後日連絡	
58-59	12/7	13:00-16:10	保健衛生学科講義室 4	卒業試験(Ⅰ)		
60-61	12/14	13:00-16:10	保健衛生学科講義室 4	卒業試験(Ⅱ)		
62-63	1/4	13:00-16:10	保健衛生学科講義室 4	卒業試験(Ⅲ)		
64-68	1/6	08:50-17:50	保健衛生学科講義室 1	模擬試験(1 月分)		
69-73	1/27	08:50-17:50	保健衛生学科講義室 1	模擬試験(2 月分)		

授業方法

講義室での対面授業ないし Zoom による同期授業を実施する。具体的な授業方法は各教員の指示に従うこと。コロナ肺炎等の感染症対策は大学の方針に従う。状況により、授業方法の変更等がある場合は随時連絡する。

授業内容

1. 臨床検査の最新状況: 外部より非常勤講師を招いて、臨床検査学に関する最新の知識について学ぶ。

①臨床検査医学と病院検査部

各部門の業務と管理、検査体制と業務内容、組織と運営、機器管理と物品管理
人事管理と安全管理、情報管理、財務管理

②検査部の業務、精度管理、先進医療

③検体検査の品質・精度に係わる医療法等の改正

④各種認定資格とこれからの臨床検査

⑤臨床検査技師の国際化

2. チーム医療入門

①チーム医療、栄養サポートチーム、感染症対策チーム

②医学科、歯学科、口腔保健学科の学生と共に、チュートリアル方式のグループワークを行う。

3. まとめ講義: 各講義科目の担当教員がそれぞれの専門分野の特徴を包含しながら、まとめの講義を行う。

4. 模擬テスト: 国家試験対応

5. 卒業試験

詳細日程、内容については WebClass 等により別途周知する。

成績評価の方法

国家試験に準じた総合講義試験を卒業認定のための最終試験として実施する。

成績評価の基準

総合講義試験(Ⅰ)、総合講義試験(Ⅱ)を実施する(各100題、100点満点)。2回の成績がそれぞれ60点以上ないしは2回の合計点が120点以上の者を合格とする。追試験ないし再試験として、総合講義試験(Ⅲ)を実施する(100題、100点満点)。原則として60点以上ものを合格とするが、試験問題の難易度、直近の模擬試験の成績を参考に合格点を調整することもある。試験結果を100点満点に換算して総合成績とし、評点とする。再試験合格者の評点は60点とする。

準備学習等についての具体的な指示

各担当教員より随時指示する。

試験の受験資格

全講義の出席を原則とする。特段の理由があると認められる場合以外に欠席や早退したもの、講義の無断欠席や無断早退が認められたものは、面談等により進路指導を行う。全体として 2/3 以上の出席が認められないものは総合講義試験の受験を認めない。

原則として総合講義試験(Ⅰ、Ⅱ)の結果で卒業の可否を判定する。病気以外の理由による総合講義試験の欠席は認めない。病気欠席の場合は診断書の提出を義務とする。病気以外の理由による欠席は0点扱いとする。 病気欠席したものは追試験、不合格者は再試験として総合講義試験(Ⅲ)を受験する。総合講義試験(Ⅰ、Ⅱ)のどちらも病気以外の理由により欠席した場合は再試験の受験を認めない。

教科書 各担当教員からの指示に従うこと。
参考書 これまで講義で使用されてきた教科書。
他科目との関連 基礎ならびに専門の臨床検査に関係する全ての科目が関連している。
履修上の注意事項 最終学年における進路指導、国家試験対策と並行して実施する。7月、9月、11月、1月、2月に実施する国家試験形式の模擬試験(有料)を必ず受験すること。
備考 科目終了後に科目についてのアンケートを WebClass で実施する。 2021 年度の授業評価結果を踏まえ、2022 年度も引き続き、丁寧に指導・教育できる体制を整える。
連絡先(メールアドレス) 伊藤 南:minami.bse@tmd.ac.jp、
オフィスアワー 伊藤 南:3号棟16階 生体機能支援システム学教授室 随時対応しますので、事前にメール等で連絡して下さい。

時間割番号	013092				
科目名	卒業研究Ⅱ			科目ID	MT-463100-S
担当教員	星 治[HOSHI OSAMU]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	4	単位数	8
実務経験のある教員による授業	該当する				
英文名: Undergraduate Research 【科目責任者】星 治 担当教員: 検査技術学専攻に所属する教員					
主な講義場所 研究指導教員の指示による。					
授業の目的、概要等 指導教員と相談の上、それぞれテーマに沿って研究を行い、その結果を卒業論文として提出するとともに、卒業研究発表会において口頭発表する。					
授業の到達目標 臨床検査および関連分野の研究にふれることによって、論文の読み方、実験の進め方、研究結果のまとめ方、口頭発表の方法等の基本を学ぶ。さらに一連の過程を通して、科学的思考法を身につける。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容
1-5	4/1	08:50-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
6-9	4/5	10:30-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
10-14	4/6	08:50-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
15-19	4/7	08:50-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
20-24	4/8	08:50-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
25-29	4/11	08:50-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
30-34	4/13	08:50-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
35-39	4/14	08:50-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
40-44	4/15	08:50-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
45	4/18	08:50-10:20		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
46-48	4/18	13:00-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
49-51	4/19	13:00-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
52-56	4/20	08:50-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
57	4/21	08:50-10:20		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
58-60	4/21	13:00-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
61-65	4/22	08:50-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
66	4/25	08:50-10:20		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
67-69	4/25	13:00-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
70-73	4/26	10:30-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
74-78	4/27	08:50-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
79-83	4/28	08:50-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
84-88	5/2	08:50-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
89-93	5/6	08:50-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
94-98	5/9	08:50-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
99-102	5/10	10:30-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
103-107	5/11	08:50-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
108-109	5/12	08:50-12:00		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
110	5/12	16:20-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
111-112	5/13	08:50-12:00		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ

113-117	5/16	08:50-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
118-121	5/17	10:30-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
122-126	5/18	08:50-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
127	5/19	08:50-10:20		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
128	5/19	16:20-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
129-130	5/20	08:50-12:00		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
131-135	5/23	08:50-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
136-139	5/24	10:30-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
140-144	5/25	08:50-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
145-146	5/26	08:50-12:00		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
147	5/26	16:20-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
148-149	5/27	08:50-12:00		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
150-154	5/30	08:50-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
155-158	5/31	10:30-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
159-163	6/1	08:50-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
164-165	6/2	08:50-12:00		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
166	6/2	16:20-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
167-168	6/3	08:50-12:00		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
169-173	6/6	08:50-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
174-178	6/7	08:50-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
179-183	6/8	08:50-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
184-185	6/9	08:50-12:00		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
186	6/9	16:20-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
187-188	6/10	08:50-12:00		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
189-193	6/13	08:50-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
194-198	6/14	08:50-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
199-203	6/15	08:50-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
204-205	6/16	08:50-12:00		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
206	6/16	16:20-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
207-208	6/17	08:50-12:00		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
209	6/17	14:40-16:10		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
210	6/20	08:50-10:20		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
211-213	6/20	13:00-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
214-218	6/21	08:50-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
219-223	6/22	08:50-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
224-225	6/23	08:50-12:00		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
226-227	6/23	14:40-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
228-229	6/24	08:50-12:00		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
230-234	6/27	08:50-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
235	7/1	08:50-10:20		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
236-240	7/4	08:50-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
241-245	7/5	08:50-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
246-250	7/6	08:50-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
251-255	7/7	08:50-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
256-260	7/8	08:50-17:50		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
261-265	9/12	08:50-17:50	保健衛生学科講義室 1	卒業研究Ⅱ	卒業研究発表会の準備作業
266-270	9/13	08:50-17:50	保健衛生学科講義室 1	卒業研究Ⅱ	卒業研究発表会

授業内容 研究内容と指導法は指導教員に一任する。 1) 研究テーマの選択 研究指導者名, 受け入れ人数, テーマ等の一覧を学生に提示し, 学生の希望を尊重しつつ指導教員を決定する。 2) 研究期間は 4 年の前期とする。 3) 卒業研究論文の提出と研究発表 卒業論文は A4 用紙の両面を用い, 図表を含めて3枚以内。文献はおおむね 10 編以内。表紙は無し。用語は日本語を用い, 文字は全て印字をすることとし, 文字, 図, 表ともそのまま製本できる状態であること。 論文形式で, 要旨, はじめに, 方法, 結果, 考察, 文献の順で記載すること。 提出期限
成績評価の方法 指導教員による評価(80 点)と研究発表会における評価委員による評価(20 点)とを合わせて総合的に評価する。
成績評価の基準 総合的な評価が 60 点以上の場合を合格とする。
準備学習等についての具体的な指示 研究をするにあたり, 本学の倫理研修を受講し, 修了していること。修了していない場合は, 卒業研究を行うことはできない。
試験の受験資格 研究指導教員の指示に従い十分な研究活動を行った場合に, 評価を受ける資格を有する。
参考書 研究指導教員に指定された書籍・論文を参考にする。
他科目との関連 3 年生までに履修した様々な科目と, また大学院進学後の様々な科目とも関連がある。
履修上の注意事項 所属する研究室のきまりや約束事を必ず守ること。遅刻をしないこと。研究には積極的に参加すること。
備考 卒業研究指導者となることができるのは, 本学生体検査科学専攻の教員および, 保健衛生学科の教育に関わった実績のある教員とする。
連絡先(メールアドレス) 星 治 o-hoshi.aps@tmd.ac.jp
オフィスアワー 星 治 オフィスアワーは特に定めない。事前にメールで連絡を。 湯島キャンパス3号館16階

選択科目/自由科目

選択科目および自由科目の履修について

1. 選択科目

東京医科歯科大学医学部履修規則別表1、保健衛生学科（検査技術学専攻）教育課程に記載されているとおり、選択科目は第2学年、第3学年、または第4学年において、合計6単位以上修得しなければならない。第4学年においては、そのうち2単位以上修得しなければならない。

なお、今年度開講選択科目一覧の表の中の選択科目以外に、四大学連合複合領域コースとして開講されている科目の中の、東京工業大学または一橋大学の教員による講義を受講した場合に、それらの科目を4単位を上限として選択科目の一部とみなすことができる。その際には、あらかじめ定められた出願受付期間中（4月上旬）に複合領域コースの「願書」と「履修届」を提出しておくことが必要であり、詳細は教務係に問い合わせること。

また、臨地実習の時間帯に選択科目を受講することはできないが、卒業研究の時間帯には指導教員の了解を得た上で受講することができる。

2. 自由科目

自由科目は卒業要件に含まれない。第4学年においては卒業研究の時間帯に指導教員の了解を得た上で受講してもよい。

3. 受講手続（1. 2. 共通）

1) 履修登録

「前期・通年開講科目」及び「後期開講科目」共、それぞれの学期の初めの定められた期間に履修登録すること。

2) 履修科目の変更

教務係が登録内容を集計し、申請状況を掲示するので、登録の誤りがある場合は、指定された期間内に教務係に申し出ること（以後変更不可）。

3) 授業

各科目とも、学期最初の授業より出席をとるので、履修予定の科目については最初から出席すること。

[補足説明]

- ・ 選択科目および自由科目は、履修登録を行わなければ履修することができない。
- ・ 複合領域コースの科目を受講するためには、複合領域コースの「願書」と「履修届」の提出が必要。

検査1～4年生 各位

選択科目履修登録について

(平成28年度から、選択必修科目は選択科目に、自由選択科目は自由科目に、呼称が変更になりました。)

選択科目・自由科目は、履修登録を行わなければ履修することができません。

履修登録前に、「**選択科目および自由科目の履修について**」と対象科目のシラバスをよく読んでください。

(抜粋※選択科目は第2学年、第3学年、または第4学年において、合計6単位以上修得しなければならない。

※第4学年においては、そのうち2単位以上修得しなければならない。)

【申請方法】・・・webclass より申請

【申請場所】・・・webclass⇒教務係等からのお知らせ⇒選択科目⇒2022年度 前期(後期)選択科目 履修登録フォーム

(事務連絡先) 保健衛生教務係

gakumu2.adm@tmd.ac.jp

2022年度開講 選択科目・自由科目一覧【検査技術学専攻】

1. 選択科目

	番号	授業科目	単位認定教員 (所属)	主な開講 日時	単位	今年度 履修可能 学年
前期	1	遺伝学	田中 敏博 難治疾患研究所 (疾患多様性遺伝学分野)	月曜 水曜	1	2・3・4
	2	English for Health Care Sciences (I)	鈴木 喜晴 医歯学総合研究科 (遺伝子細胞検査学分野)	月曜5限	1	2・4 (12名程度)
	3	生体医工学	三林 浩二 生体材料工学研究所 (センサ医工学分野)	水曜3限	2	3
	4	分子生物学	後藤 利保 難治疾患研究所 (分子細胞生物学分野)	金曜1限	1	2・3・4
	5	心電図判読	柿沼 晴 医歯学総合研究科 (疾患生理機能解析学分野)	月曜1限	1	3・4
後期	6	心臓生理学	笹野 哲郎 医歯学総合研究科 (循環制御内科学分野)	月曜2限	1	3・4
	7	アドバンスド生理機能検査学	柿沼 晴 医歯学総合研究科 (疾患生理機能解析学分野)	月曜1限	1	3・4
	8	English for Health Care Sciences (II)	鈴木 喜晴 医歯学総合研究科 (遺伝子細胞検査学分野)	水曜4限	1	2・3 (12名程度)
	9	Learning Medical English (2019年度入学者からは選択科目)	大川 龍之介 医歯学総合研究科 (先端分析検査学分野)	水曜 4・5限	1	2・3・4 (看護・検査合わせ て12名)
	10	AI 実践演習	角 勇樹 医歯学総合研究科 (呼吸器・神経系解析学分野)	木曜 5限	1	2・4
	11	生命理工学概論	伊藤 南 医歯学総合研究科 (生体機能システム学分野)	火曜 3・4限	1	2・3
四大学連合複合領域コース開講科目					4 (上限)	2・3・4

2. 自由科目 ※短期海外研修A～Dの履修について・・・今回は登録対象ではありません。

	番号	授業科目	単位認定教員 (所属)	主な開講 日時	単位	今年度 履修可能 学年
通年	3	短期海外研修A 登録は渡航が許可されてからしてください。	西尾 美和子 医歯学総合研究科 (先端血液検査学分野)		1	1
	4	短期海外研修B 登録は渡航が許可されてからしてください。	西尾 美和子 医歯学総合研究科 (先端血液検査学分野)		1	2
	5	短期海外研修C 登録は渡航が許可されてからしてください。	西尾 美和子 医歯学総合研究科 (先端血液検査学分野)		1	3
	6	短期海外研修D 登録は渡航が許可されてからしてください。	西尾 美和子 医歯学総合研究科 (先端血液検査学分野)		1	4
後期	1	薬理学	永田 将司 医学部附属病院 薬剤部	水曜 1・2限	2	2
	2	Learning Medical English (2018年度入学者までは自由科目)	大川 龍之介 医歯学総合研究科 (先端分析検査学分野)	水曜 4・5限	1	2・3・4 (看護・検査合わせ て12名)

3. 全学科共通自由科目 ※別途掲載

前期	1	ポストコロナ社会における感染症対策	藤原 武男 大学院医歯学総合研究科 (国際健康推進医学)	5限以降	1	1～4
----	---	-------------------	------------------------------------	------	---	-----

その他の全学科共通科目についてはその案内に従ってください。

<選択科目>

時間割番号	013025				
科目名	遺伝学			科目ID	MT-490200-L
担当教員	田中 敏博[TANAKA TOSHIHIRO]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2～4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				
英文名:Human Genetics 【科目責任者】田中 敏博					
主な講義場所 2022 年度は遠隔講義を主とする。一部の講義は3号館8階講義室2にて行う予定であるが、状況により変更の可能性はある。					
授業の目的、概要等 遺伝学の一般的なイメージは、両親から受け継ぐ遺伝（heredity）であろうが、1905 年に遺伝学 genetics という用語を初めて用いた Bateson が同じ書簡において遺伝学を heredity and variation と定義しているように、多様性（variation）の学問でもある。近年ではむしろ多様性の理解に重点が置かれている。例えば、ヒトゲノム計画において、生命の設計図であるヒトゲノム配列の全容が明らかになった後に、ハップマップ計画において、ゲノム多様性のひとつの現れである一塩基多型（SNP）のゲノム上の地図を作成し、個人間のゲノム配列の違いが個人間のさまざまな多様性にどのように寄与しているかを解明する研究の礎となっている。大げさに言えば、この成果に基づき、「普遍性の科学」から「多様性の科学」へとパラダイムシフトが起こっている。 十人十色という言葉があるように、ヒトは身長、体重、性格等、多様性を持つ。同様に、疾患のなりやすさや治療反応性、薬剤副作用においても個人差がある。ヒトの多様性、疾患の多様性を遺伝学的側面から理解するための基礎となる知識を取得することが本科目の目的である。					
授業の到達目標 医療・医学の現場においてしばしばみられる「ヒトの多様性」「疾患多様性」を遺伝学的側面から理解するためのアプローチ方法について、基本的知識を習得すること。 1. 核酸の構造と遺伝子発現の基本原理について理解し、説明できる。 2. 細胞と染色体の基礎について理解し、説明できる。 3. 細胞間相互作用の基本原理と免疫系の生物学について理解し、説明できる。 4. 哺乳類の初期発生、細胞分化、幹細胞について理解し、説明できる。 5. 遺伝形式について理解し、説明できる。 6. DNA を取り扱う上で用いられる主な手法について理解し、説明できる。 7. 遺伝子とゲノムの構造と発現の解析について理解し、説明できる。 8. 哺乳類細胞での遺伝子操作の原理について理解し、説明できる。 9. ヒトゲノムの構造と機能について理解し、説明できる。 10. 遺伝子の調節とエピゲノムについて理解し、説明できる。 11. ヒトの遺伝的多様性について理解し、説明できる。 12. ヒトの集団遺伝学について理解し、説明できる。 13. 比較ゲノム学とゲノムの進化について理解し、説明できる。 14. 人類の進化について理解し、説明できる。 15. 染色体異常と構造バリエーションについて理解し、説明できる。 16. 分子病理学について理解し、説明できる。 17. 単一遺伝子疾患の遺伝子のマッピングおよび同定について理解し、説明できる。 18. 複雑疾患: 感受性因子の同定と発症機序について理解し、説明できる。 19. がんの遺伝学・がんゲノムについて理解し、説明できる。 20. 医療と法医学での遺伝学的検査について理解し、説明できる。 21. モデル生物と疾患のモデル化について理解し、説明できる。 22. 遺伝学的アプローチによる疾患治療について理解し、説明できる。					

授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/20	16:20-17:50	遠隔授業 (非同期型)	DNA、染色体、細胞、発生、遺伝の基礎	1. 核酸の構造と遺伝子発現の基本原理解 2. 細胞と染色体の基礎 3. 細胞間相互作用の基本原理解と免疫系の生物学 4. 哺乳類の初期発生、細胞分化、幹細胞 5. 遺伝形式	永田 有希
2	5/18	16:20-17:50	遠隔授業 (非同期型)	ゲノムの理解(前半)	1. DNA を取り扱う上で用いられる主な手法 2. 遺伝子とゲノムの構造と発現の解析 3. 哺乳類細胞での遺伝子操作の原理	永田 有希
3	6/6	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)	ゲノムの理解(後半)	1. ヒトゲノムの構造と機能を明らかにする 2. 遺伝子の調節とエピゲノム	永田 有希
4	6/15	08:50-10:20	保健衛生学 科講義室 2	個人間、種間の遺伝的多様性(前半)	1. ヒトの遺伝的多様性の概要 2. ヒトの集団遺伝学	竹本 暁
5	6/20	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	個人間、種間の遺伝的多様性(後半)	1. 比較ゲノム学とゲノムの進化 2. 人類の進化	竹本 暁
6	6/20	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	ヒトの遺伝性疾患(分子病理学)	1. 染色体異常と構造バリエーション 2. 分子病理学: 表現型と遺伝型をつなぐ	竹本 暁
7	6/21	14:40-16:10	保健衛生学 科講義室 2	ヒトの遺伝性疾患(疾患遺伝子の同定)	1. 単一遺伝子疾患の遺伝子のマッピングおよび同定 2. 複雑疾患: 感受性因子の同定と発症機序の理解	田中 敏博
8	6/21	16:20-17:50	遠隔授業 (非同期型)	ヒトの分子遺伝学の応用	1. がんの遺伝学・がんゲノム 2. 医療と法医学での遺伝学的検査 3. モデル生物と疾患のモデル化 4. 遺伝学的アプローチによる疾患治療	森田 圭一
授業方法 講義室での対面授業ないし zoom による授業(非同期あるいは同期)を実施する。 教科書をもとに講義する。グループ討論を行う授業がある。 対面授業や同期授業の場合は授業中の質問を受ける。 授業後のメールでの質問も受ける。 COVID-19 等感染症対策は大学の方針に従う。 授業方法の変更等が必要な場合は事前に告知する。						
成績評価の方法 授業への出席点(8 点×8 コマ)とレポート(36 点)による。 出席点について 遠隔授業の場合は、最初から最後まで授業に参加しているログが確認できた場合に認める。 グループ討論の際の積極性により、加点することがある。 レポートについて レポートの課題は「遺伝学的多様性と医療」とする。分量は問わない。詳細は7コマ目の授業の際に伝える。 6 月末日までに、科目責任者にメールへの添付ファイルの形で送信すること。						
成績評価の基準 A+: 90 点以上 A: 80-89 点 B: 70-79 点 C: 60-69 点						
準備学習等についての具体的な指示 本講義は以下の教科書の内容に沿って行う。あらかじめ目を通して、専門用語の意味などの基本的な事項については理解しておくことが必要である。						
試験の受験資格 試験は行わない。出席点およびレポートの評点により評価する。						
教科書 ヒトの分子遺伝学／トム・ストラッチェン、アンドリュー・リード著；戸田達史、井上聡、松本直通監訳 Strachan, T., Read, A. P. (Andrew), 戸田達史、井上 聡、松本 直通: メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2021						

他科目との関連

「遺伝子・染色体検査学」、「分子生物学」、「生化学」、「遺伝子検査学実習」等を受講することにより、本講義の理解をより一層深めることができると思われる。

連絡先(メールアドレス)

田中 敏博 ttana.brc@tmd.ac.jp

オフィスアワー

田中 敏博 毎週火曜日 11:00-13:00 M&D タワー8 階 疾患バイオリソースセンター教授室・教員室

時間割番号	013093					
科目名	生命理工学概論			科目 ID	MT-130901-L	
担当教員	伊藤 南[ITO MINAMI]					
開講時期	2022 年度後期	対象年次	2～3	単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する					
英文名:Practice of Medical Sciences						
【科目責任者】伊藤 南						
主な講義場所						
3号館7階、保健衛生学講義室5 または 遠隔(同期)						
授業の目的、概要等						
医療の目的は疾患の治療だけではなく、総合的かつ多面的にヒトの QOL 向上を図ることにある。また保健医療の現場においては専門の枠を超えた問題意識の共有が必要となる。そのために、様々な分野について広く興味、感心を持つ必要がある。臨床検査を学ぶにあたり、治療や臨床研究のみならず、様々な医用デバイスや生体素材の開発との関連性に着目して頂きたい。この講義は約一ヶ月の短期集中型のプログラムとし、本学生体材料工学研究所に所属する教員により、創薬や生体素材開発に関連する研究を俯瞰する講義を行う。単に知見を広げるだけではなく、将来のキャリアパスを考える上で参考になることを期待する。						
授業の到達目標						
創薬や生体素材開発に関連する研究の最新事情を学び、相互に理解する基盤とする。臨床検査との関連性を通じて、臨床検査の発展性とその方向について考える。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	12/6	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	生命理工概論の概要／ケミカルバイオロジー概論	生命理工学とケミカルバイオロジー研究	影近 弘之
2	12/6	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	医薬化学研究と創薬	メディシナルケミストリーの基礎	影近 弘之
3	12/13	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 5, 遠隔授業(同期型)	創薬とバイオメテックⅠ	バイオメテックの化学と中分子・低分子創薬	玉村 啓和
4	12/13	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 5, 遠隔授業(同期型)	創薬とバイオメテックⅡ	バイオメテックの化学と中分子・低分子創薬 バイオメテックの化学と中分子・低分子創薬	玉村 啓和
5	12/20	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 5, 遠隔授業(同期型)	核酸分子を用いた創薬	核酸医薬、mRNA 医薬、mRNA ワクチン	位高 啓史
6	12/20	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 5, 遠隔授業(同期型)	バイオマテリアルⅠ	バイオマテリアル総論、生体活性バイオマテリアル	川下 将一
7	1/10	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 5, 遠隔授業(同期型)	バイオマテリアルⅡ	がん治療用バイオマテリアル	川下 将一
8	1/10	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 5, 遠隔授業(同期型)	バイオマテリアルⅢ	リン酸カルシウム系バイオマテリアル	横井 太史
授業方法						
対面形式での講義、または遠隔講義(同期)を実施する。授業方法は各講師により異なるので、指示に従うこと。コロナ肺炎等の感染症対策は大学の方針に従う。状況により授業方法の変更等がある場合は随時連絡する。						
授業内容						
1.生命理工概論の概要／ケミカルバイオロジー概論 生命理工学とケミカルバイオロジー研究						
2.医薬化学研究と創薬 メディシナルケミストリーの基礎						
3.創薬とバイオメテックⅠ バイオメテックの化学と中分子・低分子創薬						
4.創薬とバイオメテックⅡ						

バイオメテックの化学と中分子・低分子創薬 5.核酸分子を用いた創薬 核酸医薬、mRNA 医薬、mRNA ワクチン 6.バイオマテリアルⅠ バイオマテリアル総論、生体活性バイオマテリアル 7.バイオマテリアルⅡ がん治療用バイオマテリアル 8.バイオマテリアルⅢ リン酸カルシウム系バイオマテリアル
成績評価の方法 講義への積極的な参加を期待する。全講義終了後にレポートを提出する。講義を担当した教員を2人選び、それぞれの講義について、①講義内容の要約、②講義中にあなたが注目したこと(あるいは疑問に思ったこと)、注目した理由、それに対するあなたの考え(意見、提案)、③講義でもっと聴きたいと思ったこと、を A4 レポート用紙 1～2 ページにまとめ、指定された期日までに科目責任者に提出する。
成績評価の基準 レポートをもとに評価する。到達目標に達したものは 60 点、優れたものは 80 点、希に優れたものは 100 点を目安に評価する。講義への参加状況を考慮する。担当教員の評価を合算したのち、総合成績(100点満点)に換算して評点とする。総合成績が60点以上のものを合格とする。
準備学習等についての具体的な指示 随時、各担当教員より指示する。
試験の受験資格 オムニバス形式の実習であるので、原則としてすべての講義に出席することを求める。出席の確認は各講師の指示に従うこと。講義の無断欠席や無断早退が認められた場合には出席の要件を満たさないものとするところがある。特段の理由があると認められる場合には、代替法について担当教員から指示する。全体として 2/3 以上の出席が認められなければ評価しない。
教科書 特に指定しない。
他科目との関連 医用システム情報学(Ⅰ、Ⅱ)に関連している。 生体医工学(三林 浩二、2単位)の生体計測デバイスに関する講義と合わせて、生体材料研究所に関連する研究トピックスをカバーする。
履修上の注意事項 随時、各担当教員より指示する。
備考 科目終了後に科目についてのアンケートを WebClass で実施する。 新規科目なので、授業評価結果を踏まえ、丁寧に指導・教育できる体制を整える。
連絡先(メールアドレス) 伊藤 南:minami.bse@tmd.ac.jp、
オフィスアワー 伊藤 南:3号棟16階 生体機能支援システム学教授室 随時対応しますので、事前にメール等で連絡して下さい。

時間割番号	013026A					
科目名	生体医工学			科目ID	MT-390100-L	
担当教員	三林 浩二, 富麻 浩司, 飯谷 健太, 橋本 良秀, 岸田 晶夫, 木村 剛, 中島 義和, 小野木 真哉, 杉野 貴明, 梶 弘和, 池内 真志, 松元 亮[MITSUBAYASHI KOJI, TOMA KOJI, ITANI Kennta, HASHIMOTO YOSHIHIDE, KISHIDA AKIO, KIMURA TSUYOSHI, NAKAJIMA Yoshikazu, ONOGI Shinnya, SUGINO Takaaki, KAJI Hirokazu, IKEUCHI Masashi, MATSUMOTO AKIRA]					
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3	単位数	2	
実務経験のある教員による授業	該当する					
英文名:Biomedical Engineering 【科目責任者】三林浩二						
主な講義場所 2022 年度は遠隔講義を主とする。 状況により登校へ変更の可能性がある。						
授業の目的、概要等 ・工学を医学へ応用する境界領域としての生体医工学について、検査や治療用医療機器から再生医療工学にわたる広い分野を学び、当該領域の情報や技術を理解する。 ・電子工学、機械工学、計測工学、細胞工学、高分子化学などの考え方の基本を修得する。 ・生体医工学について現状を把握し、当該領域の進展に応じて自ら好奇心を以って理解を進めることができる基礎能力を身につける。						
授業の到達目標 ・学修者は、医工学領域の一般的な情報や技術を理解できる。 ・学修者は、医工学に関心をもって、当該領域の実験や簡単な研究に取り組むことができる。 ・学修者は、一般的な医工学の記事や情報を把握し、ディスカッションができる。 ・学修者は、簡単な医工学機器や装置について、その役割や機能を理解できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/6	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	ガイダンス/生体医工学の概要	シラバス及び講義の進め方、成績について/生体医工学について	三林 浩二
2	4/6	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	生体ガス計測	生体ガスの高感度計測とイメージング	飯谷 健太
3	4/13	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	循環器系人工臓器	人工心臓、人工血管、心臓弁など	橋本 良秀
4	4/20	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	物質交換系人工臓器	人工肺、透析など	岸田 晶夫
5	5/11	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	再生医療工学入門	再生医療の基礎と最新の成果	木村 剛
6	5/11	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	生体イメージング	生体イメージング基礎(X-ray 画像撮影、X-ray CT 画像撮影、MRI、超音波診断画像撮影、生体光学画像計測)	中島 義和
7	5/18	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	コンピュータ統合手術支援	手術ナビゲーション・ロボット支援における空間統合法と、画像解析結果の応用	小野木 真哉
8	5/25	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	人工知能生体解析	生体信号・画像解析法と生体モデリング、それらの医療応用	杉野 貴明
9	6/1	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	微細加工とマイクロ流体デバイス	微細加工とマイクロ流体デバイスの基礎とバイオ応用	梶 弘和
10	6/8	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	細胞組織工学	細胞組織工学の基礎と最近の研究動向	梶 弘和
11	6/15	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	ソフトマターと医工学	ソフトマターの概要、医工学研究の最前線	松元 亮
12	6/22	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	顕微計測	光学顕微鏡、電子顕微鏡、原子間力顕微鏡の原理と生命科学における応用	池内 真志
13	6/22	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	ドラッグデリバリーシステム	ドラッグデリバリーシステムの概要、工学的アプローチの最前線	松元 亮
14	6/29	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	精密医工学	精密加工・操作技術の基礎と低侵襲医療機器への応用	池内 真志

15	6/29	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	センサ工学とまとめ	新たなセンサ計測と「生体工学」のまとめ	三林 浩二
授業方法 事前配布の資料や課題そして参考資料に基づき、講義(PBL:Problem-based Learning)を行う。 当該領域の新たな情報を紹介し、理解を深めると共に、その意義や問題点を考える。 また事前課題についてフィードバックを行う。						
授業内容 生体工学の授業内容 ①ガイダンス/生体工学の概要、②生体ガス計測、③循環器系人工臓器、④物質交換系人工臓器、⑤再生医療工学入門、⑥生体イメージング、⑦コンピュータ統合手術支援、⑧人工知能生体解析、⑨微細加工とマイクロ流体デバイス、⑩細胞組織工学、⑪ソフトマターと医学工学、⑫顕微計測、⑬ドラッグデリバリーシステム、⑭精密医学工学、⑮センサ工学とまとめ						
成績評価の方法 (1)学期末筆記試験の成績と(2)授業・課題への取り組みにより評価する。						
成績評価の基準 (1)学期末筆記試験の成績(100 点満点)に、(2)授業・課題への取り組み(最大 20 点)として、総合的に評価(以下の基準)する。総合成績が 60 点以上のものを合格とし、評点を決める。期末試験が合格に満たないものは再試験を実施する。再試験合格者は 60 点とする。 A+=90~100 A=80~89 B=70~79 C=60~69 D=60 未満 F=期末試験を未受験(講義に 10 回(2/3)以上の出席がない場合)						
準備学習等についての具体的な指示 配布資料および参考資料にて事前学習する。 また最新の生体工学に関する情報を科学雑誌や web ソースより入手し、準備学習する。						
試験の受験資格 講義に 10 回(2/3)以上の出席をした者に限る。						
教科書 教科書に相当する資料や最新情報を配布し、授業に用いる。						
参考書 「非接触」が拓く新しいバイタルモニタリング = Non-Contact Vital Signs Monitoring : 革新的な健康管理と医療・介護への応用 / 三林浩二 監修, 三林, 浩二, : シーエムシー出版, 2021 テレワーク社会を支えるリモートセンシング = Advanced remote sensing for supporting telework / 三林浩二 監修, 三林, 浩二, : シーエムシー出版, 2021 酵素トランスデューサーと酵素技術展開 = Enzyme transducers and evolutions of enzymatic technology : 酵素センサ, バイオ電池, そして酵素処理応用 (食品, 医薬, 修復) / 三林浩二 監修, 三林, 浩二, : シーエムシー出版, 2020 Chemical, gas, and biosensors for internet of things and related applications / edited by Kohji Mitsubayashi, Osamu Niwa, Yuko Ueno, 三林, 浩二, Niwa, Osamu. [丹羽修], Ueno, Yuko. [上野祐子], : Elsevier, 2019 代謝センシング = Metabolic sensing : 健康, 食, 美容, 薬, そして脳の代謝を知る / 三林浩二 監修, 三林, 浩二, : シーエムシー出版, 2018 生体ガス計測と高感度ガスセンシング / 三林浩二監修 / 三林, 浩二, : シーエムシー出版, 2017 スポーツバイオ科学と先進スポーツギアの開発 / 三林浩二監修, 三林, 浩二, : シーエムシー出版, 2015 スマート・ヒューマンセンシング : 健康ビッグデータ時代のためのセンサ・情報・エネルギー技術 / 三林, 浩二, : シーエムシー出版, 2014 ヴィジュアルでわかるバイオマテリアル / 古菌勉, 岡田正弘編著, 古菌, 勉, 岡田, 正弘, : 学研メディカル秀潤社, 2018 人工臓器イラストレイティッド / 日本人工臓器学会編集, 日本人工臓器学会, : はる書房, 2007						
他科目との関連 特になし						
履修上の注意事項 3 年生履修科目						
備考 科目終了後に科目についてのアンケートを WebClass で実施する。						

2021 年度の授業評価結果を踏まえ、2022 年度も引き続き、丁寧に指導・教育できる体制を整える。
参照ホームページ 【アクティブラーニングの種類】 PBL (Problem-based Learning)
連絡先(メールアドレス) 三林 浩二:m.bdi@tmd.ac.jp
オフィスアワー 三林 浩二:毎週月曜日 AM.11:00-PM.12:00 21棟(生材研)5階 503B 室

時間割番号	013029					
科目名	分子生物学			科目 ID	MT-493200-L	
担当教員	後藤 利保[GOTO TOSHIYASU]					
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2～4	単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する					
英文名:Molecular Biology						
【科目責任者】後藤 利保						
遺伝情報の維持、複製、発現の基本的なしくみを理解し、生命現象を遺伝子発現制御の観点から考える力を身につける。						
主な講義場所						
zoom を用いた同期型オンライン授業。						
授業の目的、概要等						
分子生物学は分子を通して、生命現象を理解する学問である。分子生物学の基本的知識無くしては先端的な医学や生物学の理解は覚束ない時代となっている。分子生物学を含む生命科学の最前線は日々急速に前進しているので、教科書には記載されていない最新の話題も交えて、解り易く講義する。						
授業の到達目標						
クロマチン修飾、転写、RNA プロセッシング、翻訳などの遺伝子発現制御機構や、DNA の修復、複製などの遺伝情報維持機構の基本的なしくみを分子レベルで理解するとともに、さまざまな遺伝子発現制御が個体発生や老化などの生命現象にどのように関わっているのかを理解する。						
1 回目:生物を物質として捉え、基礎的な遺伝情報の転写、翻訳に関わる物質を説明できる。						
2 回目:mRNA の転写制御機構の概要を説明できる。						
3 回目:DNA の複製機構やテロメアの構造と維持の機構、がん化や老化との関連を説明できる。						
4 回目:真核生物の mRNA の転写開始に関わる機構を説明できる。						
5 回目:真核生物の mRNA の転写後プロセッシングや細胞内局在の制御機構の概要を説明できる。						
6 回目:DNA の損傷と修復機構の概要を説明できる。ゲノム編集の概要を説明できる。						
7 回目:mRNA の核外輸送、細胞内局在、翻訳機構について説明できる。						
8 回目:mRNA の品質管理機構、非コード RNA の機能、エピジェネティックな制御機構の概要を説明できる。						
これらの基礎知識を基にして、最新の分子生物学関連の英文レビュー記事や原著論文を自身で通読できる能力を身につけることを最終目標とする。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	5/13	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	遺伝子発現制御機構概論	生物を物質として捉え、基礎的な遺伝情報の転写、翻訳に関わる物質について概説する	後藤 利保
2	5/20	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	メッセンジャーRNA の転写	原核生物および真核生物におけるメッセンジャーRNA の転写制御機構について概説する	後藤 利保
3	5/27	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	がん化・老化の遺伝子発現制御	DNA の複製、テロメアの構造と維持機構について概説し、がん化・老化との関連を概説する	後藤 利保
4	6/3	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	メッセンジャーRNA の転写開始	真核生物の mRNA の転写開始に関わる機構について概説する	後藤 利保
5	6/10	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	メッセンジャーRNA のプロセッシング	真核生物の mRNA の転写後プロセッシングや細胞内局在の制御機構の概要について概説する	後藤 利保
6	6/17	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	DNA の損傷と修復	DNA の損傷の種類やその修復機構について概説する。遺伝子工学のツールとしてのゲノム編集について概説する	平岡 優一
7	6/24	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	メッセンジャーRNA のプロセッシング後の機構と翻訳	mRNA の核外輸送、細胞内局在、翻訳機構について概説する	後藤 利保
8	7/1	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	非コード RNA の機能	mRNA の品質管理機構、非コード RNA の機能、エピジェネティックな制御機構について概説する	後藤 利保

授業方法 zoom 上で、スライドを用いた同期授業を行う。 アクティブラーニングとして、学生による試験問題の作成と解答を実施する(通常試験とは別に各自の個別の試験として通常試験時に別途解答していただく)。 授業の内容から学生が各自、自分に対して試験問題を1題作成し、その試験問題を各授業終了後、当日中にメールで担当教員(後藤利保)に出題する。解答として何を書くかまでを考えて、自らに出題すること。 ただし、以下の試験問題は採用しない。 1、翌日以後に着信したメールに書かれた試験問題 2、欠席した日に着信したメールに書かれた試験問題 3、授業の内容から逸脱した試験問題
授業内容 授業スケジュールを参照。
成績評価の方法 筆記試験(通常) 多肢選択式問題 20 題 各 1 点 合計 20 点 記述式問題 4 題 各 10 点 合計 40 点 筆記試験(個別) 各授業日に提出した自らへの試験問題 8 題 各 5 点 合計 40 点 合計で 90 点以上で A+, 80 点以上で A、70 点以上で B、60 点以上で C、60 点未満で不可とする。
成績評価の基準 自分自身による試験問題の作成と解答を通して、講義内容を理解しているか。 分子生物学の基本的な知識を習得できているか。 講義の内容を理解し自分の言葉で表現できているか。
準備学習等についての具体的な指示 講義が始まるまでの期間に準備は必要ないが、講義を受けたら、該当する内容について、例示の参考書など大学レベルの内容の書籍を読んで次の週までに復習し、講義で配布された小テストに自分で解答できるようにすること。図書館等で必要な文献等を読み、辞書等を引き、それでも不明な点は教員に積極的に質問するなど、受講者個人の講義外での活動に期待している。遺伝学など他の講義とも密接に関わるので、科目相互の連関にも目を配り、生命現象を分子レベルで理解して自分の言葉で説明できるよう、理解を深めること。
試験の受験資格 講義に 5 回以上出席すること。 zoom での出席は、講義を最初から最後まで参加しているログが確認出来た場合。
参考書 分子細胞生物学／H. Lodish [ほか著], Lodish, Harvey F., Berk, Arnold, Kaiser, Chris, Krieger, Monty, Bretscher, Anthony, Ploegh, Hidde L., Amon, Angelika, Martin, Kelsey C., 榎森, 康文, 堅田, 利明, 須藤, 和夫(1947-)、富田, 泰輔, 仁科, 博史, 山本, 啓一(1948-)、: 東京化学同人, 2019-12 細胞の分子生物学／Bruce Alberts [ほか] 著 ; 青山聖子 [ほか] 翻訳, Alberts, Bruce, Johnson, Alexander D., Lewis, Julian, Morgan, David Owen, Raff, Martin C., Roberts, K. (Keith), Walter, Peter, 青山, 聖子, 齊藤, 英裕, 滋賀, 陽子, 田口, マミ子, 滝田, 郁子, 中塚, 公子, 羽田, 裕子, 船田, 晶子, 宮下, 悦子, 中村, 桂子, 松原, 謙一, : ニュートンプレス, 2017 ワトソン遺伝子の分子生物学／James D. Watson [ほか] 著 ; 滋賀陽子 [ほか] 訳, Watson, James Dewey, Baker, Tania, Bell, Stephen P., Gann, Alexander, Levine, Michael S., Losick, Richard, 滋賀, 陽子, 滝田, 郁子, 羽田, 裕子, 宮下, 悦子, 中村, 桂子, : 東京電機大学出版局, 2017 遺伝子発現制御機構—クロマチン, 転写制御, エピジェネティクス／田村隆明・浦聖恵 編著: 東京化学同人, 2017 基礎分子生物学／田村隆明, 村松正實 著: 東京化学同人, 2016 分子生物学の幅広い基礎知識を得る上では、各自でできるだけ新しい本を参考書として購入することを薦める。ここに紹介した日本語訳のものより英語版の方が新しい版を入手できる可能性がある。大学院への進学を考える者には在学中に少なくとも1冊を通読することを薦める。
他科目との関連 これまで他科目で学習したあるいは今後学習するすべての生命現象を遺伝子の発現制御の視点から考察できるよう、この科目の理解を深めてもらいたい。
履修上の注意事項 分子生物学や細胞生物学などの実験系の研究室で大学院に進みたい、あるいはバイオテクノロジー関連のベンチャーなどで働くことを考慮している学生諸君に受講を薦めたい。自ら率先して質問や討論をするような、講義への積極的な参加を希望する。

備考 ただ単なる出席点ではなく、その代わりとなるように、アクティブラーニングの一環として、各講義終了後に自作の試験問題を提出してもらうようにした。試験日に個別試験として自作の試験の解答にて最終的な評価とした。 改善点として、自作問題の作成時に、必ず答えられるような質問を提出することを授業内で説明する。
参照ホームページ 特になし。
連絡先(メールアドレス) 後藤 利保 後藤 利保: goto.mcb@mri.tmd.ac.jp
オフィスアワー 後藤 利保 後藤 利保 平日 8:15-17:00 M&D タワー23 階 N-2311 号室

時間割番号	013031					
科目名	心臓生理学			科目 ID	MT-490500-L	
担当教員	笹野 哲郎[SASANO TETSUO]					
開講時期	2022 年度後期	対象年次	3～4	単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する					
英文名: Cardiac Physiology 【科目責任者】笹野 哲郎						
授業の目的、概要等 心臓が血液を循環するためのしくみを学ぶ。 循環生理検査の際に、心電図判読で困らない程度の読解力を身につける。						
授業の到達目標 1 回目心臓の電気生理学の基礎を説明できる。 2 回目心電図の基礎と正常心電図が説明できる。 3 回目不整脈心電図の見方が説明できる。 4 回目運動負荷心電図・ホルター心電図を判読できる。 5 回目心電図モニター・12 誘導心電図が判読できる。 6 回目虚血の心電図が判読できる。 7 回目 AI を含む新しい心電図解析、新しい生体モニタリング手法を知る 8 回目総合演習						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/26	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	心臓生理学(1)	心臓電気生理の基礎	笹野 哲郎
2	10/3	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	心臓生理学(2)	心電図の基礎と正常心電図	笹野 哲郎
3	10/17	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	心臓生理学(3)	虚血性心疾患の心電図	笹野 哲郎
4	10/24	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	心臓生理学(4)	心肥大・電解質異常	笹野 哲郎
5	10/31	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	心臓生理学(5)	頻脈性不整脈	笹野 哲郎
6	11/28	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	心臓生理学(6)	徐脈性不整脈	笹野 哲郎
7	12/12	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	心臓生理学(7)	ホルター心電図・運動負荷心電図・加算平均心電図	笹野 哲郎
8	12/19	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	心臓生理学(8)	心電図演習	笹野 哲郎
授業方法 講義室での対面授業または Zoom による同期授業を原則とする。配付資料をもとに講義するが、配付資料は講義開始前までに WebClass で公開する。講義中の質問に加えて、メールによる質問も受ける。講義の一部では、あらかじめ配布した問題に対するアクティブラーニングを行うほか、アンケートソフトを利用した質疑などを講義中に行う。						
授業内容 心臓電気生理の基礎、心電図の基礎、不整脈・虚血性心疾患などの個別の心電図判読、ホルター心電図、運動負荷心電図、国家試験の過去問演習						
成績評価の方法 1) 第 8 回の心電図判読テストの成績 2) 講義中の小テストの成績 小テストは講義中の任意の時間に 1 回または複数回行う。回答しない場合は欠席と同様の扱いとし、成績評価から減点する。 3) 講義中の質問などの積極的参加状況						
成績評価の基準 1) 心電図判読テスト 50 点満点 2) 講義中の小テスト 50 点満点 3) 参加状況については、内容に応じて加点対象とする。最大 20 点						
準備学習等についての具体的な指示 人体構造病学・生理検査学講義の心臓に関する箇所を十分理解して来ること。						

試験の受験資格 試験は行わず、講義中の小テストを含む平常点とレポートにより評価する。出席は取らないが、小テストの提出状況と回答状況は評価の対象とする。
教科書 目からウロコの心電図 = Don't worry, ECG interpretation. / 古川哲史 著, : ライフメディコム, 2011
参考書 : ライフメディコム そうだったのか臨床に役立つ不整脈の基礎 / 中谷晴昭, 古川哲史, 山根禎一 著, : メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2012 臨床薬理学 / 井上智子, 窪田哲朗編 ; 井上智子 [ほか] 執筆, 井上, 智子, 窪田, 哲朗, : 医学書院, 2017 病態学/臨床検査医学総論 / 奈良信雄, 高木康, 和田隆志 編, : 医歯薬出版, 2021 : 新潮社 : 成美堂出版
他科目との関連 生理検査学講義の心電図の項目と相補的な内容となり、臨地実習における心電図判読とも関連します。
履修上の注意事項 同期型講義の際は、チャットでの質問を随時受け付けます。疑問点は積極的に質問してください。
備考 科目終了後に科目についてのアンケートを WebClass で実施する。 2021 年度の授業評価結果を踏まえ、2022 年度も引き続き、丁寧に指導・教育できる体制を整える。
連絡先(メールアドレス) 笹野 哲郎:sasano.cvm@tmd.ac.jp M&D タワー13 階南西角
オフィスアワー 笹野 哲郎オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡してから訪問すること。

時間割番号	013075					
科目名	アドバンスド生理機能検査学			科目ID	MT-492600-L	
担当教員	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂[KAKINUMA SEI, SUMI YUKI, AKAZA MIHO]					
開講時期	2022 年度後期	対象年次	3～4	単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する					
英文名: Advanced Physiological Laboratory Science 【科目責任者】柿沼 晴						
主な講義場所 2022 年度は全てオンライン授業により実施する。						
授業の目的、概要等 生理検査学講義で扱わない最先端、あるいは高度な生理機能検査を学ぶ。 これらを学ぶ事により、生体の仕組みに対する理解を深める。 生理機能検査を通じて、疾患の病態生理についても学ぶ。						
授業の到達目標 生理機能検査の原理、結果評価について概説出来る。 疾患病態生理について概説出来る。 後述のように、出席点を 50 点、レポート点を 50 点として評価し、総合成績で 90 点以上を A+, 80 点以上を A, 70 点以上を B, 60 点以上を C とする。 レポートの成績評価は、各領域の講師が講義内容に基づいて判定する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/26	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	アドバンスド生理機能検査学	発展した内容の生理機能検査について講義を行う。 詳細は後日 webclass に掲載する	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂
2	10/3	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	アドバンスド生理機能検査学	発展した内容の生理機能検査について講義を行う。 詳細は後日 webclass に掲載する	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂
3	10/17	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	アドバンスド生理機能検査学	発展した内容の生理機能検査について講義を行う。 詳細は後日 webclass に掲載する	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂
4	10/24	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	アドバンスド生理機能検査学	発展した内容の生理機能検査について講義を行う。 詳細は後日 webclass に掲載する	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂
5	10/31	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	アドバンスド生理機能検査学	発展した内容の生理機能検査について講義を行う。 詳細は後日 webclass に掲載する	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂
6	11/28	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	アドバンスド生理機能検査学	発展した内容の生理機能検査について講義を行う。 詳細は後日 webclass に掲載する	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂
7	12/12	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	アドバンスド生理機能検査学	発展した内容の生理機能検査について講義を行う。 詳細は後日 webclass に掲載する	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂
8	12/19	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	アドバンスド生理機能検査学	発展した内容の生理機能検査について講義を行う。 詳細は後日 webclass に掲載する	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂
授業方法 Zoom による同期型授業を中心とし、webclass を併用する場合がある。 時間割は別途 webclass に掲載するので確認すること。 アクティブ・ラーニングが中心となっており、自学自習を行うことが必要である。						
授業内容 消化器系検査、呼吸器系検査、神経・筋機能検査、循環器系検査、それを用いた病態生理などについて学ぶ。時間割は別途 webclass に掲載する。						
成績評価の方法 定期試験の実施はしない。 授業の最終回終了後にレポート1通の提出をもって理解度を問う。レポートの課題は、初回の授業時に伝達する。出席評価 50 点、及び、レポート評価 50 点の合計点をもって最終評価とする。						

期限を過ぎて提出されたレポートは採点対象としない。従って、期限〆切後にレポートを提出しても、60 点以上は獲得できず不合格になることに留意すること。
成績評価の基準 生理検査学の知識・理解の達成度、講義中の討論における参加を総合的に評価する。 出席点を 50 点、レポート点を 50 点として評価し、総合成績で 90 点以上を A+、80 点以上を A、70 点以上を B、60 点以上を C とする。 レポートの成績評価は、各領域の講師が講義内容に基づいて判定する。 出席点は出席率をもって計算する。
準備学習等についての具体的な指示 基本的な生理機能検査についてあらかじめ復習しておく事。
試験の受験資格 定期試験は実施しない。しかし、単位認定のためには規定の出席数が必要であり、計8回の講義のうち、5回以上の出席がなければ、単位認定はしない。出席の有無は Zoom の視聴ログにより、最初から最後までを視聴していたことが確認できたことをもって、判定する。 webclass の非同期授業の場合は、webclass の視聴履歴により最初から最後までを視聴していたことが確認できたか、指定の視聴確認テストがあった場合には、全問正解をもって受講したとみなす。なお、視聴確認テストで合格であっても webclass で 90 分の受講時間に対して視聴履歴が 45 分以下だった場合は、出席とは判定しないので留意すること。
モジュールの単位判定 本講義全体で単位を判定する。
教科書 生理機能検査学／東條尚子、川良徳弘編集、東條 尚子、川良 徳弘：医歯薬出版、2017 最新臨床検査学講座 生理機能検査学 第2版／東條 尚子 編集、川良 徳弘 編集、東條 尚子、川良 徳弘：医歯薬出版、2022-01-12
参考書 各担当講師が Webclass に資料を upload する場合がある。
他科目との関連 解剖学、生理検査学Ⅰ、医学概論、総合講義、臨床病態学、医用機器・工学、心臓生理学などに関連。
履修上の注意事項 時間割、予定は別途 webclass に掲載し、同期型か非同期型の指示があるので確認すること。
備考 アクティブ・ラーニングについては、授業中にレポート課題を説明する。 また、講義中の講師との質疑応答を介してアクティブ・ラーニングを行う。
参照ホームページ 生理検査は人を対象とした動的な検査であり、各種ホームページにて動画や図表、イラストを参照すると理解が進む場合がある。
連絡先(メールアドレス) 柿沼 晴:skakinuma.gast@tmd.ac.jp 角 勇樹:ysumi.pulm@tmd.ac.jp
オフィスアワー 柿沼 晴:毎週 月曜または金曜日 9:00-17:00 3号館 16階 疾患生理機能解析学分野教授室 (来室前にメールで予約すること) 角 勇樹:毎週 月-金 曜日 AM:9:00-PM:17:00 3号館 16階 呼吸器・神経系解析学教授室 (来室の前にメールで予約してください)

時間割番号	013090				
科目名	心電図判読			科目 ID	MT-492300-Z
担当教員	柿沼 晴, 藤代 瞳[KAKINUMA SEI, FUJISHIRO Hitomi]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次		単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				
英文名: Analysis of Electrocardiogram					
【科目責任者】柿沼 晴					
主な講義場所					
Zoom ID は別途教務より連絡される。					
授業の目的、概要等					
心電図の基礎を学習し、心電図判読技術を高め、資格習得(心電図検定 3 級)を目指す。					
授業の到達目標					
心電図検定 3 級合格レベルの判読力を身につける。					
筆記試験では講義で扱った内容に基づき、心電図検定と同等の難易度の問題を出題する。					
試験の成績で 90 点以上を A+、80 点以上を A、70 点以上を B、60 点以上を C とする。					
可否判定(単位認定)に関しては試験により 60 点以上を合格要件とするので留意されたい。					
なお、本試験合格者に関しては、試験問題の難易度に基づく相対評価に基づいて点数調整を行い、最終成績(評価)とする。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員
1	4/18	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	P 波、QRS 波、ST	藤代 瞳 柿沼 晴
2	4/25	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	T 波、U 波、QT	藤代 瞳 柿沼 晴
3	5/9	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	不整脈波形 1	藤代 瞳 柿沼 晴
4	5/16	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	不整脈波形 2	藤代 瞳 柿沼 晴
5	5/23	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	特徴ある異常波形	藤代 瞳 柿沼 晴
6	5/30	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	過去問演習	藤代 瞳 柿沼 晴
7	6/9	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	過去問演習	藤代 瞳 柿沼 晴
8	6/13	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	過去問演習	藤代 瞳 柿沼 晴
授業方法					
講義形式、問題を解く演習形式。					
アクティブ・ラーニングが中心となっており、自学自習を行うことが必要である。					
授業内容					
心電図検定過去問の判読、医学部附属病院検査部の心電図の判読。					
成績評価の方法					
定期試験を行う。					
試験での評価を 90%、講義における参加の状況を担当教官が評価し、その評点を 10%として総合評価をする。合計で 60 点以上の者を合格とする。					
本試験の筆記試験が 60 点未満の場合は他の評価にかかわらず再試験とする。					
再試験後の上記総合評価が 60 点未満であった場合は単位を認定しない。					
成績評価の基準					
筆記試験での評価を 90%、講義における参加の状況を担当教官が評価し、その評点を 10%として総合評価をする。					
評点 90 点以上を A+、80 点以上を A、70 点以上を B、60 点以上を C とする。					
本試験 60 点以上の合格者における筆記試験の合計点は、試験問題の難易度に基づく相対評価に基づいて点数調整を行い、上記の基準に従って最終成績とする。					
準備学習等についての具体的な指示					
事前に教科書を読み、演習課題に取り組むこと。					
課題は別途教官より指示される。					
試験の受験資格					
2022 年度は Zoom 同期型講義で全ての講義を行う。					

全8回中、5回以上の出席がないものは定期試験の受験資格を認めない。 出欠は Zoom の視聴履歴を確認し、講義を最初から最後まで参加していることが確認できた場合を出席とする。
モジュールの単位判定 本講義全体で単位判定を行う。
教科書 心電図検定公式問題集&ガイド：受検者必携2 級/3 級／日本不整脈心電学会心電図検定委員会 編著、:メディカ出版, 2018 これならわかる!心電図の読み方：モニターから 12 誘導まで／大島一太著,大島, 一太.:ナツメ社, 2017 心電図の読み方パーフェクトマニュアル：理論と波形パターンで徹底トレーニング!／渡辺重行, 山口巖編,渡辺, 重行,山口, 巖.:羊土社, 2006
参考書 実力心電図：「読める」のその先へ／日本不整脈心電学会編集,日本不整脈心電学会.:日本不整脈心電学会, 2018
他科目との関連 生理検査学の心電図の項目、心臓生理学
履修上の注意事項 講義は解説が中心となるため、事前に心電図を判読して講義に臨むこと。
備考 講義中の講師との質疑応答を介してアクティブ・ラーニングを行う。
連絡先(メールアドレス) 柿沼 晴:skakinuma.gast@tmd.ac.jp 藤代 瞳:fujishiro.aps@tmd.ac.jp
オフィスアワー 柿沼 晴:毎週 月曜または金曜日 9:00-17:00 3 号館 16 階 疾患生理機能解析学分野教授室 (来室前にメールで予約すること)

時間割番号	014001					
科目名	AI 実践演習			科目 ID		
担当教員	角 勇樹[SUMI YUKI]					
開講時期	2022 年度通年	対象年次	2～4	単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する					
英文名: AI Practice Exercise						
【科目責任者】角 勇樹						
主な講義場所						
Zoom による同期および非同期						
授業の目的、概要等						
プログラミングを行い、実行することにより AI について active learning を行う						
授業の到達目標						
AI について様々な基本的概念を実践して経験し、将来的な学習の方向性を理解する						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/29	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	Anaconda のインストール、Python の基礎、Graphical User Interface	IDE(Integrated Development Environment, 統合開発環境) の構築、Python 基本的文法、tkinter の使い方	角 勇樹
2	10/6	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	Anaconda のインストール、Python の基礎、Graphical User Interface	DE(Integrated Development Environment, 統合開発環境) の構築、Python 基本的文法、tkinter の使い方	角 勇樹
3	10/20	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	画像の扱い方	PIL の使い方	角 勇樹
4	11/10	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	行列、表の扱い方	panda を使い Excel とデータのやりとり、numpy の使い方	角 勇樹
5	11/17	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	グラフの作り方	matplotlib の使い方	角 勇樹
6	11/24	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	AI その 1	NN(neural network)、Deep learning(深層学習)、Fully Connected Layer(全結合層)、Backpropagation(逆誤差伝搬)、誤差関数、データ拡張、k 分割交差検証	角 勇樹
7	12/8	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	AI その 2	畳み込み(convolution neural network)、Max pooling	角 勇樹
8	12/15	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	AI その 3	過学習、Dropout、Batch normalization、残差ネットワーク (Residual network)、転移学習	角 勇樹
授業方法						
基本的概念を同期および非同期授業にて学習し、例として提示されたプログラムを改変して提示された課題提出により成績判定を行うので、自主的にプログラミングし課題を提出すること						
授業内容						
課題提出により成績判定を行うので、自主的にプログラミングし課題を提出すること						
成績評価の方法						
複数の課題提出内容により成績判定を行う						
成績評価の基準						
課題提出内容を相対評価し、成績をつける。課題提出を行わなかった場合、提出内容が要求水準を満たさないことが続いた場合には単位認定を行わない。						
準備学習等についての具体的な指示						
「医療と AI・ビッグデータ入門」を履修している必要がある。						
Python について基本的な事項は理解していることが望まれる。						
試験の受験資格						
課題提出により成績判定を行うので、自主的にプログラミングし課題を提出すること						
他科目との関連						
「医療と AI・ビッグデータ入門」、「医療と AI・ビッグデータ入門」と 関連がある						

履修上の注意事項
「医療と AI・ビッグデータ入門」を履修している必要がある。
備考
希望する学生にはクラウド上の高速 deep learning server アクセス権限を付与する。
連絡先(メールアドレス)
角 勇樹:ysumi.pulm@tmd.ac.jp
オフィスアワー
角 勇樹:毎週 月-金 曜日 AM.9:00-PM.17:00 3 号館 16 階 呼吸器・神経系解析学教授室 (来室の前にメールで予約してください)

時間割番号	013079A				
科目名	Learning Medical English			科目ID	MT-492900-L
担当教員	大川 龍之介, 副島 友莉恵, 赤座 実穂, 太田 悠介[OKAWA RYUNOSUKE, SOEJIMA YURIE, AKAZA MIHO, OOTA Yuusuke]				
開講時期	2022 年度後期	対象年次		単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				
Learning Medical English 【科目責任者】大川 龍之介					
主な講義場所 別途シラバスに記載。					
授業の目的、概要等 現在、多くの人々が海外旅行し、多くの物資が世界中に運ばれ、多量の情報がインターネットで流れ、国際化が進んでいる。また明日を担う本学の看護学生、臨床検査学生は、世界を舞台にして活躍することが期待されている。そのためには、単なる日常英会話能力だけでなく、臨床の現場で用いる用語や患者との接遇に用いる用語など、医療における英語の知識を学ばなければならない。さらに、英語の文献を読む力、国際学会での英語のプレゼンテーション能力も身に着ける必要である。 本科目では前半では採血、検体検査、生理機能検査に関連した英語、患者への接遇について、後半では、国際誌の読み方、国際学会でのプレゼンテーションの仕方について学ぶ。募集の上限は看護、検査合わせて 12 名である。応募者が多い場合には書類、面接などにより選抜する。					
授業の到達目標 本科目の到達目標は臨床の現場、国際誌、国際学会でのプレゼンテーションで用いる様々な医学英語を学び活用できることにある。学生は教科書にある基本的な英単語や語句を理解し記憶する事が求められる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	12/2	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	第1, 2章 やさしい英語, 役立つ英語, 血液検査	大川 龍之介
2	12/14	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	第3, 4章 尿検査, 便検査	大川 龍之介
3	12/19	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	第5～7章 生理機能検査①	赤座 実穂
4	12/19	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	第8～11章 生理機能検査②	赤座 実穂
5	12/21	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	第Ⅱ編 論文の読み方①	太田 悠介
6	12/21	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	第Ⅱ編 論文の読み方②	太田 悠介
7	12/23	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	第Ⅱ編 国際学会でのプレゼンテーション①	副島 友莉恵
8	12/23	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	第Ⅱ編 国際学会でのプレゼンテーション②	副島 友莉恵
授業方法 zoom による講義形式(同期型)。					
授業内容 4 名の教員によるオムニバス形式					
成績評価の方法 講義参加状況、小試験の成績、講義時の積極性により評価する。 1) 講義の参加状況 10 点 2) 小試験の成績 80 点 3) 講義時の積極性 10 点					
成績評価の基準 1), 2), 3) の合計が 60 点に達した場合に合格とする。					
準備学習等についての具体的な指示 毎回、授業前に、教科書の章を予習すること。また各担当教員の二回目の授業の最初に前回学習分の理解度を知るための小試験を行うので、復習をしておくこと。					
試験の受験資格 授業に3分の2以上出席した者。					

教科書 臨床検査技師のための医学英語：実用会話・文献の読み方／奈良信雄, 西元慶治著, 奈良, 信雄, 西元, 慶治, Petersen, Mark.: 医歯薬出版, 2019
参考書 特に指定しない。
履修上の注意事項 3 回以上欠席の場合は不可とするので出席に注意すること。
備考 科目終了後に科目についてのアンケートを WebClass で実施する。 2021 年度の授業評価結果を踏まえ、2022 年度も引き続き、丁寧に指導・教育できる体制を整える。
連絡先(メールアドレス) 大川 龍之介:ohkawa.alc@tmd.ac.jp
オフィスアワー 大川 龍之介:特定の日時を確保できないためメールでアポイントメントを取ってください。

時間割番号	013062					
科目名	English for Health Care Sciences(Ⅰ)			科目ID	MT-491600-L	
担当教員	鈴木 喜晴, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH[SUZUKI NOBUHARU, JANELLE RENEE MOROSS, Warren L Elizabeth]					
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2～4	単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する					
英文名: English for Health Care Sciences(Ⅰ) (英語討論 グローバルな意識) 【科目責任者】鈴木 喜晴						
主な講義場所 遠隔授業(同期型)、Zoom ID/Passcode は WebClass 参照。						
授業の目的、概要等 ネイティブの英語講師によって促進される旅行/毎日の会話関連のトピック/問題に関する小グループディスカッションになります。 学生の登録は 15 に制限されています。						
授業の到達目標 海外旅行に興味のある学生が世界の旅行や文化の問題についての知識を深めるのを助けるために、トピックについて自分の意見を考え出し、それらの意見を英語で包括的に表現します。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/25	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	Introductions, Meeting people, Family, Starting and finishing conversations, Giving compliments	グループ討論、ロールプレイ、個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH
2	5/16	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	Hobbies and interests, Giving opinions and reasons, Agreeing and Disagreeing	グループ討論、ロールプレイ、個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH
3	5/23	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	Food, Restaurants and eateries, Food Allergies	グループ討論、ロールプレイ、個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH
4	5/30	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	Shopping (various situations)	グループ討論、ロールプレイ、個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH
5	6/6	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	Asking for and giving directions	グループ討論、ロールプレイ、個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH
6	6/13	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	Staying healthy abroad, Illnesses, Symptoms	グループ討論、ロールプレイ、個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH
7	6/20	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	Staying healthy abroad, Illnesses, Symptoms	グループ討論、ロールプレイ、個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH
8	7/4	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	Telephone calls, Times, Numbers	グループ討論、ロールプレイ、個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH
授業方法 グループ討論、ロールプレイ、個人の予習						
授業内容 授業スケジュール参照						
成績評価の方法 1) 出席状況 2) 学習への取組態度 3) 課題の到達度						
成績評価の基準 1) 出席状況: 全回数の 2/3(11/16) 以上の出席を必要とする。 2) 学習への取組態度 70%: 積極的な参加を評価する。本講義はスピーキングを重視するため、ディスカッションや旅行等で起こりうる場						

面を想定した会話演習での発言や参加態度を特に重視する。 3)課題の到達度 30%:与えられた課題に対する到達度を評価する。また、課題ごとの発言で見られるスピーキングスキルの改善・向上も評価の対象とする。 これらを総合して評点する(100点満点)。総合得点が60点以上の者を合格とする。
準備学習等についての具体的な指示 宿題は少ないこと WebClass 参照
試験の受験資格 本科目においては最終試験は行わないが、成績評価は「出席」、「討論の参加」によって評価される。
教科書 WebClass 参照
他科目との関連 ヘルスケア科学のための英語の最初の部分です。2年生から4年生までがこのクラスに申し込むことができます。
履修上の注意事項 成績は、クラス活動への積極的な参加に基づいて決定されます。以前にこのコースを受講したことのある学生は、単位なしでのみ申請できます。
備考 留学を希望するすべての医療技術の学生のためのスタディツアーの前後に必要です。フィンランド、ラオス、タイ、ネパールなど。 授業最終日から、科目についてのアンケートが webclass でできるようになっている。アンケートに回答しない場合は、定期試験の可否を含む成績が webclass に表示されない。
連絡先(メールアドレス) 鈴木 喜晴 nsuzbb@tmd.ac.jp JANELLE RENEE MOROSS jmoross.isc@tmd.ac.jp
オフィスアワー 鈴木 喜晴 オフィスアワーは特に定めない 3号館 16階 JANELLE RENEE MOROSS:予約をしたい方は電子メールを送ってください。

時間割番号	013063					
科目名	English for Health Care Sciences(Ⅱ)			科目ID	MT-392000-L	
担当教員	鈴木 喜晴, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH[SUZUKI NOBUHARU, JANELLE RENEE MOROSS, Warren L Elizabeth]					
開講時期	2022 年度後期	対象年次	2～3	単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する					
英文名: English for Health Care Sciences(Ⅱ) (英語討論 グローバルな意識) 【科目責任者】鈴木 喜晴						
主な講義場所 遠隔授業(同期型)、Zoom ID/Passcode は WebClass 参照。						
授業の目的、概要等 ネイティブの英語講師によって促進される旅行/毎日の会話関連のトピック/問題に関する小グループディスカッションになります。 学生の登録は 15 に制限されています。						
授業の到達目標 海外旅行に興味のある学生が世界の旅行や文化の問題についての知識を深めるのを助けるために、トピックについて自分の意見を考え出し、それらの意見を英語で包括的に表現します。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	12/7	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	Introductions, Asking and Giving opinions, Agreeing and disagreeing	グループ討論、ロールプレイ、個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH
2	12/7	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	Accepting and declining invitations, Thanking people, Apologizing	グループ討論、ロールプレイ、個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH
3	12/12	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	Making a complaint	グループ討論、ロールプレイ、個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH
4	12/14	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	Advice, Making suggestions	グループ討論、ロールプレイ、個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH
5	12/23	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	Lost and Found, Describing things	グループ討論、ロールプレイ、個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH
6	12/23	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	Reporting a crime, Describing a person or a situation	グループ討論、ロールプレイ、個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH
7	1/11	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	Asking for permission, Asking people to do things,Offering your help	グループ討論、ロールプレイ、個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH
8	1/11	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	Making, Changing or canceling appointments or invitations	グループ討論、ロールプレイ、個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH
授業方法 グループ討論、ロールプレイ、個人の予習						
授業内容 授業スケジュール参照						
成績評価の方法 1)出席状況 2)学習への取組態度 3)課題の到達度						
成績評価の基準 1)出席状況: 全回数の 2/3(11/16)以上の出席を必要とする。 2)学習への取組態度 70%:積極的な参加を評価する。本講義はスピーキングを重視するため、ディスカッションや旅行等で起こりうる場面を想定した会話演習での発言や参加態度を特に重視する。 3)課題の到達度 30%:与えられた課題に対する到達度を評価する。また、課題ごとの発言で見られるスピーキングスキルの改善・向上も						

評価の対象とする。 これらを総合して評点する(100 点満点)。総合得点が 60 点以上の者を合格とする。
準備学習等についての具体的な指示 WebClass 参照 宿題は少ないこと
試験の受験資格 本科目においては最終試験は行わないが、成績評価は「出席」、「討論の参加」によって評価される。
教科書 WebClass 参照
他科目との関連 ヘルスケア科学のための英語の最初の部分です。2 年生から 3 年生までがこのクラスに申し込むことができます。
履修上の注意事項 成績は、クラス活動への積極的な参加に基づいて決定されます。以前にこのコースを受講したことのある学生は、単位なしでのみ申請できます。
備考 留学を希望するすべての医療技術の学生のためのスタディツアーの前後に必要です。フィンランド、ラオス、タイ、ネパールなど。 授業最終日から、科目についてのアンケートが webclass でできるようになっている。アンケートに回答しない場合は、定期試験の可否を含む成績が webclass に表示されない。
連絡先(メールアドレス) 鈴木 喜晴 nsuzbb@tmd.ac.jp JANELLE RENEE MOROSS jmoross.isc@tmd.ac.jp
オフィスアワー 鈴木 喜晴 オフィスアワーは特に定めない 3 号館 16 階 JANELLE RENEE MOROSS 予約をしたい方は電子メールを送ってください。

<自由科目>

時間割番号	013036						
科目名	薬理学			科目ID	MT-292500-L		
担当教員	永田 将司[NAGATA MASASHI]						
開講時期	2022 年度後期	対象年次	2	単位数	2		
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名: Pharmacology							
【科目責任者】永田 将司							
授業の目的、概要等							
薬理学は、化学物質(薬物)と生体(個体～分子レベルを含む)との間で起こる選択的な相互作用を研究する学問である。どの視点から相互作用を考えるかによって、以下の 2 つに分けられる。①薬力学:薬物が生体に及ぼす生化学的・生理学的作用(薬理作用)を調べる。②薬物動態学:生体が薬物の吸収や分布・代謝、排泄に及ぼす影響を調べる。これらについて深い知識を有することは、適正な薬物療法を行うために必要不可欠である。							
授業の到達目標							
1-3 回目:薬物とは何かについて説明できる。薬物の使用目的について説明できる。薬物の体内での動きについて説明できる。							
4 回目:代表的な感染症治療薬を列挙し、作用機構を説明できる。							
5 回目:代用的な抗がん薬を列挙し、作用機構を説明できる。							
6 回目:代表的な免疫治療薬を列挙し、作用機構を説明できる。							
7 回目:代表的な抗アレルギー・抗炎症薬を列挙し、作用機構を説明できる。							
8 回目:末梢での神経活動に作用する代表的な薬物を列挙し、作用機構を説明できる。							
9-10 回目:中枢神経系に作用する代表的な薬物を列挙し、作用機構を説明できる。							
11-12 回目:心臓・血管系に作用する代表的な薬物を列挙し、作用機構を説明できる。							
13 回目:呼吸器系に作用する代表的な薬物を列挙し、作用機構を説明できる。							
14 回目:消化器・生殖器系に作用する代表的な薬物を列挙し、作用機構を説明できる。							
15 回目:物質代謝に作用する代表的な薬物を列挙し、作用機構を説明できる。代表的な皮膚科用薬・眼科用薬を列挙し、作用機構を説明できる。漢方薬と西洋薬の違いや、漢方薬の副作用について説明できる。代表的な消毒薬を列挙し、その特徴を説明できる。							
16 回目:新薬開発までの道のりを説明できる。日本国内で発生した代表的な薬害事例を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/5	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	薬理学を学ぶにあたって	薬理学とは何か	永田 将司	
2	10/5	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	薬理学の基礎知識 (1)	薬による病気の治療、薬が作用するしくみ、薬の体内挙動	永田 将司	
3	10/19	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	薬理学の基礎知識 (2)、看護業務に必要な薬の知識	薬物相互作用、薬効の個人差に影響する因子、薬物使用の有益性と危険性、薬と法律、薬に関する単位、処方せん、添付文書	永田 将司	
4	10/19	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	抗感染症薬	感染症治療に関する基礎事項、抗感染症薬各論、特殊な感染症の治療薬、感染症の治療における問題点	永田 将司	
5	10/26	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	抗がん薬	がん治療に関する基礎事項、抗がん薬各論	永田 将司	授業冒頭に WebClass にて小テスト
6	10/26	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	免疫治療薬	免疫系の基礎知識、免疫抑制薬、免疫増強薬・予防接種薬	永田 将司	
7	11/9	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	抗アレルギー・抗炎症薬	抗ヒスタミン薬と抗アレルギー薬、炎症と抗炎症薬、関節リウマチ治療薬、痛風・高尿酸血症治療薬、片頭痛治療薬	永田 将司	授業冒頭に WebClass にて小テスト
8	11/9	10:30-12:00	遠隔授業	末梢での神経活動に	神経系による情報伝達、自律神経系	永田 将司	

			(同期型)	作用する薬物	作用薬、交感神経作用薬、副交感神経作用薬、筋弛緩薬・局所麻酔薬		
9	11/16	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	中枢神経系に作用する薬物(1)	中枢神経系のはたらきと薬物、全身麻酔薬、催眠薬・抗不安薬	永田 将司	授業冒頭に WebClass にて小テスト
10	11/16	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	中枢神経系に作用する薬物(2)	抗精神病薬、気分障害治療薬、パーキンソン症候群治療薬、抗てんかん薬、麻薬性鎮痛薬	永田 将司	
11	11/30	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	心臓・血管系に作用する薬物(1)	抗高血圧薬、狭心症治療薬、心不全治療薬	永田 将司	授業冒頭に WebClass にて小テスト
12	11/30	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	心臓・血管系に作用する薬物(2)	抗不整脈薬、利尿薬、脂質異常症治療薬、血液に作用する薬物	永田 将司	
13	12/14	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	呼吸器系に作用する薬物	呼吸器系に作用する薬物	永田 将司	授業冒頭に WebClass にて小テスト
14	12/14	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	消化器・生殖器系に作用する薬物	消化器系に作用する薬物、生殖器・泌尿器系に作用する薬物	永田 将司	
15	12/21	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	物質代謝に作用する薬物、皮膚科用薬・眼科用薬、漢方薬、消毒薬	ホルモンとホルモン拮抗薬、治療薬としてのビタミン、皮膚に使用する薬物、眼科用薬、漢方医学の基礎知識、漢方薬各論 消毒薬とは、消毒薬の種類と応用、消毒薬の適応	永田 将司	授業冒頭に WebClass にて小テスト
16	12/21	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	臨床薬理学	医薬品の開発、副作用と薬害	永田 将司	

授業方法

Zoom を用いたオンライン形式(同期型)で行う。

講義は教科書に沿って進めるので、必ず教科書を持参すること。

また、アクティブラーニングを取り入れ、5、7、9、11、13、15 回目の講義冒頭に Webclass を用いて課題演習(小テスト)を行う。講義中に解説を行いフィードバックする。

成績評価の方法

授業中に行う小テスト(20 点)、筆記試験(80 点)および出欠状況に基づき評価する。なお、筆記試験問題の一部は英語で出題する。

成績評価の基準

S(90 点以上)、A(89-80 点)、B(79-70 点)、C(69-60 点)、D(59 点以下)の 5 段階で評価を行う。

本試験で D の場合、再試験を行う。再試験でも D となった場合は不合格となる。

準備学習等についての具体的な指示

解剖学・生理学・病理学をよく復習しておくこと。

試験の受験資格

全 16 回中 12 回以上出席したものに受験資格を認める。

講義は Zoom を用いたオンライン形式で行うため、最初から最後まで参加しているログが確認できた場合を出席とする。

教科書

系統看護学講座 専門基礎分野 薬理学 疾病のなりたちと回復の促進 3/吉岡 充弘/泉 剛/井関 健/横式 尚司/菅原 満:医学書院, 2018

備考

2021 年度の授業評価では大きな改善を求める点はなかったが、引き続き、アクティブラーニング(小テスト)を取り入れた能動的な学習ができる授業を行う。

連絡先(メールアドレス)

永田 将司 mna-mpha@tmd.ac.jp

オフィスアワー

永田 将司 オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡してから訪問すること

時間割番号	013086						
科目名	短期海外研修 A				科目 ID	MT-190800-S	
担当教員	西尾 美和子[NISHIO Miwako]						
開講時期	2022 年度通年	対象年次	1		単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名: Short term overseas study program A							
【科目責任者】西尾 美和子							
主な講義場所							
主に Zoom(同期型)で講義が行われるが、対面講義もありうる。							
授業の目的、概要等							
諸外国の医療施設、教育施設の見学・講義・実習等を通して、グローバルな視点で検査の対象となる人々、提供する検査の実際と課題、医療体制を捉え、臨床検査技術職としての専門性、および国際感覚を養う							
授業の到達目標							
研修国の保健医療福祉事情および臨床検査技術職の役割、活動状況、日本との差異について理解し、研修報告会で適切に説明することができる							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/18	18:00-19:30	遠隔授業 (同期型)	短期海外研修	合同オリエンテーション(希望する国の医療施設、保健福祉施設、教育機関における見学・講義・実習等)	西尾 美和子	日時は未定である。
2	10/19	16:20-17:50	その他	短期海外研修	海外研修報告会	西尾 美和子	日時は未定である。海外研修を通じた体験学習を行う。
授業方法							
短期海外研修あるいはオンライン国際交流プログラム							
本プログラム全てがアクティブラーニングである。グループでの討論や発表などを通して、学習者主体の学習をする。							
成績評価の方法							
(1) 研修期間前の準備							
(2) 研修期間中の見学・講義・実習等への参加状況							
(3) 研修報告会における発表状況							
(4) 研修報告書							
成績評価の基準							
研修期間中の参加状況(80 点満点)に準備、報告会、研修報告書の評価を加えて、総合的に判断する。総合成績により評点を決める。							
準備学習等についての具体的な指示							
研修で困らない語学力を身に付けておくこと							
TOEFL による語学評価を受けておくこと							
グローバル人材育成推進事業による海外派遣前教育プログラム(TOEFL 集中コースなど)が提供される場合は必ず参加すること							
希望する国の政情、社会情勢、文化、保健医療福祉事情等の情報を十分得て、事前に研修内容を計画すること							
研修内容によっては事前に特定分野(例えば脳波)の十分な学習が必要となるので、担当教員の指示に従うこと							
教科書							
担当教員から指定する							
他科目との関連							
English for Health Care Sciences (Ⅰ), (Ⅱ) 短期海外研修を希望する者は English for Health Care Sciences (Ⅰ), (Ⅱ)の何れかを研修の前後に受講すること							
履修上の注意事項							
大学の海外研修派遣制度には、成績・語学力、および面接評価による選考があることを理解し、十分準備しておくこと 短期海外研修を希望する者は短期海外研修オリエンテーションに参加すること 短期海外研修以前に行われる事前学習会に必ず参加すること							

備考

★新型コロナウイルス感染拡大状況により短期海外研修、オンライン国際交流プログラムの情報が電子メールなどで連絡されるので注意すること。

・2021 年度は開講されなかった。

連絡先(メールアドレス)

西尾 美和子 mnishio.lmg@tmd.ac.jp

時間割番号	013076						
科目名	短期海外研修 B				科目 ID	MT-293000-S	
担当教員	西尾 美和子[NISHIO Miwako]						
開講時期	2022 年度通年	対象年次	2		単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名: Short term overseas study program A							
【科目責任者】西尾 美和子							
主な講義場所							
主に Zoom(同期型)で講義が行われるが、対面講義もありうる。							
授業の目的、概要等							
諸外国の医療施設、教育施設の見学・講義・実習等を通して、グローバルな視点で検査の対象となる人々、提供する検査の実際と課題、医療体制を捉え、臨床検査技術職としての専門性、および国際感覚を養う							
授業の到達目標							
研修国の保健医療福祉事情および臨床検査技術職の役割、活動状況、日本との差異について理解し、研修報告会で適切に説明することができる							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/18	18:00-19:30	遠隔授業 (同期型)	短期海外研修	合同オリエンテーション(希望する国の医療施設、保健福祉施設、教育機関における見学・講義・実習等)	西尾 美和子	日時は未定である。
2	10/19	16:20-17:50	その他	短期海外研修	海外研修報告会	西尾 美和子	日時は未定である。海外研修を通じた体験学習を行う。
授業方法							
短期海外研修あるいはオンライン国際交流プログラム							
本プログラム全てがアクティブラーニングである。グループでの討論や発表などを通して、学習者主体の学習をする。							
成績評価の方法							
(1) 研修期間前の準備							
(2) 研修期間中の見学・講義・実習等への参加状況							
(3) 研修報告会における発表状況							
(4) 研修報告書							
成績評価の基準							
研修期間中の参加状況(80 点満点)に準備、報告会、研修報告書の評価を加えて、総合的に判断する。総合成績により評点を決める。							
準備学習等についての具体的な指示							
研修で困らない語学力を身に付けておくこと							
TOEFL による語学評価を受けておくこと							
グローバル人材育成推進事業による海外派遣前教育プログラム(TOEFL 集中コースなど)が提供される場合は必ず参加すること							
希望する国の政情、社会情勢、文化、保健医療福祉事情等の情報を十分得て、事前に研修内容を計画すること							
研修内容によっては事前に特定分野(例えば脳波)の十分な学習が必要となるので、担当教員の指示に従うこと							
教科書							
担当教員から指定する							
他科目との関連							
English for Health Care Sciences (Ⅰ), (Ⅱ) 短期海外研修を希望する者は English for Health Care Sciences (Ⅰ), (Ⅱ)の何れかを研修の前後に受講すること							
履修上の注意事項							
大学の海外研修派遣制度には、成績・語学力、および面接評価による選考があることを理解し、十分準備しておくこと 短期海外研修を希望する者は短期海外研修オリエンテーションに参加すること 短期海外研修以前に行われる事前学習会に必ず参加すること							

備考

★新型コロナウイルス感染拡大状況により短期海外研修、オンライン国際交流プログラムの情報が電子メールなどで連絡されるので注意すること。

・2021 年度は開講されなかった。

連絡先(メールアドレス)

西尾 美和子 mnishio.lmg@tmd.ac.jp

時間割番号	013077						
科目名	短期海外研修 C				科目 ID	MT-392100-S	
担当教員	西尾 美和子[NISHIO Miwako]						
開講時期	2022 年度通年	対象年次	3		単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名: Short term overseas study program A							
【科目責任者】西尾 美和子							
主な講義場所							
主に Zoom(同期型)で講義が行われるが、対面講義もありうる。							
授業の目的、概要等							
諸外国の医療施設、教育施設の見学・講義・実習等を通して、グローバルな視点で検査の対象となる人々、提供する検査の実際と課題、医療体制を捉え、臨床検査技術職としての専門性、および国際感覚を養う							
授業の到達目標							
研修国の保健医療福祉事情および臨床検査技術職の役割、活動状況、日本との差異について理解し、研修報告会で適切に説明することができる							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/18	18:00-19:30	遠隔授業 (同期型)	短期海外研修	合同オリエンテーション(希望する国の医療施設、保健福祉施設、教育機関における見学・講義・実習等)	西尾 美和子	日時は未定である。
2	10/19	16:20-17:50	その他	短期海外研修	海外研修報告会	西尾 美和子	日時は未定である。海外研修を通じた体験学習を行う。
授業方法							
短期海外研修あるいはオンライン国際交流プログラム							
本プログラム全てがアクティブラーニングである。グループでの討論や発表などを通して、学習者主体の学習をする。							
成績評価の方法							
(1) 研修期間前の準備							
(2) 研修期間中の見学・講義・実習等への参加状況							
(3) 研修報告会における発表状況							
(4) 研修報告書							
成績評価の基準							
研修期間中の参加状況(80 点満点)に準備、報告会、研修報告書の評価を加えて、総合的に判断する。総合成績により評点を決める。							
準備学習等についての具体的な指示							
研修で困らない語学力を身に付けておくこと							
TOEFL による語学評価を受けておくこと							
グローバル人材育成推進事業による海外派遣前教育プログラム(TOEFL 集中コースなど)が提供される場合は必ず参加すること							
希望する国の政情、社会情勢、文化、保健医療福祉事情等の情報を十分得て、事前に研修内容を計画すること							
研修内容によっては事前に特定分野(例えば脳波)の十分な学習が必要となるので、担当教員の指示に従うこと							
教科書							
担当教員から指定する							
他科目との関連							
English for Health Care Sciences (Ⅰ), (Ⅱ) 短期海外研修を希望する者は English for Health Care Sciences (Ⅰ), (Ⅱ)の何れかを研修の前後に受講すること							
履修上の注意事項							
大学の海外研修派遣制度には、成績・語学力、および面接評価による選考があることを理解し、十分準備しておくこと 短期海外研修を希望する者は短期海外研修オリエンテーションに参加すること 短期海外研修以前に行われる事前学習会に必ず参加すること							

備考

★新型コロナウイルス感染拡大状況により短期海外研修、オンライン国際交流プログラムの情報が電子メールなどで連絡されるので注意すること。

・2021 年度は開講されなかった。

連絡先(メールアドレス)

西尾 美和子 mnishio.lmg@tmd.ac.jp

時間割番号	013078						
科目名	短期海外研修 D				科目 ID	MT-492700-S	
担当教員	西尾 美和子[NISHIO Miwako]						
開講時期	2022 年度通年	対象年次	4	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名: Short term overseas study program A							
【科目責任者】西尾 美和子							
主な講義場所							
主に Zoom(同期型)で講義が行われるが、対面講義もありうる。							
授業の目的、概要等							
諸外国の医療施設、教育施設の見学・講義・実習等を通して、グローバルな視点で検査の対象となる人々、提供する検査の実際と課題、医療体制を捉え、臨床検査技術職としての専門性、および国際感覚を養う							
授業の到達目標							
研修国の保健医療福祉事情および臨床検査技術職の役割、活動状況、日本との差異について理解し、研修報告会で適切に説明することができる							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/18	18:00-19:30	遠隔授業 (同期型)	短期海外研修	合同オリエンテーション(希望する国の医療施設、保健福祉施設、教育機関における見学・講義・実習等)	西尾 美和子	日時は未定である。
2	10/19	16:20-17:50	その他	短期海外研修	海外研修報告会	西尾 美和子	日時は未定である。海外研修を通じた体験学習を行う。
授業方法							
短期海外研修あるいはオンライン国際交流プログラム							
本プログラム全てがアクティブラーニングである。グループでの討論や発表などを通して、学習者主体の学習をする。							
成績評価の方法							
(1) 研修期間前の準備							
(2) 研修期間中の見学・講義・実習等への参加状況							
(3) 研修報告会における発表状況							
(4) 研修報告書							
成績評価の基準							
研修期間中の参加状況(80 点満点)に準備、報告会、研修報告書の評価を加えて、総合的に判断する。総合成績により評点を決める。							
準備学習等についての具体的な指示							
研修で困らない語学力を身に付けておくこと							
TOEFL による語学評価を受けておくこと							
グローバル人材育成推進事業による海外派遣前教育プログラム(TOEFL 集中コースなど)が提供される場合は必ず参加すること							
希望する国の政情、社会情勢、文化、保健医療福祉事情等の情報を十分得て、事前に研修内容を計画すること							
研修内容によっては事前に特定分野(例えば脳波)の十分な学習が必要となるので、担当教員の指示に従うこと							
教科書							
担当教員から指定する							
他科目との関連							
English for Health Care Sciences (Ⅰ), (Ⅱ) 短期海外研修を希望する者は English for Health Care Sciences (Ⅰ), (Ⅱ)の何れかを研修の前後に受講すること							
履修上の注意事項							
大学の海外研修派遣制度には、成績・語学力、および面接評価による選考があることを理解し、十分準備しておくこと 短期海外研修を希望する者は短期海外研修オリエンテーションに参加すること 短期海外研修以前に行われる事前学習会に必ず参加すること							

備考

★新型コロナウイルス感染拡大状況により短期海外研修、オンライン国際交流プログラムの情報が電子メールなどで連絡されるので注意すること。

・2021 年度は開講されなかった。

連絡先(メールアドレス)

西尾 美和子 mnishio.lmg@tmd.ac.jp

時間割番号	013079A				
科目名	Learning Medical English			科目ID	MT-492900-L
担当教員	大川 龍之介, 副島 友莉恵, 赤座 実穂, 太田 悠介[OKAWA RYUNOSUKE, SOEJIMA YURIE, AKAZA MIHO, OOTA Yuusuke]				
開講時期	2022 年度後期	対象年次		単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				
Learning Medical English 【科目責任者】大川 龍之介					
主な講義場所 別途シラバスに記載。					
授業の目的、概要等 現在、多くの人が海外旅行し、多くの物資が世界中に運ばれ、多量の情報がインターネットで流れ、国際化が進んでいる。また明日を担う本学の看護学生、臨床検査学生は、世界を舞台にして活躍することが期待されている。そのためには、単なる日常英会話能力だけでなく、臨床の現場で用いる用語や患者との接遇に用いる用語など、医療における英語の知識を学ばなければならない。さらに、英語の文献を読む力、国際学会での英語のプレゼンテーション能力も身に着ける必要である。 本科目では前半では採血、検体検査、生理機能検査に関連した英語、患者への接遇について、後半では、国際誌の読み方、国際学会でのプレゼンテーションの仕方について学ぶ。募集の上限は看護、検査合わせて 12 名である。応募者が多い場合には書類、面接などにより選抜する。					
授業の到達目標 本科目の到達目標は臨床の現場、国際誌、国際学会でのプレゼンテーションで用いる様々な医学英語を学び活用できることにある。学生は教科書にある基本的な英単語や語句を理解し記憶する事が求められる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	12/2	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	第1, 2章 やさしい英語, 役立つ英語, 血液検査	大川 龍之介
2	12/14	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	第3, 4章 尿検査, 便検査	大川 龍之介
3	12/19	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	第5～7章 生理機能検査①	赤座 実穂
4	12/19	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	第8～11章 生理機能検査②	赤座 実穂
5	12/21	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	第Ⅱ編 論文の読み方①	太田 悠介
6	12/21	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	第Ⅱ編 論文の読み方②	太田 悠介
7	12/23	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	第Ⅱ編 国際学会でのプレゼンテーション①	副島 友莉恵
8	12/23	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	第Ⅱ編 国際学会でのプレゼンテーション②	副島 友莉恵
授業方法 zoom による講義形式(同期型)。					
授業内容 4 名の教員によるオムニバス形式					
成績評価の方法 講義参加状況、小試験の成績、講義時の積極性により評価する。 1) 講義の参加状況 10 点 2) 小試験の成績 80 点 3) 講義時の積極性 10 点					
成績評価の基準 1), 2), 3) の合計が 60 点に達した場合に合格とする。					
準備学習等についての具体的な指示 毎回、授業前に、教科書の章を予習すること。また各担当教員の二回目の授業の最初に前回学習分の理解度を知るための小試験を行うので、復習をしておくこと。					
試験の受験資格 授業に3分の2以上出席した者。					

教科書

臨床検査技師のための医学英語：実用会話・文献の読み方／奈良信雄, 西元慶治著, 奈良, 信雄, 西元, 慶治, Petersen, Mark.: 医歯薬出版, 2019

参考書

特に指定しない。

履修上の注意事項

3 回以上欠席の場合は不可とするので出席に注意すること。

備考

科目終了後に科目についてのアンケートを WebClass で実施する。

2021 年度の授業評価結果を踏まえ、2022 年度も引き続き、丁寧に指導・教育できる体制を整える。

連絡先(メールアドレス)

大川 龍之介:ohkawa.alc@tmd.ac.jp

オフィスアワー

大川 龍之介:特定の日時を確保できないためメールでアポイントメントを取ってください。

學生周知事項

学 生 周 知 事 項

1 連絡・通知

すべての告示、通知、連絡（試験関係、休講、講義室変更、奨学金関係、健康診断、授業料の納付、呼び出し等）は、Web Class（電子掲示板）により行います。

新たに掲示があった場合はメールリストで周知するので、1日に1回はメールを確認するように心がけ、見落としとして不利益を被らないよう十分注意してください。

2 電話等による学生の呼び出し等

電話等による学生の呼び出しは、緊急かつ重大な場合を除いて一切行わないので、各関係者に説明しておいて下さい。

3 学生証

学生証は、本学の学生である旨を証明するものです。

入学時に交付したものを**4年間使用**しますので、紛失・破損等のないよう大切に取扱って下さい。

また、定期試験受験時、通学定期券の購入時等に提示を求められたときに提示できるよう、常に携帯するようにして下さい。

(1) 再交付

学生証を紛失又は破損等した場合は、速やかに学務企画課（1号館西1階）に申し出て、再交付の手続きをとって下さい。

再交付には費用がかかりますので注意してください。また再交付まで約1ヶ月近くかかります。

(2) 返却

卒業、退学、除籍、又は有効期間が経過した場合は、速やかに学生証を学務企画課に返却して下さい。なお、返却できない場合は費用を負担することになります。

4 証明書等

証明書等は、保健衛生教務係にて発行するものと、自動発行機にて発行するものがあります。

(1) 保健衛生教務係（受付時間：8:30～17:15）

次に掲げるものは、保健衛生教務係で発行しますので証明書交付願を提出して下さい。

（交付は、原則として、提出のあった日の明後日となります。）

①成績証明書

②調査書

③英文の在学証明書（交付に1週間程度要します。）

④通学証明書（交通機関から請求された場合に限る。）

バス及び鉄道の通学定期券を購入する場合は、住居の最寄り駅又は大学の最寄り駅にて学生証を提示し、直接購入して下さい。

⑤実習用定期

卒業研究等により本学以外の地に通学する場合は、実習用定期の発行が可能な為、必要が生じた者は、保健衛生教務係に申し出てください。

なお、鉄道会社の許可を受けるまでに**1ヶ月程度要します**ので留意してください。（例：4月から必要な場合は、2月中に手続きをとること。）

※その他：上記以外の証明書等については、個々に保健衛生教務係に相談して下さい。

(2) **自動発行機(利用時間:月～金 8:30～21:00)**

在学証明書・卒業見込み証明書(第4学年在籍者のみ)は、学生談話室(5号館4階)に設置されている[自動発行機]にて発行します。

(問い合わせ先)学務企画課企画調査係(03-5803-5074)

5 学生旅客運賃割引証(学割証)

- (1) 学生が課外活動又は帰省などでJR線を利用する場合、乗車区間が片道100kmを超えるときに旅客運賃の割引(2割)を受けることができます。

この制度は、修学上の経済的負担を軽減し、学校教育の振興に寄与することを目的とするものなので、計画的に使用すること。(年間使用限度:10枚/人)

- (2) 次に掲げる行為があったときは、普通運賃の2倍の追徴金を取られるばかりでなく、本学の全学生に対する学割証の発行が停止されることがありますので、乱用又は不正に使用することのないよう注意して下さい。

- ①他人名義の学割証を使って乗車券を購入したとき
- ②名義人が乗車券を購入し、これを他人に使用させたとき
- ③使用有効期間を経過したものを使用したとき

- (3) 学割証は、学生談話室(5号館4階)に設置されている「自動発行機」にて発行します。

(利用時間:8:30～21:00)

(問い合わせ先)学生支援事務室 学生支援総括係(03-5803-5077)

6 住所・氏名等の変更

本人又は保証人の住所・本籍又は氏名等(電話番号を含む。)に変更が生じた場合は、速やかに保健衛生教務係に申し出て所定の手続きをとって下さい。

この手続きを怠った場合、大学から本人又は保証人に緊急に連絡する必要があるが生じても連絡が取れないので注意して下さい。

7 休学、復学、退学、欠席

(1) 休学

病気その他の事由により、引き続き3ヶ月以上休学する場合は、「休学願」を保健衛生教務係に提出し、学長の許可を受けて下さい。(病気の場合は、医師の診断書を添付して下さい。)

なお、休学にあたっては、事前*に「**学年担当教員**」又は「**グループ担当教員**」と面談し、**休学事由及び休学によって生じる修学上の諸問題等**について十分相談して下さい。

また、休学を許可される期間は、**在学期間内通算して2年を超えることができません**。(特別の事情があると学長が認めたときは、更に1年以内の休学を許可することがありますので、事前に保健衛生教務係に相談してください。)*2か月前までが望ましい。

(2) 復学

休学している学生が、休学許可期間の途中又は満了時に復学を希望する場合は、復学願(保証人連署)を保健衛生教務係に提出し、学長の許可を受けて下さい。(病気を事由に休学した場合は、医師の診断書と保健管理センター発行の復学に関する意見書を添付して下さい。)

(3) 退学

病気その他の事由により、学業を継続することが困難となり、退学しようとする場合は、退学願(保証人連署)を保健衛生教務係に提出し、学長の許可を受けて下さい。

なお、退学するにあたっては、事前*に学年担当教員、グループ担当教員と面談し、退学事由等について十分相談して下さい。*2か月前までが望ましい。

(4) 授業の欠席

病気その他特別な事情により授業を欠席する(した)場合は、欠席届を保健衛生教務係に提出して下さい。(病気の場合は、「診断書」を添付して下さい。)

8 ロッカーの貸与

各人にロッカー(学部在籍中は、同じロッカーを使用)を貸与します。
私物は講義室等に置かず、全てロッカーに保管して下さい。
教室及びロッカー室内での盗難が多発しているため、貴重品等の管理は厳重にして下さい。
また、各人の責による備品等の破損については、各人の負担により現状に復して下さい。

9 授業中(大学行事、課外授業を含む。)の本人及び賠償責任が伴う事故等

入学時に加入した「学校教育災害傷害保険」(学研災)及び「医学生教育研究賠償責任保険」(医学賠)の対象となります。

(詳細は「学生生活の手引」参照)

なお、**針刺し事故(B型・C型肝炎)**が起こった場合は、職員健康管理室安全衛生係(5号館:03-5803-4619)へ連絡のうえ指示を受けた後、保健衛生教務係に事故報告書を提出して下さい。

ただし、他人に対する針刺し事故については上記の「医学賠」保険の対象となります。

10 遺失物及び拾得物

学内での遺失物又は拾得物の届出は以下のとおりとなります。

・遺失または拾得した建物の防災センターまたは守衛所

11 その他

(1) クラブ、サークル等宛の郵便物等は、学生支援課の窓口で保管していますので、責任者は適宜確認して下さい。なお、個人宛の郵便物等は、特別の場合を除き大学に配達されることがないようにお願いします。

(2) 事務上の窓口

- ① 教務事務………医学部保健衛生教務係(3号館6階:03-5803-5119)
- ② 授業料の納入………財務部財務企画課資金管理係(1号館西3階:03-5803-5042)
- ③ 奨学金・授業料免除……学生支援事務室 学生支援総括係
(5号館3階:03-5803-5077)
- ④ 針刺し事故………職員健康管理室安全衛生係(5号館3階:03-5803-4619)

台風等の自然災害や交通機関運休による休講措置（湯島地区）

台風等の自然災害や交通機関運休に伴う湯島地区で行う授業、試験の休講措置等について

台風等の自然災害や交通機関運休に伴う授業の休講、試験の延長を決定した場合は、下記により本学のホームページ「学生生活」のお知らせ欄に掲載します。

○台風などで首都圏に直接災害が予想される場合

- ・ 午前の授業を休講、午前の試験を延期とする場合は、午前 6 時 30 分までに公示する。
- ・ 午後の授業を休講、午後の試験を延期とする場合は、午前 10 時までに公示する。

○首都圏における交通機関（JR 及び大手私鉄・地下鉄など）が全面的に運転を休止している場合

- ・ 午前の授業を休講、午前の試験を延期とする場合は、午前 6 時 30 分までに公示する。
- ・ 午後の授業を休講、午後の試験を延期とする場合は、午前 10 時までに公示する。

URL

<https://www.tmd.ac.jp/faculties/kyukou/>

諸 様 式

- 1 **証明書交付願**（自動発行機にて発行しているものを除く。）
証明書は、原則として請求日の明後日以降発行する。（英文によるものを除く。）
- 2 **住所・本籍地変更届**
変更したことを証明する書類が必要です。（運転免許証、戸籍抄本等）
- 3 **改姓届（戸籍抄本添付）**
- 4 **保証人変更届**
- 5 **学生証（身分証明証）紛失、盗難、破損届 兼 再発行申請書**
学生証の再発行を申請する時に、学務企画課企画調査係に提出
- 6 **授業欠席届**（病気の場合は「診断書」を添付）
病気その他特別な事情により授業を欠席する場合に提出
- 7 **再試験申請書**（未提出者は、権利を喪失するので必ず提出すること。）
定期試験不合格者は、原則再試験実施日の7日前までに教務係に提出
- 8 **再試験欠席届**
病気その他特別な事情により再試験を欠席した場合に提出
- 9 **追試験申請書**（未提出者は、権利を喪失するので必ず提出すること。）
病気、他やむを得ない理由により定期試験を欠席した者は、原則当該定期試験終了後5日以内に教務係に提出
- 10 **休学願**
グループ担当教員又は学年担当教員の面談後、専攻主任の面談（押印）を受けてから提出
（緊急時等で専攻主任が不在の場合は、教育委員長的面談で可）
- 11 **休学期間延長願**
グループ担当教員又は学年担当教員の面談後、専攻主任の面談（押印）を受けてから提出
（緊急時等で専攻主任が不在の場合は、教育委員長的面談で可）
- 12 **復学願**
グループ担当教員又は学年担当教員の面談後、専攻主任の面談（押印）を受けてから提出
（緊急時等で専攻主任が不在の場合は、教育委員長的面談で可）
- 13 **退学願**
グループ担当教員又は学年担当教員の面談後、専攻主任の面談（押印）を受けてから提出
（緊急時等で専攻主任が不在の場合は、教育委員長的面談で可）

医学部長	事務長	副事務長	係長	起案者
専				

証 明 書 交 付 願

(西暦) 年 月 日

医 学 部 長 殿

- ☐ 医学部医学科 第 学年
☐ 医学部保健衛生学科 第 学年
(☒ 看護学専攻 ☐ 検査技術学専攻)
☐ 医学部医学科専攻生 (講座・分野)
☐ 医学部保健衛生学科専攻生
(学専攻)

学籍番号

--	--	--	--	--	--	--	--

氏 名 _____

生年月日 (西暦) 年 月 日生

下記により証明書 (和文・英文) の交付をお願いいたします。

記

証明書の種類	枚 数	※証明書番号	請求理由及び提出先
1. 成績証明書 厳封 (☐ 希望 ☐ 不要)			(請求理由)
2. 卒業見込証明書 (M6・N4・MT4 のみ発行)			
3. 在学証明書 (英文のみ)			(提出先)
4. 在学期間証明 (専攻生のみ)			
5. 終了証明書 (専攻生のみ)			
6. C B T 成績表			
7.			(備考)

注) 1. 「※証明書番号」欄は記入しないこと。

2. 受取の際本人確認のために学生証 (身分証明書) を提示していただきます。

代理で受け取る場合は必ず委任状を持参してください。

医学部長	事務長	副事務長	係長	起案者
専				

住所・本籍地変更届

(西暦) 年 月 日

東京医科歯科大学医学部長 殿

☐ 医学部医学科 第 学年

☐ 医学部保健衛生学科 第 学年

(☐看護学専攻 ☐検査技術学専攻)

学籍番号

--	--	--	--	--	--	--	--

氏 名 _____

このたび、下記のとおり変更しましたのでお届けいたします。

記

変 更 者	☐ 本 人 ☐ 保 証 人 (保証人氏名: _____ 続柄: _____)							
☐ 住 所	〒 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> - <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> TEL. _____							
☐ 本 籍 地								

注) 変更該当個所の□をチェックしてください。

注) 提出の際は、変更内容の分かる書類(運転免許証・住民票・戸籍謄本・外国人登録証等)を提示してください。

教務システム	債権変更	学籍簿	名簿

医学部長	事務長	副事務長	係 長	起案者
専				

改 姓 届

(西暦) 年 月 日

東京医科歯科大学医学部長 殿

☐ 医学部医学科 第 学年

☐ 医学部保健衛生学科 第 学年

(☐看護学専攻 ☐検査技術学専攻)

学籍番号

--	--	--	--	--	--	--	--

氏 名 _____

このたび、下記のとおり改姓しましたのでお届けいたします。

記

(フリガナ)		(フリガナ)	
旧 姓		新 姓	
(改姓理由)			

注) 戸籍抄本又は謄本を添付すること。

教務システム	債権変更	学籍簿	台帳	名簿

医学部長	事務長	副事務長	係長	起案者
専				

保証人変更届

(西暦) 年 月 日

東京医科歯科大学医学部長 殿

☐ 医学部医学科 第 学年

☐ 医学部保健衛生学科 第 学年

(☐看護学専攻 ☐検査技術学専攻)

学籍番号

--	--	--	--	--	--	--	--

氏 名 _____ 印

このたび、下記のとおり保証人（正・副）を変更しましたのでお届けいたします。

記

(フリガナ)		学生との関係									
氏 名	印	職 業									
	年 月 日生	本 籍 地									
住 所	〒 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> - <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> TEL. _____										

注) 氏名欄に押印してください。

債権変更	学籍簿

年 月 日

年度入学 第 学年

- ☐ 学部(学部 学科 専攻)
- ☐ 修士課程 ☐ 博士課程
- ☐ 博士（前期）課程 ☐ 博士（後期）課程
- (分野)
- ☐ その他()

学籍番号 第

--	--	--	--	--	--	--	--

 号

氏 名 (自署)

生年月日 年 月 日生

下記のとおり、学生証（身分証明書）を（紛失しました・盗難に遭いました・破損しました）ので、
届け出るとともに、再発行を申請（します。しません。）

なお、学生証（身分証明書）が見つかったときは、直ちに申し出ます。

記

理由・紛失状況等

・紛失(盜難)日時： 年 月 日 時 分頃

・警察への届出日等： 年 月 日（ 警察署）

再発行手数料
☐ 本人負担
☐ 免除

財務企画課確認欄

※ 必要事項を記入のうえ、財務企画課収入管理係で再発行にかかる手数料 1,500 円を支払うこと。
 なお、既納の手数料は、いかなる理由があっても返還しません。

医学部長	学 科 長	専攻主任	事 務 長	副事務長	係 長	起 案 者
専	専	専	専	専		

授 業 欠 席 届

(西暦) 年 月 日

医 学 部 長 殿

- ☐ 医学部医学科 第 学年
☐ 医学部保健衛生学科 第 学年
 (☐看護学専攻 ☐検査技術学専攻)

学籍番号

--	--	--	--	--	--	--	--

氏 名 _____

下記のとおり、授業を

欠席します 欠席しました

 のでお届けいたします。

記

1. 欠席期間 自 (西暦) 年 月 日

至 (西暦) 年 月 日

2. 欠席理由 (病気による場合は、医師の診断書を添付すること。)

医学部長	学 科 長	専攻主任	事務長	副事務長	係 長	起案者
専	専	専	専	専		

再 試 験 申 請 書

(西暦) 年 月 日

医 学 部 長 殿

☐ 医学部医学科 第 学年

☐ 医学部保健衛生学科 第 学年

(☐看護学専攻 ☐検査技術学専攻)

学籍番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

氏 名 _____

下記科目について、再試験の申請をしますのでよろしくお願いいたします。

記

申請科目名	担当教員名	申請科目名	担当教員名
1 .		6 .	
2 .		7 .	
3 .		8 .	
4 .		9 .	
5 .		10.	

医学部長	学 科 長	専攻主任	事務長	副事務長	係 長	起案者
専	専	専				

再 試 験 欠 席 届

(西暦) 年 月 日

医 学 部 長 殿

☐ 医学部医学科 第 学年

☐ 医学部保健衛生学科 第 学年

(学専攻)

学籍番号

--	--	--	--	--	--	--	--

氏 名 _____

下記のとおり再試験を欠席しましたのでお届けいたします。

記

1. 試験科目名 : _____ (教員名 : _____)

(西暦) 年 月 日施行

2. 欠 席 理 由 (病気による場合は、医師の診断書を添付すること。)

医学部長	学 科 長	専攻主任	事務長	副事務長	係 長	起案者
専	専	専	専	専		

追 試 験 申 請 書

(西暦) 年 月 日

医 学 部 長 殿

☐ 医学部医学科 第 学年

☐ 医学部保健衛生学科 第 学年

(☐看護学専攻 ☐検査技術学専攻)

学籍番号

--	--	--	--	--	--	--	--

氏 名 _____

下記のとおり定期試験を欠席しましたので、追試験を施行してくださいようお願いいたします。

記

1. 試験科目名 : _____ (教員名 : _____)
(西暦) 年 月 日施行

2. 欠 席 理 由 (病気による場合は、医師の診断書を添付すること。)

休 学 願

年 月 日

東京医科歯科大学長 殿

教授認印

医学部 科 第 学年

(学専攻)

学 籍 番 号

--	--	--	--	--	--	--	--

(フリガナ)

本人氏名

参照用

下記のとおり休学したいので、ご許可くださいますようお願いいたします。

記

1. 休学理由

2. 休学期間 自 年 月 日
至 年 月 日 (ヶ月)

3. 休学中の連絡先

本人	〒 - TEL. _____
保証人	〒 - TEL. _____

注) 1. 休学理由は、裏面にできるだけ具体的に記入してください。

2. 休学理由が、病気を理由とする場合は、医師の診断書を添付してください。

財務管理課収入管理掛照合欄	
前期授業料	後期授業料

休学期間延長願

年 月 日

東京医科歯科大学長 殿

教授認印

医学部 科 第 学年

(学専攻)

学籍番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--

(フリガナ)

本人氏名 _____

保証人氏名 _____

下記のとおり休学期間を延長したいので、ご許可くださいますようお願いいたします。

参照用

1. 休学期間延長理由

2. 休学延長期間

年 月 日～ 年 月 日までのところ

年 月 日～ 年 月 日まで延長 (ヶ月)

3. 休学中の連絡先

本人	〒 <table border="1"><tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr></table> - <table border="1"><tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr></table> TEL. _____								
保証人	〒 <table border="1"><tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr></table> - <table border="1"><tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr></table> TEL. _____								

注) 1. 休学理由は、裏面にできるだけ具体的に記入してください。

2. 休学理由が、病気を理由とする場合は、医師の診断書を添付してください。

、経理課出納掛照合欄	
前期授業料	後期授業料

復学願

年 月 日

東京医科歯科大学長 殿

教授認印

参照用

医学部

科

第 学年

(学専攻)

学 籍 番 号

--	--	--	--	--	--	--	--

(フリガナ)

本 人 氏 名 _____

保証人氏名 _____

下記のとおり休学しておりましたが、 年 月 日付けで復学したいので、
ご許可くださいますようお願いいたします。

記

1. 休学理由

2. 休学許可期間 自 年 月 日
 至 年 月 日

注) 病気を理由として休学した場合は、医師の診断書を添付してください。

退 学 願

年 月 日

東京医科歯科大学長 殿

教授認印

参照用

科 第 学年
(学専攻)

学 籍 番 号

--	--	--	--	--	--	--	--

(フリガナ)

本 人 氏 名 _____

(フリガナ)

保 証 人 氏 名 _____

下記のとおり退学したいので、ご許可くださいますようお願いいたします。

記

1. 退学理由

2. 退 学 日 年 月 日付

注) 退学理由は、裏面にできるだけ具体的に記入してください。

経理課出納掛照合欄	
前期授業料	後期授業料

講義室一覽

講義室等一覧



参 考

東京医科歯科大学学則

（ 平成 16 年 4 月 1 日 ）
規 程 第 4 号

第 1 章 総則

第 1 条 本学は、医学及び歯学の理論並びに応用を教授研究し、併せて人格の陶冶をなすものである。

2 各学科における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的については、当該学科において別に定める。

第 2 条 本学に、国立大学法人東京医科歯科大学組織運営規程（平成 16 年規程第 1 号。以下「組織運営規程」という。）の定めるところにより、次の学部及び学科を置く。

医 学 部 医学科
 保健衛生学科
歯 学 部 歯学科
 口腔保健学科

2 医学部保健衛生学科に、看護学専攻及び検査技術学専攻を置く。

3 歯学部口腔保健学科に、口腔保健衛生学専攻及び口腔保健工学専攻を置く。

4 本学に、組織運営規程の定めるところにより、教養部を置く。

第 3 条 医学部医学科及び歯学部歯学科の修業年限は 6 年、医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科の修業年限は 4 年とする。

第 4 条 学生の入学定員、編入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

学 部	学科・専攻		入学定員	編入学定員	収容定員
医 学 部	医 学 科		人	人	人
	保健衛生学科		85	5（2 年次編入）	535
	看護学専攻		55		220
	検査技術学専攻		35		140
歯 学 部	歯 学 科		53		318
	口腔保健学科				
	口腔保健衛生学専攻		22		88
	口腔保健工学専攻		10	5（2 年次編入）	55

第 2 章 授業科目

第 5 条 削除

第 6 条 本学の授業科目は、全学に共通する教育科目（以下「全学共通科目」という。）と専門に関する教育科目（以下「専門科目」という。）とする。

- 2 全学共通科目は教養部において、専門科目は各学部において行う。
- 3 全学共通科目の開設授業科目及び単位数は、別に定める。
- 4 専門科目の開設授業科目及び単位数は、別に定める。

第3章 学年、学期及び休業日

第7条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第8条 学年を分けて、次の学期とする。

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

第9条 授業を行わない日（以下「休業日」という。）は次のとおりとする。

- (1) 日曜日及び土曜日
 - (2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
 - (3) 本学創立記念日 10月12日
 - (4) 春季休業
 - (5) 夏季休業
 - (6) 冬季休業
- 2 前項の規定にかかわらず、教育上必要がある場合には、休業日に授業を行うことができる。
 - 3 第1項第4号から第6号の期間は、各学部において別に定める。
 - 4 第1項に定めるもののほか、学長は、臨時の休業日を定めることができる。

第4章 入学、休学、転学、留学、退学及び除籍

第10条 入学の時期は、学年の始期とする。

第11条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同省令附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）に定める大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (8) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (9) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

第12条 大学医学部医学科の卒業者で歯学部歯学科に、大学歯学部歯学科の卒業者で医学部医学科に編入学を希望する者があるときは、欠員がある場合に限り、選考の上、相当の学年に入学の許可をすることがある。

第13条 大学医学部医学科の学生で医学部医学科に、大学歯学部歯学科の学生で歯学部歯学科に、大学（短期大学並びに外国の大学及び短期大学を含む。）の学生で医学部保健衛生学科又は歯学部口腔保健学科に転入学を希望する者があるときは、欠員がある場合に限り、選考の上、相当の学年に入学を許可することがある。

第14条 医学部医学科の2年次に編入学をすることができる者は、次の各号の一に該当する者で、選考の上、入学を許可する。

- (1) 大学を卒業した者（医学を履修する課程を卒業した者を除く。）
- (2) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者（学校教育における15年の課程を修了し、学士の学位に相当する学位を取得したと大学において認めた者を含む。）

第15条 削除

第16条 医学部保健衛生学科の2年次に編入学することができる者は、四大学連合憲章に基づく協定による複合領域コースを履修しており、かつ、協定大学の学部で2年次以上在学した者で、選考の上、入学を許可する。

第17条 削除

第18条 削除

第18条の2 歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻の2年次編入学をすることができる者は、次の各号の一に該当する者で、選考の上、入学を許可する。

- (1) 高等専門学校又は短期大学を卒業した者
- (2) 大学を卒業した者
- (3) 歯科技工士を養成する専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者

第19条 本学学生で退学した者が再び入学を請うときは、欠員がある場合に限り、選考の上、原学年以下に入学を許可することがある。

2 前項に規定するもののほか、第25条の規定による休学者が退学（休学期間満了のため学部を退学した者をいう。）し、本学医学部医学科又は歯学部歯学科に再び入学を志願するときは、原学科の原学年以上に入学を許可する。ただし、懲戒事由等に相当する事由があると認められる志願者の入学については、選考の上許可するものとする。

3 前2項に規定するもののほか、第31条の2の規定による退学者が本学医学部医学科又は歯学部歯学科に再び入学を志願するときは、退学時の在籍学科の在籍学年以上に入学を許可する。ただし、懲戒事由等に相当する事由があると認められる志願者の入学については、選考の上許可するものとする。

第20条 編入学、転入学及び再入学により入学し、その後所定の年限在学した者は、第3条に規定する年限を在学したものとみなす。

第21条 本学に入学を志願する者は、所定の手続により、学長に願い出なければならない。

第22条 入学志願者については、学長が当該学部教授会及び教養部教授会の意見を聴いて選考を行う。

2 前項に規定するもののほか、入学者の選考に関し必要な事項は別に定める。

第23条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、定められた期日までに本学の学生としての本分を守る旨、誓約書に署名し、その他所定の書類を提出するとともに、入学料を納付するものとする。ただし、第45条の規定により入学料の免除又は徴収猶予を申請し受理された者にあつては、当該免除又は徴収猶予を許可し又は不許可とするまでの間、入学料の徴収を猶予する。

2 学長は、前項の手続を完了した者に入学を許可する。

3 学長は、入学（再入学及び転入学等を含む。）を許可した者に対し、学生証を交付するものとする。

4 前項に規定するもののほか、学生証に関し必要な事項は別に定める。

第24条 学生は、病気、留学その他の事由により引き続き3月以上休学しようとするときは、所定の手続きにより、学長に願い出て許可を受けなければならない。この場合、学長は当該学部教授会に意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、その可否を決定するものとする。

第25条 本学医学部医学科又は歯学部歯学科に4年以上在学した者が引き続き大学院医歯学総合研究科博士課程に在学するために休学しようとするときは、所定の手続により、学長に願い出て許可を受けなければならない。この場合、学長は当該学部教授会に意見を聴いて、その可否を決定するものとする。

第26条 前2条の規定による休学者で、休学期間中にその事由が消滅したときは、所定の手続きにより、復学の許可を学長に願い出ることができる。この場合、学長は当該学部教授会に意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、その可否を決定するものとする。

第27条 休学期間は、通算して2年を超えることはできない。ただし、特別の事由があるときは、学長は当該学部教授会の意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、さらに1年以内の休学を許可することがある。

2 大学院医歯学総合研究科博士課程に在学する者の第24条の規定による休学期間及び第25条の規定による休学期間は、第1項の規定にかかわらず、通算して3年を超えることができない。ただし、特別の事由があるときは、学長は当該学部教授会の意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、さらに1年以内の休学を許可することができる。

3 休学した期間は、修業年限及び在学年限に算入しない。

第28条 学長は、学生が病気その他の事由により修学が不適当と認められるときは、当該学部教授会の意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、休学を命ずることがある。

第29条 学生は、学長の許可なくして、他の大学、本学の他の学科又は専攻に入学を志願するこ

とはできない。

第30条 学生が転学しようとするときは、所定の手続きにより、学長に願い出て許可を受けるものとする。この場合、学長は当該学部教授会に意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、その可否を決定するものとする。

2 前項の許可を与えたときは、退学とする。

第30条の2 本学の学生が学修のため外国の大学等（外国の学校教育制度に位置づけられた教育施設で学位授与権を有するもの又はこれに相当する教育研究機関で、かつ本学と学生交流協定を締結した又は事前の協議をおこなったものをいう。）に留学を願い出たときは、それが教育上有益と認められた場合において許可することがある。

2 前項の規定による許可は、当該学部教授会の意見を聴いて、学長が決定する。

3 前項の許可を得て留学する期間は、原則1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合には、さらに1年を限度として留学期間の延長を認めることがある。

4 第3項の許可を受けて留学した期間は、第3条に規定する修業年限及び第32条に規定する在学年限に算入する。ただし、第24条の規定により許可された留学（以下「休学留学」という。）については、この限りではない。

5 留学を許可された学生は、休学留学の場合を除き、留学期間中においても本学の授業料を納付しなければならない。

6 留学を許可された学生において、次の各号の一に該当したときには、本学と外国の大学等との協議に基づき、教授会等の意見を聴いて学長が留学を取り消すことができる。

(1) 外国の大学等が所在する国の情勢や自然災害等により、学修が困難であると認められるとき。

(2) 留学生として、外国の大学等の規則に違反し、又はその本分に反する行為が認められるとき。

(3) その他留学の趣旨に反する行為があると認められるとき。

7 留学に関する必要な事項は、別に定める。

第31条 学生が病気その他の事由で退学しようとするときは、所定の手続きにより、学長に願い出てその許可を受けるものとする。この場合、学長は当該学部教授会に意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、その可否を決定するものとする。

第31条の2 四大学連合憲章に基づく協定による複合領域コースを履修している者が協定大学に編入学するために退学しようとするときは、所定の手続きにより、学長に願い出て許可を受けなければならない。この場合、学長は当該学部教授会に意見を聴いて、その可否を決定するものとする。

第32条 医学部医学科及び歯学部歯学科の学生は10年を、医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科の学生は8年を超えて在学することができない。

2 編入学、転入学及び再入学により入学した者の在学年限は、各学部において定める。

第33条 学長は、学生が次の各号の一に該当するときは、当該学部教授会の意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、除籍する。

(1) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者

(2) その他病気等の事由により、成業の見込みがないと認められる者

(3) 在学期間が第32条に定める在学年限を超える場合に退学的意思を示さないとき。

- (4) 第24条、第25条又は第28条により休学し、第27条に定める期間内に復学又は退学的意思を示さないとき。
 - (5) 死亡又は行方不明となったとき。
 - (6) 入学料の免除の申請をした者で、免除を許可されなかったもの又は半額免除を許可されたものが、納付すべき入学料を免除の不許可又は半額免除の許可を告知した日から起算して14日以内に納付しないとき。
 - (7) 入学料の徴収猶予の申請をした者で、徴収猶予を許可されなかった者が、納付すべき入学料を徴収猶予の不許可を告知した日から起算して14日以内に納付しないとき。
 - (8) 入学料の徴収猶予を許可された者が、納付期限までに入学料を納付しないとき。
 - (9) 授業料を所定の期日までに納入しない者で、督促を受け、なおかつ納入を怠るとき。
- 2 前項第6号は、第45条第3項の規定により徴収猶予の申請をした者には適用しない。

第5章 教育課程、履修方法及び単位等

第34条 本学は、各学部及び学科の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を自ら開設し、体系的に教育課程を編成するものとする。

- 2 教育課程の編成に当たっては、本学は、学部等の専攻に係る専門の学芸を教授するとともに、幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するよう適切に配慮するものとする。

第34条の2 教育課程は、各授業科目を必修科目、選択科目及び自由科目に分け、これを各年次に配当して編成するものとする。

- 2 前項の授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。
- 3 文部科学大臣の別に定めるところにより、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。
- 4 第2項の授業を、外国において履修させることができる。また前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。
- 5 卒業に必要な修得すべき単位数のうち、前2項の規定による方法で履修し修得した単位数は、60単位を超えないものとする。ただし、卒業要件となる単位数が124単位を超える学科にあっては、その超える単位数を60単位に加えて卒業要件として認定することができる。

第34条の3 本学において必要と認めるときは、学校教育法第105条に規定する本学の学生以外の者を対象とした特別の課程を編成するものとする。

- 2 前項に定めるもののほか、特別の課程の編成に関し必要な事項は、別に定める。

第34条の4 学生が授業科目を履修し、試験に合格したときは、所定の単位を与える。

- 2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究等の授業科目については、その学修の成果を評価して試験によらずに単位を与えることができる。

第35条 前条に定める他、履修及び学習の評価方法については、各学部及び教養部の教授会の意見を聴いて学長が定める。

第36条 1 単位の授業科目を、45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学習等を考慮して、1単位当たりの授業時間を次の基準により、各学部及び教養部の教授会の意見を聴いて学長が定める。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間の範囲

(2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間の範囲

第36条の2 一年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、三十五週にわたることを原則とする。

第36条の3 各授業科目の授業は、十週又は十五週にわたる期間を単位として行うものとする。ただし、教育上必要があり、かつ、十分な教育効果をあげることができると認められる場合には、この限りでない。

第36条の4 本学は、学生に対して、授業の方法及び内容並びに一年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。

2 本学は、学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

第36条の5 各授業科目の評価は、A+、A、B、C、D、Fに分け、A+、A、B、Cを合格とし、D、Fを不合格とする。

2 学修の評価に関し必要な事項は別に定める。

3 学生は、学修の評価に対し不服があるときは、所定の手続きにより異議を申し立てることができる。

第36条の6 本学大学院に進学を志望する学生に対し、所属する学部の長が教育上有益と認めるときは、学生が進学する研究科の長の許可を得て、当該研究科の授業を履修することができる。

2 前項に定めるもののほか、本学大学院の授業科目の履修に関し必要な事項は、別に定める。

第37条 本学の教育上有益と認めるときは、本学に入学（編入学、転入学等を除く。）する前の大学（短期大学を含む。）において修得した単位（大学設置基準（昭和31年文部省令第28号）第31条第1項及び第2項の規定する科目等履修生及び特別の課程（履修証明プログラム）履修生として修得した単位を含む。）は合計30単位を限度として、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。ただし、第3条に定める修業年限を短縮することとはできない。

2 前項に係る手続き等については、各学部及び教養部において定める。

第38条 本学の教育上有益と認めるときは、学生が本学の定めるところにより他の大学において履修した授業科目について修得した単位を、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定により修得したとみなすことのできる単位数は、前条第1項及び同条第4項の規定により修得したものとみなす単位数と合わせて30単位を限度とする。

- 3 第1項に係る手続き等については、各学部及び教養部において定める。
- 4 第1項の規定は、第30条の2により学生が外国の大学等に留学する場合、休学留学の場合、外国の大学等が行なう通信教育における授業科目を我が国において履修する場合及び学生が外国の大学等の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修する場合においても準用する。

第6章 卒業及び学位

第39条 卒業の認定は、第3条に定める年限を在学し、かつ、第6条第3項及び第4項に定める授業科目を、医学部医学科においては210単位以上、歯学部歯学科においては221単位以上、医学部保健衛生学科看護学専攻においては131単位以上、医学部保健衛生学科検査技術学専攻においては138単位以上、歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻においては129単位以上、歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻においては127単位以上を修得した者に対し、当該学部教授会の意見を聴いて学長が行う。

第40条 前条による卒業者には、次の区分により学士の学位を授与する。

学 部	学科・専攻	学 位
医 学 部	医学科	学士（医 学）
	保健衛生学科	
	看護学専攻	学士（看護学）
	検査技術学専攻	学士（保健学）
歯 学 部	歯学科	学士（歯 学）
	口腔保健学科	学士（口腔保健学）

第7章 検定料、入学料及び授業料

第41条 授業料、入学料及び検定料の額については、別に定める。

第42条 入学志願者は、出願と同時に検定料を納付しなければならない。

第43条 授業料の額は、別に定めるところによるものとし、年額の2分の1ずつを次の2期に分けて納付しなければならない。

前期 5月31日まで
後期 11月30日まで

- 2 前項の規定にかかわらず、学生の申出があったときは、前期に係る授業料を徴収するときに、当該年度の後期に係る授業料を併せて徴収するものとする。
- 3 入学年度の前期又は前期及び後期に係る授業料については、第1項の規定にかかわらず、入学を許可される者の申出があったときは、入学を許可するときに徴収するものとする。
- 4 第1項の授業料納入の告知・督促は、所定の場所（医学部掲示板・歯学部掲示板・教養部掲示板）に掲示するものとする。

第44条 既納料金は、如何なる理由があっても返還しない。

- 2 第42条の規定に基づき徴収した検定料について、第1段階目の選抜で不合格となった者から返還の申出があったときは、前項の規定にかかわらず、第2段階目の選抜に係る額に相当する額を返還する。
- 3 前条第3項の規定に基づき授業料を納付した者が、入学年度の前年度の3月31日までに入学を辞退した場合には、第1項の規定にかかわらず、納付した者の申出により当該授業料に相当する額を返還する。
- 4 前条第2項及び第3項の規定に基づき授業料を納付した者が、後期分授業料の徴収時期以前に休学又は退学した場合には、第1項の規定にかかわらず、後期分の授業料に相当する額を返還する。
- 5 学生又は学生の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が風水害等の災害を受ける等やむを得ない事情があると学長が認めた場合には、授業料、入学料及び検定料について、第1項の規定にかかわらず、返還することができる。

第45条 本学に入学前1年以内において、入学する者の学資負担者が死亡し、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、入学料の納付が著しく困難であると認められる者及び当該者に準ずる者であって、学長が相当と認める事由がある者については、本人の申請により、入学料の全額又は半額を免除することがある。

- 2 本学に入学する者であって、経済的理由によって納付期限までに入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者、入学前1年以内において学資負担者が死亡し、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、納付期限までに入学料の納付が困難であると認められる者及びその他やむを得ない事情があると認められる者については、本人の申請により、入学料の徴収猶予をすることがある。
- 3 入学料の免除の申請をした者で、免除を許可されなかつた者又は半額免除を許可された者のうち、前項該当する者は、免除の不許可又は半額免除の許可を告知した日から起算して14日以内に徴収猶予の申請をすることがある。
- 4 前3項の取扱いについては、別に定める。

第46条 停学に処せられた者の授業料は徴収するものとする。

第47条 行方不明、その他やむを得ない事情がある者の授業料は本人又は保証人の申請により徴収を猶予することがある。

第48条 死亡又は行方不明のため除籍され、或は授業料の未納を理由として退学を命ぜられた者の未納の授業料は全額を免除することがある。

第49条 授業料の納付期限以前に休学又は退学の許可を受けた者の授業料の全額又はその一部を免除することがある。

- 2 前項の取扱いについては別に定める。
- 3 各学期の途中で復学する者のその期の授業料は、復学当月から当該学期末までの月割計算により復学の際徴収する。

第50条 経済的理由によって授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者及び学生又は学生の学資負担者が風水害等の災害を受け、授業料の納付が困難と認められる者については、本人の申請により授業料の全額若しくはその一部を免除又は徴収猶予することがある。

- 2 前項の取扱いについては別に定める。

第51条 削除

第52条 削除

第8章 大学院

第53条 本学に、組織運営規程の定めるところにより、大学院を置く。

2 大学院の学則は、別に定める。

第9章 外国人留学生

第54条 外国人で、大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者があるときは、本学の教育研究に支障のない場合に限り、選考の上、外国人留学生として入学を許可することがある。

2 外国人留学生については、別に定める。

第10章 科目等履修生、聴講生、特別聴講学生及び短期交流学生

第55条 本学の学生以外の者で、本学が開設する一又は複数の授業科目を履修することを志願する者があるときは、選考の上、科目等履修生として入学を許可することがある。

2 前項により入学した者には、第34条の規定を準用し、単位を与える。

3 その他科目等履修生については、別に定める。

第56条 特定の授業科目について聴講を志願する者があるときは、選考の上、聴講生として入学を許可することがある。

2 聴講生については、別に定める。

第57条 他の大学の学部学生で、当該大学との協定に基づき、本学が開設する一又は複数の授業科目の履修を志願する者があるときは、選考の上、特別聴講学生として入学を許可する。

2 特別聴講学生については、別に定める。

第57条の2 本学以外の国内外の教育施設に学生として在学中である者で、本学の教員から特定の事項について、指導又は助言を受け本学で研究又は研修等を行うことを志願するものがあるときは、短期交流学生として受入を許可することがある。

2 短期交流学生に関し必要な事項は、別に定める。

第11章 懲戒

第58条 学長は、学生が本学の諸規則に違反し、その他学生の本分に反する行為をしたときは、当該学部教授会の意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、これを懲戒する。

2 懲戒は、退学、停学、訓告とする。

3 前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。

(1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者

(2) 学内の秩序を著しく乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

4 懲戒に関し必要な事項は、別に定める。

第12章 寄 宿 舎

第59条 本学に寄宿舍を置く。

2 寄宿舍に関する規定は、別に定める。

附 則

- 1 この学則は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 第4条の規定にかかわらず、歯学部口腔保健学科の平成16年度から平成18年度までの3年次編入学員及び収容定員は、次のとおりとする。

年度 区 分	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度
3年次編入学定員	—	—	10
収容定員	25	50	85

- 3 国立大学法人の成立前の東京医科歯科大学に平成16年3月31日に在学し、引き続き本学の在学者となった者（以下「在学者」という。）及び平成16年4月1日以後在学者の属する学年に再入学、転入学び編入学する者の教育課程の履修については、この学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 この学則の施行前に廃止前の東京医科歯科大学学則（昭和27年学規第1号）の規定によりなされた手続その他の行為は、この学則の相当規定によりなされた手続その他の行為とみなす。

附 則（平成17年3月23日規程第2号）

- 1 この学則は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 平成17年3月31日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成17年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表（2）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成18年3月28日規程第1号）

- 1 この学則は平成18年4月1日から施行する。
- 2 平成18年3月31日において現に本学に在学する者（以下在学者という。）及び平成18年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の第39条、別表（1）及び別表（2）の規定にかかわらず、なお従前の例による

附 則（平成19年3月29日規程第3号）

- 1 この学則は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 平成19年3月31日において現に本学に在学する者（平成18年度に入学した者を除く。以下「在学者」という。）及び平成19年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表（2）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成20年1月16日規程第1号）

- 1 この学則は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第4条の規定にかかわらず、医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科の平成20年度から平成22年度までの収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科・専攻	収 容 定 員		
	平成20年度	平成21年度	平成22年度
医学部保健衛生学科			
看護学専攻	215	210	215
検査技術学専攻	135	130	135
歯学部口腔保健学科	118	116	118

附 則（平成20年3月26日規程第5号）

- 1 この学則は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 平成20年4月1日において現に本学に在学する者（平成18年度に入学した者を除く。以下「在学者」という。）及び20年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表（1）及び別表（2）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成21年1月8日規程第1号）

- 1 この学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 この学則改正前に、本学に4年以上在学し、引き続き大学院医歯学総合研究科博士課程に入学するため、平成21年4月1日より休学を願い出ている者については、改正後の東京医科歯科大学学則第25条の2の規程を適用する
- 3 この学則の施行の際限に本学に4年以上在学し、引き続き大学院医歯学総合研究科博士課程に入学するため、退学した者が再び入学を志願する場合の取扱いは、なお従前の例による。
- 4 平成21年3月31日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成21年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学する者については、改正後の別表（2）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成21年3月19日規程第3号）

- 1 この学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第4条の規定にかかわらず、医学部医学科の平成21年度から平成25年度までの収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科	収 容 定 員				
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
医学部医学科	480	490	500	510	520

- 3 平成21年3月31日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成21年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表（1）及び別表（2）の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、平成21年4月1日以降に歯学部口腔保健学科に3年次編入学する者については、改正後の別表（2）の規定を適用する。

附 則（平成21年12月18日規程第9号）

この規程は、平成22年1月1日から施行する。

附 則（平成22年3月30日規程第3号）

- 1 この学則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第4条の規定にかかわらず、医学部医学科の平成22年度から平成26年度までの収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科	収 容 定 員				
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
医学部医学科	500	520	540	560	580

- 3 平成22年3月31日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成23年3月4日規程第1号）

- 1 この学則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第4条の規定にかかわらず、医学部医学科の平成23年度から平成27年度までの収容定員は、次のとおりとする。

年度	収 容 定 員
----	---------

区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
収容定員	525	550	575	600	615

3 改正後の第4条の規定にかかわらず、歯学部歯学科の平成23年度から平成27年度までの収容定員は、次のとおりとする。

区分	年度	収容定員				
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
収容定員		358	346	334	322	320

4 改正後の第4条の規定にかかわらず、歯学部口腔保健学科の平成23年度から平成25年度までの収容定員は、次のとおりとする。

区分	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
口腔保健衛生学専攻	収容定員	115	110	105
口腔保健工学専攻	2年次編入定員		5	5
	収容定員	10	25	40

附 則（平成23年6月30日規程第6号）

この学則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則（平成24年3月30日規程第3号）

1 この学則は、平成24年4月1日から施行する。

2 改正後の第4条の規定にかかわらず、医学部医学科の平成24年度から平成27年度までの編入学定員等は、次のとおりとする。

区分	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
編入学定員		5（2年次編入） 5（3年次編入）	5（2年次編入）	5（2年次編入）	5（2年次編入）
収容定員		555	580	605	620

3 平成24年度においては、改正後の第14条の「2年次」は「3年次及び2年次」と読み替えるものとする。

附 則（平成24年9月28日規程第8号）

この学則は、平成24年10月1日から施行する。

附 則（平成25年3月12日規程第2号）

1 この学則は、平成25年4月1日から施行する。

2 改正後の第4条の規定にかかわらず、医学部医学科の平成25年度から平成29年度までの収容定員は、次のとおりとする。

区分	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
収容定員		581	607	623	629	630

附 則（平成27年3月30日規則第51号）

この学則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則（平成28年3月31日規程第4号）

この内規は、平成28年4月1日から施行する。

附 則（平成28年5月11日規程第7号）

この学則は、平成28年5月11日から施行し、平成28年5月1日から適用する。

附 則（平成28年12月12日規程第11号）

この学則は、平成28年12月12日から施行し、平成28年4月1日から適用する。

附 則（平成２９年３月３１日規程第１号）

この学則は、平成２９年４月１日から施行する。

附 則（平成３０年５月１日規程第１号）

この学則は、平成３０年５月１日から施行し、平成３０年４月１日から適用する。

附 則（令和２年３月３１日規程第２号）

- この学則は、令和２年４月１日から施行する。
- 改正後の第４条の規定にかかわらず、医学部医学科の令和２年度から令和８年度までの入学定員等は、「地域の医師確保等の観点からの令和２年度医学部入学定員の増加について（令和元年９月２日付け元文科高第３９１号・医政医発０９０２第３号文部科学省高等教育局長・厚生労働省医政局長通知）」に基づき、次のとおりとする。

年度 区分	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
入学定員	１００	１００	８５	８５	８５
編入学定員	５（２年次編入）	５（２年次編入）	５（２年次編入）	５（２年次編入）	５（２年次編入）
収容定員	６３０	６２９	６１３	５９７	５８１

年度 区分	令和７年度	令和８年度
入学定員	８５	８５
編入学定員	５（２年次編入）	５（２年次編入）
収容定員	５６５	５５０

附 則（令和２年１１月１０日規程第９号）

- この学則は、令和３年４月１日から施行する。
- 改正後の第４条の規定にかかわらず、歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻の令和３年度の収容定員は、次のとおりとする。

年度 区分	令和３年度
収容定員	９４

附 則（令和３年３月２４日規程第６号）

- この学則は、令和３年４月１日から施行する。
- 令和年３月３１日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和３年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（令和３年１２月２１日規程第１０号）

- この学則は、令和４年４月１日から施行する。
- 令和４年３月３１日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和４年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の規

定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（令和4年1月17日規程第1号）

- 1 この学則は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 令和4年3月31日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和4年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 改正後の第4条の規定にかかわらず、医学部医学科の令和4年度から令和9年度までの入学定員等は、「地域の医師確保等の観点からの令和4年度医学部入学定員の増加について（令和3年8月16日付け3文科高第501号・医政発0816第9号文部科学省高等教育局長・厚生労働省医政局長通知）」に基づき、次のとおりとする。

年度 区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
入学定員	100	85	85	85	85	85
編入学定員	5（2年次 編入）	5（2年次 編入）	5（2年次 編入）	5（2年次 編入）	5（2年次 編入）	5（2年次 編入）
収容定員	628	612	596	580	565	550

東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申合せ

平成20年2月8日
申 合 せ

1. 目的

この申合せは、東京医科歯科大学学則（以下「学則」という。）第58条の規定に基づく学生の懲戒に関し、基本的な考え方、手続、標準その他の必要な事項を定めることにより、その適正及び公正を図ることを目的とする。

2. 基本的な考え方

- (1) 学生に対する懲戒は、大学の規律、秩序を維持し、教育目的を達成するため、一定の事由の発生を要件として、学生に対して制裁を課すものである。
- (2) 懲戒は、懲戒対象行為の態様、結果、影響等を総合的に検討し、教育的配慮を加えたうえで行うものとする。
- (3) 懲戒の取扱いについては、刑事訴追の有無を処分決定の絶対的な基準とはしないものとする。

3. 懲戒の種類

懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。

(1) 退学

退学は、学生の身分を失わせることである。

(2) 停学

- ① 停学は、一定の期間登校を禁止することである。
- ② 停学は、無期停学及び有期停学とする。
- ③ 有期停学の期間は6か月未満とする。
- ④ 停学期間は、在学年限に含め、修業年限には含めないものとする。ただし、短期間（1か月以内）の場合には、在学年限及び修業年限に含めることができる。
- ⑤ 無期停学は、原則として6か月を経過した後でなければ解除することができない。
- ⑥ 停学期間には、学則第9条の「休業日」を含むものとする。

(3) 訓告

訓告は、懲戒対象行為について、注意を与え、将来にわたってそのようなことがないように戒めることである。

4. 謹慎

学生の当該行為が懲戒に該当することが明白であり、かつ、停学以上の懲戒がなされることが確実である場合は、部局長（医学部長、歯学部長又は教養部長をいう。以下同じ。）は、当該学生に懲戒決定前に謹慎を命ずることができる。この場合、謹慎の期間は特に定めないが、この間は当該学生の登校を禁止する。

なお、謹慎の期間はその全部又は一部を停学期間に通算することができる。

5. 停学期間中の措置

- (1) 停学期間中の学生に対して当該部局は、面談等により、更正に向けた指導を適宜行うものとする。
- (2) 前項に規定する面談等は、必要に応じカウンセラー等の専門家の協力を得て行うことができるものとする。
- (3) 停学期間中の休学の願い出は、受理しないものとする。

6. 懲戒の手続

(1) 調査委員会の設置

- ① 学部長は、懲戒に相当すると思われる学生の行為（以下「事案」という。）を知ったときは、直ちに学長に報告するとともに、当該学生が所属する学部教授会の議を経て、当該学部教授会の構成員で組織する調査委員会を設置するものとする。

なお、調査委員会には、事案により当該学部教授会の構成員以外の者を加えることができる。

- ② 調査委員会は、当該事案について、調査及び事実の確認を行い、懲戒に関する事実認定の報告書（様式1）を作成するものとする。

(2) 事情聴取等

- ① 調査委員会は、調査に当たり当該学生に対し事情聴取を行うものとする。ただし、学生が心身の故障、身柄の拘束、その他の事由により直接事情聴取を受けることができないときは、これに替えて文書による質問、照会等により事情聴取することができる。

- ② 調査委員会は、事情聴取に際し、当該学生に口頭又は文書により弁明する機会を与えるものとする。

(3) 調査等の結果の報告

調査委員会は、懲戒に関する事実認定の報告書を学部長に提出するものとする。

(4) 教授会審議

学部長は、調査委員会の報告に基づき、当該学部教授会において、懲戒の要否及び種類・程度を審議し、その結果を学長に報告するものとする。

(5) 懲戒の決定

学長は、学部長の報告に基づき、懲戒の要否及び種類・程度を決定するものとする。

(6) 懲戒通知書の交付等

学部長は、学長の命により当該学生に対し懲戒通知書（様式2）を交付するものとする。

(7) 懲戒処分の告知及び告示

学長は、懲戒処分を決定したときは、通知書の交付をもって当該学生及び保証人に告知し、教育研究評議会に報告し、当該学生の所属、懲戒の種類及び事由を告示する。

(8) 懲戒に関する記録

懲戒処分を行ったときは、学籍簿の「特記事項」に記載するものとする。

(9) 退学願いの不受理

学部長は、懲戒の手続中の学生から自主退学の願い出があった場合は、これを受理しないものとする。

(10) その他

二つ以上の部局に関わる事案があるときは、当該部局長は相互に連絡協議するものとする。

7. 不服が申立てられた場合の手続

- (1) 懲戒を受けた学生は、その処分について、事実誤認、新事実の発見、処分の種類または内容等について異議がある場合には、懲戒通知書を受領した日の翌日から起算して14日以内

に、学長に対し書面をもって不服申立てをすることができる。ただし、不服申立てにより懲戒の効力は停止しない。

- (2) 学長は懲戒を受けた学生から不服申立てがあった場合には、学部長に再審議を行わせることができる。
- (3) 学部長は、当該学部教授会に再審議をする旨を報告の上、新たな構成員で組織される調査委員会に再調査等を行わせるものとする。
- (4) 学長は、再調査等の結果に基づく処分内容を当該学生に通知しなければならない。

8. 無期停学の解除

- (1) 学部長は、無期停学処分を受けた学生について、指導教員等と協議し、その反省の程度及び学習意欲等を総合的に判断して、その処分を解除することが適当であると思われるときは、当該学部教授会の議を経て、学長に申出るものとする。
- (2) 学長は、学部長の申出に基づき、無期停学の解除を決定するものとする。
- (3) 学部長は、学長の命により当該学生に対し停学解除通知書（様式3）を交付するものとする。

9. 試験の無効等

(1) 試験の無効

試験における不正行為を行った学生が受験した当該科目の試験は無効とする。

(2) 停学期間中の受験及び履修手続

停学期間中の受験は認めない。ただし、履修手続は可能とする。

10. 懲戒の標準は、別表のとおりとする。

11. 科目等履修生等の懲戒

この申合せの規定は、学則第10章及び第12章に規定する科目等履修生、聴講生及び特別聴講学生並びに大学院研究生の懲戒について準用する。

12. 大学院学生の懲戒

大学院学生の懲戒については、この申合せの規定を準用する。この場合において、以下のよう
に字句を読み替えるものとする。

- (1) 「学部教授会」を「研究科運営委員会等」
- (2) 「学部長」、「部局長（医学部長、歯学部長、教養部長をいう。以下同じ。）」及び部局長を「研究科長等」
- (3) 「試験」を「試験（単位認定を目的とした定期試験をいう。）」
- (4) 様式2中、「東京医科歯科大学学則第58条」を「東京医科歯科大学大学院学則第60条の規定により準用する東京医科歯科大学学則第58条」

なお、この申合せにおける「大学院学生」には、大学院学則（平成16年4月1日規程第5号）第12章から第14章までに規定する聴講生、特別聴講学生及び特別研究学生、科目等履修生を含むものとする。」

13. 守秘義務

学生の懲戒等に関する事項に関わった職員は、事実上知りえた情報を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

14. この申合せの改廃は、学生支援・保健管理機構運営委員会において行う。

附 則

この申合せは、平成20年2月8日から施行する。

附 則（平成24年2月24日制定）

- 1 この申合せは、平成24年4月1日から施行する。
- 2 この申合せの施行日において本学に専攻生として在籍する者の取扱いについては、平成24年9月30日まで、なお従前の例による。

附 則（平成28年10月21日制定）

この申合せは、平成28年10月21日から施行する。

附 則（平成30年2月20日制定）

この申合せは、平成30年4月1日から施行する。

附 則（平成30年12月13日制定）

この申合せは、平成30年12月13日から施行し、平成30年11月30日から適用する。

別表

懲戒の標準

・懲戒対象行為の標準的な例及び懲戒の種類は次の表のとおりとする。

懲戒対象行為の標準的な例	懲戒の種類
1. 試験における不正行為 (1) 代理（替玉）受験を行った場合又は行わせた場合 (2) 許可されていないノート及び参考書等を参照した場合 (3) 答案を交換した場合 (4) その他、試験において不正行為を行った場合 2. その他の懲戒対象行為 (1) 殺人、傷害、強盗、放火、誘拐、窃盗、痴漢等の犯罪 ① 殺人、傷害、強盗、強姦、放火、誘拐等の犯罪を行った場合 ② 窃盗、詐欺、恐喝等の犯罪を行った場合 ③ 痴漢（のぞき見、盗撮等を含む）を行った場合 (2) 交通事故・交通法規違反 ① 人身事故を伴う交通事故を起こした場合であって、次のいずれかに該当する場合であること （ア）ひき逃げ行為をしたとき （イ）その原因行為が飲酒運転、無免許運転、暴走運転等悪質なとき （ウ）被害者を死に至らしめたとき（過失がない場合を除く） ② 飲酒運転、無免許運転、暴走運転等の重大な交通法規違反を犯した場合 (3) ハラスメント等行為 性的関係の強要、飲酒の強要、いじめや嫌がらせ、ストーカー行為を行った場合 (4) 社会的モラルを問われる行為 ① 未成年者の飲酒 ② 未成年者に飲酒を勧めた場合・容認した場合 ③ 喧嘩、酩酊、喧騒等により、警察等に通報されるなど迷惑をかける行為 ④ その他本学の名誉・信用を失墜させる行為 (5) 薬物犯罪 違法薬物の売買又はその仲介、違法薬物の自己使用等を行った場合 (6) 個人情報の漏えい 授業又は実習・研修等で知り得た、教職員、学生及び患者の個人情報を漏らした場合 ① 情報の漏えいが故意の場合 ② 情報の漏えいが過失の場合 (7) コンピュータ等の不正行為コンピュータ及びコンピュータネットワークの不正使用等並びにこれらを利用した不正行為 (8) 本学の教育・研究活動を妨げる不正行為 ① 研究成果作成の際に論文やデータの捏造を行った場合 ② 剽窃を行った場合 ③ 知的財産を喪失させる行為又は妨げる行為を行った場合	退学 停学 停学 停学又は訓告 退学 退学又は停学 停学又は訓告 退学又は停学 退学、停学又は訓告 退学、停学又は訓告 停学又は訓告 停学又は訓告 停学又は訓告 停学又は訓告 退学又は停学 退学又は停学 停学又は訓告 退学、停学又は訓告 退学、停学又は訓告 停学又は訓告 停学又は訓告 退学、停学又は訓告 停学又は訓告 退学又は停学

④ 学生の学修、研究及び正当な活動並びに教職員の業務を暴力、威力等の不当な手段によって妨害した場合	退学又は停学
3. 再犯学生の懲戒 過去に懲戒を受けた学生が、再び懲戒対象行為を行った場合は、より「悪質性」が高いものとみなし、各標準を超える重い懲戒を行うことがある。	

備考

- ・「標準的な例」に掲げられていない行為についても、懲戒の対象となる場合がある。
- ・「懲戒の種類」に掲げられていない種類の懲戒が課せられる場合もある。

懲戒に関する事実認定の報告書

1. 対象学生 ・ 学部（研究科） 学科（専攻） 課程・コース・学籍番号
・ 氏名 年 月 日生
・ 入学年月 年 月
・ 現住所 電話番号
2. 事件の経緯・概要
3. 学生の弁明
4. 審議経緯
5. その他参考資料等

記載要領

- 2 は、事件の経緯，概要，大学側の対応，事実の確認等について年月日順に記載する。
- 3 は、当該学生が行った弁明について，日時，場所，証拠，証人，補佐人の有無，内容等を記載する。
- 5 は，その他の必要事項又は参考資料があれば記載又は添付する。

様式 2

懲戒通知書

学 部 名 _____ 学籍番号 _____ 氏 名 _____

東京医科歯科大学学則第 58 条の規定により、下記のとおり懲戒する。

記

1. 懲戒の種類
2. 停学の期間（停学の場合）
3. 処分理由

交付日付 年 月 日

東京医科歯科大学長

印

この処分についての不服申立ては、東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申合せ 6. により、この説明を受領した日の翌日から起算して 14 日以内に、学長に対し書面をもってすることができる。

様式 3

停学解除通知書

学 部 名 _____ 学籍番号 _____ 氏 名 _____

東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申合せ 7 の規定により、

年 月 日付けで停学を解除する。

年 月 日

東京医科歯科大学長

印

告 示

東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申合せに基づき、次のとおり懲戒処分を行った。

1. 懲戒処分となった学生の学部等

(学部の場合は学科まで記載。大学院の場合は専攻まで記載。)

2. 処分内容

(退学の場合)

退 学

(停学の場合)

停 学 (有期停学の場合は期間)

(例: 年 月 日 ~ 年 月 日)

(訓告の場合)

訓 告

3. 処分理由

年 月 日

国立大学法人

東京医科歯科大学長

印

東京医科歯科大学学部専門科目履修規則

平成22年3月30日
規則第41号

(趣旨)

第1条 東京医科歯科大学における専門に関する教育科目(以下「専門科目」という。)の履修に関しては、東京医科歯科大学学則(平成16年規程第4号。以下「学則」という。)定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

(専門科目の単位数及び履修学年)

第2条 専門科目の単位数及び履修学年については、別表1に定めるとおりとする。

2 前項の単位数及び履修学年は、医学部教授会又は歯学部教授会の意見を聴いて学長が定めるものとする。

(授業)

第3条 専門科目の授業は、講義、演習若しくは実習により行い、必修科目、選択科目又は自由科目とする。

(授業時間)

第4条 学則第36条に定める1単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間

(2) 実習については、30時間から45時間

2 前項の授業時間の設定においては、次の事項に配慮しなければならない。

(1) 学習目標を十分に満たすこと

(2) 履修時間及び自主的学修時間の確保

3 第1項の規定にかかわらず、医学部保健衛生学科検査技術学専攻の講義実習の1単位当たりの授業時間は25時間とし、講義10時間・実習15時間の割合で構成する。

(編入学者、転入学者の単位認定)

第5条 学則第12条から第18条の2までの規定により編入学及び転入学の許可をするときは、既修得単位を全学共通科目及び専門科目に相当する単位として、一部又は全部を認定するものとする。

2 前項の認定は、全学共通科目に相当する科目については教養部において、専門科目に相当する科目については、当該学生が在籍する学部(以下「在籍学部」という。)において行うものとする。

3 在籍学部は、入学を許可する学年及び履修方法等について、教養部と協議するものとする。

(再入学の単位認定)

第6条 学則第19条の規定により再入学を許可された者の当該学部における既修得単位は、全学共通科目及び当該学部専門科目の単位として、一部または全部を認定する。

(編入学者、転入学者、再入学者の在学年限)

第7条 学則第12条から第19条の規定により、編入学、転入学及び再入学を許可された者の在学年限は、学則第32条第1項に定める在学年限から入学を許可されたまでの経過学年数を減じた年数とする。

(試験及び単位)

第8条 履修した授業科目については、試験を行う。ただし、試験を行うことが困難な授業科目等については、試験によらず、学修の成果をもって、又は指定した課題についての報告をもって試験に替えることがある。

2 前項の試験に合格したときは、所定の単位を与える。

3 実習を伴わない授業科目については、試験に合格したときは所定の単位を与える。ただし、一授業科目の試験を分割して実施する科目については、そのすべての試験に合格しなければ単位を修得することができない。

- 4 実習を伴う授業科目については、試験に合格し、かつ、その授業科目の実習修了の認定が行われなければ所定の単位を修得することができない。
- 5 学習の評価は、別表2のとおりとする。
- 6 単位の認定は、医学部教授会又は歯学部教授会の議を経て当該学部長がこれを行う。
- 7 試験の方法に関しては別に定める。

(進級等要件)

- 第9条 学生は、別表3に示す要件を満たさなければ、進級又は所定の授業科目の履修又は単位を修得することができない。
- 2 医学部医学科並びに歯学部歯学科及び口腔保健学科にあっては、休学期間を除き、同一学年の在籍は2年までとし、2年を超える学生は、特別に考慮すべき事由のない限り、学則第33条第1項第1号に規定する「成業の見込みがない」者として、同条により除籍する。
 - 3 前項の場合において、大学は、教授会等における審議を行う前に、除籍の対象となる学生に対し、書面又は口頭による弁明の機会を与えなければならない。ただし、当該学生が、弁明の機会を与えられたにもかかわらず、正当な理由なく欠席し、又は文書を提出しなかった場合は、この権利を放棄したものとみなす。
 - 4 第2項の場合において、教授会等における審議の後、当該学生から不服が申立てられた場合で、学部長が再審議の必要性があると判断したときは、学部長は、教育委員会等に再度審議を行わせるものとする。

(卒業認定)

- 第10条 学生の卒業認定は、学則第39条により行うものとする。

(補足)

- 第11条 この規則に定めるもののほか履修に関し必要な事項は各学部教授会の議を経て別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 東京医科歯科大学医学部履修規則（平成16年規則第201号）は、廃止する。
- 3 東京医科歯科大学歯学部履修規則（平成16年規則第213号）は、廃止する。
- 4 平成22年3月31日において現に医学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学するものについては、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学医学部履修規則の例による。
- 5 平成22年3月31日において現に歯学部在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学する者については、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学歯学部履修規則の例による。

附 則（平成23年3月4日規則第15号）

- 1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 平成23年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成24年2月3日規則第19号）

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成24年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成24年3月30日規則第60号）

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成24年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成25年3月29日規則第56号）

- 1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。

- 2 平成25年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成25年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表1（3）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成25年5月30日規則第73号）

この規則は、平成25年5月30日から施行し、平成25年4月17日から適用する。

附 則（平成26年3月25日規則第8号）

（施行期日等）

- この規則は、平成26年4月1日から施行する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 平成25年10月1日の在学者については、平成25年度に医学部又は歯学部1年次に入学した者にのみ改正後の別表1（7）を適用する。
（平成25年度に全学科共通選択科目を履修する者に関する経過措置）
- 前項の規定にかかわらず、平成25年度に全学科共通選択科目を履修する者の改正後の別表1（7）は、次のとおりとし、平成25年10月1日から適用する。

全学科共通選択科目

授業科目		単位数	履修対象学年					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
選択科目	医療リーダーシップ特論1	1	○	○				
	医療リーダーシップ特論2	1		○				
	医療リーダーシップ特論3	1		○				
	医療リーダーシップ特論4	1			○	○ （※2）		
	医療リーダーシップ特論5	1			○ （※1）			
	国際教養特論1	1	○	○				
	国際教養特論2	1		○	○	○ （※2）		
	国際教養特論3	1		○	○	○ （※2）		
	計	8						

※1 医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。

※2 医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科に在籍する学生に限り履修することができる。

※3 医療リーダーシップ特論は、原則として、1を履修しなければ2を、2を履修しなければ3を、3を履修しなければ4を、4を履修しなければ5を履修することができない。

※4 国際教養特論は、原則として、1を履修しなければ2を、2を履修しなければ3を履修することができない。

附 則（平成27年3月10日規則第16号）

- この規則は、平成27年4月1日から施行する。
- 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成27年3月10日規則第17号）

- この規則は、平成27年4月1日から施行する。
- 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成27年6月1日規則第140号）

（施行期日等）

- この規則は、平成27年4月1日から施行する。

2 前項の規定にかかわらず、平成23年度から平成26年度までに入学した者のうち、平成26年12月1日において、現に本学に在学する者（以下「平成23年度以降に入学した在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に平成23年度以降に入学した在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者の別表1（4）の

「

3 平成22年度以前に入学した者のうち、平成26年12月1日において、現に本学に在学する者（以下「平成22年度以前に入学した在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に平成22年度以前に入学した在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、歯学科専門科目学科課程表については、次のとおりとし、平成26年12月1日から適用する。

239

研究体験実習			○					
臨床情報処理						○		
包括臨床実習						○	○	○
デンタルエクスターン シップ（選択科目）※	○	○	○	○	○	○	○	○
長寿口腔健康科学コ ース（選択科目）	○	○	○	○	○	○	○	○

※所定のプログラムを修了した学生に対し、1プログラムにつき1単位を認定する。

但し、同一年次・年度に認定できる単位は、1単位を上限とする。

附 則（平成28年3月31日規則第70号）

- この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 前項の規定にかかわらず、別表1（2）の「

Learning Medical English				○	○	○	
--------------------------	--	--	--	---	---	---	--

」は、平成28年4月1日から適用する。

附 則（平成28年3月31日規則第71号）

- この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成28年3月31日規則第73号）

（施行期日等）

- この規則は、平成28年4月1日から施行する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（2）及び（3）のうち次に掲げる科目並びに（7）及び（8）を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（2） 国際保健福祉Ⅰ、国際保健福祉Ⅱ及び国際保健福祉Ⅲ

別表1（3） アドバンスド生理機能検査学、短期海外研修（Ⅰ）、短期海外研修（Ⅱ）、短期海外研修（Ⅲ）及びLearning Medical English

- 平成28年3月31日において現に本学に在学する者が履修した科目の学習の評価については、次のとおり読み替えるものとする。

評価区分	評価
秀	A+
優	A
良	B
可	C
不可	D

附則（平成28年11月7日規則第159号）

- この規則は、平成29年4月1日から施行する。
- 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 前項の規定にかかわらず、別表1（2）の「

実践看護英語							○	
--------	--	--	--	--	--	--	---	--

」は、平成29年4月1日から適用する。

附 則（平成29年3月30日規則第50号）

- 1 この規則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（2）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

別表1（2）実践看護英語Ⅰ、実践看護英語Ⅱ及び実践看護英語Ⅲ

附 則（平成29年3月31日規則第54号）

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（平成29年6月1日規則第68号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成29年6月1日から施行し、平成29年4月1日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（1）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（1） 研究実践プログラムⅠ、研究実践プログラムⅡ、研究実践プログラムⅢ、
研究実践プログラムⅣ及び研究実践プログラムⅤ

附 則（平成29年7月6日規則第101号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成29年7月6日から施行し、平成29年4月1日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表3（1）医学科（7）及び注3を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成29年12月27日規則第137号）

この規則は、平成29年12月27日から施行し、平成29年4月1日から適用する

附 則（平成30年5月8日規則第32号）

- 1 この規則は、平成30年5月8日から施行し、平成30年4月1日から適用する。
- 2 平成30年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成30年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1（2）及び（3）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

別表1（2） 国際保健福祉A、国際保健福祉B、国際保健福祉C、国際保健福祉D

別表1（3） 短期海外研修（A）、短期海外研修（B）、短期海外研修（C）、短期海外研修（D）

生体医工学の科目については、平成28年度入学者から適用する。

附 則（平成30年9月26日規則第130号）

- 1 この規則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 平成31年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成31年4月1日以降に、在学者の属する学年に再入学、転入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成30年10月24日規則第131号）

この規則は、平成31年4月1日から施行する。

附 則（平成30年12月20日規則第119号）

- 1 この規則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（令和元年5月8日規則第55号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、令和元年5月8日から施行し、平成31年4月1日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 2 平成31年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成31年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（1）の次に掲げる科目及び別表3（1）医学科（8）及び注4を除いて、改正後の別表の規定にかかわら

ず、なお従前の例による。

別表 1 (1) 臨床実習Ⅰ、臨床実習Ⅱ

附 則 (令和元年 5 月 8 日規則第 56 号)

(施行期日等)

1 この規則は、令和元年 5 月 8 日から施行し、平成 31 年 4 月 1 日から適用する。

(在学する者等に関する経過措置)

2 平成 31 年 3 月 31 日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成 31 年 4 月 1 日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表 1 の (1) 及び (4) 並びに別表 3 (1) 及び (3) のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表 1 (1) 総合診療・地域医療

別表 1 (4) 総合診療・地域医療

別表 3 (1) 総合診療・地域医療

別表 3 (3) 総合診療・地域医療

附 則 (令和 2 年 3 月 11 日規則第 49 号)

(施行期日等)

1 この規則は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

(在学する者等に関する経過措置)

2 令和 2 年 3 月 31 日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和 2 年 4 月 1 日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表 1 (1)、(3) 及び (4) の次に掲げる科目並びに別表 3 (1) の (5)、注 1 及び別表 3 (3) の (4)、注を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表 1 (1) 医歯学基盤教育（グローバル・コミュニケーションⅢ）、社会医学及び行動科学

別表 1 (3) 神経科学、心電図判読、Learning Medical English

別表 1 (4) 医歯学基盤教育（グローバル・コミュニケーションⅢ）

3 前項の規定にかかわらず、Learning Medical English については、平成 31 年 4 月 1 日に入学した者のみ改正後の別表 1 (3) を適用する。

附 則 (令和 3 年 1 月 15 日 規則第 3 号)

1 この規則は、令和 3 年 1 月 15 日から施行し、令和 2 年 4 月 1 日から適用する。

2 令和 2 年 3 月 31 日において、現に本学に在学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則 (令和 3 年 2 月 3 日 規則第 16 号)

(施行期日等)

1 この規則は、令和 3 年 2 月 3 日より施行し、令和 2 年 4 月 1 日から適用する。

(在学する者等に関する経過措置)

2 令和 2 年 3 月 31 日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和 2 年 4 月 1 日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表 1 (7) 及び別表 2 のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表 1 (7) 及び別表 2 オンライン異文化交流

附 則 (令和 3 年 3 月 31 日規則第 40 号)

この規則は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 9 条、別表 1 (4) 及び別表 3 (1) は、令和 2 年 4 月 1 日から適用する。

(施行期日等)

附 則 (令和 4 年 1 月 17 日規則第 6 号)

1 この規則は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。

2 令和 4 年 3 月 31 日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和 4 年 4 月 1 日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表 1 (2) 及び別表 1 (3) のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例（別表 1 (3) 電子顕微鏡学を除く。）による。

別表 1 (2) インディペンデントスタディ A

別表 1 (2) インディペンデントスタディ B

別表 1 (2) インディペンデントスタディ C

別表 1 (3) 生命理工学概論

附 則 (令和 4 年 1 月 31 日規則第 10 号)

1 この規則は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。

- 2 令和4年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和4年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1（7）のうちに掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（7）ポストコロナ社会における感染症対策

附 則（令和4年2月15日規則第15号）

- 1 この規則は、令和4年4月1日から施行する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 2 令和4年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和4年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正前の別表1（7）のうちに掲げる科目は、令和5年3月31日までの間は存続するものとする。

別表1（7） Introduction to Medical Anthropology

別表1（7） Decision-making in the Health Sciences

別表1（7） Health in Contemporary Japanese Society

附 則（令和4年3月1日規則第16号）

- 1 この規則は、令和4年4月1日より施行する。
- 2 令和4年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和4年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1（6）のうちに掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（6） 口腔保健工学エクスターンシップ

別表 1 (1) 医学科 省略

(2) 保健衛生学科(看護学専攻)教育課程

授業科目		単位数			履修学年				備 考
		必修	選択	自由	1 年	2 年	3 年	4 年	
専門基礎分野	解剖学	3			○				
	生理学	3				○			
	生化学	2				○			
	薬理学Ⅰ	1				○			
	薬理学Ⅱ	1				○			
	病理学	1				○			
	微生物学	1			○				
	栄養学	1				○			
	疫学	1					○		
	病態学	5				○			
	Global Nursing CommunicationⅠ	1				○			
	Global Nursing CommunicationⅡ	1					○		
	専門基礎合同演習	1				○			
専門共通分野	保健統計学	1						○	
	医療情報学	1				○			
	国際保健看護学Ⅰ	1			○				
	国際保健看護学Ⅱ	1						○	
	産業保健学	1						○	
	保健医療福祉制度論	2				○			
	看護制度論	1			○				
	健康教育学演習	1				○			
	卒業論文Ⅰ	1					○		
	卒業論文Ⅱ	2						○	
	癒しのケア論	1			○				
	AI 実践演習			1		○		○	※5
	Learning Medical English			1		○	○	○	※5
	実践看護英語Ⅰ			1		○			
	実践看護英語Ⅱ			1			○		
	実践看護英語Ⅲ			1				○	
	国際保健福祉A			1	○				
	国際保健福祉B			1		○			
	国際保健福祉C			1			○		

専門領域別分野		国際保健福祉D			1				○	
		インディペンデントスタディA			1		○			
		インディペンデントスタディB			1			○		
		インディペンデントスタディC			1				○	
	基礎看護学	人間の健康と看護	1			○				
		基盤看護学Ⅰ	1				○			
		基盤看護学Ⅱ	1				○			
		基盤看護学演習Ⅰ	2				○			
		基盤看護学演習Ⅱ	1				○			
		基盤看護学実習Ⅰ	1			○				
		基盤看護学実習Ⅱ	2				○			
		フィジカルアセスメント	1				○			
	成人看護学	成人の健康と看護	2				○			
		成人看護学	2				○			
		クリティカルケア看護学	1					○		
		成人看護学演習	1					○		
		成人・老年看護学実習Ⅰ	3					○		
		緩和ケア看護学Ⅰ	1					○		
		緩和ケア看護学Ⅱ※3		1				○		
	精神看護学	心の健康と看護Ⅰ	2				○			
		心の健康と看護Ⅱ	1					○		
		精神看護学演習	1					○		
		精神看護学実習	2					○		
	小児看護学	小児の健康と看護	1				○			
		小児看護学Ⅰ	1				○			
		小児看護学Ⅱ	1					○		
		小児看護学演習	1					○		
		小児看護学実習	2					○		
	母性看護学	性と生殖と健康と看護	1					○		
		周産看護学Ⅰ	1					○		
		周産看護学Ⅱ	1					○		
		周産看護学演習	1					○		
		周産看護学実習	2					○		
	老年看護学	高齢者の健康と看護	1					○		
		老年看護学	2					○		
		老年看護学演習	1					○		
		リハビリテーション看護学※3		1				○		
		成人・老年看護学実習Ⅱ	3					○		
	地域保	地域保健看護学Ⅰ	1				○			
		地域保健看護学Ⅱ	1					○		
		地域保健看護学Ⅲ※1		2					○	

	地域保健看護学演習Ⅰ※1		2				○	
	地域保健看護学演習Ⅱ※1		1				○	
	地域保健看護学実習※1		4				○	
在宅看護学	在宅看護学Ⅰ	2			○			
	在宅看護学Ⅱ	2				○		
	在宅看護学演習	1				○		
	在宅看護学実習	2				○		
看護の統合と実践	看護の統合と実践Ⅰ	1			○			
	看護の統合と実践Ⅱ	1			○			
	看護の統合と実践実習	3					○	
	災害看護学	1			○			
	クリティカルシンキング・クリエイティブシンキング	1					○	
	看護マネジメント学	1					○	
	成人・老年看護学実習Ⅲ※2		2				○	
	緩和ケア看護学実習※4		1				○	
	国際看護学実習※4		1				○	
計		97	15	12				

- ・保健師国家試験受験資格取得を選択する者は、※1の4科目を選択すること。保健師国家試験受験資格取得を選択しない者は、※2の科目を選択し、※3の2科目の中から1科目、※4の2科目の中から1科目選択すること。
- ・※5 履修学年が複数年にわたっている授業科目では、そのいずれかの学年で履修することができる。

(3) 保健衛生学科（検査技術学専攻）教育課程

区 分	授業科目	単位数			履修学年（履修対象学年）				備考
		必修	選択	自由	1 年	2 年	3 年	4 年	
形態・病態制御学系	人体構造学講義	3			○				
	人体構造学実習	1				○			
	病理検査学講義	4				○			
	病理検査学実習	2				○			
	血液検査学講義	2					○		
	血液検査学実習	2					○		
物質・代謝学系	生化学講義	3				○			
	生化学実習	1				○			
	分析化学検査学Ⅰ	2			○				講義・実習
	分析化学検査学Ⅱ	4				○			講義・実習
	分析化学検査学Ⅲ	3					○		講義・実習
機能調節・制御学系	医用システム情報学講義（Ⅰ）	1				○			
	医用システム情報学講義（Ⅱ）	1					○		
	医用システム情報学実習（Ⅰ）	1				○			
	医用システム情報学実習（Ⅱ）	1					○		
	生理学講義	3				○			
	臨床生理検査学講義（Ⅰ）	2				○			
	臨床生理検査学講義（Ⅱ）	2					○		
	生理学実習	1				○			
	臨床生理検査学実習（Ⅰ）	3				○			
	臨床生理検査学実習（Ⅱ）	2					○		
病因・病態学系	病原体検査学講義（Ⅰ）	1			○				
	病原体検査学講義（Ⅱ）	3					○		
	病原体検査学実習（Ⅰ）	1				○			
	病原体検査学実習（Ⅱ）	2					○		
	免疫検査学講義	3				○			
	免疫検査学実習	2					○		
	遺伝子・染色体検査学講義	2				○			
	遺伝子検査学実習	1					○		
検査管理・社会医学系	臨床検査総合管理学	2			○				
	医学情報処理演習（Ⅰ）	1				○			
	医学情報処理演習（Ⅱ）	1					○		
	公衆衛生学講義	2						○	

総合分野	公衆衛生学実習	1						○	
	医療概論・関係法規	1						○	
	臨床病態学（Ⅰ）	2				○			
	臨床病態学（Ⅱ）	2					○		
	総合講義	3						○	
	臨地実習	12					○		
	卒業研究（Ⅰ）	1					○		
	卒業研究（Ⅱ）	6						○	
	遺伝学		1			○	○	○	※
	生命理工学概論		1			○	○		※
	生体医工学		2				○		
	分子生物学		1			○	○	○	※
	心臓生理学		1			○	○	○	※
	アドバンスド生理機能検査学		1				○	○	※
	心電図判読		1				○	○	※
	AI 実践演習		1			○		○	※
	四大学連合複合領域 コース開講科目					○	○	○	※
	薬理学	2				○			
	短期海外研修 A			1	○				
	短期海外研修 B			1		○			
	短期海外研修 C			1			○		
	短期海外研修 D			1				○	
外国語	Global Communication （Ⅰ）	2				○			
	Global Communication （Ⅱ）	2					○		
	Learning Medical English		1			○	○	○	※
	English for Health Care Sciences（Ⅰ）		1			○	○	○	※
	English for Health Care Sciences（Ⅱ）		1			○	○	○	※
計		99	12	4					

（選択科目の履修）

- 1 卒業要件として選択科目の中から6単位以上を修得しなければならない。第4学年ではそのうち2単位以上を修得しなければならない。
- 2 四大学連合複合領域コース開講科目は、同コースで開講する授業科目のうち、東京工業大学又は一橋大学が開講する授業科目の単位を修得した場合、4単位を上限として単位を修得したものとみなすことができる。開講科目など詳細は「複合領域コース 履修の手引き」を確認すること。

（自由科目の履修）

- 3 自由科目は卒業要件には含まれない。
- ※ 履修学年が複数年にわたっている授業科目では、そのいずれかの学年で履修することができる。

(4) 歯学科～(6) 口腔保健学科(口腔保健工学専攻) 省略

(7) 全学科共通自由科目

授業科目	単位数	履修対象学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
Moral and Political Philosophy for Medicine	1	○	○	○	○	○	○
Biosocial Research Topics	1	○	○	○	○	○	○
Problem-solving in the Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
Applied Critical Thinking for Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
Fundamentals of Global Health	1	○	○	○	○	○	○
Leadership	1	○	○	○	○	○	○
Negotiation	1	○	○	○	○	○	○
Design Thinking	1	○	○	○	○	○	○
オンライン異文化交流(※)	0.5～3	○	○	○	○	○	○
ポストコロナ社会における感染症対策	1	○	○	○	○	○	○
計	9.5～12						

※ 所定のプログラムを修了した学生に対し、0.5単位を認定する。但し、同一年次・年度に認定できる単位は、0.5単位を上限とする。

(8) 医学科地域特別枠推薦入試入学者必修科目 省略

別表2

評価基準	評価	単位認定
当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した	A+	合格
当該科目の到達目標を全て達成した	A	
当該科目の到達目標を概ね達成した	B	
当該科目の到達目標のうち最低限を達成した	C	
当該科目の到達目標を達成していない	D	不合格
到達目標の達成度を評価できない	F	

※全学科共通自由科目のうち、「オンライン異文化交流」の評価は、以下のとおりとする。

評価基準	評価	単位認定
当該科目の到達目標を達成している	合格	合格
当該科目の到達目標を達成していない	不合格	不合格

別表3

(1) 医学科 省略

(2) 保健衛生学科（看護学専攻及び検査技術学専攻）

(1) (看護学専攻) 第1学年の専門科目のうち、実習科目に未履修科目があるときは、第2学年に進級することができない。 (検査技術学専攻) 第1学年の専門科目のうち、講義実習科目に未履修科目があるときは、第2学年に進級することができない。
(2) (看護学専攻) 第2学年の必修科目（実習科目を除く。）に未履修科目があるとき、4科目以上の不合格科目があるとき、又は第2学年の必修科目となっている実習科目に不合格科目があるときは、原則として、第3学年に進級することができない。但し、実習科目が不合格の場合は、未履修科目とみなす。 (検査技術学専攻) 第1学年の専門科目及び第2学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは第3学年に進級することはできない。
(3) (看護学専攻) 第2学年及び第3学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは、第4学年に進級することはできない。 (検査技術学専攻) 第3学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは、第4学年に進級することはできない。

備考

未履修科目：授業科目を3分の2以上（実習科目の場合は4分の3以上）履修しなかった科目、又は授業科目を3分の2以上（実習科目の場合は4分の3以上）履修したにも関わらず試験等を放棄し、単位認定できない科目。再履修を要する。

不合格科目：授業科目を3分の2以上履修し、試験等を経て不合格の認定となった科目。

(3) 歯学科～(5) 口腔保健学科（口腔保健工学専攻） 省略

東京医科歯科大学医学部保健衛生学科履修内規

平成23年 2月16日
医学部保健衛生学科長制定

(趣旨)

第1条 この内規は、東京医科歯科大学学部専門科目履修規則（平成22年規則第41号。以下「履修規則」という。）第11条に基づき、医学部保健衛生学科における専門に関する教育科目の履修に関し、必要な事項を定めるものとする。

(学習の評価)

第2条 科目試験の成績については、授業科目ごとに担当教員が採点し、履修規則別表2のとおり学習の評価を行う。

- 2 正当な理由がなく試験を受験しなかった場合の評価は、Fとする。
- 3 第1項及び前項の学習の評価に、平常の学修の成果を加味することができる。
- 4 合否判定の結果について異議がある学生は、掲示後1週間以内に別に定める「成績評価異議申し立て書」を医学部事務部保健衛生教務係に提出することができる。

(仮進級)

第3条 進級要件を満たさない者については、特別な事情がある場合に限り、保健衛生学科教育委員会において協議し、仮進級を認めることができる。

- 2 仮進級者は、翌年度に実施される不合格科目の定期試験を受験し、合格しなければならない。

(G P)

第4条 評価とG Pとの対応は次のとおりとする。

評価	A +	A	B	C	D	F
GP	4.0	3.5	3.0	2.0	1.0	0.0

- 2 卒業要件に含まない科目のうち、単位を認定されなかった科目については、未履修科目とし、G P A (Grade Point Average) の計算式には算入しない。
- 3 選択科目及び自由科目のうち、卒業要件に含まない単位のG Pについては、学生の申請があれば、G P Aの計算式に算入しないものとする。
- 4 前項の申請時期は、第4学年の後期履修登録時とし、以降の変更は原則として認めない。

附 則

- 1 この内規は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 国立大学法人の成立前の東京医科歯科大学医学部に平成23年3月31日に在学し、引き続き本学部の在学者となったもの（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学及び編入学する者については、この内規の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成28年3月31日制定）

- 1 この内規は、平成28年4月1日から施行する。

- 2 平成28年3月31日において現に本学に在学する者が履修した科目の学習の評価については、次のとおり読み替えるものとする。

評価区分	評価
秀	A＋
優	A
良	B
可	C
不可	D

附 則（平成28年10月12日制定）

この内規は、平成28年11月1日から施行する。

(第2条関係)

平成 年 月 日

成績評価異議申し立て書

学部

学科・専攻

学籍番号

氏名

授 業 科 目 名		担 当 教 員	
(問い合わせ内容)			
担 当 教 員 へ の 連 絡	年 月 日に	にて連絡	
(教員の回答)	年 月 日		
学 生 へ の 連 絡	年 月 日に連絡		
担 当 教 員 か ら 教 務 係 へ の 連 絡	成績訂正：有（訂正後の成績）・無 年 月 日 氏名		
教 務 係 確 認 欄	年 月 日		

区分	授業科目	単位数			履修学年				備考
		必修	選択	自由	1年	2年	3年	4年	
形態・病態制御学系	人体構造学講義	3			○				
	人体構造学実習	1				○			
	病理検査学講義	4				○			
	病理検査学実習	2				○			
	血液検査学講義	2					○		
	血液検査学実習	2					○		
物質・代謝学系	生化学講義	3				○			
	生化学実習	1				○			
	分析化学検査学Ⅰ	2			○				講義・実習
	分析化学検査学Ⅱ	4				○			講義・実習
	分析化学検査学Ⅲ	3					○		講義・実習
機能調節・制御学系	医用システム情報学講義(Ⅰ)	1				○			
	医用システム情報学講義(Ⅱ)	1					○		
	医用システム情報学実習(Ⅰ)	1				○			
	医用システム情報学実習(Ⅱ)	1					○		
	生理学講義	3				○			
	臨床生理検査学講義(Ⅰ)	2				○			
	臨床生理検査学講義(Ⅱ)	2					○		
	生理学実習	1				○			
	臨床生理検査学実習(Ⅰ)	3				○			
	臨床生理検査学実習(Ⅱ)	2					○		
病因・病態学系	病原体検査学講義(Ⅰ)	1			○				
	病原体検査学講義(Ⅱ)	3					○		
	病原体検査学実習(Ⅰ)	1				○			
	病原体検査学実習(Ⅱ)	2					○		
	免疫検査学講義	3				○			
	免疫検査学実習	2					○		
	遺伝子・染色体検査学講義	2				○			
	遺伝子検査学実習	1					○		
検査管理・社会医学系	臨床検査総合管理学	2			○				
	医学情報処理演習(Ⅰ)	1				○			
	医学情報処理演習(Ⅱ)	1					○		
	公衆衛生学講義	2						○	
	公衆衛生学実習	1						○	
	医療概論・関係法規	1						○	
総合分野	臨床病態学(Ⅰ)	2				○			
	臨床病態学(Ⅱ)	2					○		
	総合講義	3						○	
	臨地実習	12					○		
	卒業研究(Ⅰ)	1					○		
	卒業研究(Ⅱ)	6						○	
	遺伝学		1			○	○	○	※
	生体医工学		2				○		
	生命理工学概論		1			○	○		※
	分子生物学		1			○	○	○	※
	心臓生理学		1			○	○	○	※
	アドバンスド生理機能検査学		1				○	○	※
	心電図判読		1				○	○	※
	AI 実践演習		1			○		○	※
	四大学連合複合領域コース開講科目					○	○	○	※
	薬理学	2				○			
	短期海外研修A			1	○				
	短期海外研修B			1		○			
	短期海外研修C			1			○		
	短期海外研修D			1				○	
外国語	Global Communication (Ⅰ)	2				○			
	Global Communication (Ⅱ)	2					○		
	Learning Medical English		1			○	○	○	※
	English for Health Care Sciences (Ⅰ)		1			○	○	○	※
	English for Health Care Sciences (Ⅱ)		1			○	○	○	※
計		99	12	4					
(選択科目の履修)									
1 卒業要件として選択科目の中から6単位以上を修得しなければならない。									
2 四大学連合複合領域コース開講科目は、同コースで開講する授業科目のうち、東京工業大学又は一橋大学が開講する授業科目の単位を修得した場合、									
4単位を上限として単位を修得したものとみなすことができる。開講科目など詳細は「複合領域コース 履修の手引き」を確認すること。									
3 選択科目は、第2、第3学年及び第4学年のいずれかに履修することができるが、第4学年に2単位以上修得しなければならない。									
※ 履修学年が複数年にわたっている授業科目では、そのいずれかの学年で履修することができる。									
(自由科目の履修)									
4 自由科目は卒業要件には含まれない。									

区分	授業科目	単位数			履修学年				備考
		必修	選択	自由	1年	2年	3年	4年	
形態・病態制御学系	人体構造学講義	3			○				
	人体構造学実習	1				○			
	病理検査学講義	4				○			
	病理検査学実習	2				○			
	血液検査学講義	2					○		
	血液検査学実習	2					○		
物質・代謝学系	生化学講義	3				○			
	生化学実習	1				○			
	分析化学検査学Ⅰ	2			○				講義・実習
	分析化学検査学Ⅱ	4				○			講義・実習
	分析化学検査学Ⅲ	4					○		講義・実習
機能調節・制御学系	医用システム情報学講義(Ⅰ)	2				○			
	医用システム情報学講義(Ⅱ)	1					○		
	医用システム情報学実習(Ⅰ)	1				○			
	医用システム情報学実習(Ⅱ)	1					○		
	生理検査学講義(Ⅰ)	3				○			
	生理検査学講義(Ⅱ)	2				○			
	生理検査学講義(Ⅲ)	2					○		
	生理検査学実習(Ⅰ)	1				○			
	生理検査学実習(Ⅱ)	1				○			
	生理検査学実習(Ⅲ)	2					○		
病因・病態学系	病原体検査学講義(Ⅰ)	1			○				
	病原体検査学講義(Ⅱ)	3					○		
	病原体検査学実習(Ⅰ)	1				○			
	病原体検査学実習(Ⅱ)	2					○		
	免疫検査学講義	4				○			
	免疫検査学実習	2					○		
	遺伝子・染色体検査学講義	2				○			
	遺伝子検査学実習	1					○		
検査管理・社会医学系	検査管理学	1			○				
	医学情報処理演習(Ⅰ)	1				○			
	医学情報処理演習(Ⅱ)	1					○		
	公衆衛生学講義	2						○	
	公衆衛生学実習	1						○	
	医療概論・関係法規	1						○	
総合分野	臨床病態学(Ⅰ)	2				○			
	臨床病態学(Ⅱ)	2					○		
	先端医療技術論	1			○				
	総合講義	3						○	
	臨地実習	7					○		
	卒業研究(Ⅰ)	2					○		
	卒業研究(Ⅱ)	8						○	
	遺伝学		1			○	○	○	※
	生体医工学		2				○		
	生命理工学概論		1			○	○		※
	分子生物学		1			○	○	○	※
	心臓生理学		1			○	○	○	※
	電子顕微鏡学		1			○	○	○	2022年度より廃止
	アドバンスド生理機能検査学		1				○	○	※
	心電図判読		1				○	○	※
	AI 実践演習		1			○		○	※
	四大学連合複合領域コース開講科目					○	○	○	※
	薬理学			2		○	○	○	※
	短期海外研修A			1	○				
	短期海外研修B			1		○			
	短期海外研修C			1			○		
	短期海外研修D			1				○	
外国語	Global Communication (Ⅰ)	2				○			
	Global Communication (Ⅱ)	2					○		
	Learning Medical English		1			○	○	○	※
	English for Health Care Sciences (Ⅰ)		1			○	○	○	※
	English for Health Care Sciences (Ⅱ)		1			○	○	○	※
計		96	12	6					

(選択科目の履修)

- 卒業要件として選択科目の中から6単位以上を修得しなければならない。
 - 四大学連合複合領域コース開講科目は、同コースで開講する授業科目のうち、東京工業大学又は一橋大学が開講する授業科目の単位を修得した場合、4単位を上限として単位を修得したものとみなすことができる。開講科目など詳細は「複合領域コース 履修の手引き」を確認すること。
 - 選択科目は、第2、第3学年及び第4学年のいずれかに履修することができるが、第4学年に2単位以上修得しなければならない。
- ※ 履修学年が複数年にわたっている授業科目では、そのいずれかの学年で履修することができる。
- (自由科目の履修)
- 自由科目は卒業要件には含まれない。

区分	授業科目	単位数			履修学年				備考
		必修	選択	自由	1年	2年	3年	4年	
形態・病態制御学系	人体構造学講義	3			○				
	人体構造学実習	1				○			
	病理検査学講義	4				○			
	病理検査学実習	2				○			
	血液検査学講義	2					○		
	血液検査学実習	2					○		
物質・代謝学系	生化学講義	3				○			
	生化学実習	1				○			
	分析化学検査学Ⅰ	2			○				講義・実習
	分析化学検査学Ⅱ	4				○			講義・実習
	分析化学検査学Ⅲ	4					○		講義・実習
機能調節・制御学系	医用システム情報学講義(Ⅰ)	2				○			
	医用システム情報学講義(Ⅱ)	1					○		
	医用システム情報学実習(Ⅰ)	1				○			
	医用システム情報学実習(Ⅱ)	1					○		
	生理検査学講義(Ⅰ)	3				○			
	生理検査学講義(Ⅱ)	2				○			
	生理検査学講義(Ⅲ)	2					○		
	生理検査学実習(Ⅰ)	1				○			
	生理検査学実習(Ⅱ)	1				○			
	生理検査学実習(Ⅲ)	2					○		
病因・病態学系	病原体検査学講義(Ⅰ)	1			○				
	病原体検査学講義(Ⅱ)	3					○		
	病原体検査学実習(Ⅰ)	1				○			
	病原体検査学実習(Ⅱ)	2					○		
	免疫検査学講義	4				○			
	免疫検査学実習	2					○		
	遺伝子・染色体検査学講義	2				○			
	遺伝子検査学実習	1					○		
検査管理・社会医学系	検査管理学	1			○				
	医学情報処理演習(Ⅰ)	1				○			
	医学情報処理演習(Ⅱ)	1					○		
	公衆衛生学講義	2						○	
	公衆衛生学実習	1						○	
	医療概論・関係法規	1						○	
総合分野	臨床病態学(Ⅰ)	2				○			
	臨床病態学(Ⅱ)	2					○		
	先端医療技術論	1			○				
	総合講義	3						○	
	臨地実習	7					○		
	卒業研究(Ⅰ)	2					○		
	卒業研究(Ⅱ)	8						○	
	遺伝学		1			○	○	○	※
	生体医工学		2				○		
	分子生物学		1			○	○	○	※
	心臓生理学		1			○	○	○	※
	電子顕微鏡学		1			○	○	○	※
	アドバンスド生理機能検査学		1				○	○	※
	心電図判読		1				○	○	※
	AI 実践演習		1			○		○	※
	四大学連合複合領域コース開講科目					○	○	○	※
	薬理学			2		○	○	○	※
	短期海外研修A			1	○				
	短期海外研修B			1		○			
	短期海外研修C			1			○		
	短期海外研修D			1				○	
外国語	Global Communication (Ⅰ)	2				○			
	Global Communication (Ⅱ)	2					○		
	Learning Medical English		1			○	○	○	※
	English for Health Care Science (Ⅰ)		1			○	○	○	※
	English for Health Care Science (Ⅱ)		1			○	○	○	※
計		96	12	6					
(選択科目の履修)									
1 卒業要件として選択科目の中から6単位以上を修得しなければならない。									
2 四大学連合複合領域コース開講科目は、同コースで開講する授業科目のうち、東京工業大学又は一橋大学が開講する授業科目の単位を修得した場合、4単位を上限として単位を修得したものとみなすことができる。開講科目など詳細は「複合領域コース 履修の手引き」を確認すること。									
3 選択科目は、第2、第3学年及び第4学年のいずれかに履修することができるが、第4学年に2単位以上修得しなければならない。									
※ 履修学年が複数年にわたっている授業科目では、そのいずれかの学年で履修することができる。									
(自由科目の履修)									
4 自由科目は卒業要件には含まれない。									

保健衛生学科（検査技術学専攻）教育課程 2019(平成31)年度入学者

区分	授業科目	単位数			履修学年				備考
		必修	選択	自由	1年	2年	3年	4年	
形態・病態制御学系	人体構造学講義	3			○				
	人体構造学実習	1				○			
	病理検査学講義	4				○			
	病理検査学実習	2				○			
	血液検査学講義	2					○		
	血液検査学実習	2					○		
物質・代謝学系	生化学講義	3				○			
	生化学実習	1				○			
	分析化学検査学Ⅰ	2			○				講義・実習
	分析化学検査学Ⅱ	4				○			講義・実習
	分析化学検査学Ⅲ	4					○		講義・実習
機能調節・制御学系	医用システム情報学講義(Ⅰ)	2				○			
	医用システム情報学講義(Ⅱ)	1					○		
	医用システム情報学実習(Ⅰ)	1				○			
	医用システム情報学実習(Ⅱ)	1					○		
	生理検査学講義(Ⅰ)	3				○			
	生理検査学講義(Ⅱ)	2				○			
	生理検査学講義(Ⅲ)	2					○		
	生理検査学実習(Ⅰ)	1				○			
	生理検査学実習(Ⅱ)	1				○			
	生理検査学実習(Ⅲ)	2					○		
病因・病態学系	病原体検査学講義(Ⅰ)	1			○				
	病原体検査学講義(Ⅱ)	3					○		
	病原体検査学実習(Ⅰ)	1				○			
	病原体検査学実習(Ⅱ)	2					○		
	免疫検査学講義	4				○			
	免疫検査学実習	2					○		
	遺伝子・染色体検査学講義	2				○			
	遺伝子検査学実習	1					○		
検査管理・社会医学系	検査管理学	1			○				
	医学情報処理演習(Ⅰ)	1				○			
	医学情報処理演習(Ⅱ)	1					○		
	公衆衛生学講義	2						○	
	公衆衛生学実習	1						○	
	医療概論・関係法規	1						○	
総合分野	臨床病態学(Ⅰ)	2				○			
	臨床病態学(Ⅱ)	2					○		
	先端医療技術論	1			○				
	総合講義	3						○	
	臨地実習	7					○		
	卒業研究(Ⅰ)	2					○		
	卒業研究(Ⅱ)	8						○	
	神経科学		1			○	○	○	2020年度より廃止
	遺伝学		1			○	○	○	※
	生体医工学		2				○		
	生命理工学概論		1			○	○		※
	分子生物学		1			○	○	○	※
	心臓生理学		1			○	○	○	※
	電子顕微鏡学		1			○	○	○	2022年度より廃止
	アドバンスド生理機能検査学		1				○	○	※
	心電図判読		1				○	○	※
	AI 実践演習		1			○		○	※
	四大学連合複合領域コース開講科目					○	○	○	※
	薬理学			2		○	○	○	※
	短期海外研修A			1	○				
	短期海外研修B			1		○			
	短期海外研修C			1			○		
	短期海外研修D			1				○	
外国語	Global Communication (Ⅰ)	2				○			
	Global Communication (Ⅱ)	2					○		
	Learning Medical English		1			○	○	○	※
	English for Health Care Sciences (Ⅰ)		1			○	○	○	※
	English for Health Care Sciences (Ⅱ)		1			○	○	○	※
計		96	12	6					
(選択科目の履修)									
1 卒業要件として選択科目の中から6単位以上を修得しなければならない。									
2 四大学連合複合領域コース開講科目は、同コースで開講する授業科目のうち、東京工業大学又は一橋大学が開講する授業科目の単位を修得した場合、									
4単位を上限として単位を修得したものとみなすことができる。開講科目など詳細は「複合領域コース 履修の手引き」を確認すること。									
3 選択科目は、第2、第3学年及び第4学年のいずれかに履修することができるが、第4学年に2単位以上修得しなければならない。									
※ 履修学年が複数年にわたっている授業科目では、そのいずれかの学年で履修することができる。									
(自由科目の履修)									
4 自由科目は卒業要件には含まれない。									

保健衛生学科（検査技術学専攻）教育課程 2018(平成30)年度入学者

区分	授業科目	単位数			履修学年				備考
		必修	選択	自由	1年	2年	3年	4年	
形態・病態制御学系	人体構造学講義（Ⅰ）	2			○				
	人体構造学講義（Ⅱ）	1				○			
	人体構造学実習	1				○			
	病理検査学講義	4				○			
	病理検査学実習	2				○			
	血液検査学講義	2					○		
	血液検査学実習	2					○		
物質・代謝学系	生化学講義	3				○			
	生化学実習	1				○			
	分析化学検査学Ⅰ	2			○				講義・実習
	分析化学検査学Ⅱ	4				○			講義・実習
	分析化学検査学Ⅲ	4					○		講義・実習
機能調節・制御学系	医用システム情報学講義（Ⅰ）	2				○			
	医用システム情報学講義（Ⅱ）	1					○		
	医用システム情報学実習（Ⅰ）	1				○			
	医用システム情報学実習（Ⅱ）	1					○		
	生理検査学講義（Ⅰ）	3				○			
	生理検査学講義（Ⅱ）	2				○			
	生理検査学講義（Ⅲ）	2					○		
	生理検査学実習（Ⅰ）	1				○			
	生理検査学実習（Ⅱ）	1				○			
	生理検査学実習（Ⅲ）	2					○		
病因・病態学系	病原体検査学講義（Ⅰ）	1				○			
	病原体検査学講義（Ⅱ）	3					○		
	病原体検査学実習（Ⅰ）	1				○			
	病原体検査学実習（Ⅱ）	2					○		
	免疫検査学講義	4				○			
	免疫検査学実習	2					○		
	遺伝子・染色体検査学講義	2				○			
	遺伝子検査学実習	1					○		
検査管理・社会医学系	検査管理学	1			○				
	医学情報処理演習（Ⅰ）	1				○			
	医学情報処理演習（Ⅱ）	1						○	
	公衆衛生学講義	2						○	
	公衆衛生学実習	1						○	
	医療概論・関係法規	1						○	
総合分野	臨床病態学（Ⅰ）	2				○			
	臨床病態学（Ⅱ）	2						○	
	先端医療技術論	1			○				
	総合講義	3						○	
	臨地実習	7					○		
	卒業研究	10						○	
	神経科学		1			○	○	○	2020年度より廃止
	遺伝学		1			○	○	○	※
	生体医工学		2				○		
	分子生物学		1			○	○	○	※
	心臓生理学		1			○	○	○	※
	電子顕微鏡学		1			○	○	○	※
	アドバンスド生理機能検査学		1				○	○	※
	心電図判読		1				○	○	※
	AI 実践演習		1			○		○	※
	四大学連合複合領域コース開講科目					○	○	○	※
	薬理学			2		○	○	○	※
	短期海外研修A			1	○				
	短期海外研修B			1		○			
	短期海外研修C			1			○		
	短期海外研修D			1				○	
外国語	Global Communication（Ⅰ）	2				○			
	Global Communication（Ⅱ）	2					○		
	Learning Medical English			1		○	○	○	※
	English for Health Care Science（Ⅰ）		1			○	○	○	※
	English for Health Care Science（Ⅱ）		1			○	○	○	※
計		96	12	7					
(選択科目の履修) 1 卒業要件として選択科目の中から6単位以上を修得しなければならない。 2 四大学連合複合領域コース開講科目は、同コースで開講する授業科目のうち、東京工業大学又は一橋大学が開講する授業科目の単位を修得した場合、4単位を上限として単位を修得したものとみなすことができる。開講科目など詳細は「複合領域コース 履修の手引き」を確認すること。 3 選択科目は、第2、第3学年及び第4学年のいずれかに履修することができるが、第4学年に2単位以上修得しなければならない。 ※ 履修学年が複数年にわたっている授業科目では、そのいずれかの学年で履修することができる。									
(自由科目の履修) 4 自由科目は卒業要件には含まれない。									

区分	授業科目	単位数			履修学年				備考
		必修	選択	自由	1年	2年	3年	4年	
形態・病態制御学系	人体構造学講義（Ⅰ）	2			○				
	人体構造学講義（Ⅱ）	1				○			
	人体構造学実習	1				○			
	病理検査学講義	4				○			
	病理検査学実習	2				○			
	血液検査学講義	2					○		
	血液検査学実習	2					○		
物質・代謝学系	生化学講義	3				○			
	生化学実習	1				○			
	分析化学検査学講義（Ⅰ）	3				○			
	分析化学検査学講義（Ⅱ）	4					○		
	分析化学検査学実習	4					○		
機能調節・制御学系	医用システム情報学講義（Ⅰ）	2				○			
	医用システム情報学講義（Ⅱ）	1					○		
	医用システム情報学実習（Ⅰ）	1				○			
	医用システム情報学実習（Ⅱ）	1					○		
	生理検査学講義（Ⅰ）	3				○			
	生理検査学講義（Ⅱ）	3					○		
	生理検査学実習（Ⅰ）	1				○			
	生理検査学実習（Ⅱ）	2					○		
病因・病態学系	病原体検査学講義（Ⅰ）	1				○			
	病原体検査学講義（Ⅱ）	4					○		
	病原体検査学実習（Ⅰ）	1				○			
	病原体検査学実習（Ⅱ）	2					○		
	免疫検査学講義	4					○		
	免疫検査学実習	2					○		
	遺伝子・染色体検査学講義	2				○			
	遺伝子検査学実習	2					○		
検査管理・社会医学系	検査管理学	1				○			
	医学情報処理演習（Ⅰ）	1				○			
	医学情報処理演習（Ⅱ）	1						○	
	公衆衛生学講義	2				○			
	公衆衛生学実習	1				○			
	医療概論・関係法規	1				○			
総合分野	臨床病態学（Ⅰ）	2				○			
	臨床病態学（Ⅱ）	2						○	
	先端医療技術論	1			○				
	総合講義	3						○	
	臨地実習	7						○	
	卒業研究	10						○	
	神経科学		1			○	○	○	2020年度より廃止
	遺伝学		1			○	○	○	※
	生体医工学		2				○		
	分子生物学		1			○	○	○	※
	心臓生理学		1			○	○	○	※
	電子顕微鏡学		1			○	○	○	※
	アドバンスド生理機能検査学		1				○	○	※
	心電図判読		1				○	○	※
	AI 実践演習		1			○		○	※
	四大学連合複合領域コース開講科目					○	○	○	※
	薬理学			2		○	○	○	※
	短期海外研修B			1		○			旧：短期海外研修（Ⅰ）
	短期海外研修C			1			○		旧：短期海外研修（Ⅱ）
	短期海外研修D			1				○	旧：短期海外研修（Ⅲ）
外国語	Global Communication（Ⅰ）	2				○			
	Global Communication（Ⅱ）	2					○		
	Learning Medical English			1		○	○	○	※
	English for Health Care Science（Ⅰ）		1			○	○	○	※
	English for Health Care Science（Ⅱ）		1			○	○	○	※
計		97	12	6					
(選択科目の履修) 1 卒業要件として選択科目の中から6単位以上を修得しなければならない。 2 四大学連合複合領域コース開講科目は、同コースで開講する授業科目のうち、東京工業大学又は一橋大学が開講する授業科目の単位を修得した場合、4単位を上限として単位を修得したものとみなすことができる。開講科目など詳細は「複合領域コース 履修の手引き」を確認すること。 3 選択科目は、第2、第3学年及び第4学年のいずれかに履修することができるが、第4学年に2単位以上修得しなければならない。 ※ 履修学年が複数年にわたっている授業科目では、そのいずれかの学年で履修することができる。 (自由科目の履修) 4 自由科目は卒業要件には含まれない。									

区分	授業科目	単位数			履修学年				備考
		必修	選択	自由	1年	2年	3年	4年	
形態・病態制御学系	人体構造学講義（Ⅰ）	2			○				
	人体構造学講義（Ⅱ）	1				○			
	人体構造学実習	1				○			
	病理検査学講義	4				○			
	病理検査学実習	2				○			
	血液検査学講義	2					○		
	血液検査学実習	2					○		
物質・代謝学系	生化学講義	3				○			
	生化学実習	1				○			
	分析化学検査学講義（Ⅰ）	3				○			
	分析化学検査学講義（Ⅱ）	4					○		
	分析化学検査学実習	4					○		
機能調節・制御学系	医用システム情報学講義（Ⅰ）	2				○			
	医用システム情報学講義（Ⅱ）	1					○		
	医用システム情報学実習（Ⅰ）	1				○			
	医用システム情報学実習（Ⅱ）	1					○		
	生理検査学講義（Ⅰ）	3				○			
	生理検査学講義（Ⅱ）	3					○		
	生理検査学実習（Ⅰ）	1				○			
	生理検査学実習（Ⅱ）	2					○		
	病原因・病態学系								
検査管理・社会医学系	病原体検査学講義（Ⅰ）	1				○			
	病原体検査学講義（Ⅱ）	4					○		
	病原体検査学実習（Ⅰ）	1				○			
	病原体検査学実習（Ⅱ）	2					○		
	免疫検査学講義	4					○		
	免疫検査学実習	2					○		
	遺伝子・染色体検査学講義	2				○			
	遺伝子検査学実習	2					○		
	検査管理学	1				○			
	医学情報処理演習（Ⅰ）	1				○			
総合分野	医学情報処理演習（Ⅱ）	1						○	
	公衆衛生学講義	2				○			
	公衆衛生学実習	1				○			
	医療概論・関係法規	1				○			
	臨床病態学（Ⅰ）	2				○			
	臨床病態学（Ⅱ）	2						○	
	先端医療技術論	1			○				
	総合講義	3						○	
	臨地実習	7						○	
	卒業研究	10						○	
	神経科学		1			○	○	○	2020年度より廃止
	遺伝学		1			○	○	○	※
	生体医工学		2				○	○	※
	パフォーマンス論		1			○	○	○	廃止
	分子生物学		1			○	○	○	※
	心臓生理学		1			○	○	○	※
	機器分析		1			○	○	○	廃止
	癒しの生化学・分子生物学		1			○	○	○	廃止
	電子顕微鏡学		1			○	○	○	※
	アドバンスド生理機能検査学		1				○	○	※
	心電図判読		1				○	○	※
	AI 実践演習		1			○		○	※
	四大学連合複合領域コース開講科目					○	○	○	※
	健康食品総論			2		○	○	○	※
	薬理学			2		○	○	○	※
	短期海外研修B			1		○			旧：短期海外研修（Ⅰ）
	短期海外研修C			1			○		旧：短期海外研修（Ⅱ）
	短期海外研修D			1				○	旧：短期海外研修（Ⅲ）
外国語	Global Communication（Ⅰ）	2				○			
	Global Communication（Ⅱ）	2					○		
	Learning Medical English			1		○	○	○	※
	English for Health Care Science（Ⅰ）		1			○	○	○	※
	English for Health Care Science（Ⅱ）		1			○	○	○	※
計		97	12	8					
(選択科目の履修) 1 卒業要件として選択科目の中から6単位以上を修得しなければならない。 2 四大学連合複合領域コース開講科目は、同コースで開講する授業科目のうち、東京工業大学又は一橋大学が開講する授業科目の単位を修得した場合、4単位を上限として単位を修得したものとみなすことができる。開講科目など詳細は「複合領域コース 履修の手引き」を確認すること。 3 選択科目は、第2、第3学年及び第4学年のいずれかに履修することができるが、第4学年に2単位以上修得しなければならない。 ※ 履修学年が複数年にわたっている授業科目では、そのいずれかの学年で履修することができる。									
(自由科目の履修) 4 自由科目は卒業要件には含まれない。									

東京医科歯科大学試験規則

平成 23 年 4 月 1 日
規 則 第 1 号

（趣旨）

第 1 条 この規則は、東京医科歯科大学における全学に共通する教育科目及び専門に関する教育科目（以下「授業科目」という。）の試験に関して、東京医科歯科大学学則（平成 16 年規程第 4 号。以下「学則」という。）、東京医科歯科大学全学共通科目履修規則（平成 16 年規則第 217 号。）及び東京医科歯科大学学部専門科目履修規則（平成 22 年規則第 41 号。）に定めるもののほか、必要な事項を定める。

（試験の種類）

第 2 条 試験は、本試験、追試験及び再試験とする。

（試験の方法）

第 3 条 試験は、筆答試験、コンピュータ活用試験、口答試験及び実地試験のいずれかによって行う。

（本試験）

第 4 条 本試験は、定期試験及び共用試験をいう。

2 共用試験は、医学部医学科及び歯学部歯学科において行う。

（定期試験）

第 5 条 定期試験とは、履修した授業科目について行う試験をいう。

2 定期試験の実施日時は、試験実施日の 2 週間前までに公示する。

3 定期試験を受験することのできる者は原則として次のとおりとする。

（1）講義及び演習 当該授業科目の授業時間数の 3 分の 2 以上履修した者

（2）実習 当該授業科目の授業時間数の 4 分の 3 以上履修した者

4 定期試験の結果は、公示する。

5 第 3 項に定めるもののほか、定期試験の受験資格に関し必要な事項は、医学部、歯学部又は教養部（以下「部局」という。）において別に定めることができる。

（共用試験）

第 6 条 共用試験とは、知識・問題解決能力を主として評価する多肢選択形式のコンピュータ活用試験（C B T）及び技能・態度を主として評価する客観的臨床能力試験（O S C E）をいう。

2 共用試験の実施日時は、試験実施日の 2 週間前までに公示する。

3 共用試験を受験することのできる者は医学部医学科及び歯学部歯学科において

別に定める。

4 共用試験の結果は、公示する。

（追試験）

第7条 追試験とは、病気、その他止むを得ない理由により本試験を受験できなかった者に対して行う試験をいう。ただし、追試験は原則として1回限りとする。

2 追試験を受験しようとする者（以下「追試験申請者」という。）は、所定の受験申請書に医師の診断書等の証明書類を添えて、本試験終了後原則として5日以内に医学部長、歯学部長又は教養部長（以下「学部長等」という。）に願い出て、許可を受けなければならない。

3 学部長等は、前項の申請について、教育委員会又は教務委員会と協議のうえ、その可否を決定し、追試験申請者に通知するものとする。

4 追試験受験決定が否の場合は、本試験を不合格とする。

5 試験の結果は、公示する。

6 第2項に定めるもののほか、追試験の申請に関し必要な事項は、部局において別に定めることができる。

（再試験）

第8条 再試験とは、本試験又は追試験を受験し、不合格となった者に対し行う試験をいう。ただし、再試験は、原則として1回限りとする。

2 再試験の実施日時は、指定の期日までに公示する。

3 再試験は当該学部長等の判断により、受験を許可しないことがある。

4 再試験受験決定が否の場合は、当該授業科目を不合格とする。

5 試験の結果は、公示する。

6 第3項に定めるもののほか、再試験の許可に関し必要な事項は、部局において別に定めることができる。

（試験の成績）

第9条 本試験、追試験及び再試験による成績については、科目責任者が100点満点で採点し、60点以上を「当該科目の到達目標のうち最低限を達成した」ものとして合格とする。

2 共用試験の成績については、前項の規定にかかわらず、医学部医学科及び歯学部歯学科において別に定める。

（成績の報告）

第10条 科目責任者は、本試験、追試験及び再試験について所定の用紙に採点結果を記入し、指定の期日までに当該学部長等に報告しなければならない。

2 医学科教育委員会委員長又は歯学科教育委員会委員長は、共用試験について所定の用紙に採点結果を記入し、指定の期日までに当該学部長に報告しなければならない。

(罰則)

第 11 条 試験において不正行為があったときは、学則第 58 条の規定による懲戒の手続きをとるものとする。

(補則)

第 12 条 この規則に定めるもののほか、試験に関し必要な事項は別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 東京医科歯科大学医学部試験規則（平成 16 年規則 202 号）は廃止する。
- 3 東京医科歯科大学歯学部試験規則（平成 16 年規則 214 号）は廃止する。
- 4 この規則は、平成 23 年 3 月 31 日において現に医学部または歯学部 に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成 23 年 4 月 1 日以降在学者が所属する学年に再入学、転入学するものについては、改正後の規則にかかわらず、なお従前の東京医科 歯科大学医学部試験規則または東京医科歯科大学歯学部試験規則の例による。

附 則（平成 28 年 3 月 31 日規則第 74 号）

この規則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

東京医科歯科大学医学部保健衛生学科試験内規

平成 23 年 2 月 16 日
医学部保健衛生学科長制定

(趣旨)

第1条 この内規は、東京医科歯科大学試験規則（平成23年4月1日規則第1号。以下「試験規則」という。）第8条第6項及び第12条に基づき、医学部保健衛生学科における専門に関する教育科目の試験に関し、必要な事項を定めるものとする。

(再試験)

第2条 再試験の時期は、原則として後期終了後の定期試験実施期間後に予め設定した再試験期間内に実施するものとする。ただし、第4学年で履修した科目の再試験は、第4学年の年度末とする。

2 再試験の実施日時は、試験実施日2週間前までに公示する。

3 再試験を受験しようとする者は、所定の受験申請書により原則として試験期日7日前までに医学部長に願い出なければならない。

附 則

- 1 この内規は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 東京医科歯科大学医学部に平成23年3月31日に在学し、引き続き本学部の在学者となったもの（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以後在学者の属する学年に再入学、転入学及び編入学する者に係る試験については、この内規の規定にかかわらず、なお従前の例による。

東京医科歯科大学学部教育におけるGPA制度 取り扱いに関する要項

平成28年3月31日
制 定

(目的)

第1条 東京医科歯科大学の学部教育におけるGPA (Grade Point Average) 制度の運用については、東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 (平成16年制定)、東京医科歯科大学医学部医学科専門科目履修内規 (平成23年制定)、東京医科歯科大学医学部保健衛生学科履修内規 (平成23年制定)、東京医科歯科大学歯学部歯学科専門科目履修内規 (平成23年制定)、東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科専門科目履修内規 (平成23年制定) に定めるほか、この要項の定めるところによる。

(定義)

第2条 この要項において、GPAとは、個々の学生の学習到達度をはかる数値で、履修登録した科目毎の評価 (A⁺, A, B, C, D, F) を4から0までの点数に置き換えて単位数を掛け、その総和を履修登録単位数の合計で割った平均点とする。

2 GPA対象授業科目は、次の各号を除く授業科目とする。

- (1) A⁺, A, B, C, D, Fによる学習の評価を行わない科目
- (2) 他大学等で単位を修得し、本学として学習の評価を行わず「認定」とした科目
- (3) 卒業要件に含まない科目のうち学生が申請して学科等が認めた科目 (成績表ではGPA除外科目として明示される)
- (4) GPAへの算入が適当でないと学科等が認めた科目 (シラバスおよび成績表ではGPA除外科目として明示される)

(学習の評価及びGP)

第3条 学習の評価及びGrade Point (GP) は、次のとおりとする。

評 価	GP	評価基準
A ⁺	4.0	当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した
A	3.5	当該科目の到達目標を全て達成した
B	3.0	当該科目の到達目標を概ね達成した
C	2.0	当該科目の到達目標のうち最低限を達成した
D	1.0	当該科目の到達目標を達成していない
F	0.0	到達目標の達成度を評価できない

(GPAの種類及び計算方法)

第4条 GPAは、当該学年に履修した第2条第2項に定めるGPA対象授業科目について

て、「当該年度のGPA」、「累積GPA」に区分し、各区分は次に定める方法により計算するものとする。

＊ GPAの計算式

$$\text{当該年度の GPA} = \frac{(4 \times A^+ \text{取得単位数} + 3.5 \times A \text{取得単位数} + 3 \times B \text{取得単位数} + 2 \times C \text{取得単位数} + 1 \times D \text{取得単位数} + 0 \times F \text{取得単位数})}{\text{当該年度の総履修登録単位数}}$$

$$\text{累積 GPA} = \frac{(4 \times A^+ \text{取得単位数} + 3.5 \times A \text{取得単位数} + 3 \times B \text{取得単位数} + 2 \times C \text{取得単位数} + 1 \times D \text{取得単位数} + 0 \times F \text{取得単位数})}{\text{総履修登録単位数}}$$

2 前項の計算式において、総履修登録単位数には不可となった科目の単位を含むが、履修取消とした科目の単位は含まない。

3 計算値は四捨五入して小数第2位まで求めるものとする。

(GPA計算期日)

第5条 GPAの計算は、学年ごとに所定の期日までに確定した成績に基づいて行う。

(成績証明書への記載)

第6条 成績証明書への記載は、累積GPAを使用する。

(その他)

第7条 この要項に定めるもののほか、GPA制度の実施に関して必要な事項は、各学科等において、別に定める。

附 則

1 この要項は、平成28年4月1日から施行し、平成28年度入学者から適用する。

平成27年度以前入学者についても、GPAを計算する場合は、秀をA⁺、優をA、良をB、可をC、不可をD、評価なしをFとみなし、適用する。

附 則（平成30年9月6日制定）

この要項は、平成30年9月6日から施行し、平成30年4月1日から適用する。

国立大学法人東京医科歯科大学における授業欠席に関する取扱要項

令和 2 年 1 1 月 3 0 日
制 定

（趣旨）

第 1 条 この要項は、国立大学法人東京医科歯科大学（以下「本学」という。）における授業欠席に関する取扱いについて必要な事項を定める。

（公欠及びその要件）

第 2 条 この要項において、公欠とは、本学が認める一定の事由によりやむを得ず正課を欠席した場合、これを出席として取扱うことをいう。

2 本学の学生が、次の各号の事由によりやむを得ず正課を欠席する場合は、これを公欠として取扱う。

- (1) 感染症に罹患した場合
- (2) 親族が死亡した場合
- (3) 裁判員制度による裁判員又は裁判員候補者に選任された場合
- (4) その他学長が必要と認める場合

（公欠の手続及び様式）

第 3 条 前条第 2 項各号による公欠の具体的な基準及び手続については、別表のとおりとする。

2 前条第 2 項第 3 号又は第 4 号により公欠が認められた場合は、欠席届の写を回付する等の方法により授業担当教員にその旨通知することとする。

（公欠とされた学生への配慮義務）

第 4 条 授業担当教員は、公欠とされた学生に対し、履修上不利とならないよう配慮するものとする。

（公欠期間中の試験の取扱い）

第 5 条 公欠期間中の試験に関する追試験等の取扱いについては、当該授業科目を開講する学部長又は研究科長の定めるところによる。

（公欠以外の欠席）

第 6 条 公欠以外の理由により 1 週間以上欠席する場合は、欠席届を速やかに各学科又は各専攻の教務係へ提出することとする。

附 則

この要項は、令和 2 年 1 1 月 3 0 日から施行し、令和 2 年 4 月 1 日から適用する。

別表（第3条関連）

公欠事由	条件	公欠として認められる期間	手続等
感染症に罹患した場合	学校保健安全法施行規則（昭和33年6月13日文部省令第18号）第18条に規定する感染症に罹患した場合、又は感染しているおそれがある場合	学校保健安全法施行規則（昭和33年6月13日文部省令第18号）第19条に規定する期間	欠席届と証拠となる書類（診断書等）を添付し、担当係へ提出すること。
親族が死亡した場合	配偶者及び1親等、2親等の親族の死亡に伴い必要と認められる葬儀、服喪その他の行事のため授業に出席できなかった場合	親族に応じ次に掲げる連続する暦日数（葬儀のため遠隔の地に赴く場合にあっては、往復に要する日数を加えた日数）の期間	欠席届と証拠となる書類（会葬礼状等）を添付し、担当係へ提出すること。
		配偶者及び1親等の親族の場合（父母・子）は、死亡した日から起算して連続7日（休日を含む。）	
		2親等（祖父母、兄弟姉妹等）の場合は、死亡した日から起算して連続3日（休日を含む。）	
裁判員制度による裁判員又は裁判員候補者に選任された場合	裁判員又は裁判員候補者としての任務を果たす場合	裁判所へ出頭する日	欠席届と証拠となる書類（裁判所からの通知書等）を添付し、担当係へ提出すること。
その他学長が必要と認める場合	学長が必要と認める場合	学長が必要と認めた期間	欠席届と証拠となる書類（学長が必要と認めたことがわかる書類）を添付し、担当係へ提出すること。

検査技術学専攻第3学年における臨地実習履修要件

2021 年度臨地実習より適用

2021 年 7 月 7 日

保健衛生学科教育委員会

臨地実習は、病院等において行われるものであり、あらかじめ、それぞれの実習を行うに十分な基礎知識を持つことが必要であることから、3 年次前期の必修科目に合格したものでなければ、これを履修することができない。

医学部保健衛生学科レポート

感想の場合は、“感想「〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇」”と書く。

氏 名 山田 花子

産業保健の根幹を成す、産業の場で看護職が行う五管理について、その概要と業務の具体的事項を述べる。

- ・ 産業の場における看護職の五管理について

1. 産業保健と五管理
2. 作業環境管理
3. 作業管理
4. 健康管理
5. 労働衛生教育
6. 総括管理
7. まとめ
8. 参考文献

—以下省略—

※作成要領

1. レポート本文はワープロ打ちとする。
2. フォーマットはA4版・MS明朝体・10.5サイズとし、横44文字、縦32行で印字する。
3. すべてのページの1行目右上に氏名を記載し、最終行下欄にページ番号を付す。

※レポート本文のページ数、図、表、写真等の使用・貼付等については、担当教員の指示に従う。

4. 表題紙は、別様とする。
5. 書き出しは2行目2コマ目から始める。
6. 英数文字は半角とする。
6. 最後に引用文献及び参考文献の記載を記載する。

※書式は、「お茶の水医学雑誌」に準ずる。

<書き方例>

引用文献

論文の場合

- 1) 宮崎美砂子, 春山早苗: 最新地域看護学. 各論2. 日本看護協会出版会
; 2006: 81-88.

著書の一部の場合

- 2) 鈴木太郎, 山田華子: 糖尿病性神経障害, 小島次郎編 糖尿病, 大学出版, 東京,
1986. pp975-982.